

墨田区
地域福祉計画に関するアンケート調査
報告書

令和8年3月

墨田区

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査方法	3
3. 回収結果	3
4. 調査項目	3
5. 報告書の見方	4
第2章 調査結果の詳細（区民）	5
1. あなたご自身について	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 居住地域	8
(4) 家族構成	9
(5) 就労形態	9
(6) 居住年数	10
2. 地域の居場所、交流について	11
(1) 悩みを相談できる人（場所）の有無	11
(2) 悩みを相談できる人（場所）	13
(3) 居場所の有無	15
(4) 自分の居場所	17
(5) 希望する安心して過ごせる場所	19
(6) 孤独感や孤立感を感じた経験	21
(7) 近所や地域の人との付き合い	23
(8) 付き合いがない理由	25
(9) 困りごとがありそうな人に気づいたときの相談先	27
3. 地域活動、ボランティア参加について	29
(1) 地域活動やボランティア活動への参加経験の有無	29
(2) 参加した活動	31
(3) 活動に参加しない理由	33
(4) 活動への参加意向	35
(5) 活動の企画・運営への参加意向	37
(6) 参加・活動しやすい条件	39
4. 地域での暮らしについて	42
(1) 成年後見制度の認知状況	42
(2) 自分や家族の判断能力が低下した際の不安	44
(3) 自分や家族が亡くなった後の不安	46

(4) 成年後見制度の利用意向	48
(5) 成年後見制度を利用したくない理由	50
5. 防災について	52
(1) 災害時への備え	52
(2) 避難する際に助けてくれる人	54
(3) 支援が必要な人への手助けができるか	56
(4) 災害発生後に協力できる地域の活動	58
6. 墨田区の福祉について	60
(1) 福祉に関する情報の入手状況	60
(2) 情報の入手方法	63
(3) 情報を入手できない理由	65
(4) 希望する情報発信方法	67
(5) 相談場所の認知状況	68
(6) 地域福祉を推進する上で区に力を入れてほしいこと	93
(7) 墨田区の地域福祉への意見・要望	95
第3章 調査結果の詳細(団体)	99
1. あなたご自身について【共通設問】	101
(1) 活動(所属先)	101
2. 福祉の施策や活動に関する情報の発信・入手について【共通設問】	102
(1) 福祉施策や活動の地域の認知状況	102
(2) 福祉の施策や活動が知られていない原因	102
(3) 有効な情報発信・情報入手手段	103
3. 地域のつながりについて【共通設問】	104
(1) 地域のつながりの有無	104
(2) 地域のつながり強化に有効な対策	104
(3) 担い手確保・育成のために必要な取組	105
(4) 必要な住民の交流の場	105
(5) 心のバリアフリーを広めるために必要な取組	106
4. 災害に備えたまちづくりについて【共通設問】	107
(1) 災害時の助け合いの意識	107
(2) 災害時に地域でできること	107
(3) 日ごろから地域で行っていること	108
5. 団体について【ボランティアセンターのボランティア登録団体、小地域福祉委員会代表者、ふれあいサロン代表者、フォーラム協力団体、子ども食堂代表者、フードパントリー代表者の方】	109
(1) 主な活動分野	109
(2) 活動年数	109
(3) 活動を始めたきっかけ	110

6. 団体の活動について【ボランティアセンターのボランティア登録団体、小地域福祉委員会代表者、ふれあいサロン代表者、フォーラム協力団体、子ども食堂代表者、フードパントリー代表者の方】	111
(1) 活動のやりがい	111
(2) 困りごとが発生した時の相談先の有無	111
(3) 困りごとが発生した時の相談先	112
(4) 連携したい分野・団体の有無	112
(5) 連携したい分野・団体	113
(6) 活動における課題の有無	113
(7) 活動における課題	114
7. 墨田区について【ボランティアセンターのボランティア登録団体、小地域福祉委員会代表者、ふれあいサロン代表者、フォーラム協力団体、子ども食堂代表者、フードパントリー代表者の方】	115
(1) 活動を進める上で墨田区に望むこと	115
(2) 区に力を入れてほしいこと	115
8. 重層的支援体制について【高齢者支援総合センター（地域包括支援センター）、高齢者みまもり相談室、障害者就労支援センター、障害者基幹相談支援センター、子育て支援総合センター、子育てひろば、児童館、コミュニティ会館、保健所、教育センター、くらし・しごと相談室、ひきこもり地域支援センター すみ家、社会福祉協議会の方】	116
(1) 重層的支援体制整備事業の認知状況	116
(2) 地域福祉プラットフォームとの連携の経験	116
(3) 連携の内容	117
(4) 複雑化、複合化した相談を受けた経験	118
(5) ①事例の内容	118
(6) ②事例への対応	119
(7) ③困ったこと	119
(8) ④課題の解決方法	120
(9) ⑤支援者としてできること	120
(10) 何らかの問題を抱える個人等の認知経験	121
(11) 事例の内容	121
(12) 組織としての課題への対応	122
(13) 業務外のことを相談できる人（機関）の有無	122
(14) 相談できる人（機関）	123
(15) 支援連携や情報共有のやりやすさ	123
(16) 支援連携や情報共有について感じる理由	124
(17) 関係機関の連携について	124
(18) 関係機関の連携について感じる理由	125
(19) 連携や支援体制強化のために必要なこと	125
9. ご自身について【民生委員・児童委員・主任児童委員の方】	126

(1) 活動歴	126
10. 活動について	127
(1) やりがいの有無	127
(2) やりがいを感じる時	127
(3) 活動における課題の有無	128
(4) 感じている課題	128
(5) 活動における負担の有無	129
(6) 感じている負担	129
(7) 活動における困った事例の有無	130
(8) ①事例の内容	130
(9) ②困ったこと	131
(10) ③相談の有無	131
(11) ④解決状況	132
(12) 相談の多い分野	132
(13) 公的支援が届いていないと思った相談事例の有無	133
(14) もっていた課題	133
(15) つなげた場所	134
(16) 何らかの問題を抱える個人等との接触経験	135
(17) つなげた場所	135
11. 情報の授受について	136
(1) ①住民への情報周知方法	136
(2) ②住民の情報把握方法	136
12. 墨田区について	137
(1) 連携が必要な相談機関、団体	137
(2) 民生委員・児童委員に必要な支援	137
(3) 墨田区に望むこと	138
(4) 区に力を入れてほしいこと	139
13. 地域における公益的な取組について【社会福祉法人の方】	140
(1) 現在連携している団体等	140
(2) 今後連携したい団体等	140
14. 墨田区について	141
(1) 墨田区に望むこと	141
(2) 区に力を入れてほしいこと	142
第4章 資料編	143
1. 区民調査票	145
2. 団体調査票	151

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本調査は、墨田区民の地域福祉に関する現状やニーズ、団体の活動の実態等を把握し、令和8年度の「地域福祉計画策定」改定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査方法

<調査方法>

調査区分	調査対象	抽出方法	調査方法	調査期間
区民	満18歳以上の区民	住民基本台帳からの無作為抽出	郵送配布－郵送・WEB併用回収	令和7年 11月26日（水）～ 12月14日（日）
団体	区内で地域福祉に関する活動を展開する団体	全数	郵送配布－郵送回収	

3. 回収結果

調査区分	配布数	有効回収数	有効回収率
区民	3,000件	総数：1,153件 (内訳) 紙：607件 WEB：546件	総数：38.4% (内訳) 紙：52.6% WEB：47.4%
団体	329件	総数(紙)：217件	総数(紙)：66.0%

4. 調査項目

【区民】

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. あなたご自身について | 4. 地域での暮らしについて |
| 2. 地域の居場所、交流について | 5. 防災について |
| 3. 地域活動、ボランティア参加について | 6. 墨田区の福祉について |

【団体】

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. あなたご自身について | 8. 重層的支援体制について |
| 2. 福祉の施策や活動に関する情報の発信・入手について | 9. ご自身について |
| 3. 地域のつながりについて | 10. 活動について |
| 4. 災害に備えたまちづくりについて | 11. 情報の授受について |
| 5. 団体について | 12. 墨田区について |
| 6. 団体の活動について | 13. 地域における公益的な取組について |
| 7. 墨田区について | 14. 墨田区について |

5. 報告書の見方

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。従って、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

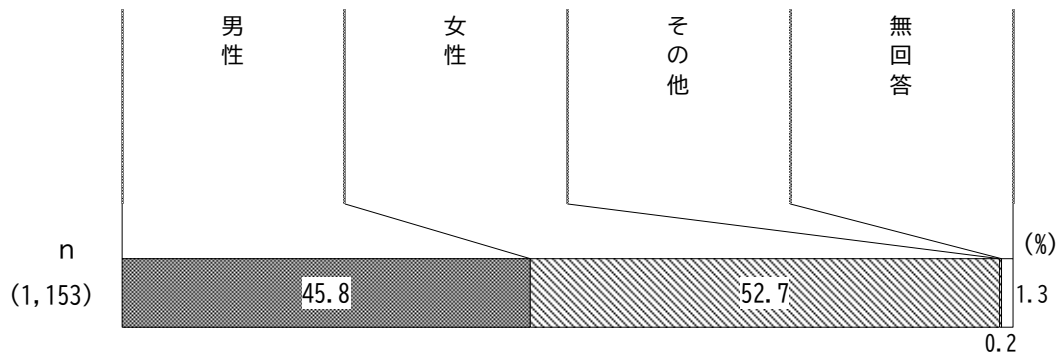
第2章 調査結果の詳細（区民）

1. あなたご自身について

(1) 性別

F1 あなたの性別についてお聞かせください。（○は1つだけ）

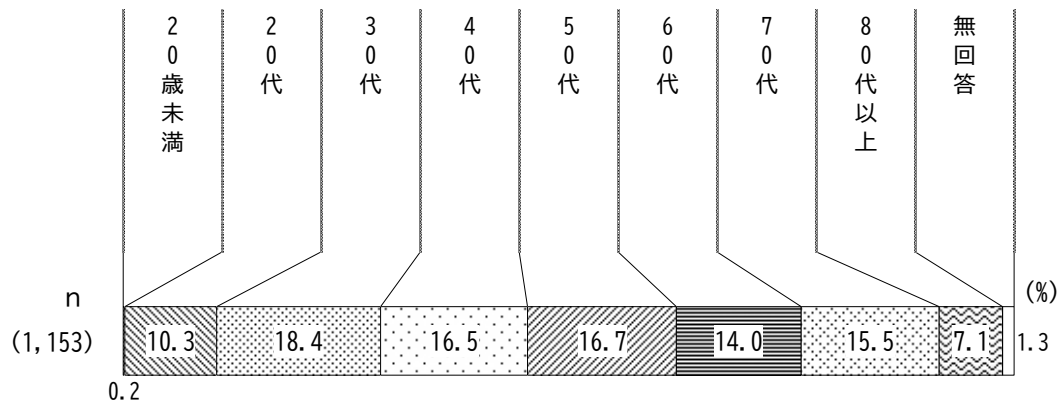
性別については、「女性」が52.7%、「男性」が45.8%となっている。



(2) 年齢

F2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。（○は1つだけ）

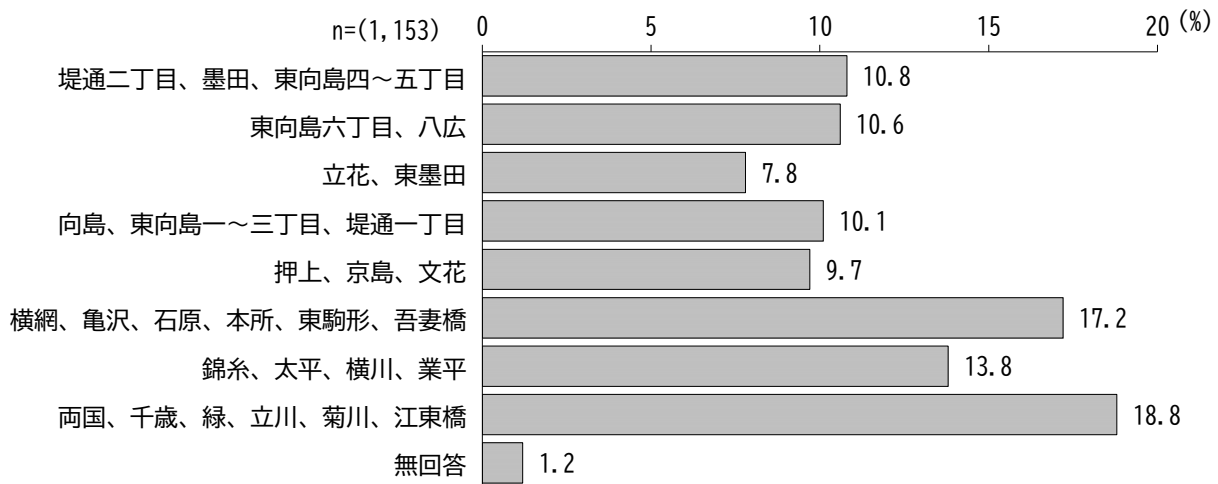
年齢については、「30代」が18.4%、次いで「50代」が16.7%、「40代」が16.5%、「70代」が15.5%、「60代」が14.0%、「20代」が10.3%、「80代以上」が7.1%となっている。



(3) 居住地域

F3 あなたはどちらにお住まいですか。番号に○をつけてください。（○は1つだけ）

居住地域については、「両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋」が18.8%、次いで「横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋」が17.2%、「錦糸、太平、横川、業平」が13.8%となっている。

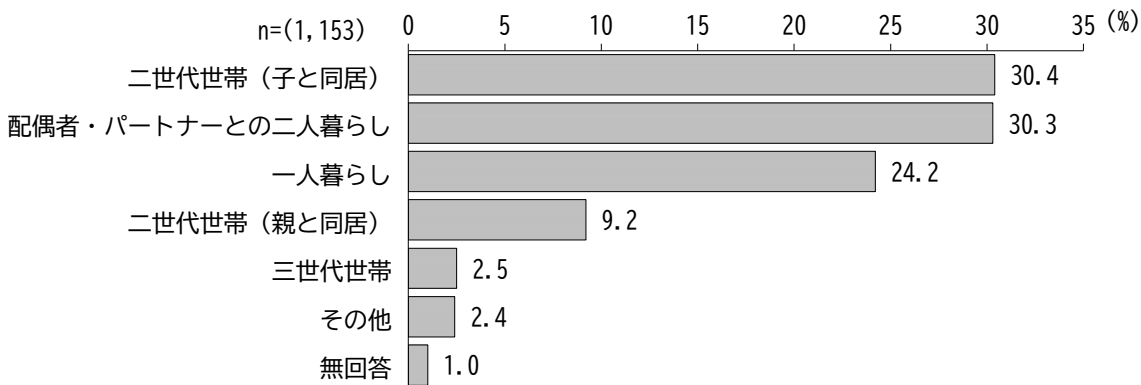


お住まいの地域	
北部地区	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目
	東向島六丁目、八広
	立花、東墨田
	向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目
	押上、京島、文花
南部地区	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋
	錦糸、太平、横川、業平
	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋

（4）家族構成

F 4 あなたの家族構成は、次のうちどれですか。（○は1つだけ）

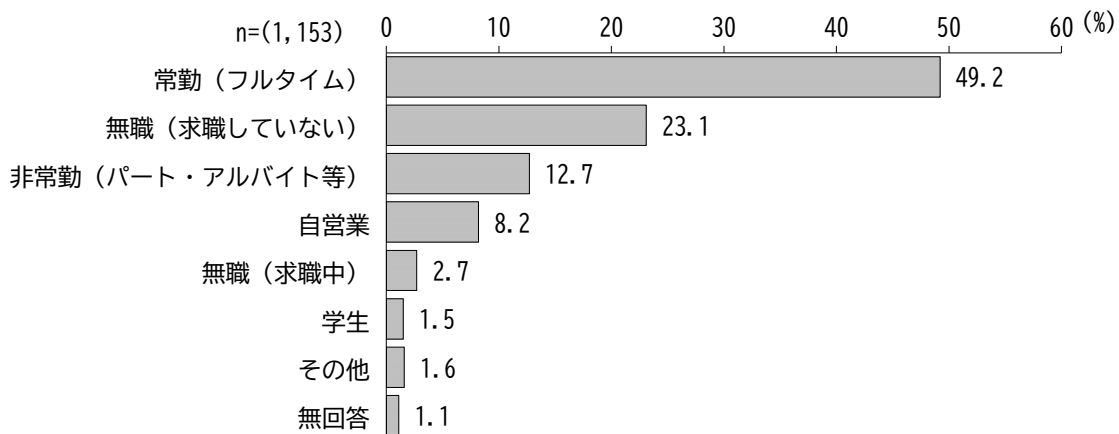
家族構成については、「二世世代世帯（子と同居）」が30.4%、次いで「配偶者・パートナーとの二人暮らし」が30.3%、「一人暮らし」が24.2%となっている。



（5）就労形態

F 5 あなたの就労形態は、次のうちどれですか。（○は主なものを1つだけ）

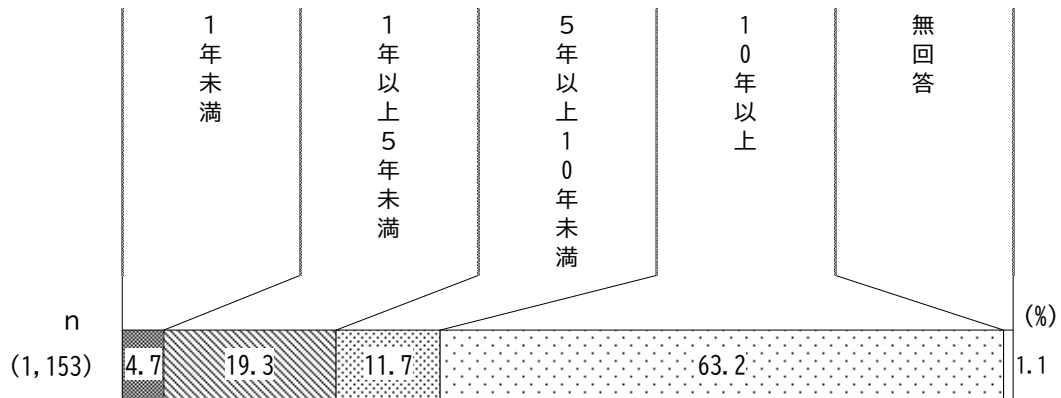
就労形態については、「常勤（フルタイム）」が49.2%、次いで「無職（求職していない）」が23.1%、「非常勤（パート・アルバイト等）」が12.7%となっている。



（6）居住年数

F 6 あなたの墨田区での居住年数は、次のうちどれですか。（○は1つだけ）

居住年数については、「10年以上」が63.2%、次いで「1年以上5年未満」が19.3%、「5年以上10年未満」が11.7%となっている。

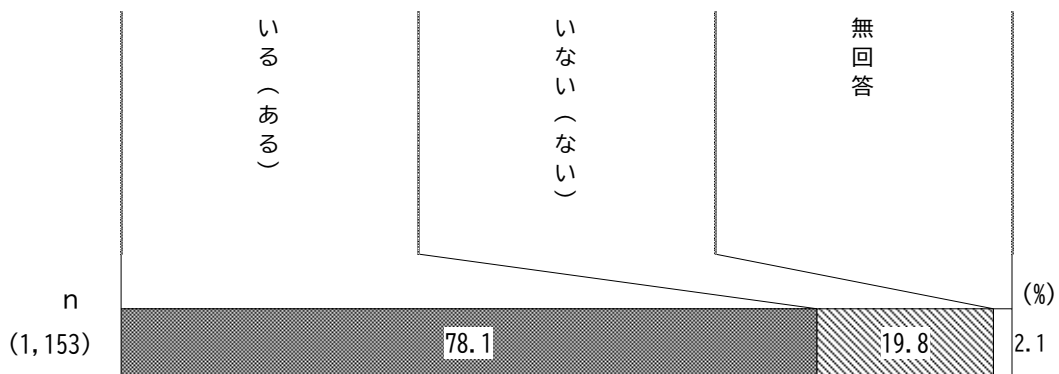


2. 地域の居場所、交流について

(1) 悩みを相談できる人（場所）の有無

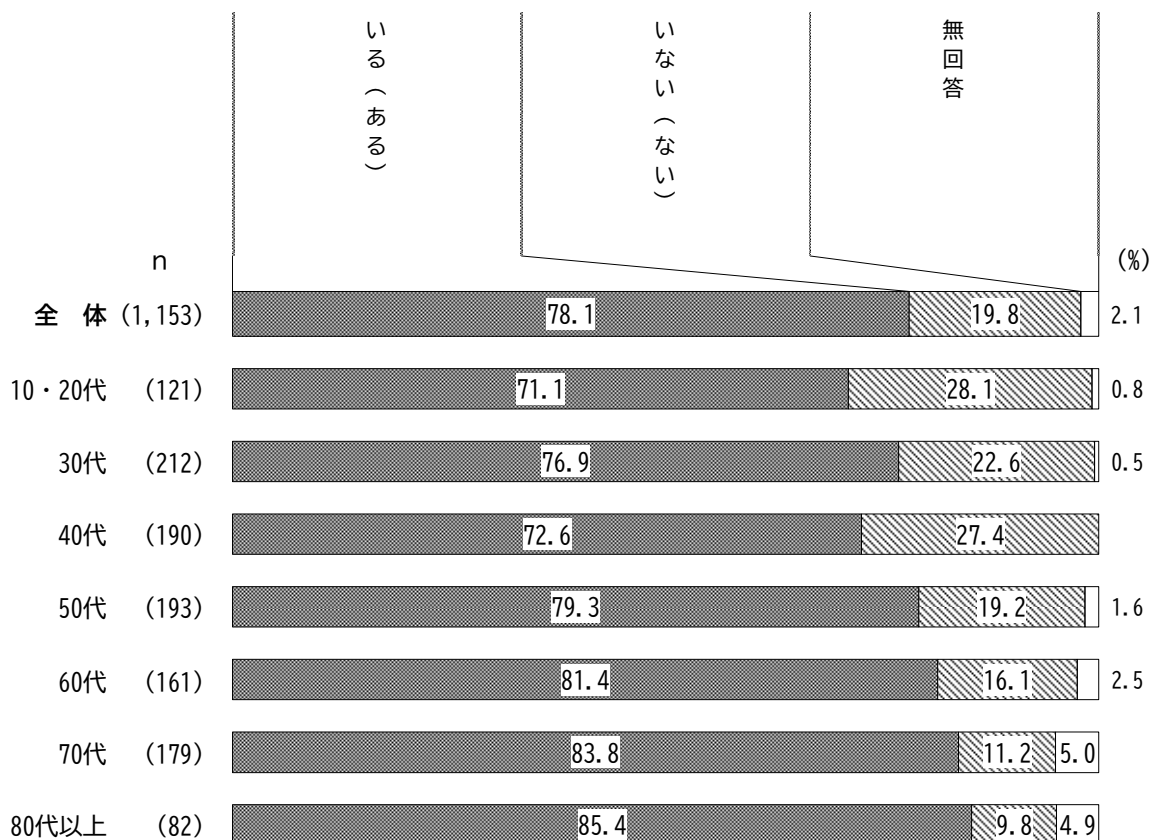
問1 悩みや困ったことがあった場合、相談できる方（場所）はいますか（ありますか）。
（〇は1つだけ）

悩みを相談できる人（場所）の有無については、「いる（ある）」が78.1%、「いない（ない）」が19.8%となっている。



【年代別】

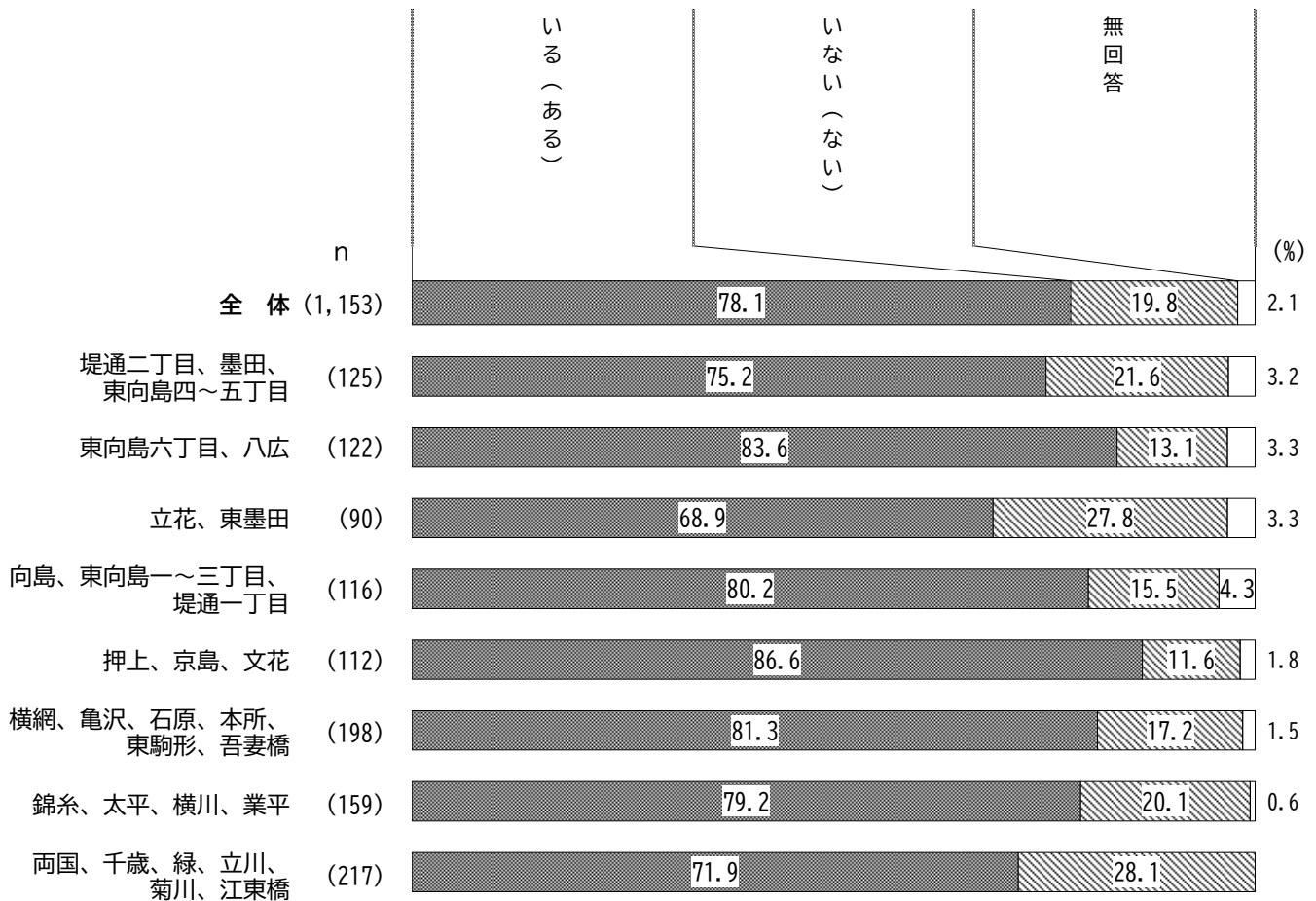
年代別でみると、「いる（ある）」はすべての年代で7割以上を占めており、60代～80代以上で8割台となっている。一方、「いない（ない）」は10・20代～40代で2割台となっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【居住地域別】

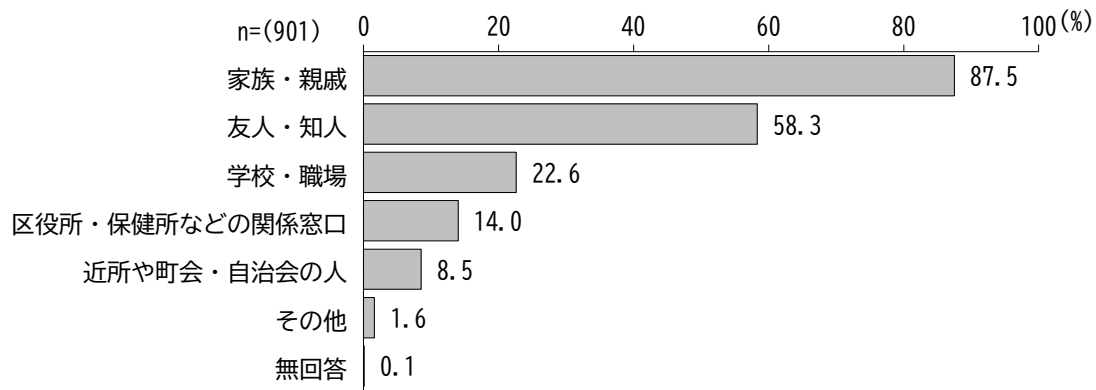
居住地域別でみると、「いる（ある）」は『東向島六丁目、八広』、『向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目』、『押上、京島、文花』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』で8割台と他の地域よりも高くなっている。一方、「いない（ない）」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『立花、東墨田』、『錦糸、太平、横川、業平』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で2割台となっている。



(2) 悩みを相談できる人（場所）

問1-1 誰（どこ）に相談しますか。（○はあてはまるものすべて）

相談できる人（場所）については、「家族・親戚」が87.5%、次いで「友人・知人」が58.3%、「学校・職場」が22.6%、「区役所・保健所などの関係窓口」が14.0%となっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【年代別】

年代別でみると、「友人・知人」は10・20代～50代で5割を超えており、30代では76.7%と他の年代と比べて高くなっている。「学校・職場」は30代で41.1%と他の年代と比べて高くなっている。

【居住地域別】

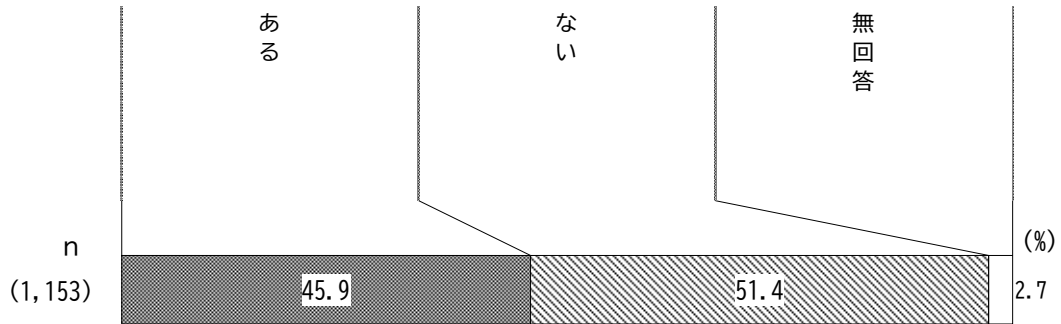
居住地域別でみると、「家族・親戚」はすべての居住地域で8割を超えており、『立花、東墨田』では93.5%と他の地域と比べて高くなっている。「友人・知人」は『押上、京島、文花』を除くすべての地域で5割を超えており、『向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で6割台と他の地域と比べて高くなっている。「近所や町会・自治会の人」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『押上、京島、文花』で1割台となっている。

		(%)							
		n	家族・親戚	友人・知人	学校・職場	関係窓 口 区役所・保健所などの	近所や町会・自治会の人	その他	無回答
全体		901	87.5	58.3	22.6	14.0	8.5	1.6	0.1
年代別	10・20代	86	89.5	65.1	30.2	7.0	3.5	1.2	-
	30代	163	86.5	76.7	41.1	17.2	4.3	0.6	-
	40代	138	89.9	68.1	31.9	13.8	9.4	1.4	-
	50代	153	85.0	58.8	28.8	10.5	8.5	2.6	0.7
	60代	131	85.5	49.6	12.2	19.1	11.5	2.3	-
	70代	150	88.7	42.0	2.7	12.7	11.3	1.3	-
	80代以上	70	87.1	40.0	-	17.1	12.9	1.4	-
居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	94	84.0	53.2	13.8	14.9	14.9	3.2	1.1
	東向島六丁目、八広	102	86.3	55.9	27.5	12.7	6.9	1.0	-
	立花、東墨田	62	93.5	54.8	22.6	12.9	4.8	-	-
	向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目	93	87.1	61.3	21.5	7.5	5.4	-	-
	押上、京島、文花	97	86.6	48.5	17.5	15.5	11.3	2.1	-
	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋	161	87.6	61.5	21.1	14.3	9.3	1.2	-
	錦糸、太平、横川、業平	126	84.9	59.5	20.6	15.9	9.5	3.2	-
	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋	156	89.7	66.0	31.4	16.0	6.4	1.3	-

(3) 居場所の有無

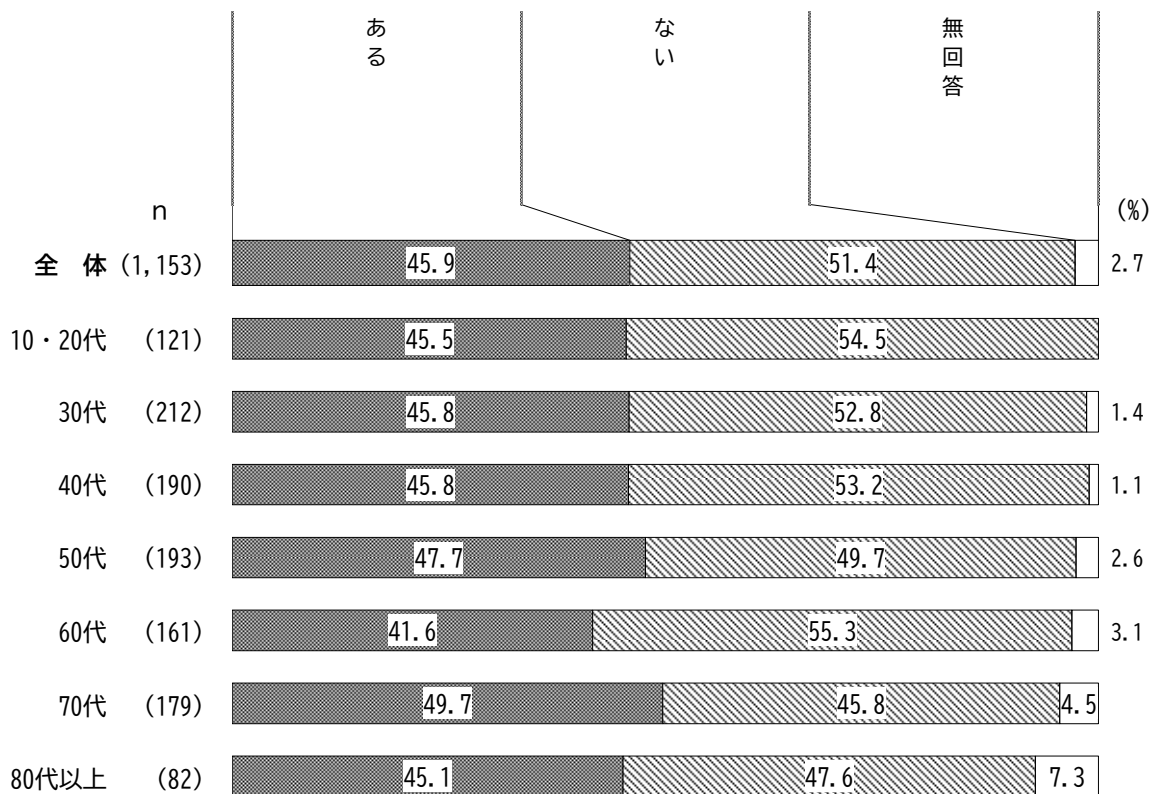
問2 地域に自宅以外に安心して過ごせる場所、「居場所」はありますか。(○は1つだけ)

居場所の有無については、「ある」が45.9%、「ない」が51.4%となっている。



【年代別】

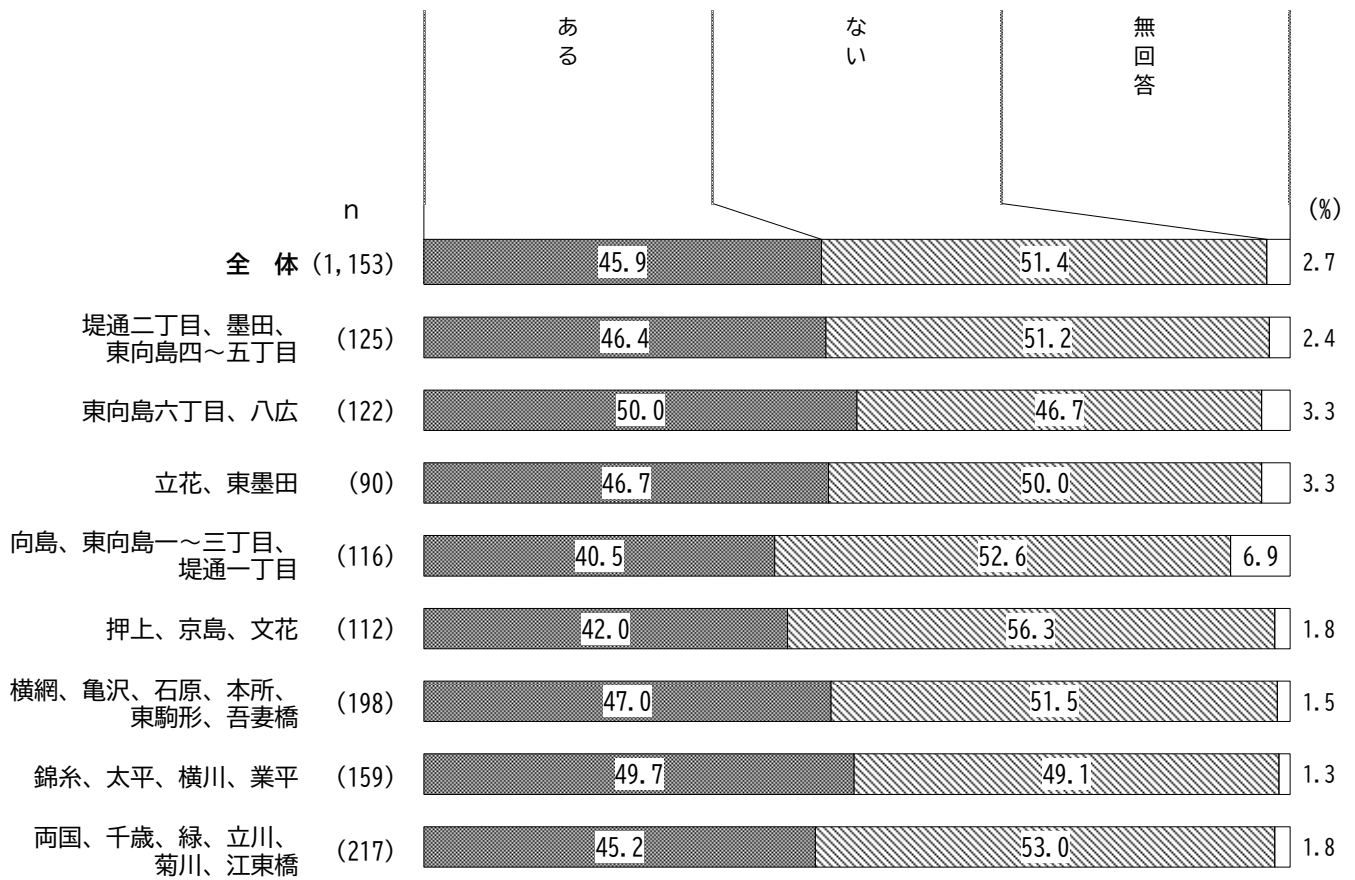
年代別でみると、大きな違いは見られない。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【居住地域別】

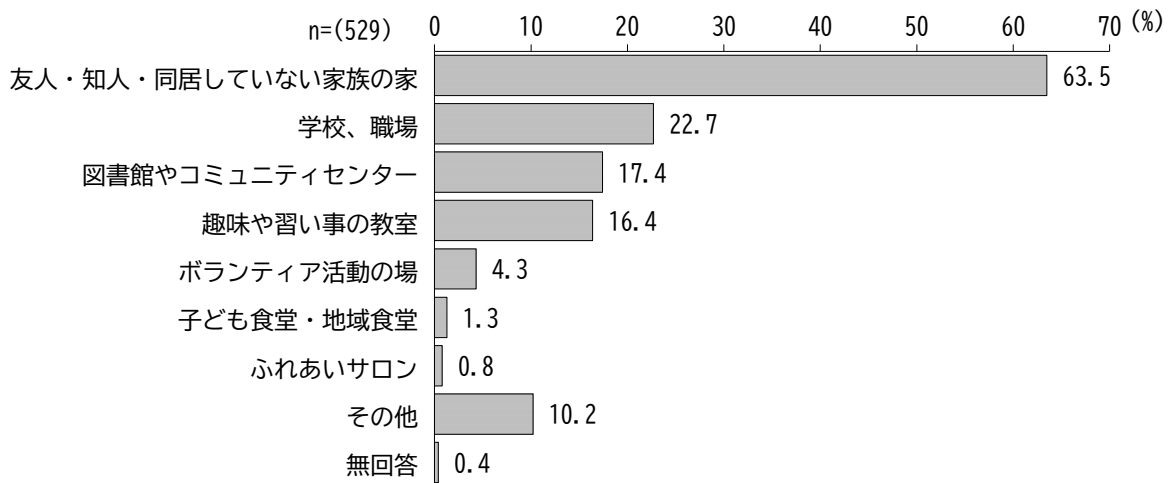
居住地域別でみると、「ある」は『東向島六丁目、八広』と『錦糸、太平、横川、業平』で5割前後と他の地域と比べて高くなっている。



（4）自分の居場所

問2-1 それはどのようなところですか。（○はあてはまるものすべて）

自分の居場所については、「友人・知人・同居していない家族の家」が63.5%、次いで「学校、職場」が22.7%、「図書館やコミュニティセンター」が17.4%、「趣味や習い事の教室」が16.4%となっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【年代別】

年代別でみると、「友人・知人・同居していない家族の家」はすべての年代で5割を超えており、60代で76.1%となっている。「学校、職場」は30代～50代で3割台と他の年代と比べて高くなっている。「図書館やコミュニティセンター」は40代、70代で2割台と他の年代と比べて高くなっている。「趣味や習い事の教室」は80代以上で32.4%と、60代、70代で2割台となっている。

【居住地域別】

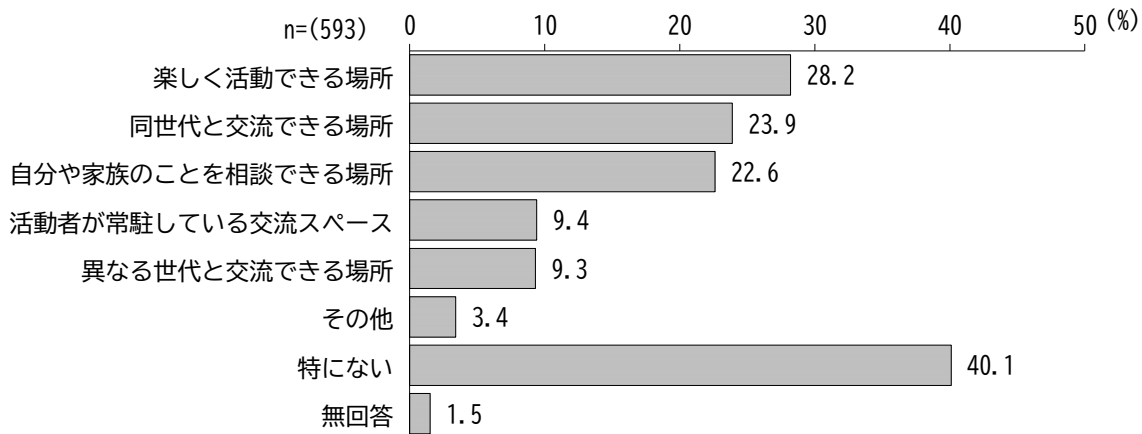
居住地域別でみると、「友人・知人・同居していない家族の家」は全ての地域で5割を超えており、『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』で81.0%となっている。「学校、職場」は『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』で31.2%と他の地域と比べて高くなっている。「図書館やコミュニティセンター」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『押上、京島、文花』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で2割台と他の地域と比べて高くなっている。

			友人・知人・同居していない家族の家	学校、職場	図書館やコミュニティセンター	趣味や習い事の教室	ボランティア活動の場	子ども食堂・地域食堂	ふれあいサロン	その他	無回答
		n									(%)
全体		529	63.5	22.7	17.4	16.4	4.3	1.3	0.8	10.2	0.4
年代別	10・20代	55	67.3	23.6	16.4	7.3	-	-	-	9.1	1.8
	30代	97	63.9	32.0	14.4	8.2	1.0	1.0	1.0	12.4	1.0
	40代	87	62.1	31.0	23.0	16.1	2.3	4.6	-	4.6	-
	50代	92	57.6	32.6	15.2	9.8	1.1	-	-	14.1	-
	60代	67	76.1	14.9	7.5	22.4	10.4	3.0	-	10.4	-
	70代	89	60.7	7.9	24.7	27.0	7.9	-	1.1	10.1	-
	80代以上	37	62.2	2.7	13.5	32.4	13.5	-	2.7	10.8	-
居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	58	81.0	12.1	22.4	17.2	5.2	1.7	-	8.6	-
	東向島六丁目、八広	61	62.3	19.7	16.4	16.4	1.6	1.6	1.6	6.6	-
	立花、東墨田	42	61.9	23.8	9.5	19.0	2.4	2.4	-	16.7	2.4
	向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目	47	55.3	21.3	17.0	8.5	6.4	-	-	14.9	-
	押上、京島、文花	47	59.6	14.9	21.3	21.3	2.1	2.1	-	10.6	-
	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋	93	60.2	31.2	14.0	16.1	8.6	2.2	1.1	8.6	-
	錦糸、太平、横川、業平	79	74.7	19.0	13.9	20.3	6.3	1.3	1.3	5.1	-
	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋	98	56.1	29.6	20.4	13.3	1.0	-	-	14.3	1.0

(5) 希望する安心して過ごせる場所

問2-2 どのような場所があれば安心して過ごせますか。（○はあてはまるものすべて）

希望する安心して過ごせる場所については、「楽しく活動できる場所」が28.2%、次いで「同世代と交流できる場所」が23.9%、「自分や家族のことを相談できる場所」が22.6%となっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【年代別】

年代別でみると、「同世代と交流できる場所」は10・20代～30代で3割台と他の年代と比べて高くなっている。「活動者が常駐している交流スペース」は50代～60代で1割台と他の年代と比べて高くなっている。一方、「特にない」は70代で53.7%と他の年代と比べて高くなっている。

【居住地域別】

居住地域別でみると、「楽しく活動できる場所」は『向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目』で44.3%と他の地域と比べて高くなっている。「同世代と交流できる場所」は『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で36.5%、『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目』で約3割となっている。一方、「特にない」は『立花、東墨田』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』で5割台と他の地域と比べて高くなっている。

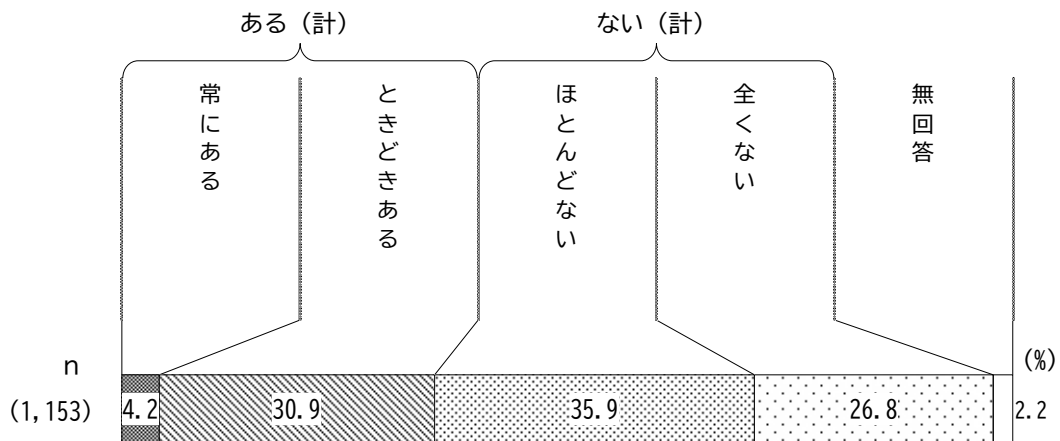
		n	楽しく活動できる場所	同世代と交流できる場所	自分や家族のことができる場所	活動者が常駐している交流スペース	異なる世代と交流できる場所	その他	特にない	無回答
全体		593	28.2	23.9	22.6	9.4	9.3	3.4	40.1	1.5
年代別	10・20代	66	31.8	33.3	12.1	7.6	6.1	3.0	42.4	1.5
	30代	112	29.5	36.6	23.2	8.0	11.6	3.6	38.4	0.9
	40代	101	23.8	18.8	22.8	6.9	7.9	5.0	42.6	3.0
	50代	96	33.3	21.9	26.0	13.5	7.3	5.2	29.2	-
	60代	89	32.6	21.3	28.1	15.7	13.5	1.1	37.1	1.1
	70代	82	26.8	15.9	17.1	6.1	9.8	1.2	53.7	-
	80代以上	39	15.4	15.4	28.2	5.1	7.7	2.6	41.0	5.1
居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	64	28.1	29.7	29.7	14.1	12.5	4.7	34.4	-
	東向島六丁目、八広	57	24.6	21.1	24.6	5.3	5.3	1.8	36.8	5.3
	立花、東墨田	45	8.9	13.3	26.7	11.1	2.2	2.2	51.1	2.2
	向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目	61	44.3	29.5	23.0	18.0	13.1	1.6	26.2	-
	押上、京島、文花	63	23.8	17.5	17.5	11.1	4.8	1.6	42.9	1.6
	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋	102	26.5	18.6	18.6	4.9	8.8	5.9	52.9	-
	錦糸、太平、横川、業平	78	30.8	17.9	26.9	7.7	7.7	3.8	41.0	2.6
	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋	115	33.0	36.5	19.1	7.8	14.8	1.7	35.7	0.9

(6) 孤独感や孤立感を感じた経験

問3 現在を含めこれまでに、孤独感や孤立感を感じたことはありますか。（○は1つだけ）

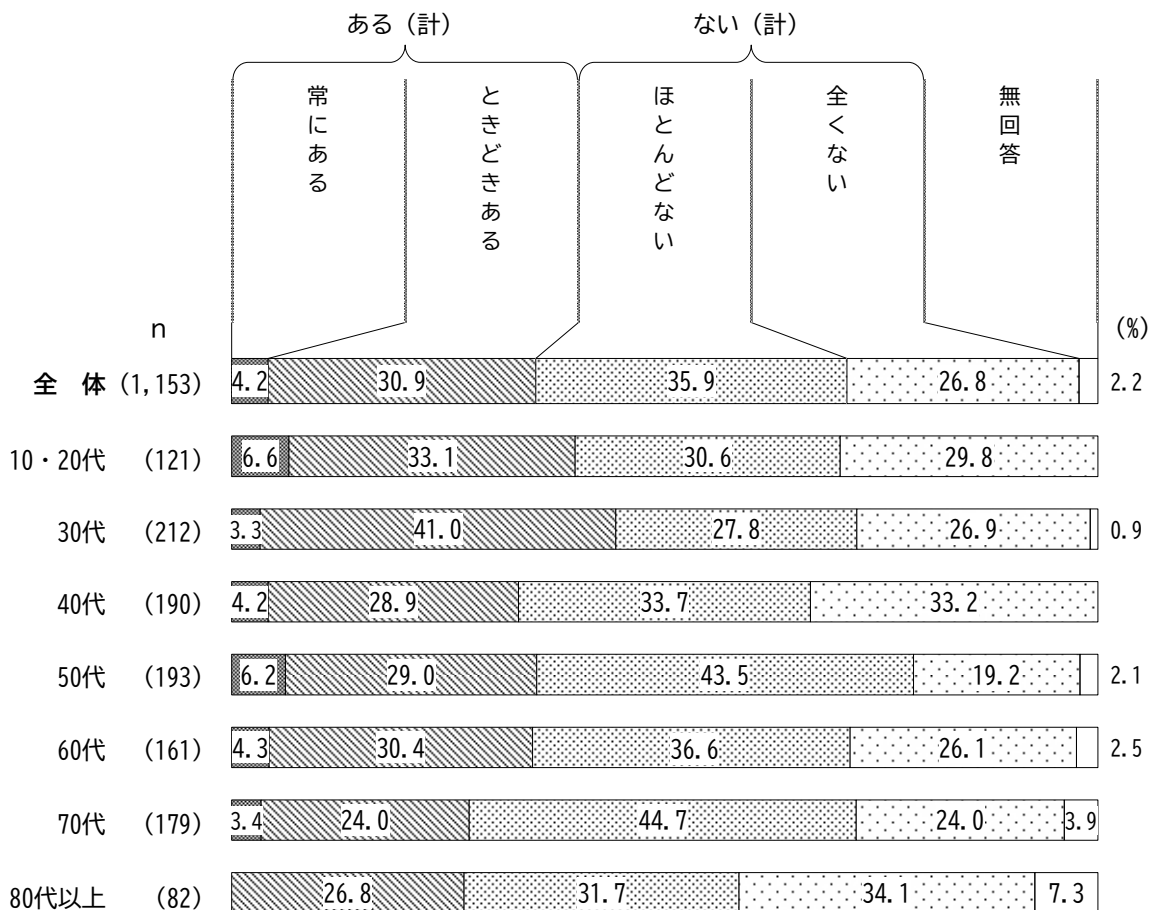
孤独感や孤立感を感じた経験については、「ほとんどない」が35.9%、次いで「ときどきある」が30.9%、「全くない」が26.8%となっている。

「常にある」「ときどきある」の合計「ある（計）」は35.1%となっている。



【年代別】

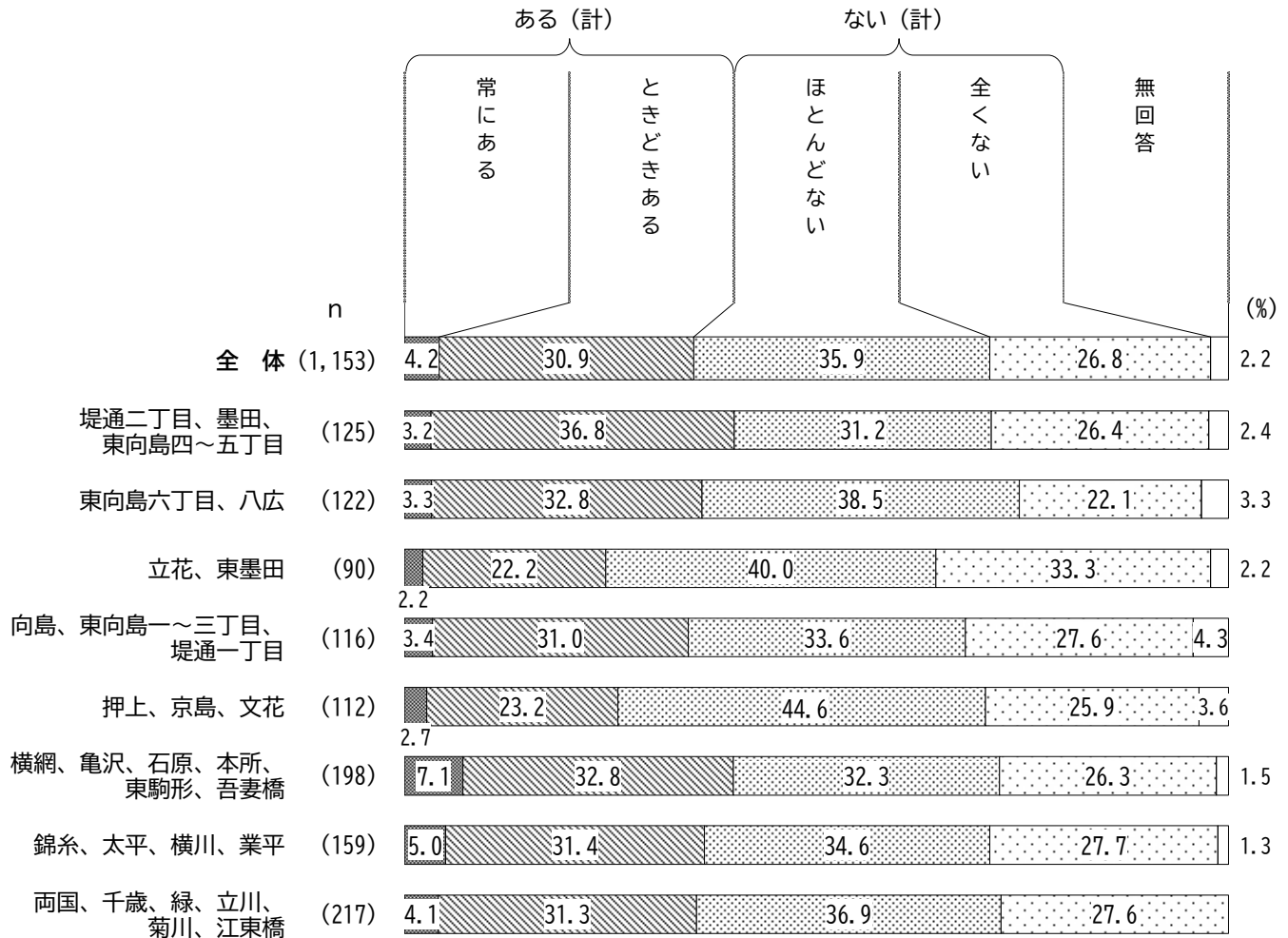
年代別でみると、「ある（計）」は30代で44.3%と最も高く、80代以上で26.8%と最も低くなっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【居住地域別】

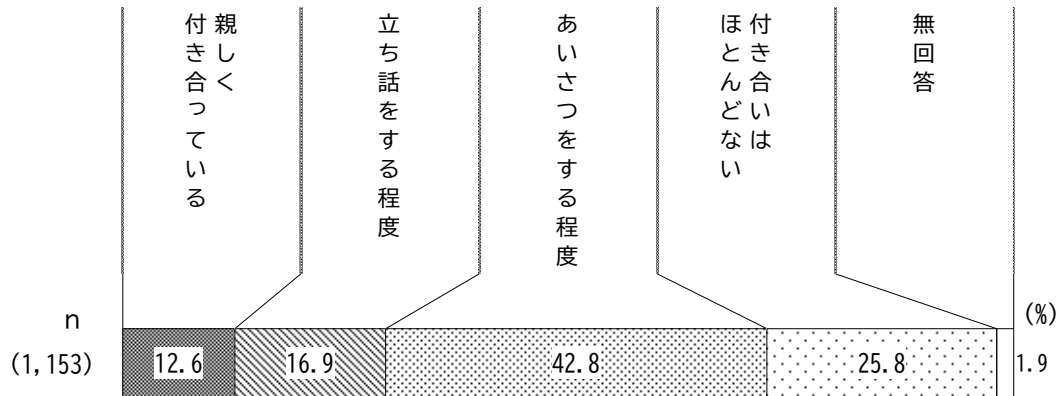
居住地域別でみると、「ある（計）」は『立花、東墨田』、『押上、京島、文花』を除くすべての地域で3割以上となっており、『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』で40.0%となっている。一方、「ない（計）」はすべての地域で5割を超えており、『立花、東墨田』、『押上、京島、文花』で7割台となっている。



(7) 近所や地域の人との付き合い

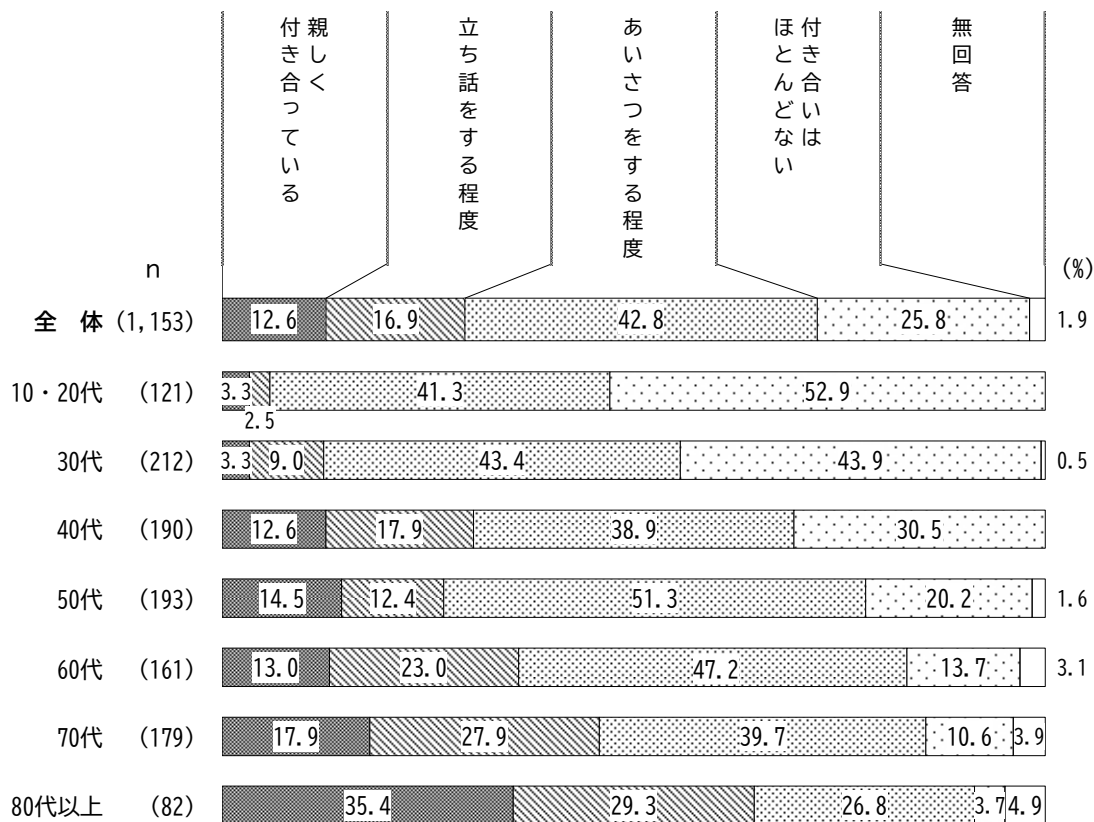
問4 あなたはご近所や地域の人と、どの程度のお付き合いをしていますか。
 (○は1つだけ)

近所や地域の人との付き合いについては、「あいさつをする程度」が42.8%、次いで「付き合いはほとんどない」が25.8%、「立ち話をする程度」が16.9%、「親しく付き合っている」が12.6%となっている。



【年代別】

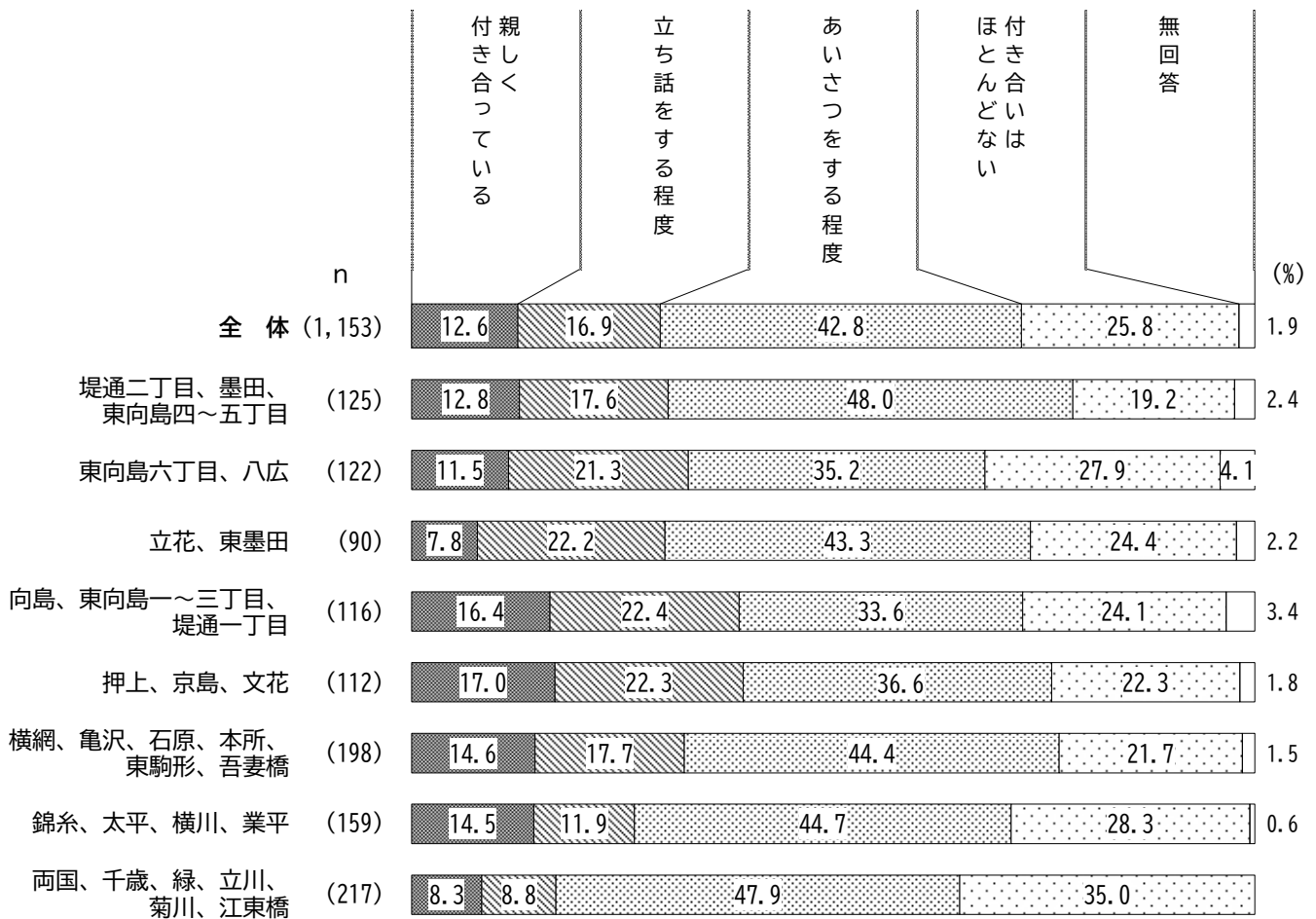
年代別でみると、「親しく付き合っている」は80代以上で35.4%と他の年代と比べて高くなっている。「あいさつをする程度」は50代で51.3%と最も高く、80代以上で26.8%と最も低くなっている。「付き合いはほとんどない」は年代が上がるほど低くなり、10・20代で52.9%と最も高くなっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【居住地域別】

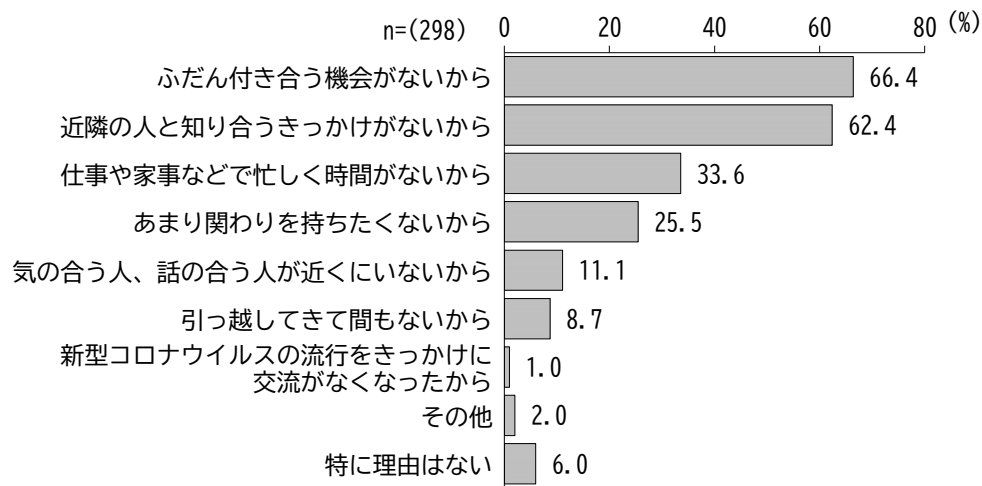
居住地域別でみると、「立ち話をする程度」は『東向島六丁目、八広』、『立花、東墨田』、『向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目』、『押上、京島、文花』で2割台となっている。「あいさつをする程度」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『立花、東墨田』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『錦糸、太平、横川、業平』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で4割台となっている。「付き合いはほとんどない」は『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で35.0%と他の地域と比べて高くなっている。



(8) 付き合いがない理由

問4-1 付き合いがない主な理由は何ですか。（○はあてはまるものすべて）

付き合いがない理由については、「ふだん付き合う機会がないから」が66.4%、次いで「近隣の人と知り合うきっかけがないから」が62.4%、「仕事や家事などで忙しく時間がないから」が33.6%、「あまり関わりを持ちたくないから」が25.5%となっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【年代別】

年代別でみると、「近隣の人と知り合うきっかけがないから」は30代で77.4%と最も高くなっている。「気の合う人、話の合う人が近くにいないから」は40代で17.2%となっている。

【居住地域別】

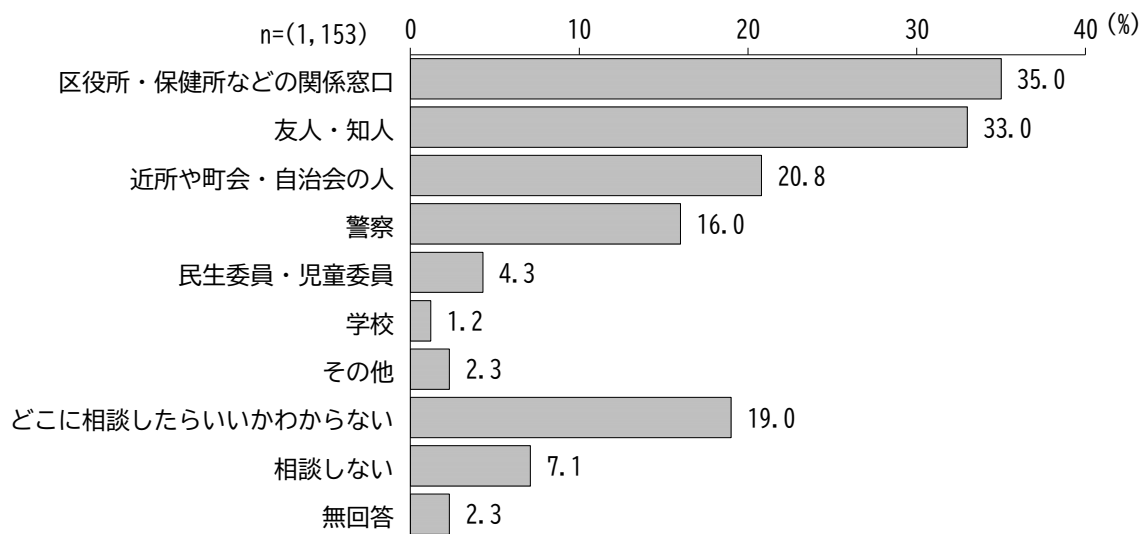
居住地域別でみると、「ふだん付き合う機会がないから」は『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で71.1%となっている。「仕事や家事などで忙しく時間がないから」は『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で43.4%となっている。

		n	いふ かだ ら ん 付 き 合 う 機 会 が な い	か 近 隣 の 人 と 知 り 合 う き っ け が な い	時 間 が な い か ら	あ ま り 関 わ り を 持 ち た く な い	が 気 の 合 う 人 、 話 の 合 う 人 が 近 く に い な い	か 引 越 し て き て 間 も な い	く 行 な つ た か ら	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス の 流 行 に 交 流 が な い	そ の 他	(%) 特 に 理 由 は な い
全体		298	66.4	62.4	33.6	25.5	11.1	8.7	1.0	2.0	6.0	
年代別	10・20代	64	60.9	60.9	37.5	20.3	1.6	10.9	-	3.1	4.7	
	30代	93	69.9	77.4	37.6	25.8	4.3	10.8	2.2	1.1	3.2	
	40代	58	72.4	67.2	39.7	29.3	17.2	5.2	-	3.4	3.4	
	50代	39	61.5	43.6	33.3	20.5	12.8	10.3	-	-	7.7	
	60代	22	72.7	54.5	22.7	40.9	36.4	-	4.5	-	9.1	
	70代	19	63.2	36.8	-	26.3	26.3	10.5	-	5.3	10.5	
	80代以上	3	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	24	58.3	66.7	33.3	16.7	25.0	8.3	4.2	4.2	4.2	
	東向島六丁目、八広	34	55.9	58.8	38.2	26.5	11.8	11.8	-	-	11.8	
	立花、東墨田	22	54.5	40.9	40.9	18.2	13.6	9.1	-	-	18.2	
	向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目	28	82.1	82.1	35.7	21.4	17.9	7.1	7.1	-	3.6	
	押上、京島、文花	25	60.0	52.0	8.0	36.0	8.0	-	-	8.0	12.0	
	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋	43	67.4	67.4	23.3	23.3	4.7	7.0	-	2.3	-	
	錦糸、太平、横川、業平	45	68.9	62.2	33.3	28.9	8.9	11.1	-	2.2	2.2	
	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋	76	71.1	61.8	43.4	26.3	9.2	10.5	-	1.3	5.3	

(9) 困りごとがありそうな人に気づいたときの相談先

問5 お住まいの地域で、何か困りごとがありそうな人や世帯に手助けが必要ではないかと気づいた場合、どなたに相談しますか。（○はあてはまるものすべて）

困りごとがありそうな人に気づいたときの相談先については、「区役所・保健所などの関係窓口」が35.0%、次いで「友人・知人」が33.0%、「近所や町会・自治会の人」が20.8%、一方、「どこに相談したらいいかわからない」が19.0%となっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【年代別】

年代別でみると、「区役所・保健所などの関係窓口」は30代、50代で4割台となっている。「近所や町会・自治会の人」は70代～80代以上で3割台と他の年代と比べて高くなっている。一方、「どこに相談したらいいかわからない」は10・20代～30代で2割台と他の年代と比べて高くなっている。

【居住地域別】

居住地域別でみると、「区役所・保健所などの関係窓口」は『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で4割台と他の地域と比べて高くなっている。「友人・知人」は『錦糸、太平、横川、業平』で40.3%となっている。「近所や町会・自治会の人」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『東向島六丁目、八広』、『立花、東墨田』で2割台半ば前後となっている。一方、「相談しない」は『立花、東墨田』、『向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目』で1割台と他の地域と比べて高くなっている。

(%)

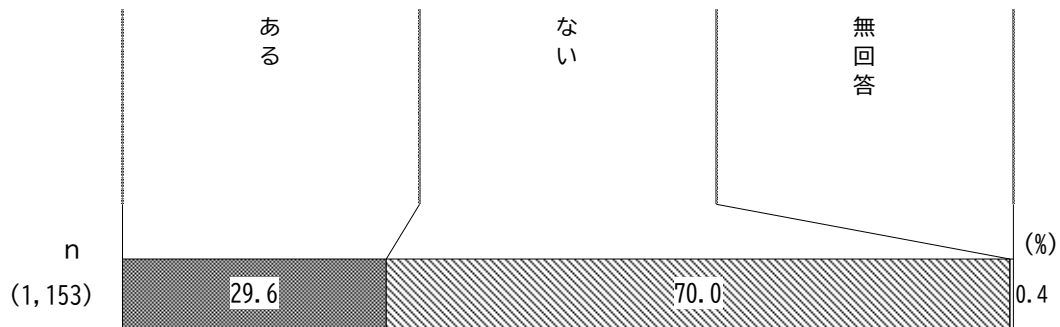
	n	区役所・保健所などの関係窓口	友人・知人	近所や町会・自治会の人	警察	民生委員・児童委員	学校	その他	どこに相談したらいいかわからない	相談しない	無回答	
全体	1,153	35.0	33.0	20.8	16.0	4.3	1.2	2.3	19.0	7.1	2.3	
年代別	10・20代	121	24.0	33.1	5.0	19.8	0.8	-	0.8	29.8	9.9	0.8
	30代	212	40.6	34.4	9.4	19.3	1.4	0.5	0.9	25.5	4.7	0.9
	40代	190	35.8	37.9	15.3	18.9	2.6	5.8	1.6	18.4	8.4	0.5
	50代	193	42.0	31.1	22.3	16.1	2.6	0.5	2.6	18.1	7.3	1.0
	60代	161	37.3	31.1	27.3	13.0	4.3	-	3.7	17.4	4.3	2.5
	70代	179	30.7	30.2	36.9	11.2	9.5	0.6	3.9	11.7	10.6	4.5
	80代以上	82	24.4	35.4	36.6	12.2	13.4	-	3.7	9.8	2.4	8.5
居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	125	30.4	30.4	27.2	14.4	6.4	-	3.2	19.2	2.4	4.0
	東向島六丁目、八広	122	34.4	33.6	27.9	18.0	4.1	1.6	4.9	18.9	4.9	4.1
	立花、東墨田	90	33.3	27.8	24.4	18.9	5.6	1.1	3.3	17.8	11.1	2.2
	向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目	116	28.4	34.5	19.0	7.8	3.4	0.9	0.9	19.0	10.3	5.2
	押上、京島、文花	112	28.6	36.6	19.6	15.2	6.3	0.9	0.9	22.3	6.3	1.8
	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋	198	42.9	31.8	20.7	15.2	4.0	3.0	2.0	16.7	7.6	1.5
	錦糸、太平、横川、業平	159	30.8	40.3	19.5	14.5	3.8	-	1.9	22.0	7.5	1.3
	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋	217	41.5	30.4	15.2	21.7	2.8	1.4	2.3	18.4	7.4	-

3. 地域活動、ボランティア参加について

(1) 地域活動やボランティア活動への参加経験の有無

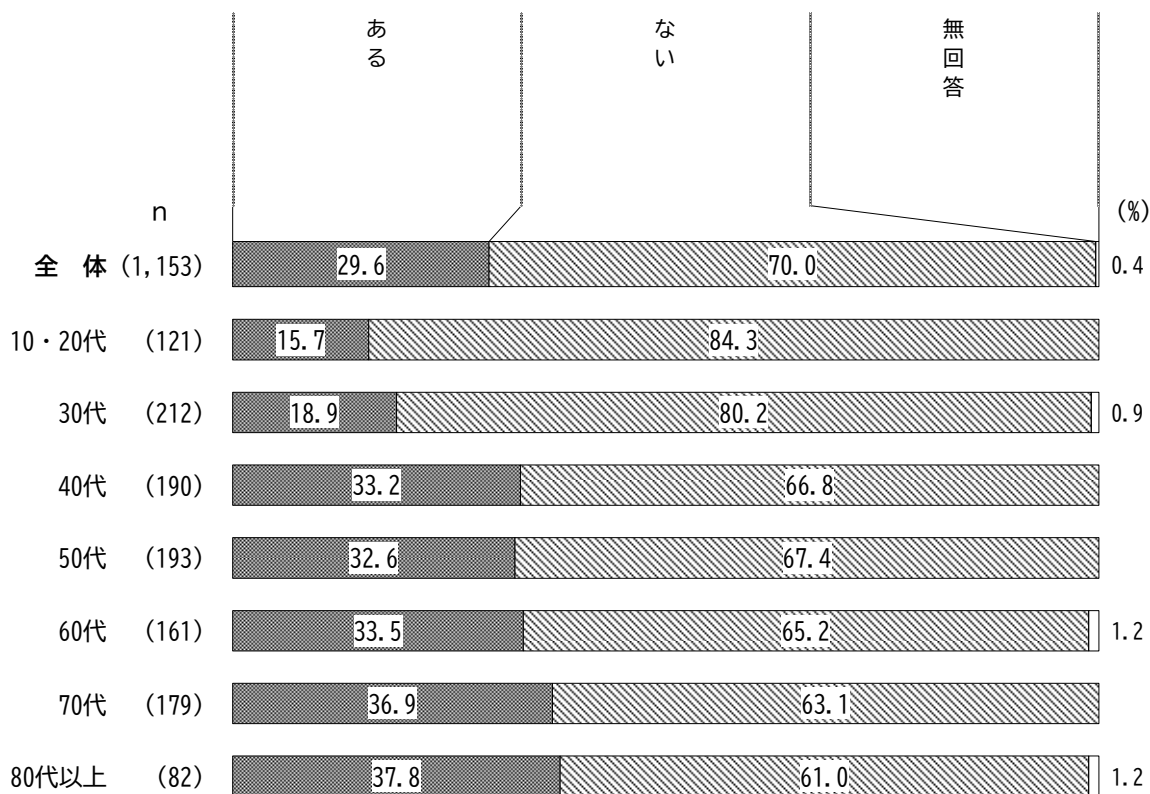
問6 地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。（○は1つだけ）

地域活動やボランティア活動への参加経験の有無については、「ある」が29.6%、「ない」が70.0%となっている。



【年代別】

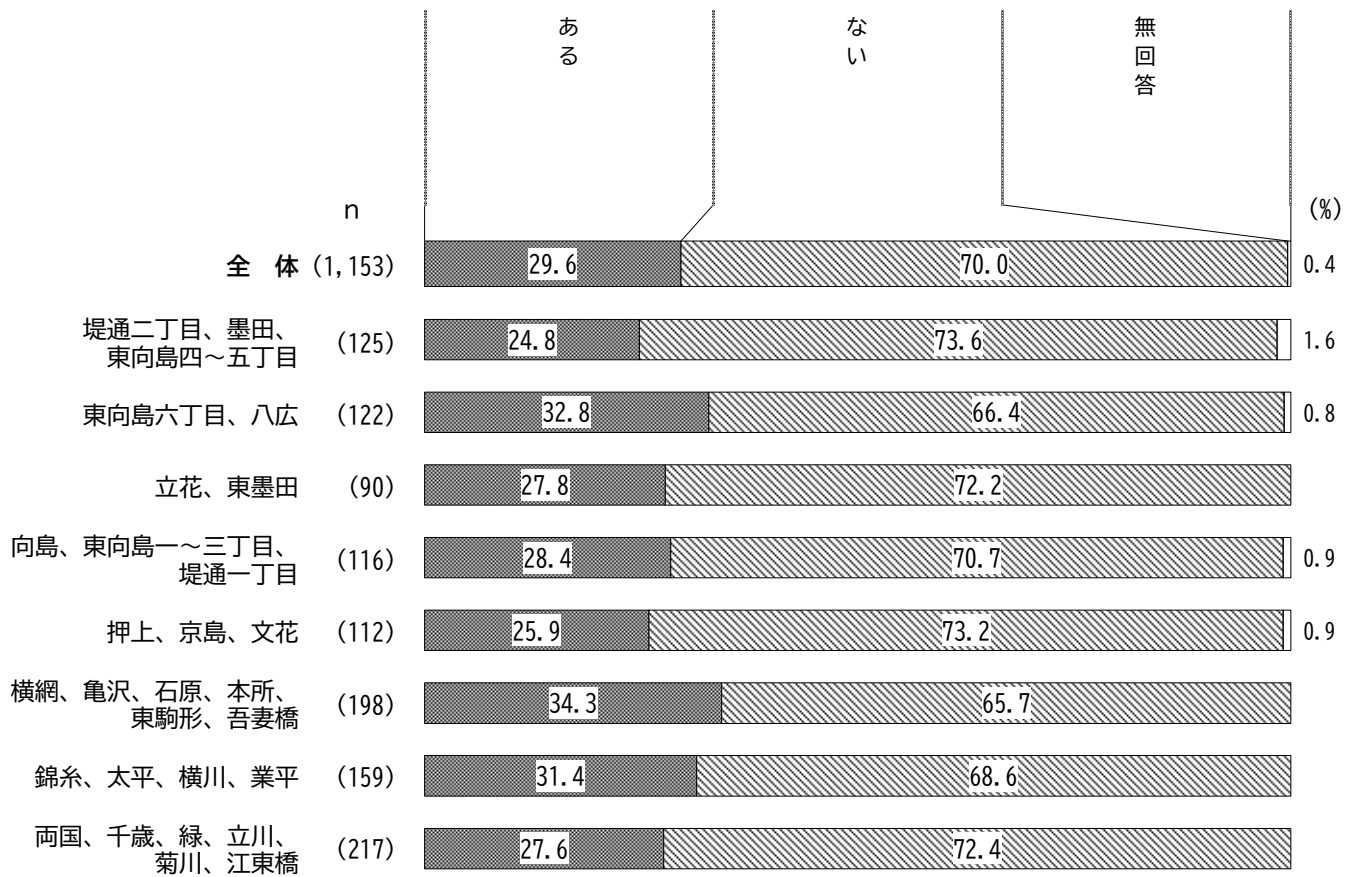
年代別で見ると、「ある」は40代～80代以上で3割台となっている。一方、「ない」は10・20代～30代で8割台となっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【居住地域別】

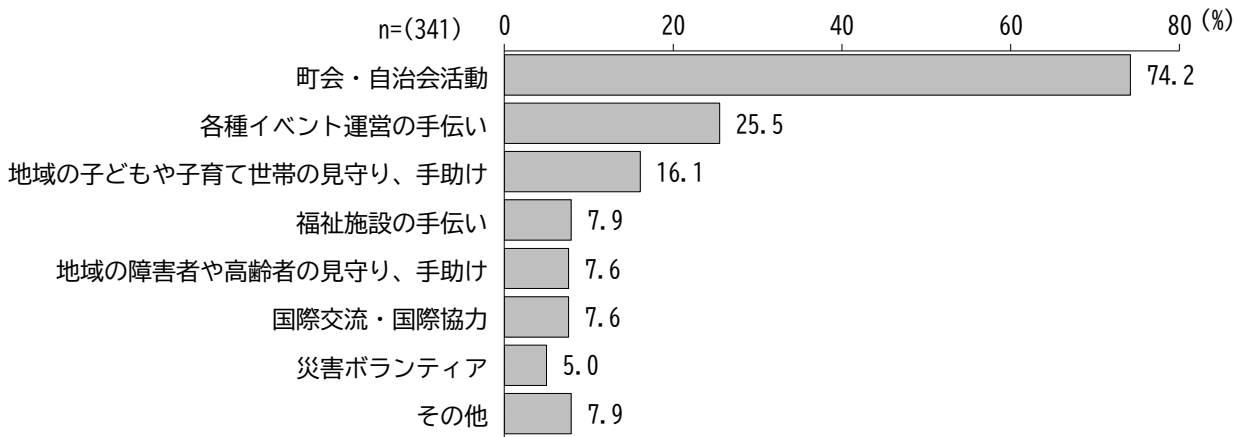
居住地域別でみると、「ある」は『東向島六丁目、八広』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『錦糸、太平、横川、業平』で3割台と他の地域と比べて高くなっている。



(2) 参加した活動

問6-1 それはどのような活動ですか。(〇はあてはまるものすべて)

参加した活動については、「町会・自治会活動」が74.2%、次いで「各種イベント運営の手伝い」が25.5%、「地域の子どもや子育て世帯の見守り、手助け」が16.1%となっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【年代別】

年代別でみると、「町会・自治会活動」は80代以上で93.5%、40代で85.7%と他の年代と比べて高くなっている。「各種イベント運営の手伝い」は30代、80代以上で3割台と他の年代と比べて高くなっている。「地域の子どもや子育て世帯の見守り、手助け」は30代、50代、60代で2割台と他の年代と比べて高くなっている。

【居住地域別】

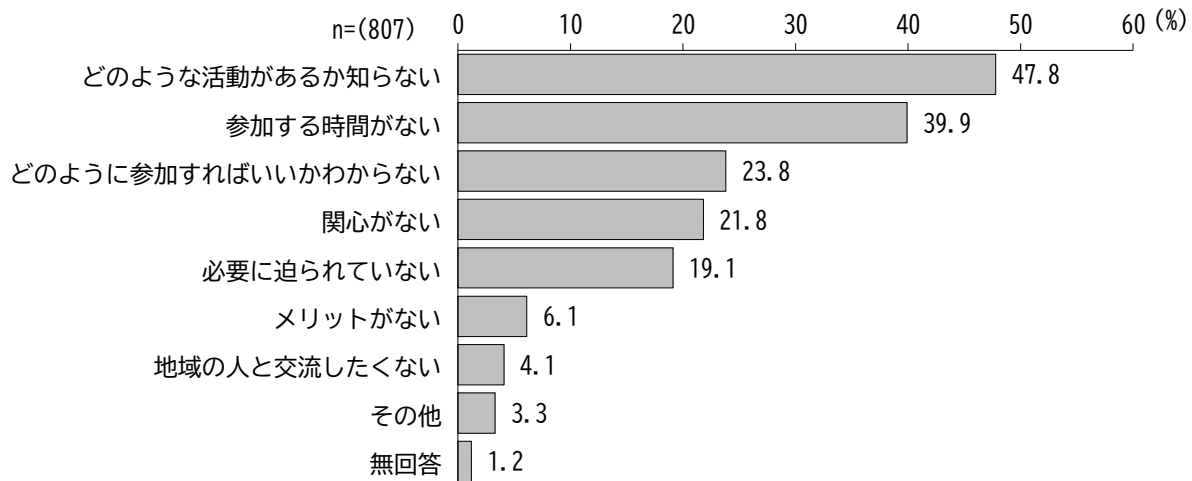
居住地域別でみると、「町会・自治会活動」は、『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』で8割台となっている。「各種イベント運営の手伝い」は『東向島六丁目、八広』で30.0%と最も高く、『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』で16.1%と最も低くなっている。「地域の子どもや子育て世帯の見守り、手助け」は『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』で22.1%と他の地域と比べて高くなっている。「地域の障害者や高齢者の見守り、手助け」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』で1割台と他の地域と比べて高くなっている。

		n	町会・自治会活動	い各種イベント運営の手伝い	帯地域の子どもや子育て世帯の見守り、手助け	福祉施設の手伝い	見地域の障害者や高齢者の見守り、手助け	国際交流・国際協力	災害ボランティア	その他
全体		341	74.2	25.5	16.1	7.9	7.6	7.6	5.0	7.9
年代別	10・20代	19	73.7	31.6	5.3	10.5	5.3	-	5.3	-
	30代	40	55.0	30.0	25.0	10.0	5.0	22.5	5.0	7.5
	40代	63	85.7	22.2	14.3	4.8	3.2	4.8	3.2	3.2
	50代	63	66.7	27.0	23.8	9.5	7.9	11.1	4.8	3.2
	60代	54	75.9	18.5	20.4	16.7	13.0	9.3	7.4	11.1
	70代	66	72.7	21.2	9.1	4.5	9.1	1.5	6.1	15.2
	80代以上	31	93.5	32.3	6.5	-	9.7	3.2	3.2	6.5
居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	31	80.6	16.1	19.4	3.2	16.1	3.2	-	12.9
	東向島六丁目、八広	40	75.0	30.0	17.5	10.0	5.0	10.0	5.0	7.5
	立花、東墨田	25	72.0	8.0	12.0	4.0	4.0	4.0	4.0	8.0
	向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目	33	69.7	21.2	15.2	-	3.0	-	6.1	18.2
	押上、京島、文花	29	69.0	31.0	10.3	10.3	3.4	13.8	13.8	10.3
	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋	68	82.4	27.9	22.1	8.8	14.7	4.4	7.4	7.4
	錦糸、太平、横川、業平	50	74.0	28.0	10.0	16.0	8.0	12.0	-	4.0
	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋	60	70.0	25.0	16.7	5.0	3.3	10.0	3.3	1.7

(3) 活動に参加しない理由

問6-2 参加しない理由は何ですか。（○はあてはまるものすべて）

活動に参加しない理由については、「どのような活動があるか知らない」が47.8%、次いで「参加する時間がない」が39.9%、「どのように参加すればいいかわからない」が23.8%、「関心がない」が21.8%となっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【年代別】

年代別でみると、「どのような活動があるか知らない」は30代～40代で5割を超えており、他の年代と比べて高くなっている。「必要に迫られていない」は30代～40代、60代で2割台となっている。

【居住地域別】

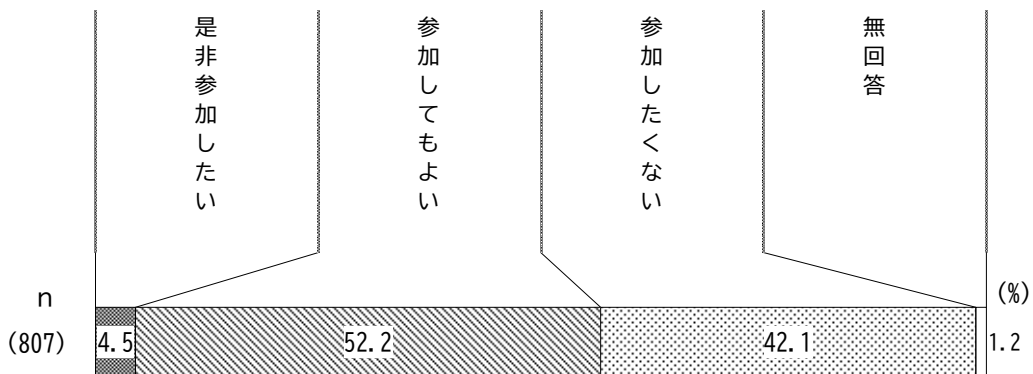
居住地域別でみると、「どのような活動があるか知らない」は『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で5割を超えており、他の地域と比べて高くなっている。「参加する時間がない」は『東向島六丁目、八広』で51.9%と他の地域と比べて高くなっている。

		n	知 ら な い よ う な 活 動 が あ る か	参 加 す る 時 間 が な い	い ど の よ う に 参 加 す れ ば い	関 心 が な い	必 要 に 迫 ら れ て い な い	メ リ ッ ト が な い	い 地 域 の 人 と 交 流 し た く な	そ の 他	無 回 答
全体		807	47.8	39.9	23.8	21.8	19.1	6.1	4.1	3.3	1.2
年代別	10・20代	102	49.0	43.1	22.5	29.4	13.7	8.8	1.0	1.0	2.0
	30代	170	58.8	42.4	21.8	22.4	22.9	8.2	4.1	2.4	0.6
	40代	127	56.7	49.6	22.8	19.7	21.3	7.9	7.1	1.6	-
	50代	130	49.2	49.2	23.8	18.5	17.7	3.8	1.5	3.1	0.8
	60代	105	41.0	38.1	26.7	23.8	21.9	6.7	6.7	3.8	-
	70代	113	36.3	24.8	23.9	17.7	16.8	2.7	3.5	4.4	1.8
	80代以上	50	26.0	14.0	28.0	26.0	16.0	2.0	4.0	14.0	4.0
居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	92	40.2	37.0	27.2	23.9	21.7	7.6	4.3	5.4	3.3
	東向島六丁目、八広	81	35.8	51.9	19.8	22.2	17.3	6.2	6.2	4.9	1.2
	立花、東墨田	65	46.2	46.2	23.1	18.5	20.0	6.2	4.6	-	-
	向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目	82	47.6	43.9	25.6	28.0	23.2	8.5	2.4	3.7	-
	押上、京島、文花	82	47.6	30.5	26.8	18.3	13.4	3.7	2.4	7.3	2.4
	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋	130	54.6	33.8	19.2	18.5	19.2	3.8	4.6	3.8	0.8
	錦糸、太平、横川、業平	109	45.9	32.1	22.9	22.9	19.3	5.5	1.8	2.8	-
	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋	157	56.7	47.1	25.5	22.9	19.1	7.0	4.5	0.6	0.6

（4）活動への参加意向

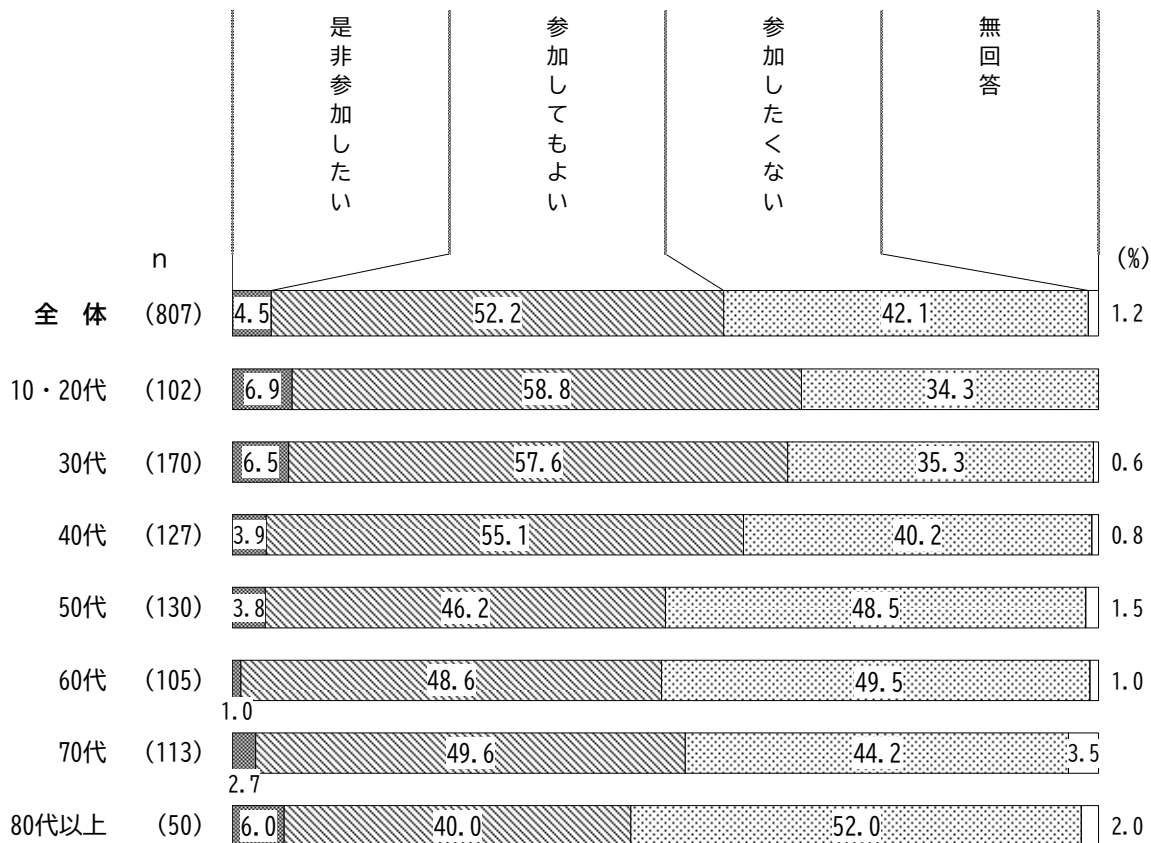
問6-3 地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。（○は1つだけ）

活動への参加意向については、「参加してもよい」が52.2%、「参加したくない」が42.1%、「是非参加したい」が4.5%となっている。



【年代別】

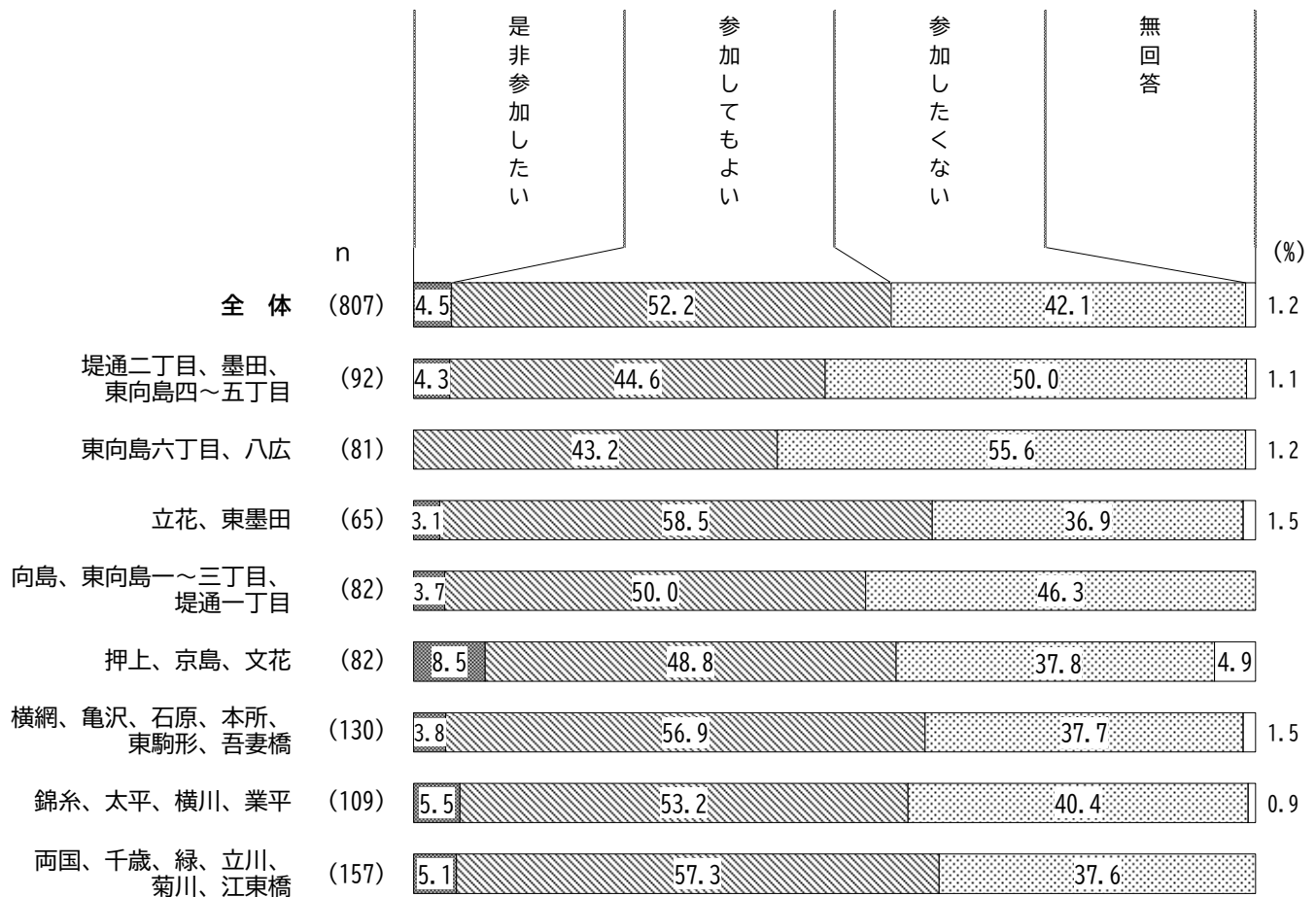
年代別で見ると、「参加してもよい」は10・20代～40代で5割を超えており、他の年代と比べて高くなっている。一方、「参加したくない」は80代以上で52.0%と他の年代と比べて高くなっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【居住地域別】

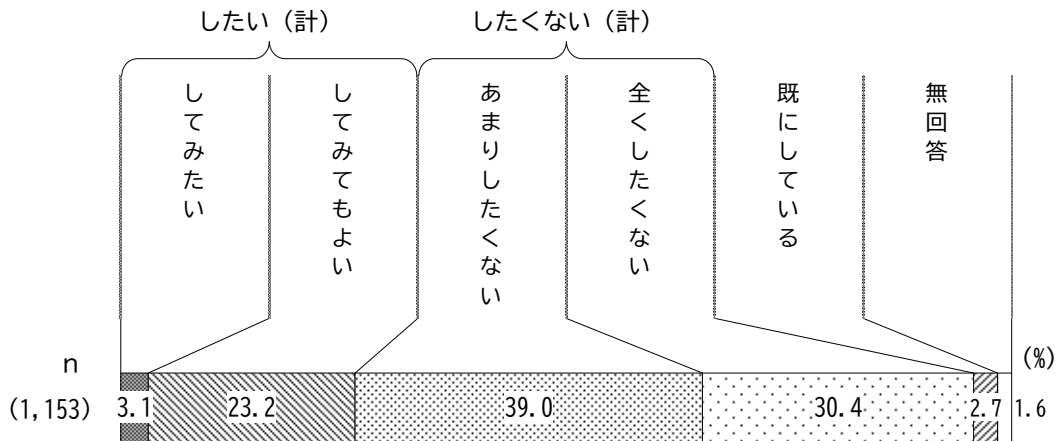
居住地域別でみると、「参加してもよい」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『東向島六丁目、八広』、『押上、京島、文花』を除くすべての地域で5割を超えており、『立花、東墨田』で58.5%となっている。一方、「参加したくない」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『東向島六丁目、八広』で5割を超えており、他の地域と比べて高くなっている。



(5) 活動の企画・運営への参加意向

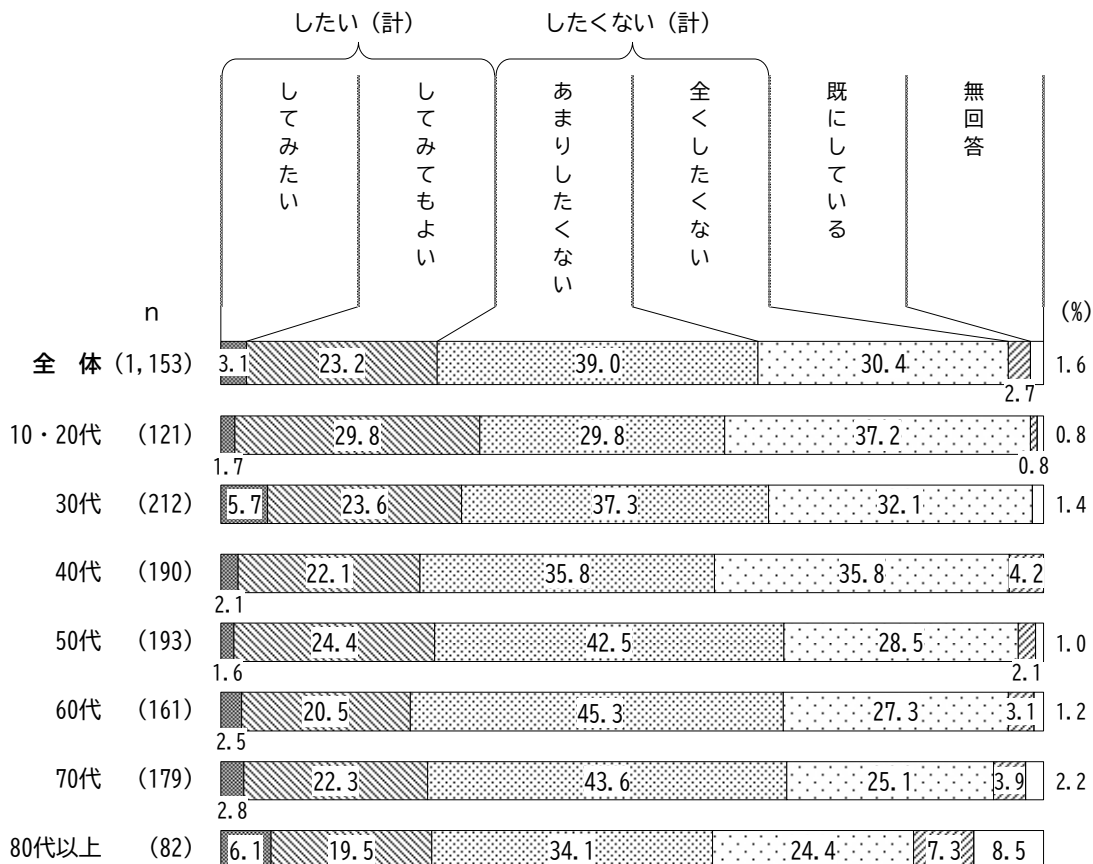
問7 地域活動やボランティア活動の企画・運営をしてみたいと思いますか。
 (○は1つだけ)

活動の企画・運営への参加意向については、「あまりしたくない」が39.0%、次いで「全くしたくない」が30.4%、「してみてもよい」が23.2%となっている。
 「したい(計)」は26.3%となっている。



【年代別】

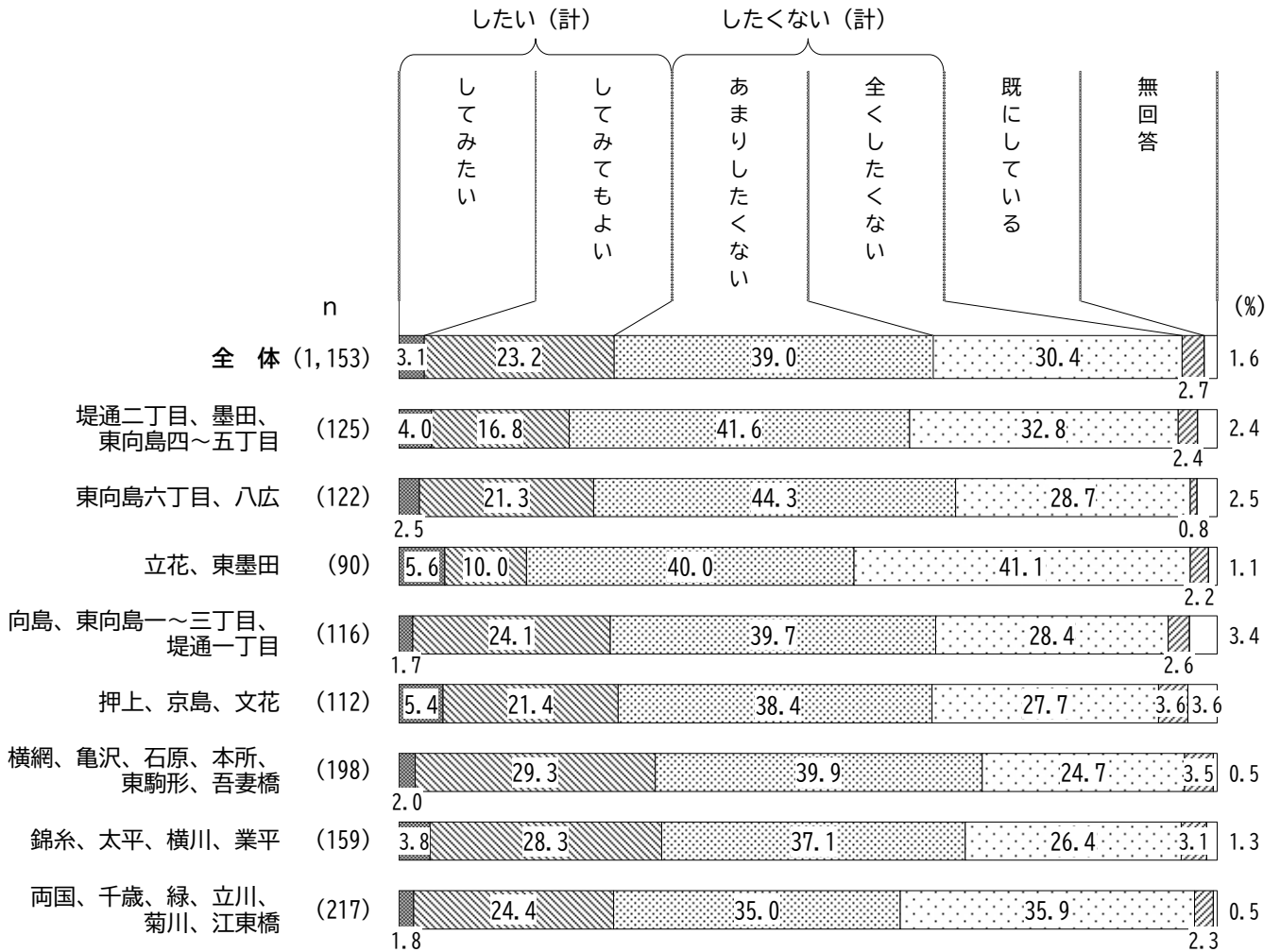
年代別で見ると、「したい(計)」は10・20代で31.5%と他の年代と比べて高くなっている。一方、「したくない(計)」は40代~60代で7割台となっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【居住地域別】

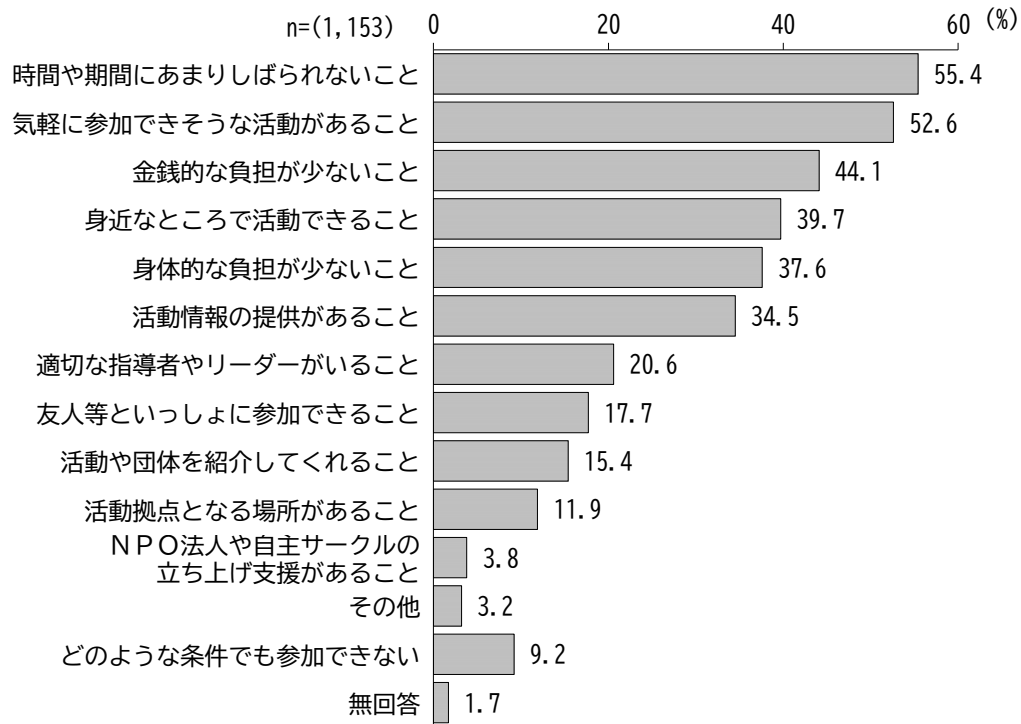
居住地域別でみると、「したい（計）」は『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『錦糸、太平、横川、業平』で3割台と他の地域と比べて高くなっている。一方、「したくない（計）」はすべての地域で6割を超えており、『立花、東墨田』で81.1%となっている。



(6) 参加・活動しやすい条件

問8 今後、あなたが地域の活動や支え合いの活動への参加を検討する場合、どのような条件があれば参加・活動しやすいと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

参加・活動しやすい条件については、「時間や期間にあまりしぼられないこと」が55.4%、次いで「気軽に参加できそうな活動があること」が52.6%、「金銭的な負担が少ないこと」が44.1%、「身近なところで活動できること」が39.7%となっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【年代別】

年代別でみると、「時間や期間にあまりしぼられないこと」は40代～60代で6割を超えている。「気軽に参加できそうな活動があること」は30代～60代で5割を超えている。「金銭的な負担が少ないこと」は30代、50代～60代で5割前後となっている。「活動情報の提供があること」は30代で42.0%となっており、他の年代と比べて高くなっている。

【居住地域別】

居住地域別でみると、「時間や期間にあまりしぼられないこと」は『東向島六丁目、八広』で62.3%と他の地域と比べて高くなっている。「適切な指導者やリーダーがいること」は『東向島六丁目、八広』で28.7%と他の地域と比べて高くなっている。

第2章 調査結果の詳細（区民）

		n	時間や期間にあまりしぼられないこと	気軽に参加できそうな活動があること	金銭的な負担が少ないこと	身近なところで活動できること	身体的な負担が少ないこと	活動情報の提供があること	適切な指導者やリーダーがいること
全体		1,153	55.4	52.6	44.1	39.7	37.6	34.5	20.6
年代別	10・20代	121	43.8	49.6	41.3	25.6	28.1	28.9	16.5
	30代	212	57.1	57.1	49.5	45.8	34.4	42.0	17.0
	40代	190	60.5	54.2	42.6	40.0	34.7	33.7	21.1
	50代	193	60.6	57.0	48.2	41.5	37.3	38.3	22.3
	60代	161	65.8	54.0	50.9	45.3	42.9	37.3	23.6
	70代	179	48.6	49.2	39.7	38.0	46.9	30.2	21.8
	80代以上	82	40.2	41.5	25.6	39.0	36.6	22.0	20.7
	居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	125	51.2	47.2	48.0	39.2	39.2	27.2
東向島六丁目、八広		122	62.3	45.1	40.2	38.5	40.2	35.2	28.7
立花、東墨田		90	46.7	38.9	37.8	35.6	32.2	25.6	21.1
向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目		116	51.7	59.5	47.4	41.4	42.2	38.8	20.7
押上、京島、文花		112	51.8	55.4	40.2	34.8	36.6	37.5	17.9
横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋		198	58.1	58.1	45.5	41.4	39.9	36.9	21.2
錦糸、太平、横川、業平		159	58.5	56.6	44.7	43.4	37.1	34.6	19.5
両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋		217	57.1	54.8	46.1	42.4	34.1	36.9	20.7

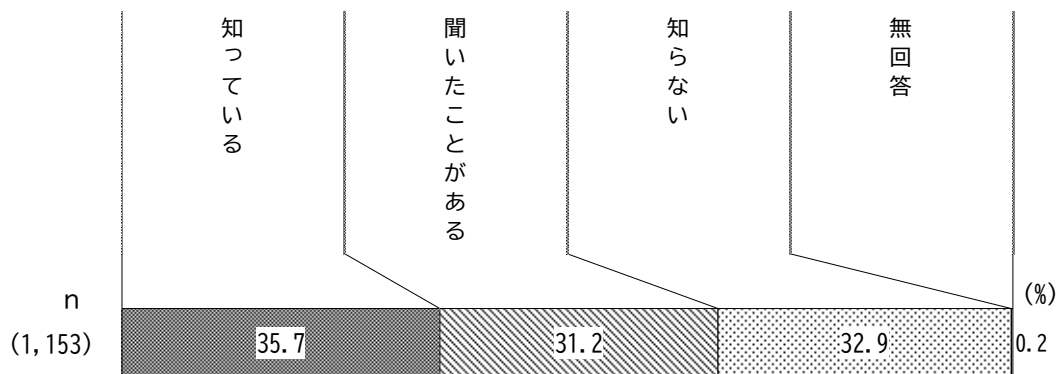
		n	友人等といっしょに参加できること	活動や団体を紹介してくれること	活動拠点となる場所があること	NP法人や自主サークルの立ち上げ支援があること	その他	どのような条件でも参加できない	無回答
全体		1,153	17.7	15.4	11.9	3.8	3.2	9.2	1.7
年代別	10・20代	121	28.1	12.4	7.4	3.3	3.3	11.6	0.8
	30代	212	23.1	20.3	10.4	6.6	4.2	6.1	-
	40代	190	20.0	17.4	11.1	2.6	2.6	10.0	0.5
	50代	193	14.5	16.6	13.0	4.1	2.6	8.8	0.5
	60代	161	10.6	12.4	15.5	5.6	1.9	6.8	1.9
	70代	179	8.9	14.0	14.0	1.7	2.8	10.6	3.9
	80代以上	82	25.6	11.0	12.2	-	7.3	12.2	8.5
	居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	125	15.2	11.2	12.8	2.4	4.0	8.8
東向島六丁目、八広		122	17.2	12.3	12.3	2.5	3.3	13.9	-
立花、東墨田		90	14.4	12.2	5.6	2.2	4.4	13.3	1.1
向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目		116	18.1	13.8	8.6	4.3	1.7	10.3	3.4
押上、京島、文花		112	14.3	21.4	17.0	1.8	-	11.6	3.6
横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋		198	18.7	16.2	15.7	5.6	4.5	6.1	1.0
錦糸、太平、横川、業平		159	20.8	15.7	13.2	4.4	5.0	6.9	1.3
両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋		217	19.8	18.4	9.2	4.6	1.8	6.9	0.5

4. 地域での暮らしについて

（1）成年後見制度の認知状況

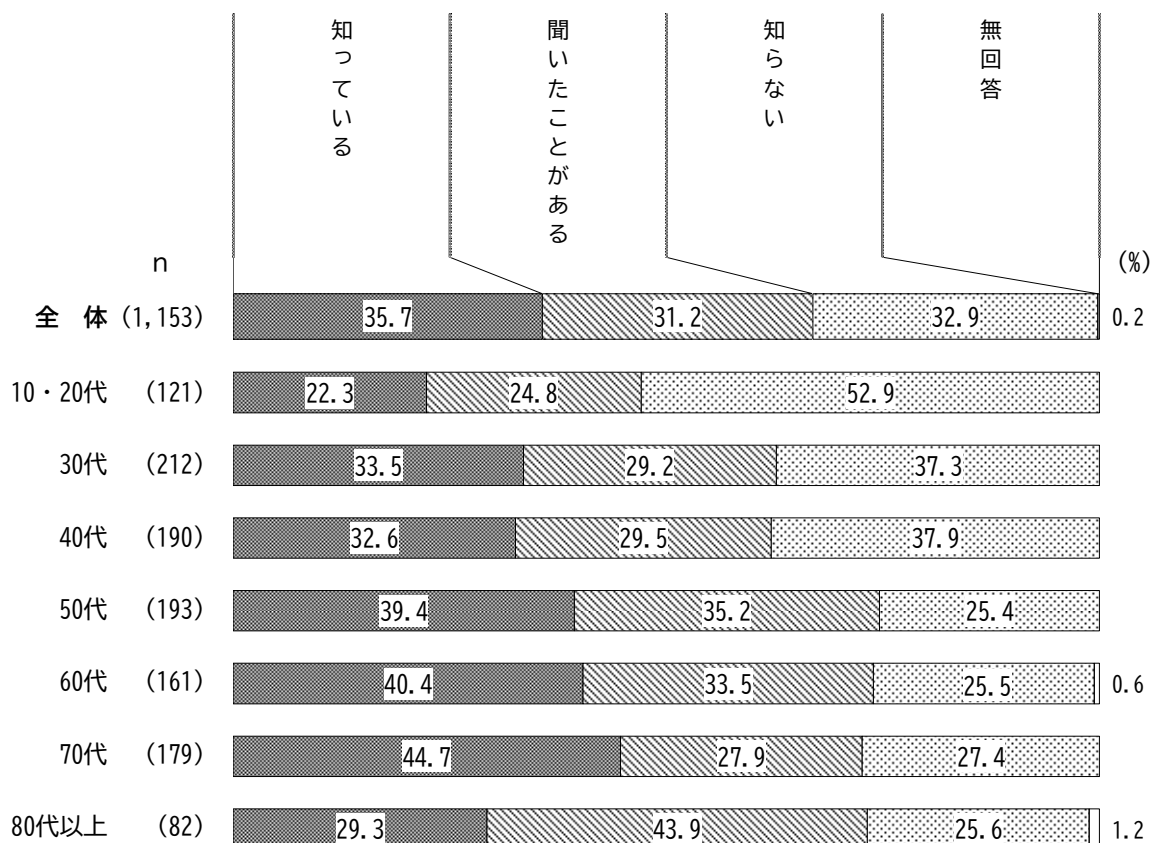
問9 成年後見制度を知っていますか。（○は1つだけ）

成年後見制度の認知状況については、「知っている」が35.7%、次いで「知らない」が32.9%、「聞いたことがある」が31.2%となっている。



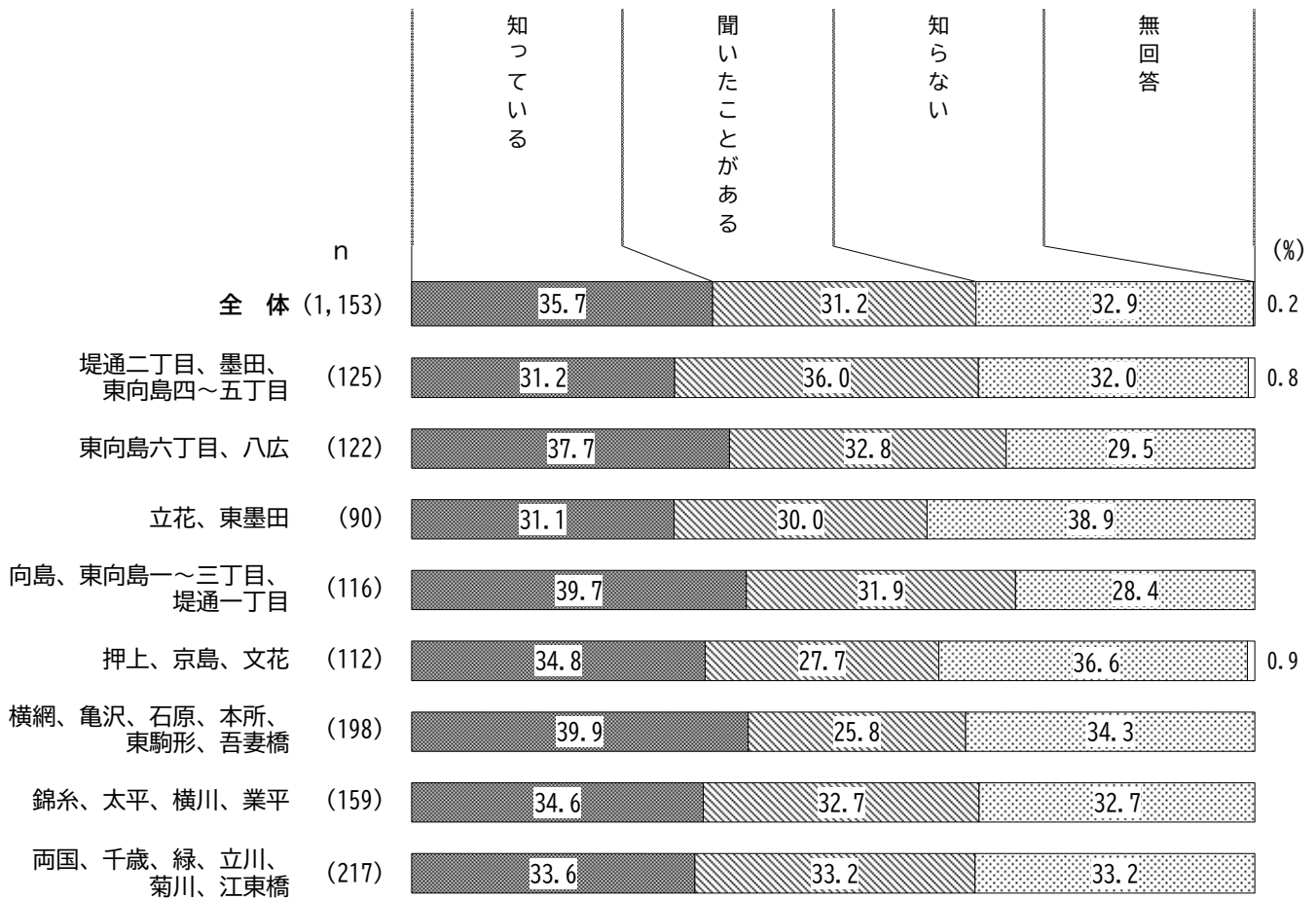
【年代別】

年代別でみると、「知っている」は70代で44.7%、50代～60代で4割前後となっている。「聞いたことがある」は80代以上で43.9%と他の年代と比べて高くなっている。一方、「知らない」は10・20代で52.9%と最も高く、30代～40代で3割台となっている。



【居住地域別】

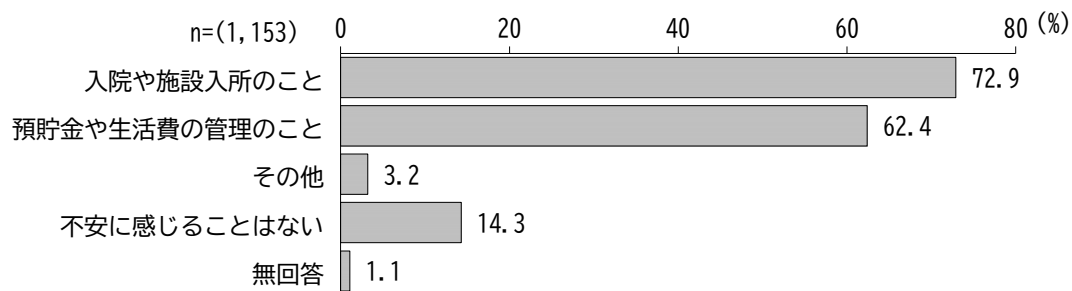
居住地域別でみると、「知っている」は『向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』で39%程度となっている。「聞いたことがある」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』で36.0%となっている。一方、「知らない」は『立花、東墨田』で38.9%となっている。



(2) 自分や家族の判断能力が低下した際の不安

問10 あなたやご家族の判断能力が低下した場合に、不安に感じることはありますか。
(○はあてはまるものすべて)

自分や家族の判断能力が低下した際の不安については、「入院や施設入所のこと」が72.9%、次いで「預貯金や生活費の管理のこと」が62.4%となっている。一方、「不安に感じることはない」が14.3%となっている。



【年代別】

年代別でみると、「預貯金や生活費の管理のこと」は40代～50代で7割台と高くなっている。「不安に感じることはない」は70代で24.6%と他の年代と比べて高くなっている。

【居住地域別】

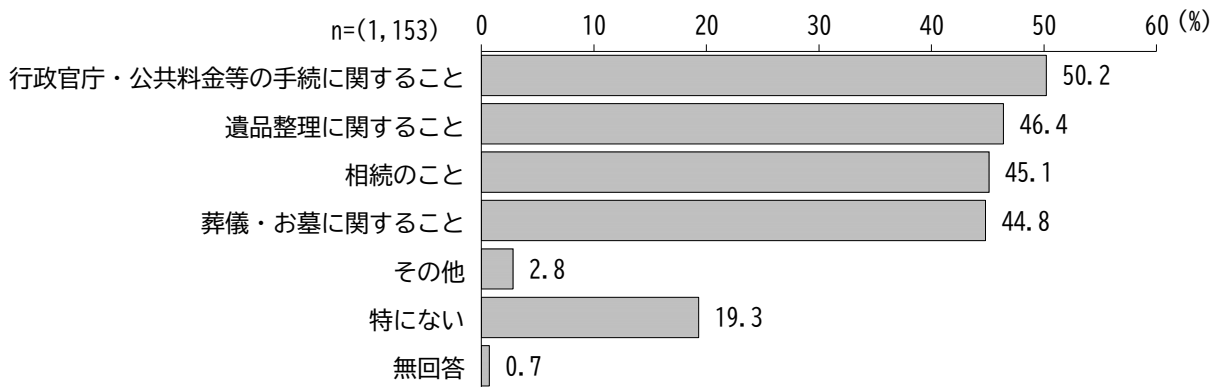
居住地域別でみると、「入院や施設入所のこと」は『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』で81.3%と他の地域と比べて高くなっている。

		n	入院や施設入所のこと	預貯金や生活費の管理のこと	その他	不安に感じることはない	無回答
全体		1,153	72.9	62.4	3.2	14.3	1.1
年代別	10・20代	121	73.6	68.6	1.7	15.7	-
	30代	212	74.5	68.4	2.4	12.3	-
	40代	190	77.4	72.1	2.6	8.9	-
	50代	193	77.2	72.0	3.1	10.4	-
	60代	161	73.9	61.5	4.3	13.0	1.2
	70代	179	66.5	44.1	2.8	24.6	1.7
	80代以上	82	63.4	35.4	6.1	19.5	7.3
居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	125	72.8	56.0	1.6	13.6	2.4
	東向島六丁目、八広	122	74.6	63.1	2.5	13.9	-
	立花、東墨田	90	65.6	61.1	4.4	18.9	1.1
	向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目	116	66.4	61.2	0.9	17.2	1.7
	押上、京島、文花	112	67.0	60.7	5.4	12.5	0.9
	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋	198	81.3	64.6	4.0	11.6	0.5
	錦糸、太平、横川、業平	159	70.4	59.1	3.1	16.4	1.9
	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋	217	77.0	68.2	3.2	13.4	-

(3) 自分や家族が亡くなった後の不安

問11 あなたやご家族の亡くなった後のことで、不安に思うことはありますか。
(○はあてはまるものすべて)

自分や家族が亡くなった後の不安については、「行政官庁・公共料金等の手続に関すること」が50.2%、次いで「遺品整理に関すること」が46.4%、「相続のこと」が45.1%、「葬儀・お墓に関すること」が44.8%となっている。一方、「特にない」は19.3%となっている。



【年代別】

年代別でみると、「行政官庁・公共料金等の手続に関する事」は10・20代～40代で6割を超えている。「遺品整理に関する事」は30代～50代で5割を超えている。「相続の事」は30代で60.4%、10・20代、40代で5割台となっている。「葬儀・お墓に関する事」は10・20代～30代で5割台となっている。「特にない」は70代～80代以上で3割台となっており、他の年代と比べて高くなっている。

【居住地域別】

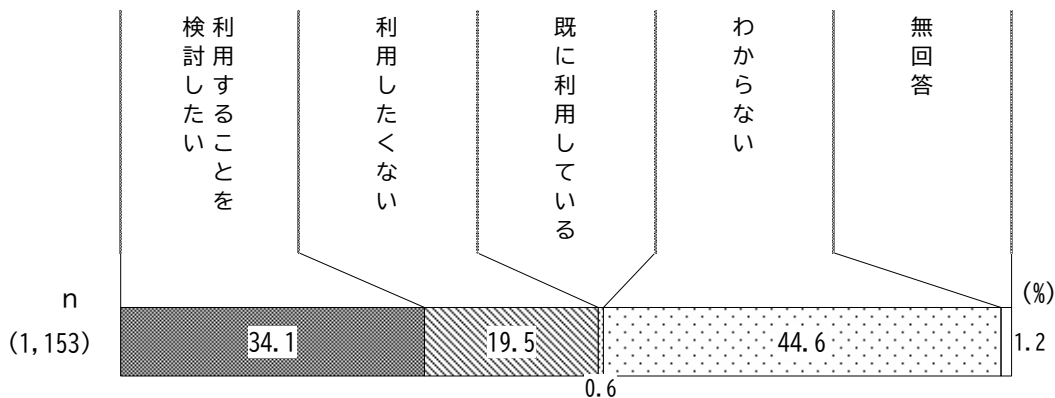
居住地域別でみると、「行政官庁・公共料金等の手続に関する事」は『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で5割台と他の地域と比べて高くなっている。「遺品整理に関する事」は『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で56.7%と他の地域と比べて高くなっている。「相続の事」は『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で5割台となっており、他の地域と比べて高くなっている。「葬儀・お墓に関する事」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で5割台となっている。

		n	行政官庁・公共料金等の手続に関する事	遺品整理に関する事	相続の事	葬儀・お墓に関する事	その他	特にない	無回答
全体		1,153	50.2	46.4	45.1	44.8	2.8	19.3	0.7
年代別	10・20代	121	62.0	46.3	50.4	50.4	2.5	17.4	-
	30代	212	63.7	56.6	60.4	56.6	1.4	15.1	-
	40代	190	61.1	53.7	52.6	49.5	3.2	13.2	-
	50代	193	50.8	53.4	46.6	47.2	3.1	14.0	-
	60代	161	39.8	44.1	44.1	41.0	6.2	18.0	1.2
	70代	179	29.6	31.3	25.7	30.7	0.6	33.0	1.7
	80代以上	82	36.6	23.2	20.7	24.4	2.4	35.4	3.7
居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	125	45.6	47.2	36.0	50.4	2.4	20.8	1.6
	東向島六丁目、八広	122	48.4	41.8	40.2	37.7	1.6	20.5	0.8
	立花、東墨田	90	48.9	34.4	34.4	35.6	4.4	25.6	-
	向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目	116	44.0	39.7	39.7	44.0	0.9	22.4	1.7
	押上、京島、文花	112	49.1	42.9	35.7	35.7	2.7	22.3	0.9
	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋	198	54.0	49.0	54.5	44.9	5.1	14.6	0.5
	錦糸、太平、横川、業平	159	49.1	44.7	49.7	45.9	2.5	20.8	0.6
	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋	217	56.2	56.7	52.5	52.1	2.3	16.1	-

（4）成年後見制度の利用意向

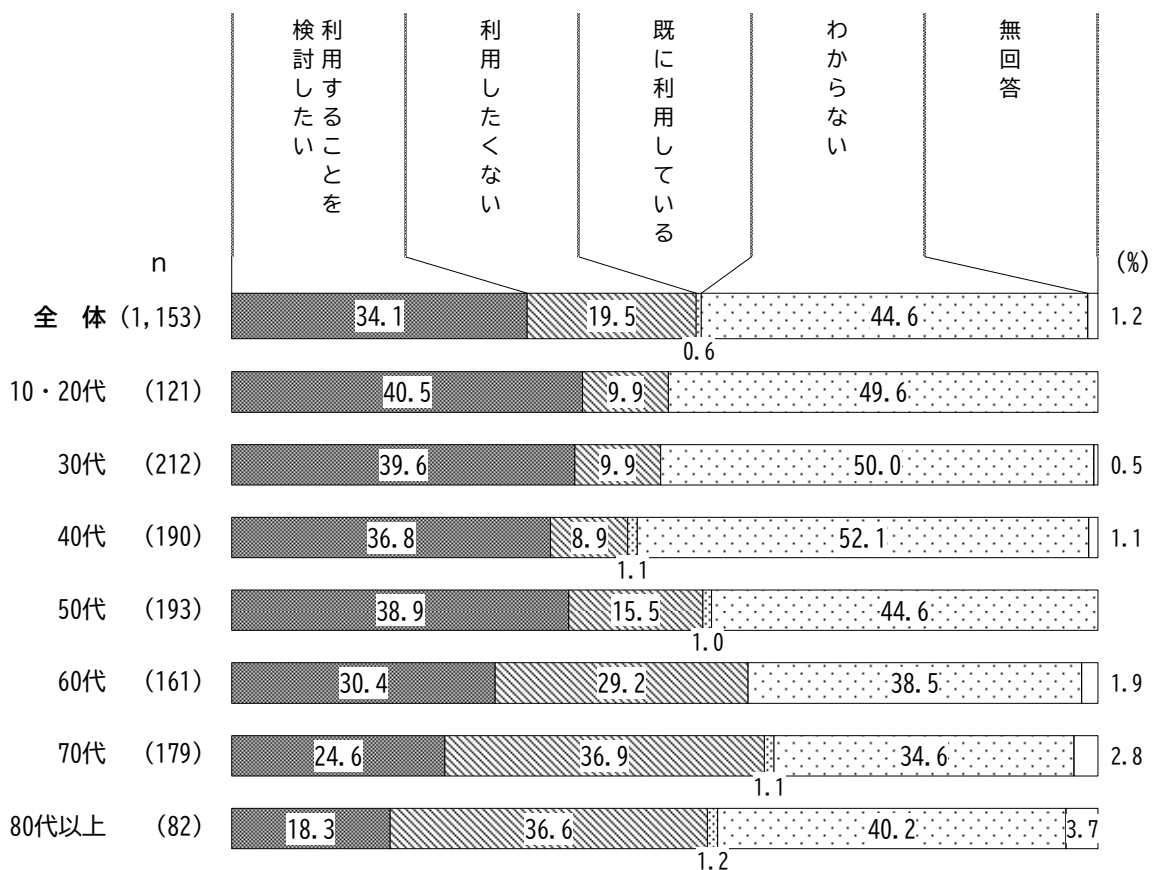
問12 あなたやご家族の判断能力が低下した場合、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。（○は1つだけ）

成年後見制度の利用意向については、「利用することを検討したい」が34.1%、「利用したくない」が19.5%となっている。一方、「わからない」が44.6%となっている。



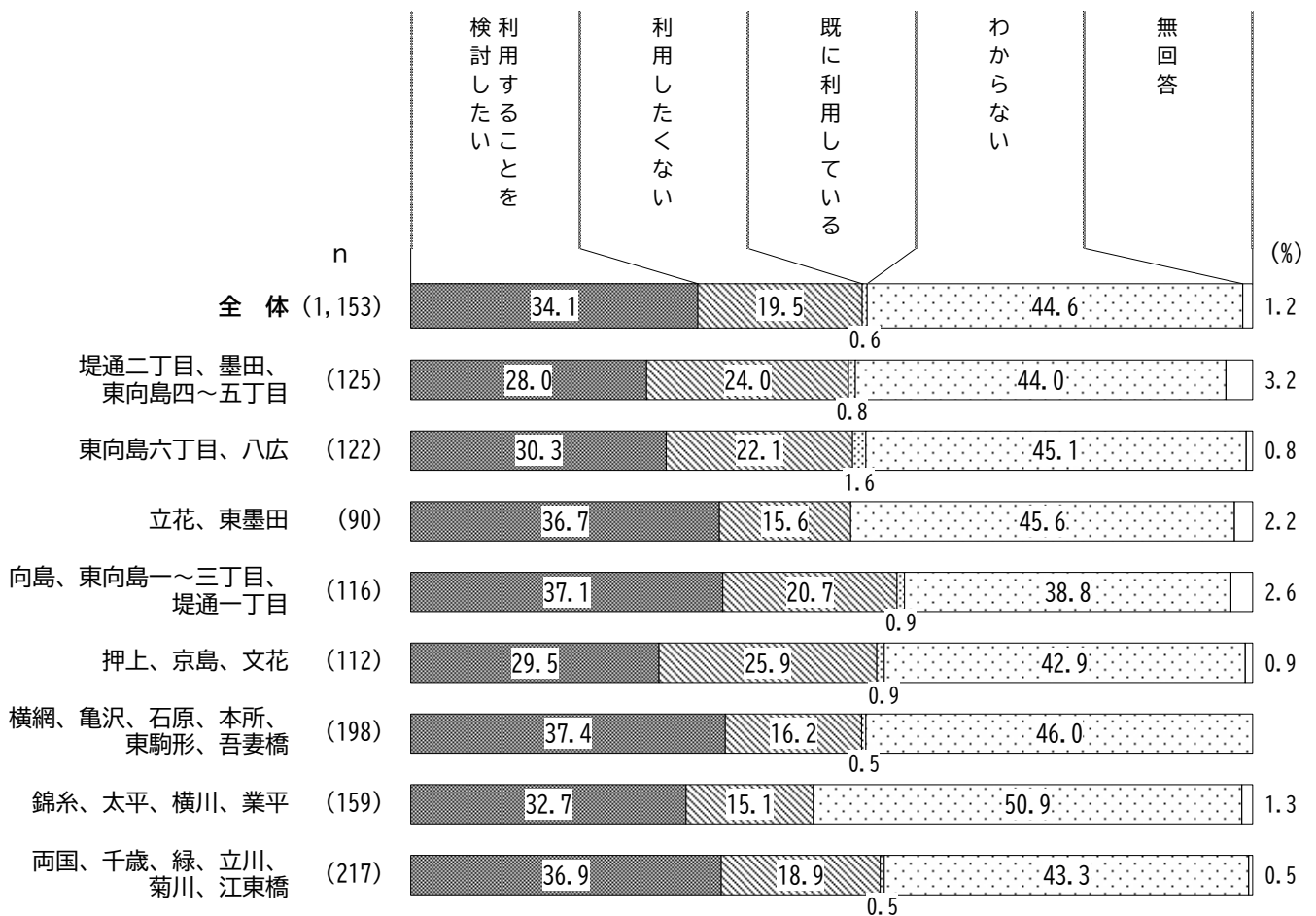
【年代別】

年代別でみると、「利用することを検討したい」は概ね年代が上がるほど低くなっており、10・20代で40.5%となっている。一方、「利用したくない」は概ね年代が上がるほど高くなっており、70代～80代以上で3割台となっている。また、「わからない」は30代～40代で5割を超えている。



【居住地域別】

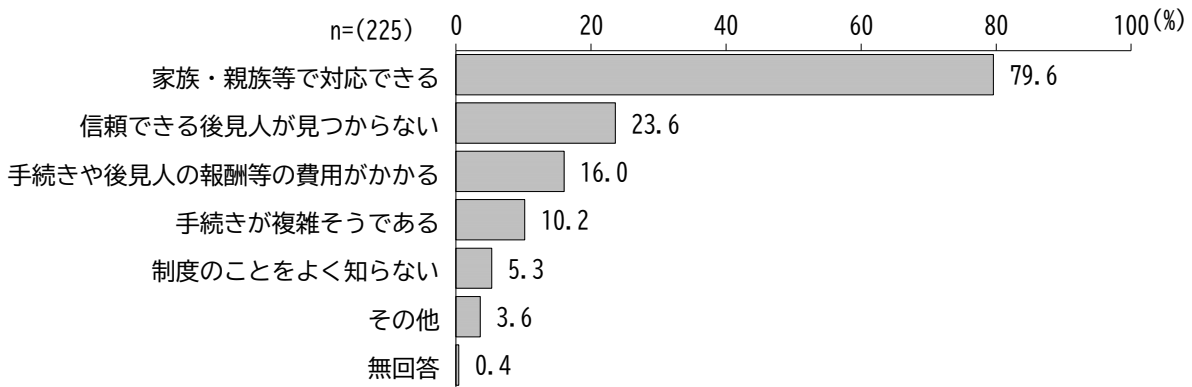
居住地域別でみると、「利用することを検討したい」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『押上、京島、文花』を除くすべての地域で3割台となっている。一方、「利用したくない」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『東向島六丁目、八広』、『向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目』、『押上、京島、文花』で2割台となっている。また、「わからない」は『錦糸、太平、横川、業平』で50.9%と他の地域と比べて高くなっている。



（5）成年後見制度を利用したくない理由

問12-1 成年後見制度を利用しない理由を教えてください。（○はあてはまるものすべて）

成年後見制度を利用したくない理由については、「家族・親族等に対応できる」が79.6%、次いで「信頼できる後見人が見つからない」が23.6%、「手続きや後見人の報酬等の費用がかかる」が16.0%となっている。



【年代別】

年代別でみると、「家族・親族等で対応できる」は年代が上がるほど概ね高くなっている。「信頼できる後見人が見つからない」は60代で3割台となっており、他の年代と比べて高くなっている。「手続きや後見人の報酬等の費用がかかる」は50代で2割台となっており、他の年代と比べて高くなっている。「手続きが複雑そうである」は70代をのぞくすべての年代で1割台となっている。

【居住地域別】

居住地域別でみると、「家族・親族等で対応できる」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』で9割を超えており、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で7割台、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』で5割台となっている。「信頼できる後見人が見つからない」は『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』で4割台、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で3割台、『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』で2割台となっている。「手続きや後見人の報酬等の費用がかかる」は『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で2割台、『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』で1割台となっている。

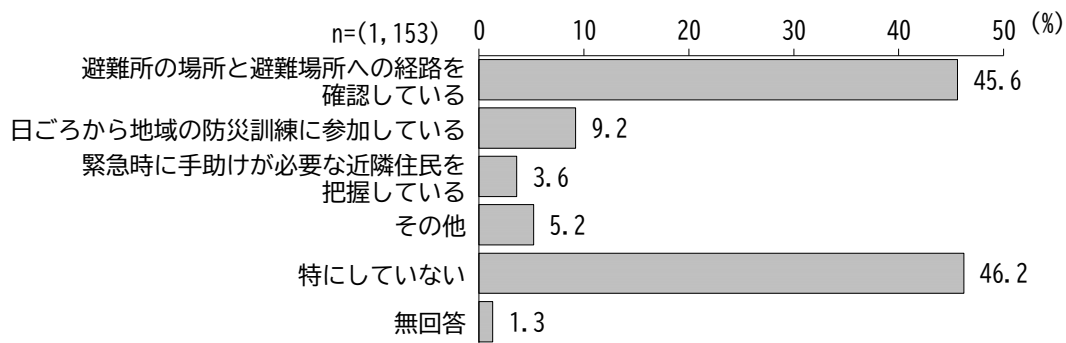
		n	家族・親族等で対応できる	信頼できる後見人が見つからない	手続きや後見人の報酬等の費用がかかる	手続きが複雑そうである	制度のことをよく知らない	その他	無回答
全体		225	79.6	23.6	16.0	10.2	5.3	3.6	0.4
年代別	10・20代	12	83.3	41.7	16.7	25.0	8.3	-	-
	30代	21	71.4	33.3	9.5	19.0	-	4.8	-
	40代	17	82.4	35.3	35.3	5.9	5.9	5.9	-
	50代	30	53.3	26.7	26.7	10.0	10.0	13.3	-
	60代	47	78.7	31.9	19.1	10.6	4.3	-	-
	70代	66	89.4	10.6	10.6	6.1	4.5	-	1.5
	80代以上	30	86.7	16.7	6.7	10.0	6.7	6.7	-
居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	30	90.0	23.3	10.0	3.3	10.0	-	-
	東向島六丁目、八広	27	66.7	14.8	18.5	3.7	3.7	3.7	-
	立花、東墨田	14	100.0	21.4	14.3	-	-	-	-
	向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目	24	83.3	16.7	12.5	20.8	8.3	4.2	-
	押上、京島、文花	29	93.1	17.2	13.8	6.9	6.9	-	-
	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋	32	53.1	40.6	21.9	15.6	6.3	9.4	3.1
	錦糸、太平、横川、業平	24	83.3	16.7	12.5	16.7	-	4.2	-
	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋	41	78.0	31.7	22.0	12.2	4.9	4.9	-

5. 防災について

（1）災害時への備え

問13 あなたは災害時への備えをしていますか。（○はあてはまるものすべて）

災害時への備えについては、「避難所の場所と避難場所への経路を確認している」が45.6%、次いで「日ごろから地域の防災訓練に参加している」が9.2%となっている。一方、「特にしていない」が46.2%となっている。



【年代別】

年代別でみると、「避難所の場所と避難場所への経路を確認している」は40代で53.2%と他の年代と比べて高くなっている。「日ごろから地域の防災訓練に参加している」は80代以上で28.0%、60代～70代で1割台となっている。一方、「特にしていない」は10・20代で62.0%、30代で53.3%と他の年代と比べて高くなっている。

【居住地域別】

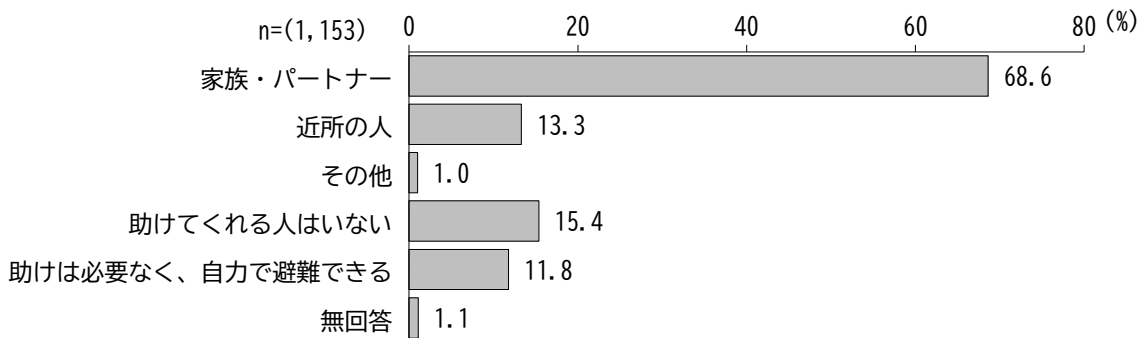
居住地域別でみると、「避難所の場所と避難場所への経路を確認している」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『錦糸、太平、横川、業平』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で約5割、『立花、東墨田』、『押上、京島、文花』で4割台となっている。「日ごろから地域の防災訓練に参加している」は『立花、東墨田』、『押上、京島、文花』で1割台となっており、他の地域と比べて高くなっている。一方、「特にしていない」は『東向島六丁目、八広』、『向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目』、『押上、京島、文花』で5割を超えており、他の地域と比べて高くなっている。

		n	へ避難所の場所と避難場所を確認して避難場所	練日ごろから地域の防災訓練	近隣住民に手助けが必要	その他	特にしていない	無回答
全体		1,153	45.6	9.2	3.6	5.2	46.2	1.3
年代別	10・20代	121	32.2	3.3	-	6.6	62.0	-
	30代	212	39.6	5.7	1.9	6.1	53.3	0.5
	40代	190	53.2	4.2	1.1	4.2	42.1	1.1
	50代	193	49.7	5.2	3.6	5.7	42.0	0.5
	60代	161	47.8	11.2	3.7	7.5	42.2	1.9
	70代	179	46.9	17.3	6.1	3.4	43.0	2.2
	80代以上	82	43.9	28.0	13.4	2.4	41.5	3.7
居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	125	49.6	8.8	4.0	5.6	41.6	3.2
	東向島六丁目、八広	122	38.5	8.2	2.5	3.3	54.9	0.8
	立花、東墨田	90	44.4	16.7	2.2	4.4	44.4	2.2
	向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目	116	37.9	9.5	3.4	2.6	51.7	2.6
	押上、京島、文花	112	40.2	11.6	8.0	4.5	50.0	1.8
	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋	198	49.5	9.1	5.1	7.1	42.4	-
	錦糸、太平、横川、業平	159	48.4	7.5	3.1	5.7	45.9	0.6
	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋	217	47.9	7.4	1.4	6.5	44.7	0.5

(2) 避難する際に助けてくれる人

問14 災害発生時に避難をする際、あなたを助けてくれる人はいますか。
(○はあてはまるものすべて)

避難する際に助けてくれる人については、「家族・パートナー」が68.6%、次いで「近所の人」が13.3%となっている。一方、「助けてくれる人はいない」が15.4%、「助けは必要なく、自力で避難できる」が11.8%となっている。



【年代別】

年代別でみると、「家族・パートナー」は40代～50代、80代以上で7割台と高くなっている。「近所の人」は80代以上で22.0%となっており、他の年代と比べて高くなっている。

【居住地域別】

居住地域別でみると、「家族・パートナー」は『東向島六丁目、八広』、『押上、京島、文花』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』で7割台となっている。

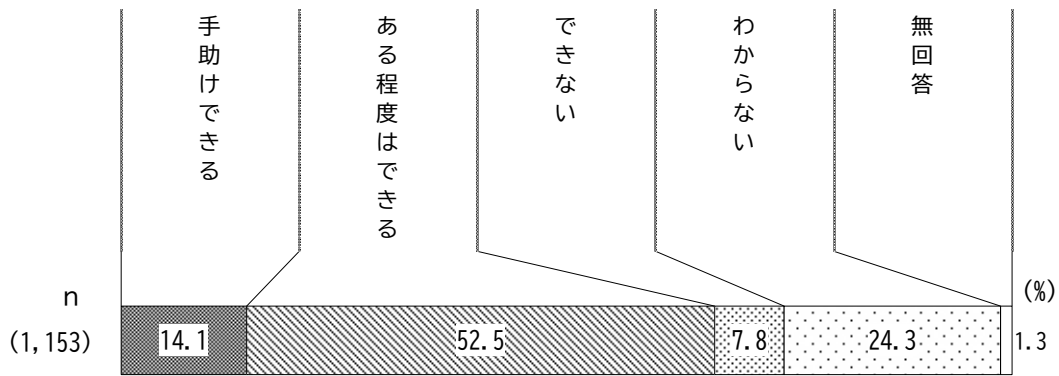
(%)

		n	家族・パートナー	近所の人	その他	助けてくれる人はいない	避難は必要なく、自力で	無回答
全体		1,153	68.6	13.3	1.0	15.4	11.8	1.1
年代別	10・20代	121	65.3	9.9	1.7	18.2	10.7	0.8
	30代	212	68.9	9.0	0.5	15.1	15.6	0.5
	40代	190	71.1	14.7	0.5	14.7	12.6	1.1
	50代	193	70.5	13.0	0.5	17.6	10.9	-
	60代	161	67.7	12.4	1.9	18.0	9.3	1.9
	70代	179	65.4	16.8	0.6	11.7	14.0	1.7
	80代以上	82	72.0	22.0	3.7	11.0	3.7	3.7
居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	125	65.6	17.6	-	12.8	13.6	3.2
	東向島六丁目、八広	122	73.0	13.9	1.6	17.2	6.6	0.8
	立花、東墨田	90	67.8	13.3	1.1	13.3	13.3	3.3
	向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目	116	69.8	11.2	0.9	13.8	12.9	1.7
	押上、京島、文花	112	73.2	12.5	1.8	14.3	8.0	0.9
	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋	198	75.8	13.6	2.0	11.6	11.1	-
	錦糸、太平、横川、業平	159	62.9	13.8	1.3	19.5	12.6	0.6
	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋	217	62.2	11.5	-	18.9	14.7	0.5

（3）支援が必要な人への手助けができるか

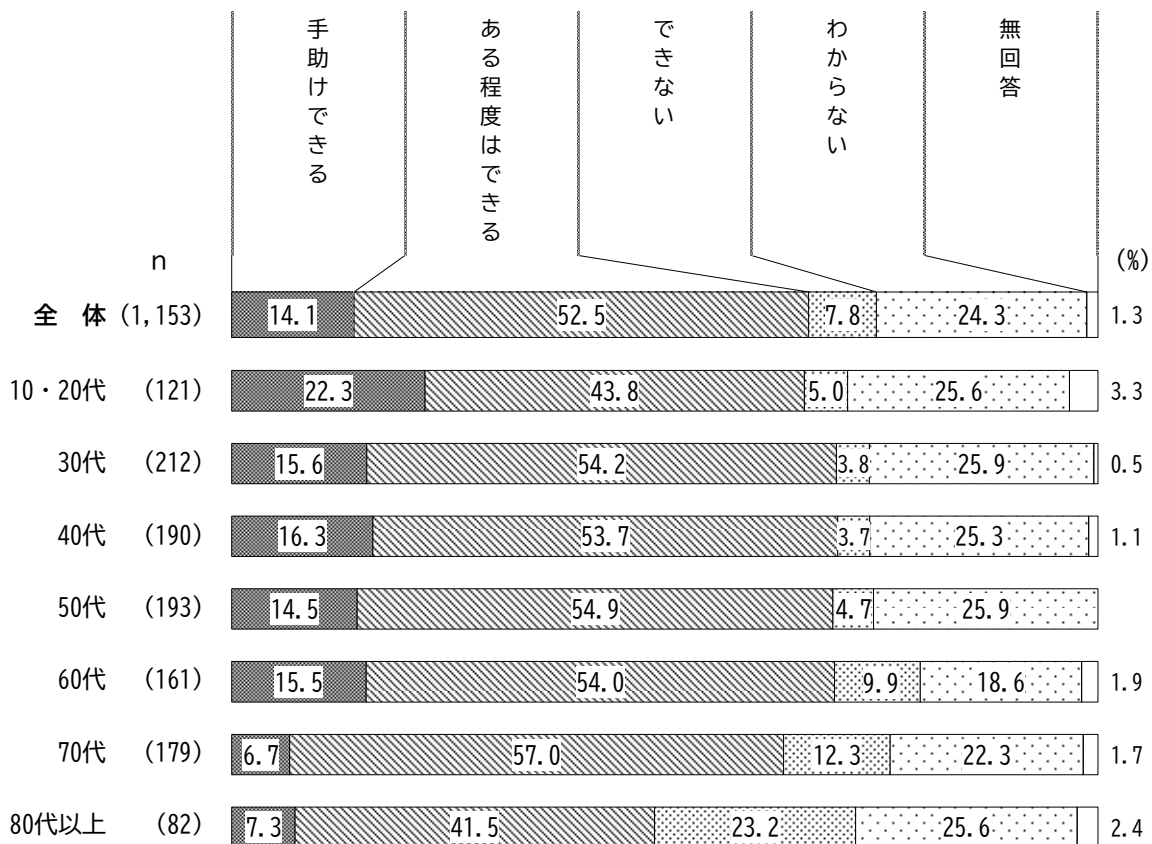
問15 支援が必要な人が地域にいたら、手助けすることはできますか。（○は1つだけ）

支援が必要な人への手助けできるかについては、「ある程度はできる」が52.5%、次いで「手助けできる」が14.1%となっている。一方、「わからない」が24.3%、



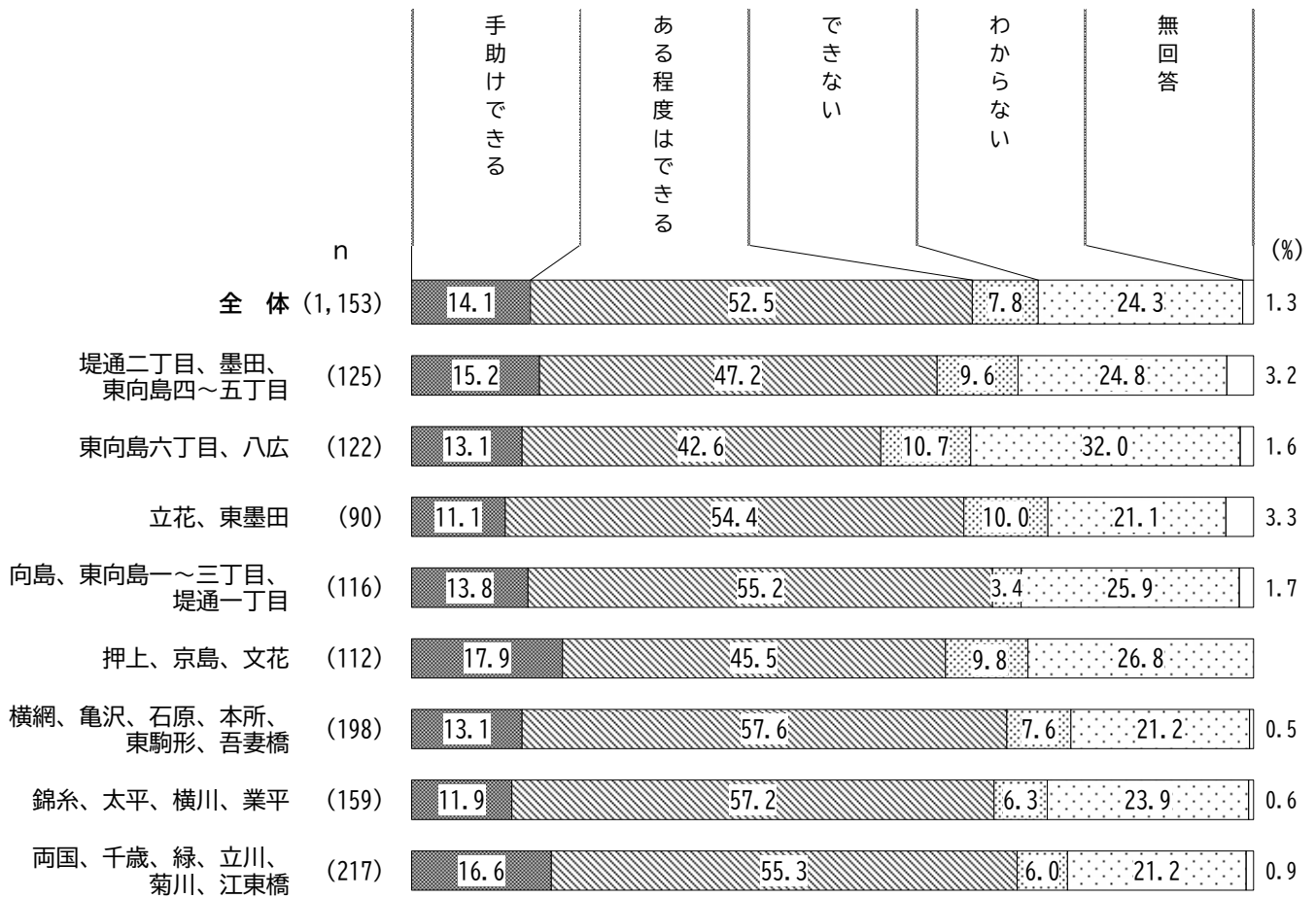
【年代別】

年代別でみると、「手助けできる」は10・20代で22.3%と他の年代と比べて高くなっている。一方、「できない」は80代以上で23.2%、70代で12.3%と他の年代と比べて高くなっている。



【居住地域別】

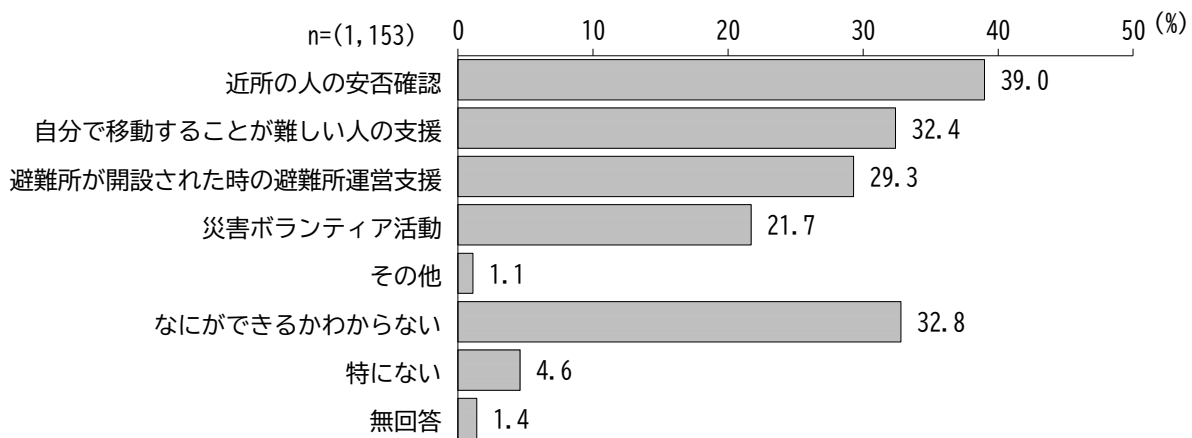
居住地域別でみると、「ある程度はできる」は『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『錦糸、太平、横川、業平』、で57%程度となっている。また、「わからない」は『東向島六丁目、八広』で32,0%と他の地域と比べて高くなっている。



（4）災害発生後に協力できる地域の活動

問16 災害発生後、ご自身や家族の安全が確認されたうえで、どのような地域の活動に協力できますか。（○はあてはまるものすべて）

災害発生後に協力できる地域の活動については、「近所の人への安否確認」が39.0%、次いで「自分で移動することが難しい人の支援」が32.4%、「避難所が開設された時の避難所運営支援」が29.3%、「災害ボランティア活動」が21.7%となっている。一方、「なにができるかわからない」が32.8%となっている。



【年代別】

年代別でみると、「自分で移動することが難しい人の支援」は10・20代で40.5%と他の年代と比べて高くなっている。「避難所が開設された時の避難所運営支援」は年代が上がるほど低くなっており、10・20代～40代で3割台となっている。一方、「なにができるかわからない」は80代以上で46.3%と他の年代と比べて高くなっている。

【居住地域別】

居住地域別でみると、「近所の人の安否確認」は『向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目』、『押上、京島、文花』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』で4割台となっており、他の地域と比べて高くなっている。「避難所が開設された時の避難所運営支援」は『押上、京島、文花』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で3割台となっており、他の地域と比べて高くなっている。

		n	近所の人の安否確認	自分で移動することが難しい人の支援	避難所が開設された時の避難所運営支援	災害ボランティア活動	その他	なにができるかわからない	特にない	無回答
全体		1,153	39.0	32.4	29.3	21.7	1.1	32.8	4.6	1.4
年代別	10・20代	121	37.2	40.5	36.4	28.1	0.8	27.3	2.5	0.8
	30代	212	41.5	35.4	35.8	30.2	1.4	33.5	2.4	0.5
	40代	190	42.1	38.4	33.7	31.1	1.1	26.3	4.7	1.6
	50代	193	38.9	33.2	29.5	22.3	0.5	32.6	2.6	-
	60代	161	37.9	29.8	27.3	13.7	1.2	36.0	2.5	1.9
	70代	179	40.2	27.9	24.6	10.1	1.1	33.5	8.9	3.4
	80代以上	82	30.5	13.4	8.5	6.1	2.4	46.3	12.2	2.4
居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	125	38.4	31.2	24.8	20.0	1.6	33.6	4.8	3.2
	東向島六丁目、八広	122	33.6	36.1	27.9	21.3	0.8	35.2	6.6	1.6
	立花、東墨田	90	38.9	21.1	22.2	14.4	-	37.8	6.7	2.2
	向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目	116	47.4	33.6	25.9	23.3	0.9	29.3	5.2	3.4
	押上、京島、文花	112	44.6	32.1	32.1	24.1	1.8	24.1	7.1	0.9
	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋	198	42.4	33.3	36.9	24.7	2.5	30.8	3.0	-
	錦糸、太平、横川、業平	159	35.8	28.3	26.4	19.5	0.6	37.7	3.8	0.6
	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋	217	35.5	38.2	32.3	22.6	0.5	33.6	1.8	0.9

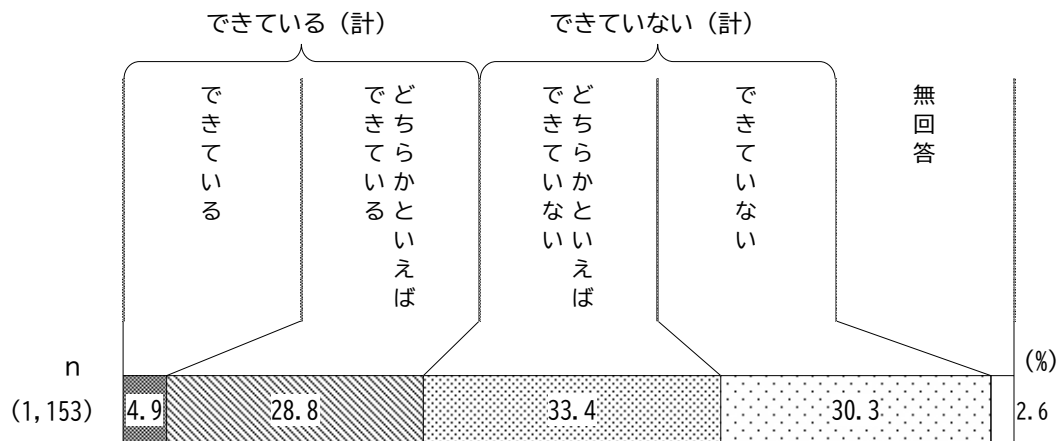
6. 墨田区の福祉について

(1) 福祉に関する情報の入手状況

問17 墨田区の福祉に関する情報を入手できていますか。（○は1つだけ）

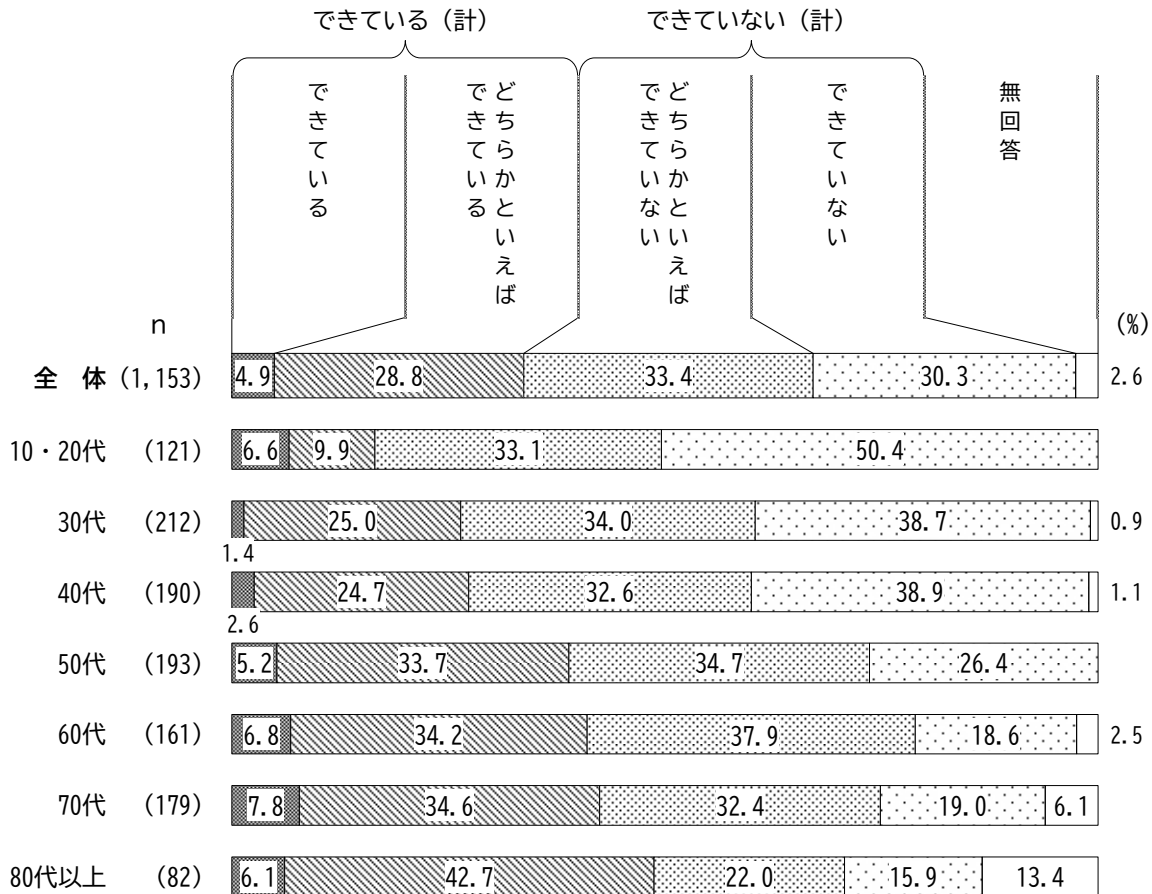
福祉に関する情報の入手状況については、「どちらかといえばできていない」が33.4%、次いで「できていない」が30.3%、「どちらかといえばできている」が28.8%となっている。

「できている」「どちらかといえばできている」の合計「できている（計）」は33.7%となっている。



【年代別】

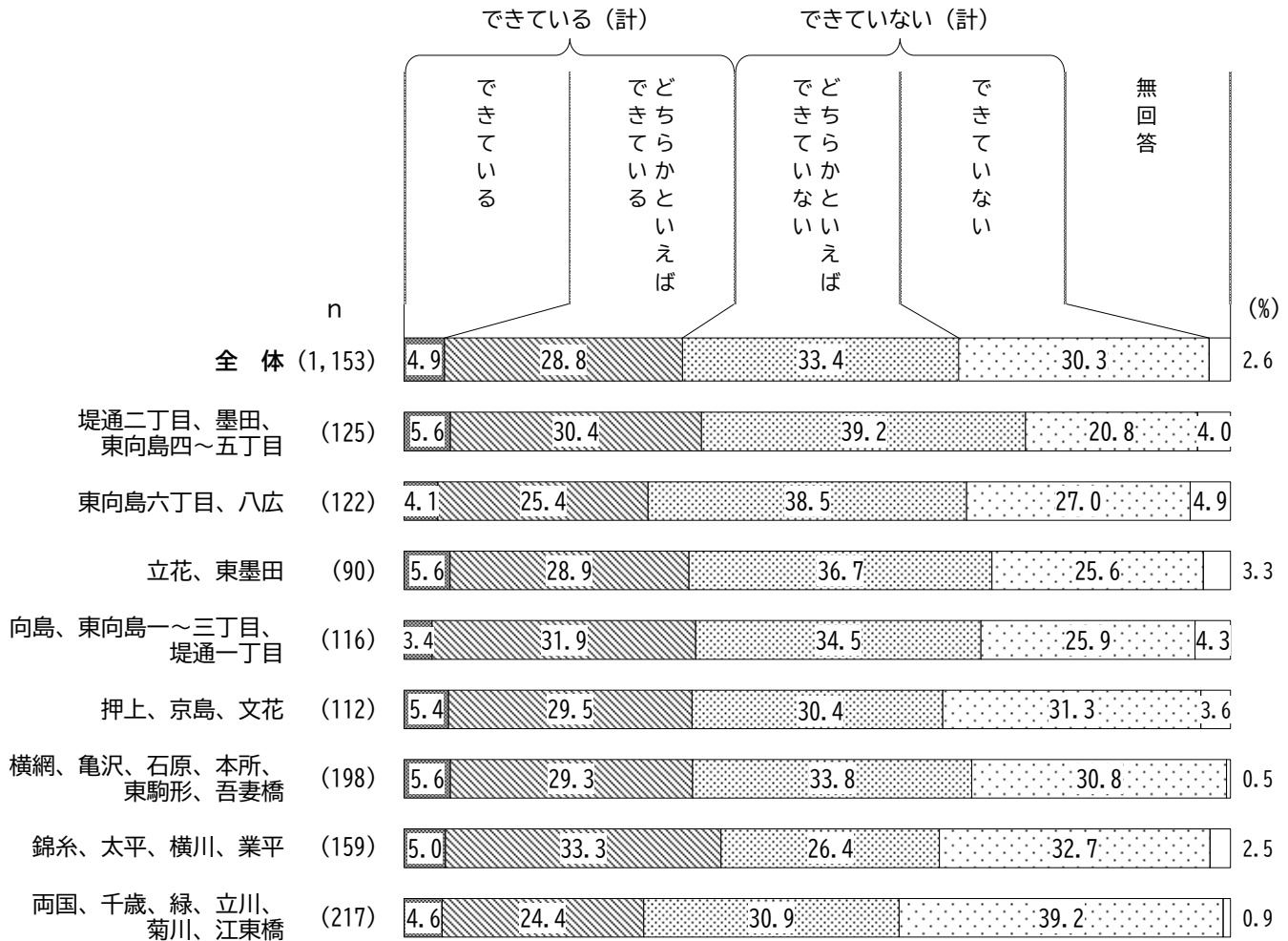
年代別でみると、「どちらかといえばできている」は80代以上で42.7%と他の年代と比べて高くなっている。「できている（計）」は年代が上がるほど高くなっている。一方、「できていない」は10・20代で50.4%と他の年代と比べて高くなっている。「どちらかといえばできていない」「できていない」の合計「できていない（計）」は年代が上がるほど低くなっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【居住地域別】

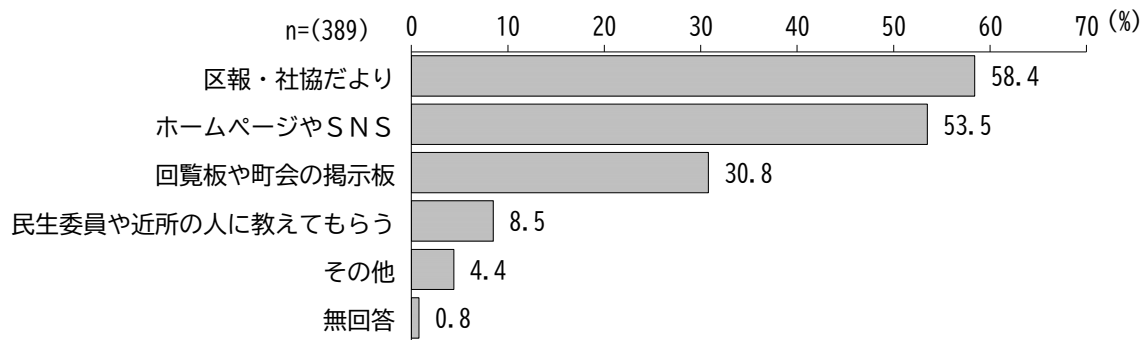
居住地域別でみると、「できている（計）」は『錦糸、太平、横川、業平』で38.3%となっている。一方、「できていない（計）」は『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で70.1%と最も高くなっている。



(2) 情報の入手方法

問17-1 何から情報入手していますか。(〇はあてはまるものすべて)

情報の入手方法については、「区報・社協だより」が58.4%、次いで「ホームページやSNS」が53.5%、「回覧板や町会の掲示板」が30.8%となっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【年代別】

年代別でみると、「区報・社協だより」は年代が上がるほど高くなっており、80代以上で85.0%となっている。「ホームページやSNS」は30代、50代で7割を超えており、80代以上で低くなっている。「回覧板や町会の掲示板」は80代以上で50.0%を超えており、他の年代と比べて高くなっている。「民生委員や近所の人に教えてもらう」は60代～80代以上で1割台と他の年代と比べて高くなっている。

【居住地域別】

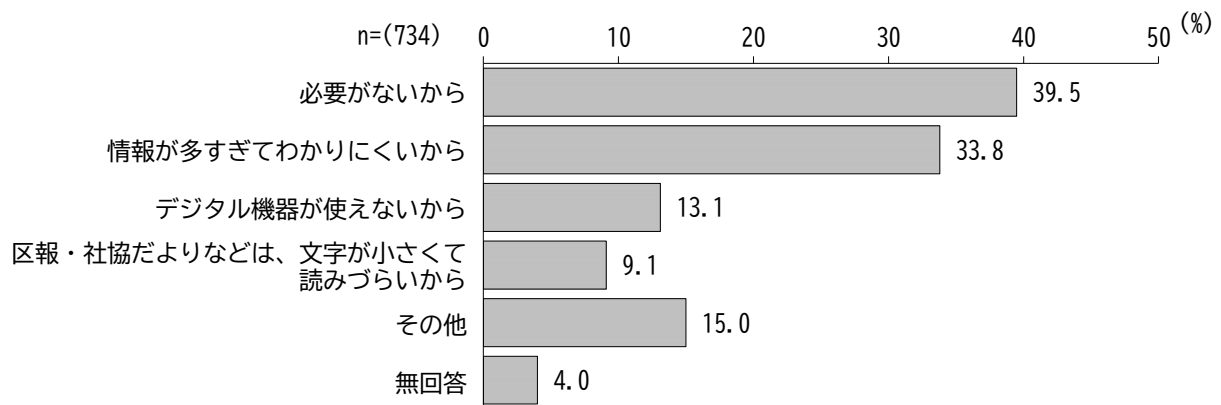
居住地域別でみると、「区報・社協だより」は『東向島六丁目、八広』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『錦糸、太平、横川、業平』で6割を超えており、他の地域と比べて高くなっている。「ホームページやSNS」は『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で68.3%となっている。「回覧板や町会の掲示板」は『立花、東墨田』で51.6%と他の地域と比べて高くなっている。「民生委員や近所の人に教えてもらう」は『立花、東墨田』、『押上、京島、文花』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』で1割台と他の地域と比べて高くなっている。

			(%)					
		n	区報・社協だより	ホームページやSNS	回覧板や町会の掲示板	民生委員や近所の人に教えてもらう	その他	無回答
全体		389	58.4	53.5	30.8	8.5	4.4	0.8
年代別	10・20代	20	20.0	75.0	25.0	5.0	-	-
	30代	56	39.3	71.4	23.2	3.6	1.8	-
	40代	52	44.2	61.5	28.8	5.8	5.8	-
	50代	75	57.3	70.7	18.7	4.0	1.3	1.3
	60代	66	66.7	53.0	33.3	10.6	7.6	1.5
	70代	76	73.7	38.2	40.8	13.2	5.3	-
	80代以上	40	85.0	5.0	50.0	15.0	7.5	2.5
居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	45	55.6	55.6	33.3	6.7	4.4	4.4
	東向島六丁目、八広	36	63.9	47.2	47.2	5.6	5.6	-
	立花、東墨田	31	48.4	58.1	51.6	16.1	3.2	-
	向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目	41	58.5	29.3	39.0	7.3	2.4	2.4
	押上、京島、文花	39	56.4	48.7	33.3	15.4	-	-
	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋	69	68.1	53.6	21.7	10.1	5.8	-
	錦糸、太平、横川、業平	61	60.7	57.4	26.2	8.2	4.9	-
	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋	63	52.4	68.3	19.0	1.6	6.3	-

(3) 情報を入手できない理由

問17-2 入手できない理由は何ですか。（○はあてはまるものすべて）

情報を入手できない理由については、「必要がないから」が39.5%、次いで「情報が多すぎてわかりにくいから」が33.8%となっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【年代別】

年代別でみると、「必要がないから」は10・20代で54.5%と他の年代と比べて高くなっている。「情報が多すぎてわかりにくいから」は60代で46.2%と他の年代と比べて高くなっている。「デジタル機器が使えないから」は年代が上がるほど高くなっており、80代以上で67.7%となっている。

【居住地域別】

居住地域別でみると、「必要がないから」は『錦糸、太平、横川、業平』で52.1%と他の地域と比べて高くなっている。「情報が多すぎてわかりにくいから」は『東向島六丁目、八広』で48.8%と他の地域と比べて高くなっている。「デジタル機器が使えないから」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『立花、東墨田』で2割台となっており、他の地域と比べて高くなっている。

		n	必要がないから	情報が多すぎてわかりにくいから	デジタル機器が使えないから	は、区報・文・社協だよりなどから読み	その他	無回答
全体		734	39.5	33.8	13.1	9.1	15.0	4.0
年代別	10・20代	101	54.5	30.7	2.0	6.9	10.9	5.0
	30代	154	44.8	32.5	2.6	5.2	21.4	2.6
	40代	136	47.1	34.6	2.9	3.7	17.6	1.5
	50代	118	43.2	32.2	7.6	10.2	16.1	2.5
	60代	91	25.3	46.2	14.3	17.6	14.3	2.2
	70代	92	22.8	29.3	44.6	14.1	7.6	10.9
	80代以上	31	16.1	29.0	67.7	16.1	-	6.5
	居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	75	38.7	28.0	25.3	12.0	9.3
東向島六丁目、八広		80	38.8	48.8	10.0	11.3	6.3	5.0
立花、東墨田		56	32.1	30.4	28.6	12.5	19.6	1.8
向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目		70	35.7	31.4	15.7	5.7	18.6	4.3
押上、京島、文花		69	31.9	34.8	14.5	8.7	17.4	4.3
横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋		128	45.3	34.4	6.3	2.3	18.8	3.9
錦糸、太平、横川、業平		94	52.1	24.5	6.4	6.4	17.0	3.2
両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋		152	36.8	35.5	10.5	13.8	13.2	3.3

（4）希望する情報発信方法

問17-3 どんな方法で発信すれば、情報を手に入れやすいですか。
ご自由にお書きください。

【主なご意見（抜粋）】

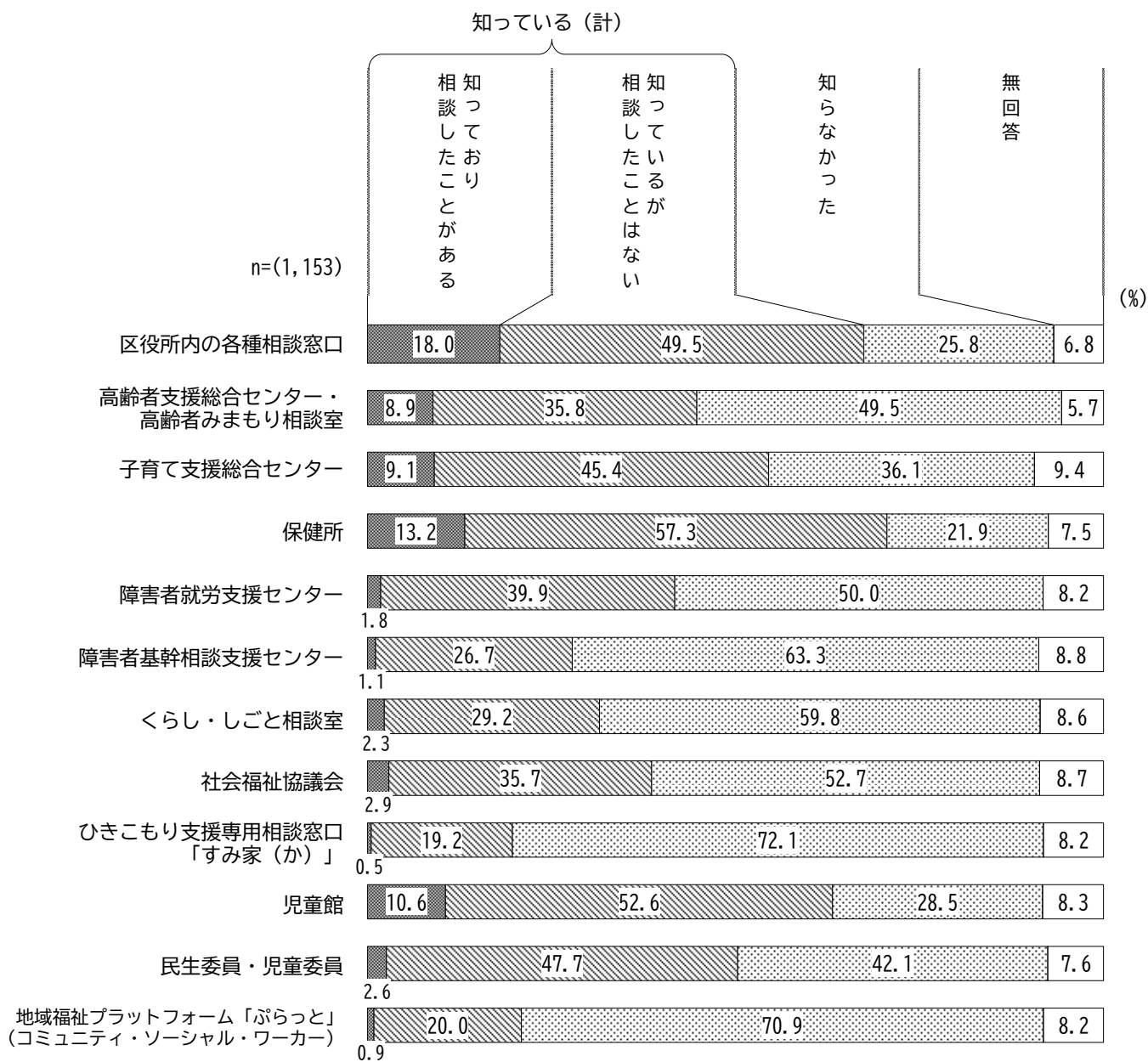
- ・「これを見ればわかる」というものを提示してほしい。区報+区のHPを確認しているが、情報が分散されているように感じます。
- ・必要な情報がわかりやすく入手できるように発信してほしい。デジタル化した情報をプッシュ型で提供してほしい。防災が身近になるような取組があると良いと思う。
- ・墨田区ホームページから該当する項目へチャット機能とAIを使用して振り分けてリンク先へつなげる。
- ・転入時にLINEなどの公式運営をしているアカウントに入るように伝え定期的に発信する。
- ・以前は区報を取り寄せていた（届くように）していたが、引越して届かなくなりアクセスしなくなったことが大きい。アプリやSNS（Instagram、Xなど）だとアクセスしやすい。
- ・わかりやすいタイトルでメール送信。
- ・多くの人目に触れる場所への掲示。（コンビニ、スーパー、駅、バス停等、生活に必要な場所、動線への掲示）
- ・地域には掲示板が多くあり、そこで情報を目にすることが多いので、デジタル掲示板アプリ等があればもっと手軽に見ることができると思う。
- ・外国人でもよくわかるようにしてほしい。
- ・区報とは別に、文字が大きく読みやすいパンフレット、チラシ等を作成していただけると助かります。

（5）相談場所の認知状況

問18 次の各種相談場所（相談できる人）を知っていますか。（○はそれぞれ1つだけ）

相談場所の認知状況については、「知っており相談したことがある」が「区役所内の各種相談窓口」で18.0%、「保健所」が13.2%となっており、「高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室」「子育て支援総合センター」「児童館」で1割前後となっている。

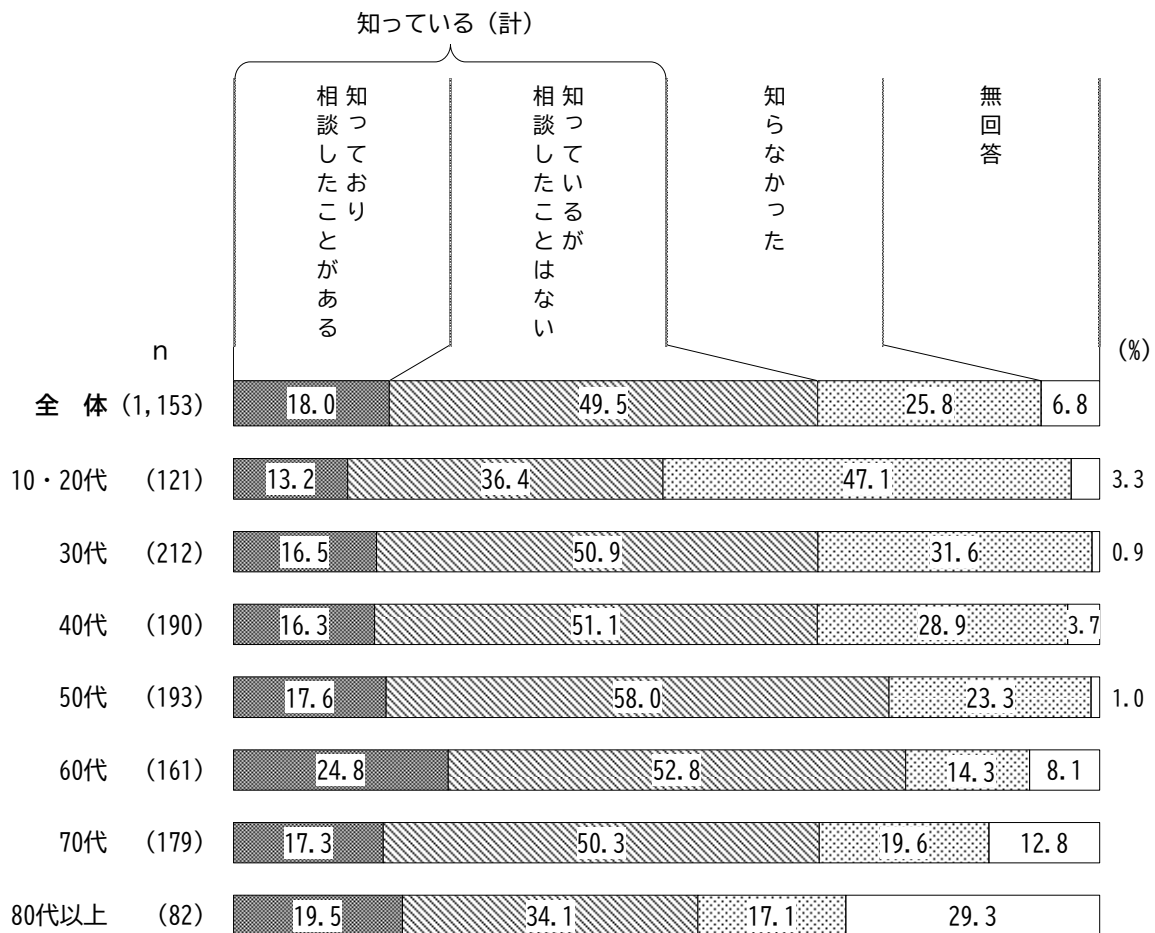
「知っているが相談したことはない」が保健所、児童館で5割台、区役所内の各種相談窓口、子育て支援総合センター、民生委員・児童委員で4割台となっている。一方、「知らなかった」がひきこもり支援専用相談窓口「すみ家（か）」、地域福祉プラットフォーム「ぷらっと」（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）で7割台、障害者基幹相談支援センターで6割台となっている。



<区役所内の各種相談窓口>

【年代別】

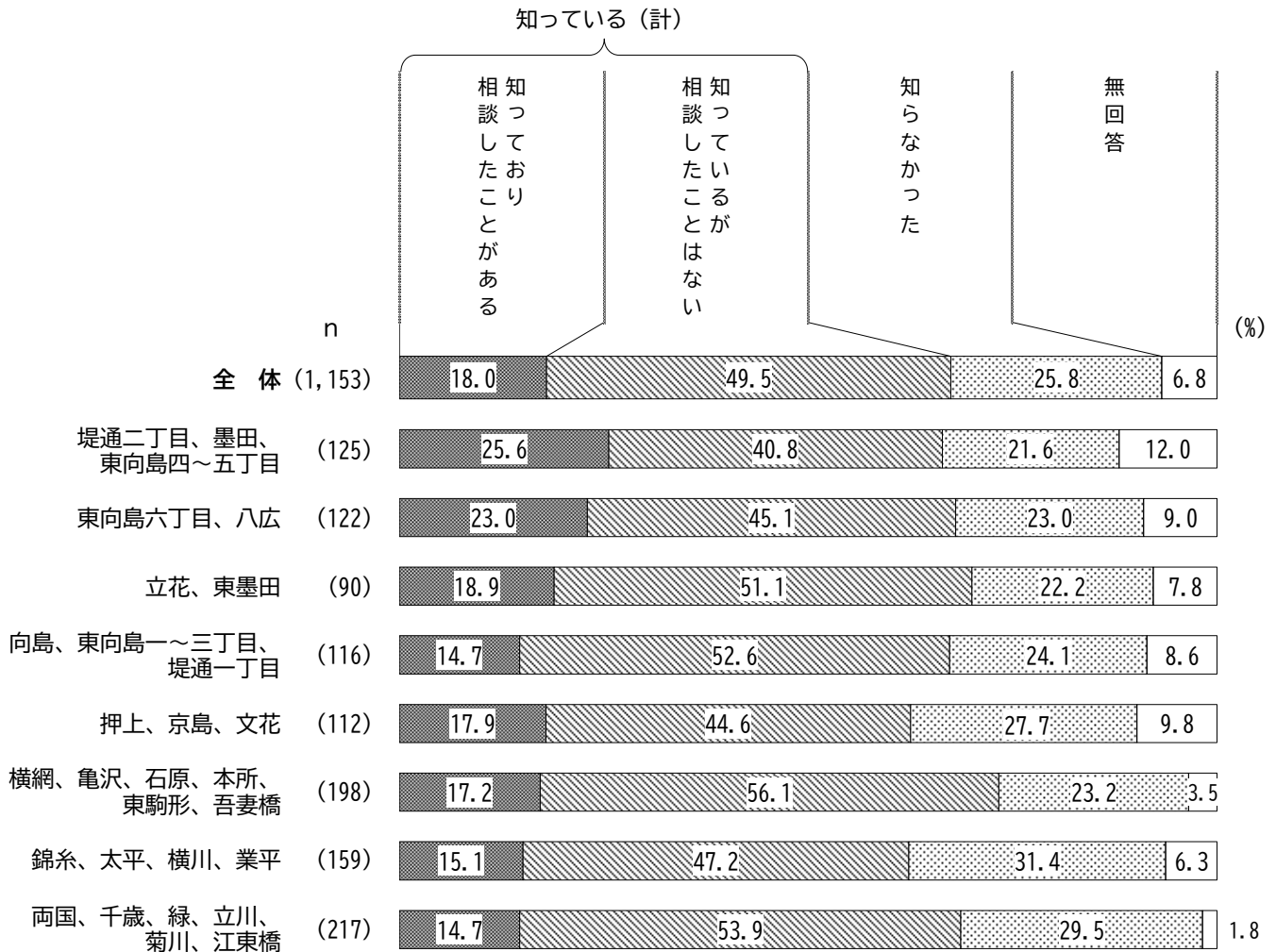
年代別で見ると、「知っており相談したことがある」は60代で24.8%となっており、他の年代と比べて高くなっている。「知っているが相談したことはない」は10・20代、80代以上を除くすべての年代で5割を超えている。「知っている（計）」は50代～60代で7割台となっている。一方、「知らなかった」は10・20代で47.1%と他の年代と比べて高くなっており、30代～40代で3割前後となっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【居住地域別】

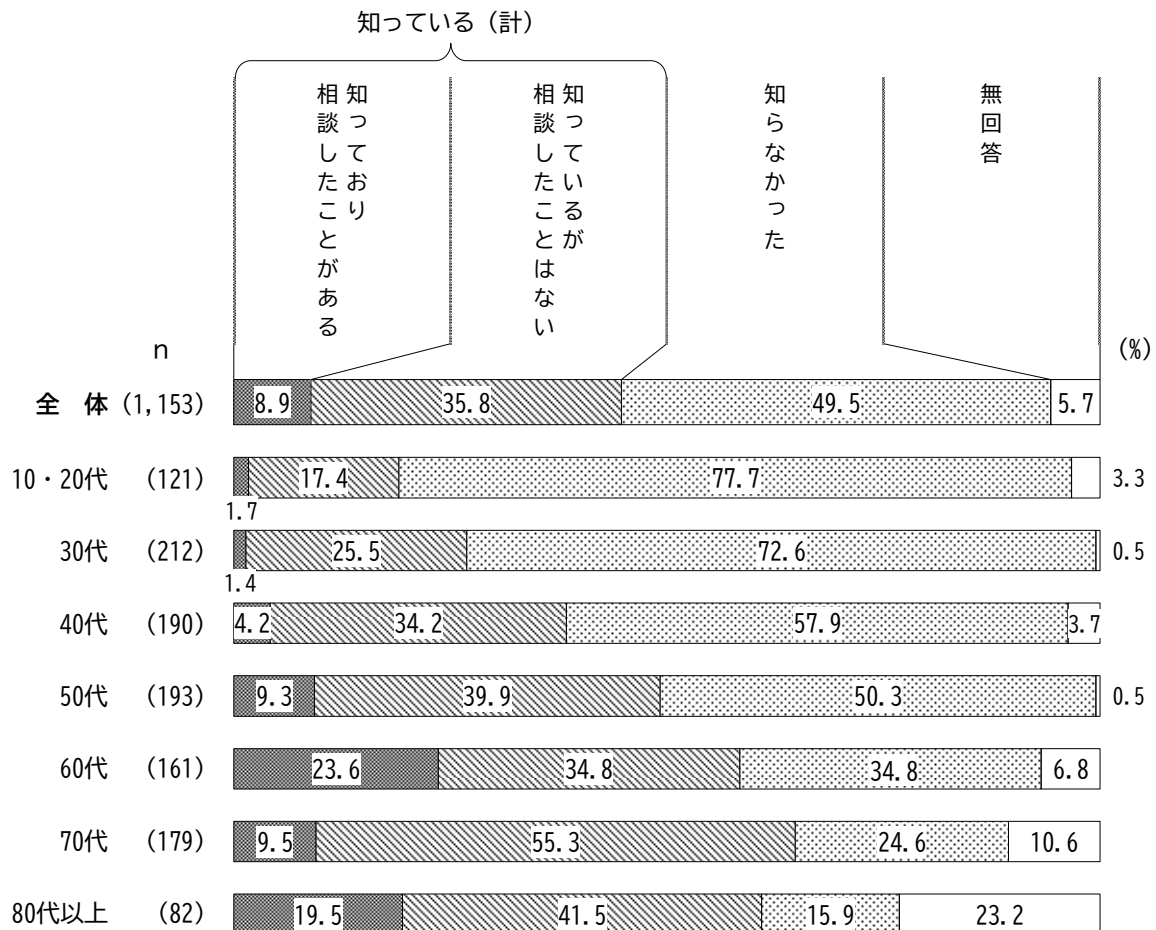
居住地域別でみると、「知っており相談したことがある」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『東向島六丁目、八広』で2割台となっており、他の地域と比べて高くなっている。「知っている（計）」は『立花、東墨田』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』で7割台となっている。一方、「知らなかった」は『錦糸、太平、横川、業平』で31.4%と他の地域と比べて高くなっている。



<高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室>

【年代別】

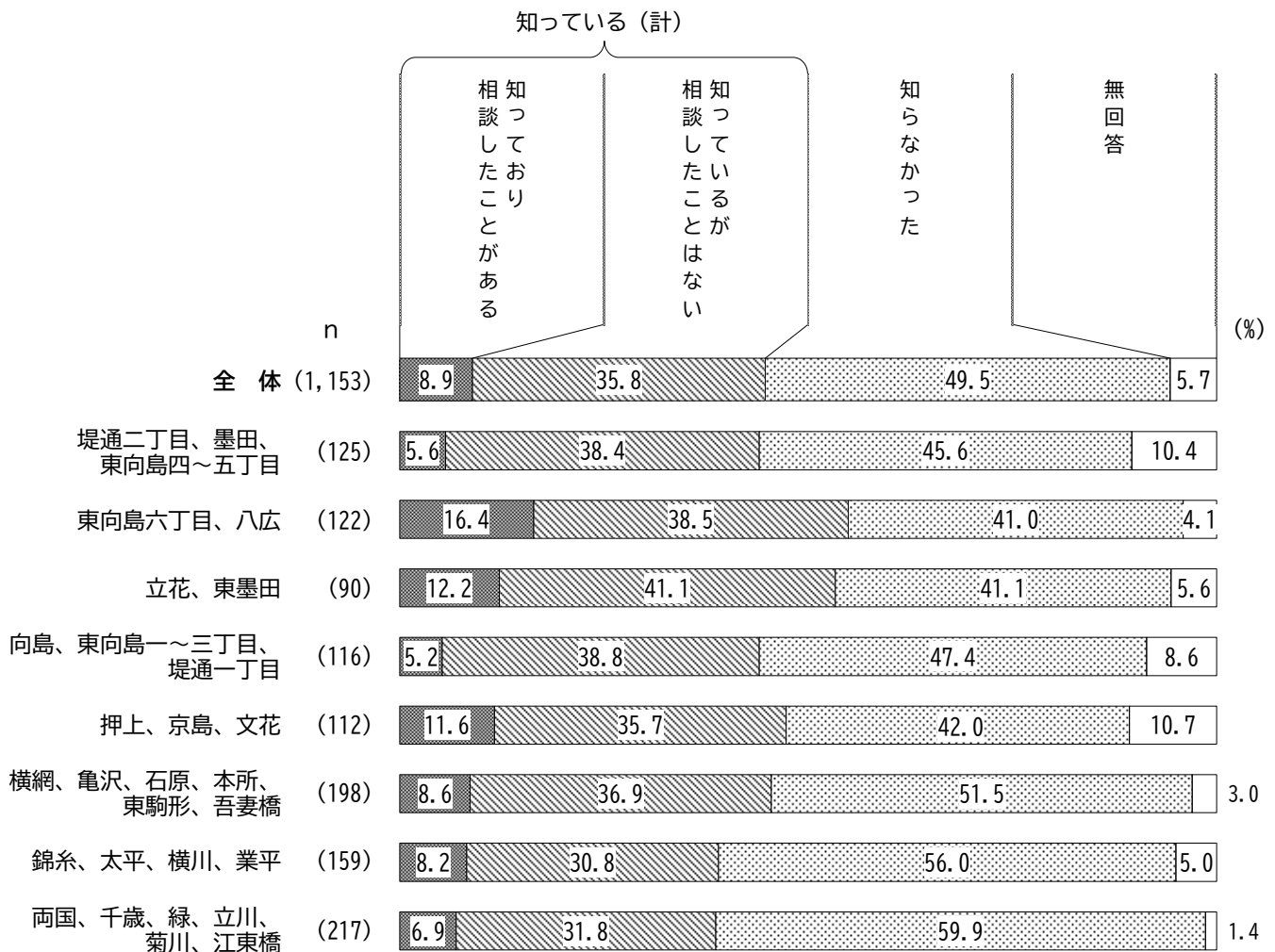
年代別で見ると、「知っており相談したことがある」は60代で23.6%と他の年代と比べて高くなっており、80代以上で19.5%となっている。「知っているが相談したことはない」は70代で55.3%と最も高く、10・20代で17.4%と最も低くなっている。「知っている（計）」は70代～80代以上で6割台となっており、他の年代と比べて高くなっている。一方、「知らなかった」は年代が上がるほど低くなっており、10・20代～30代で7割台を占めている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【居住地域別】

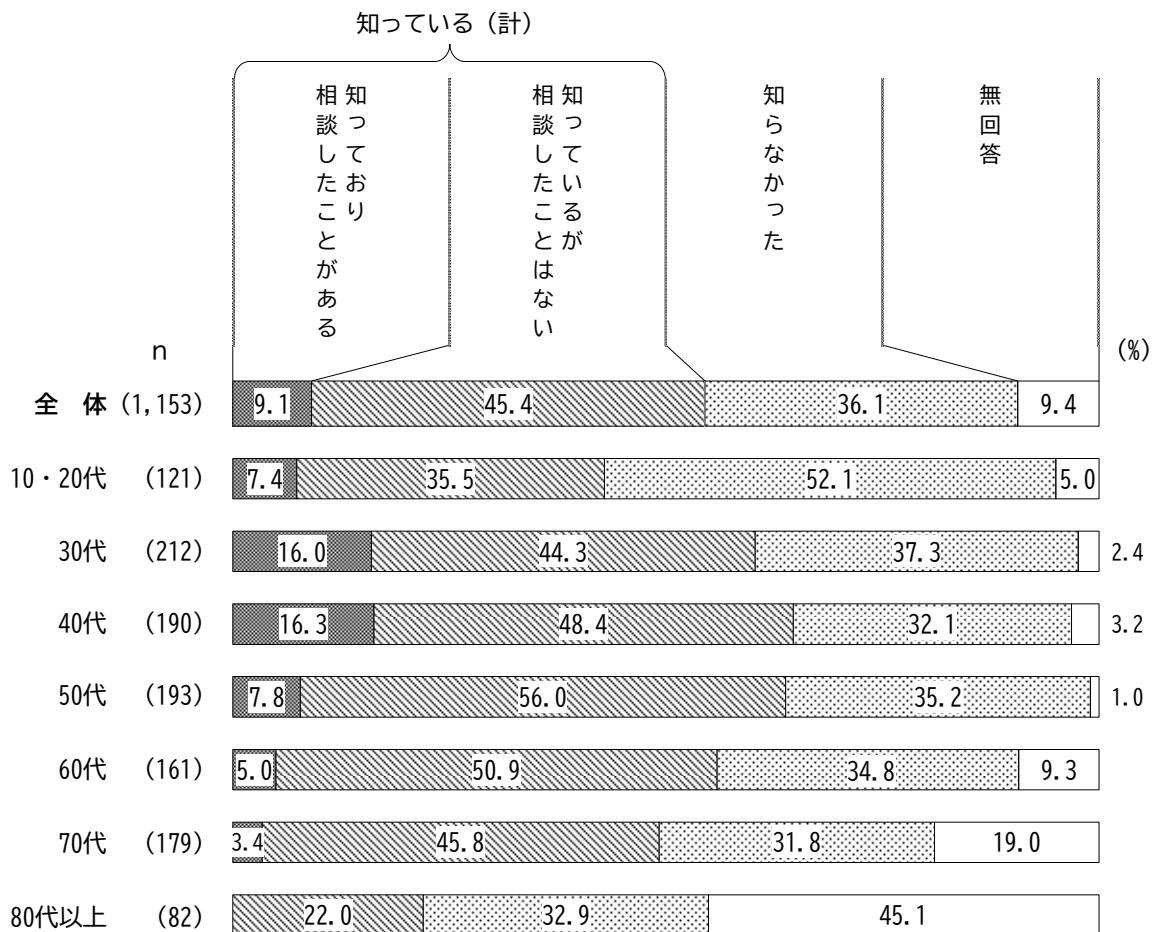
居住地域別でみると、「知っており相談したことがある」は『東向島六丁目、八広』、『立花、東墨田』、『押上、京島、文花』で1割台となっており、他の地域と比べて高くなっている。「知っている（計）」は『東向島六丁目、八広』、『立花、東墨田』で5割台となっており、他の地域と比べて高くなっている。一方、「知らなかった」は『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『錦糸、太平、横川、業平』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で5割を超えており、他の地域と比べて高くなっている。



<子育て支援総合センター>

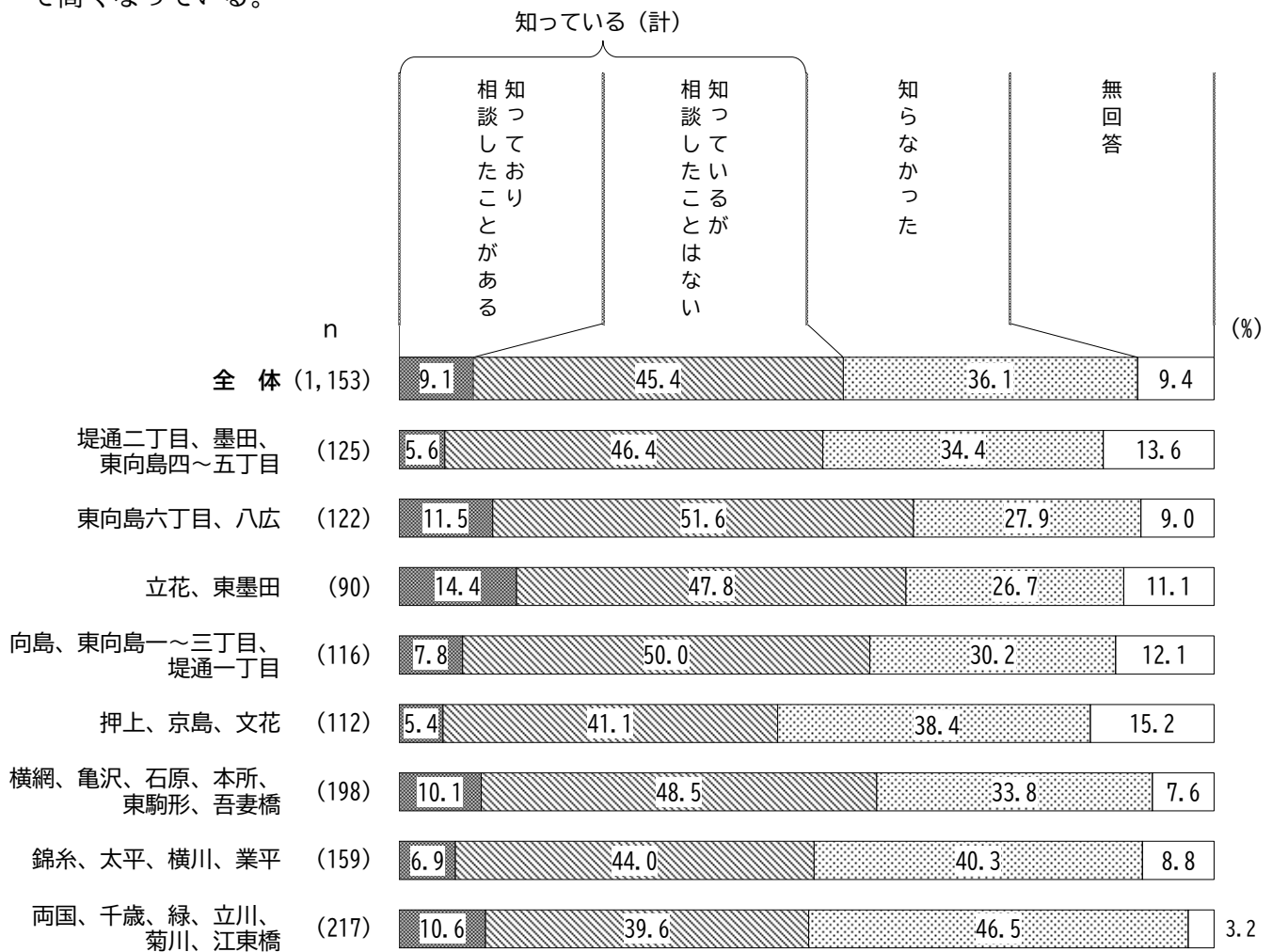
【年代別】

年代別で見ると、「知っており相談したことがある」は30代～40代で1割台となっている。「知っているが相談したことはない」は50代～60代で5割を超えている。「知っている（計）」は30代～50代で6割台となっており、他の年代と比べて高くなっている。一方、「知らなかった」は10・20代で52.1%と他の年代と比べて高くなっている。



【居住地域別】

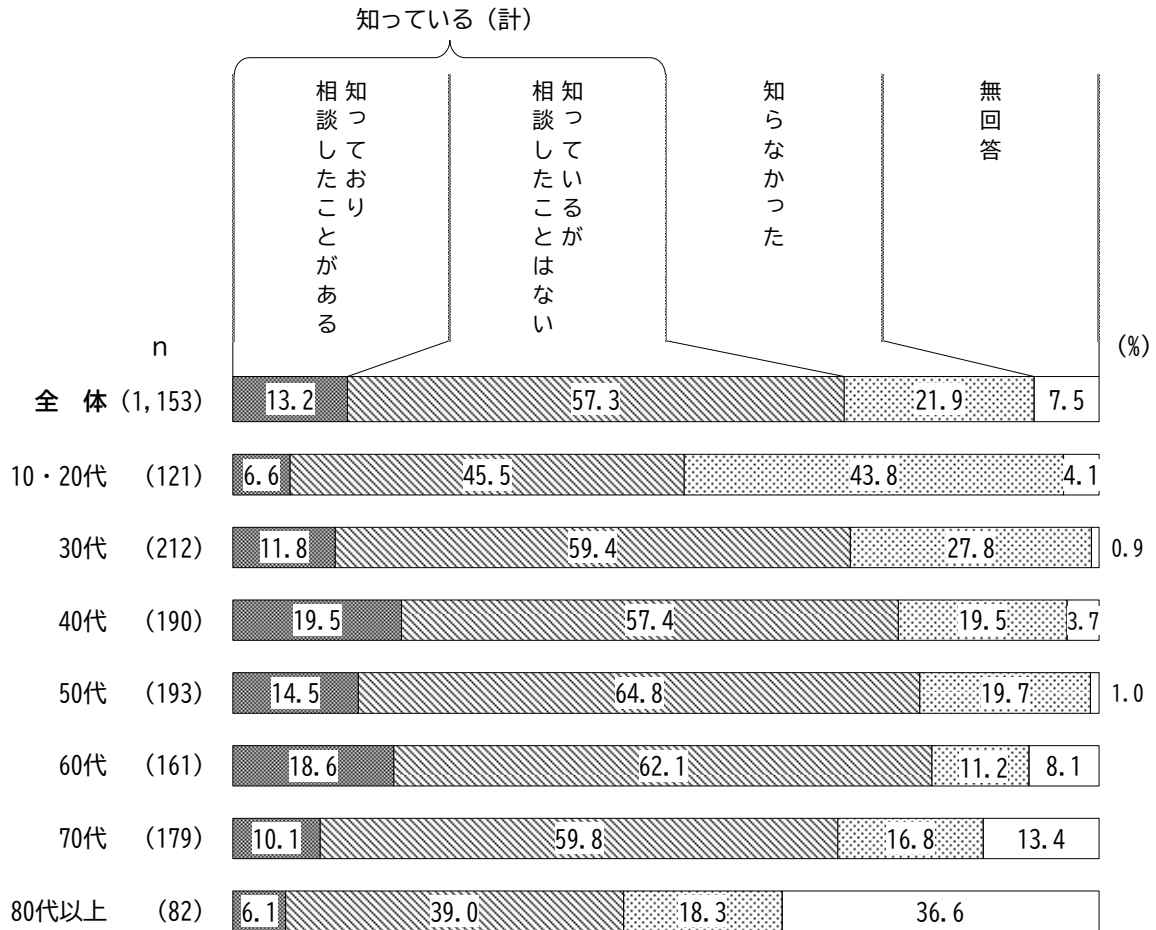
居住地域別でみると、「知っており相談したことがある」は『東向島六丁目、八広』、『立花、東墨田』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で1割台となっており、他の地域と比べて高くなっている。「知っているが相談したことはない」は『東向島六丁目、八広』、『向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目』で5割を超えており、他の地域と比べて高くなっている「知っている（計）」は『東向島六丁目、八広』、『立花、東墨田』で6割台となっており、他の地域と比べて高くなっている。一方、「知らなかった」は『錦糸、太平、横川、業平』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で4割台となっており、他の地域と比べて高くなっている。



<保健所>

【年代別】

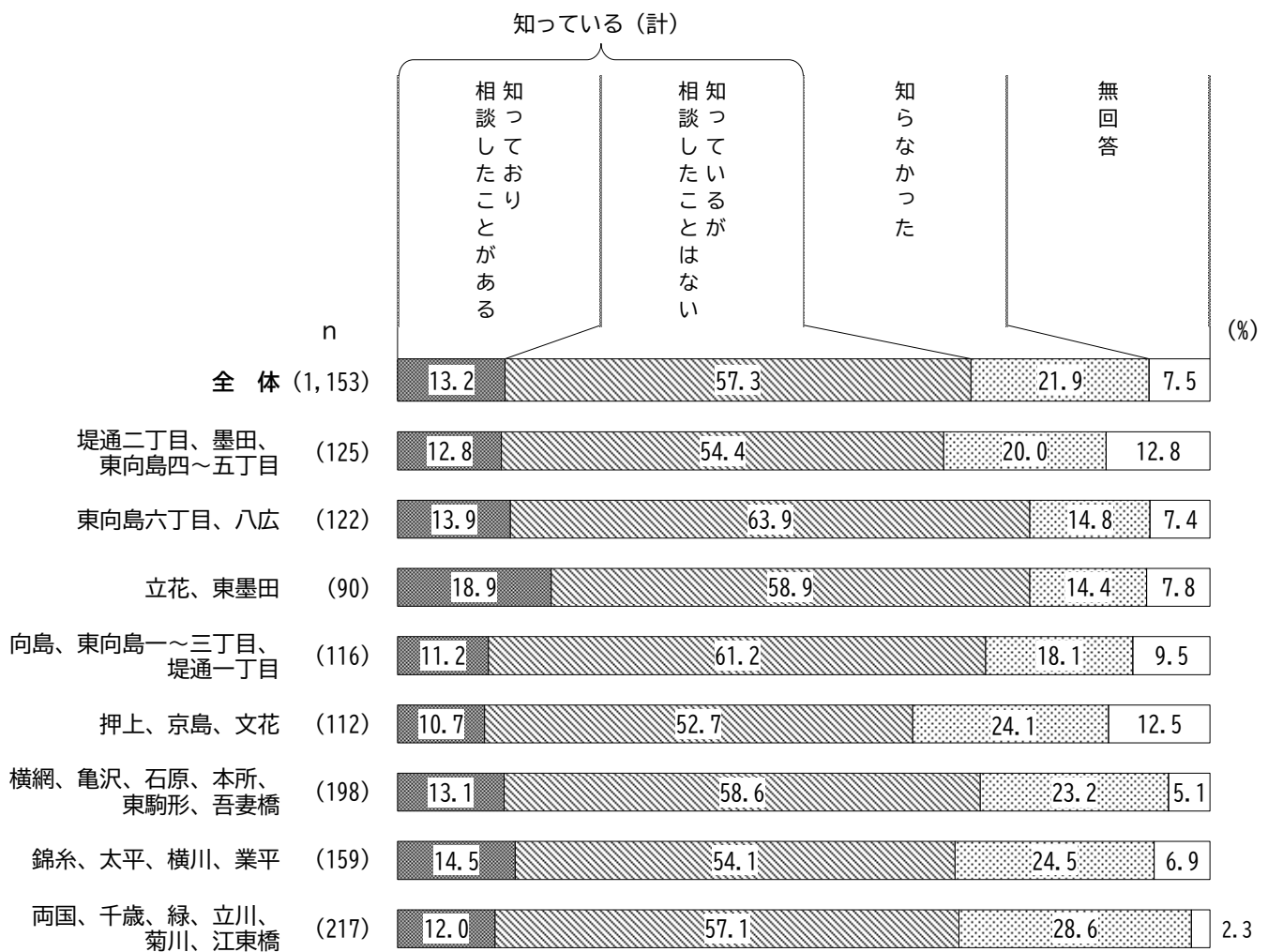
年代別でみると、「知っており相談したことがある」は40代、60代で19%程度となっている。「知っているが相談したことはない」は50代～60代で6割台となっている。「知っている（計）」は60代で80.7%となっている。一方、「知らなかった」は10・20代で43.8%と他の年代と比べて高くなっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【居住地域別】

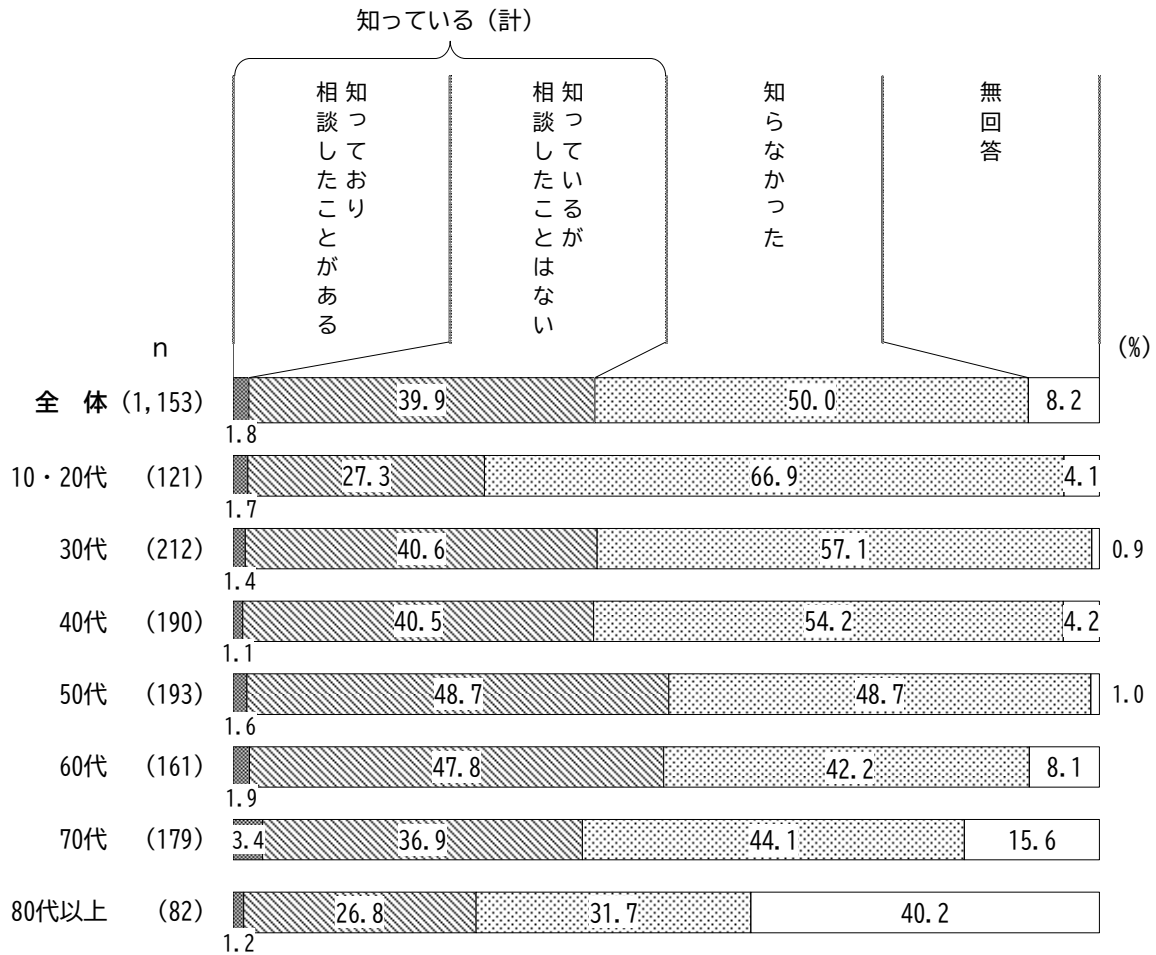
居住地域別でみると、「知っており相談したことがある」はすべての地域で1割台となっており、『立花、東墨田』で18.9%となっている。「知っているが相談したことはない」はすべての地域で5割を超えており、『東向島六丁目、八広』で63.9%と最も高くなっている。「知っている（計）」は『東向島六丁目、八広』、『立花、東墨田』、『向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』で7割台となっている。一方、「知らなかった」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『押上、京島、文花』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『錦糸、太平、横川、業平』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で2割台となっている。



<障害者就労支援センター>

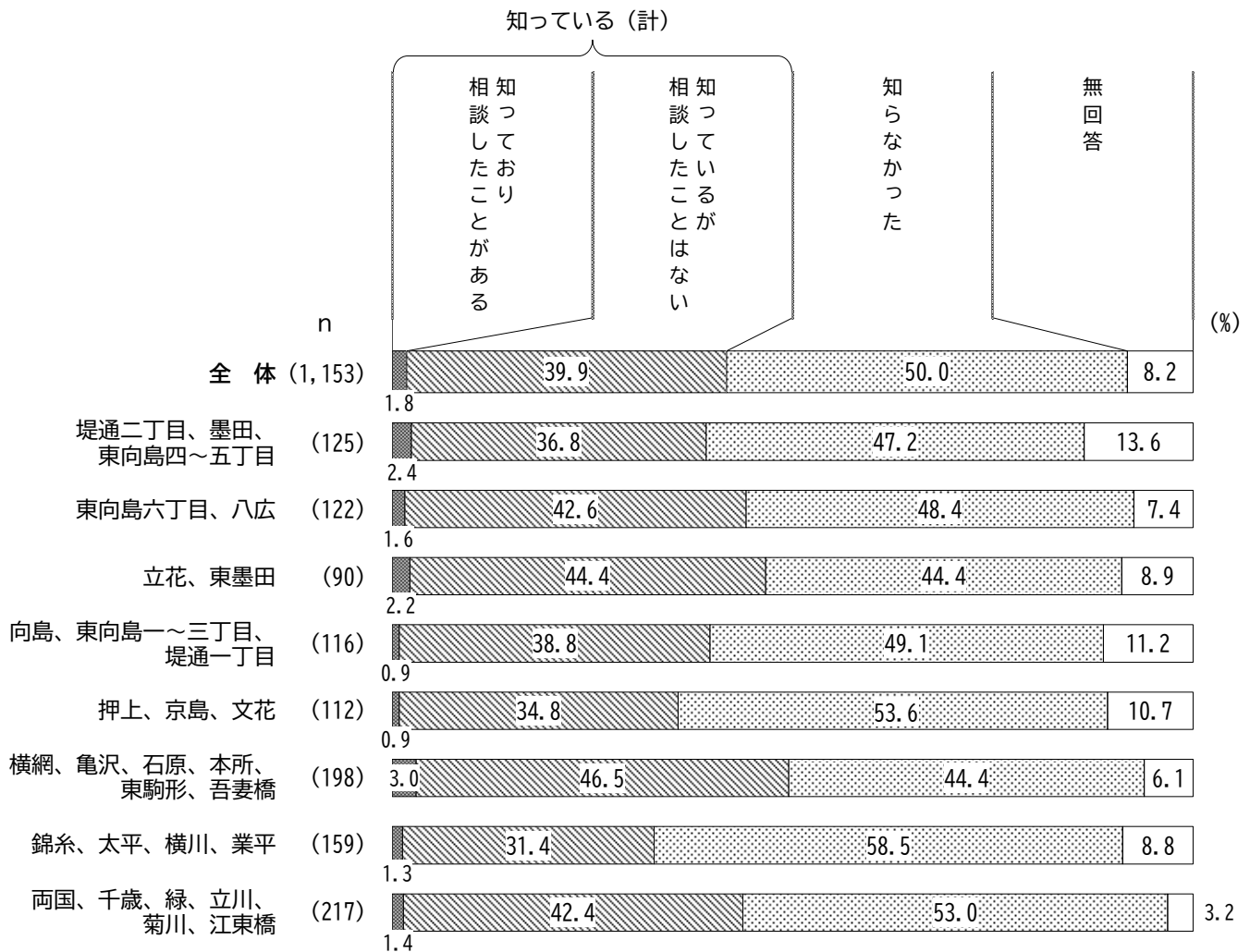
【年代別】

年代別でみると、「知っているが相談したことはない」は30代～60代で4割台となっており、50代～60代で48%前後となっている。「知っている（計）」は50代で50.3%となっている。一方、「知らなかった」は10・20代で66.9%となっており、30代～40代で5割台となっている。



【居住地域別】

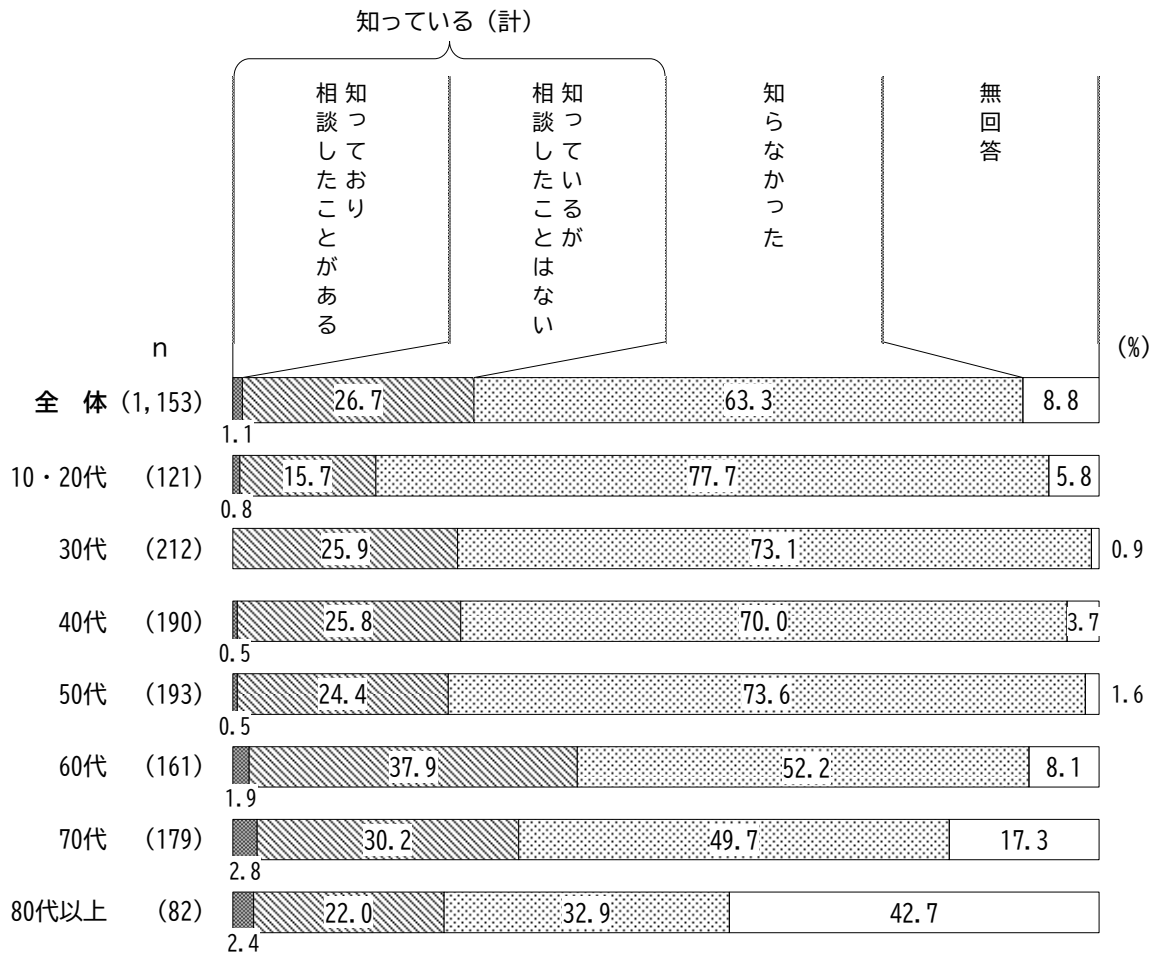
居住地域別でみると、「知っているが相談したことはない」は『東向島六丁目、八広』、『立花、東墨田』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で4割台となっている。「知っている（計）」は『東向島六丁目、八広』、『立花、東墨田』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で4割台となっている。一方、「知らなかった」は『押上、京島、文花』、『錦糸、太平、横川、業平』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で5割を超えている。



<障害者基幹相談支援センター>

【年代別】

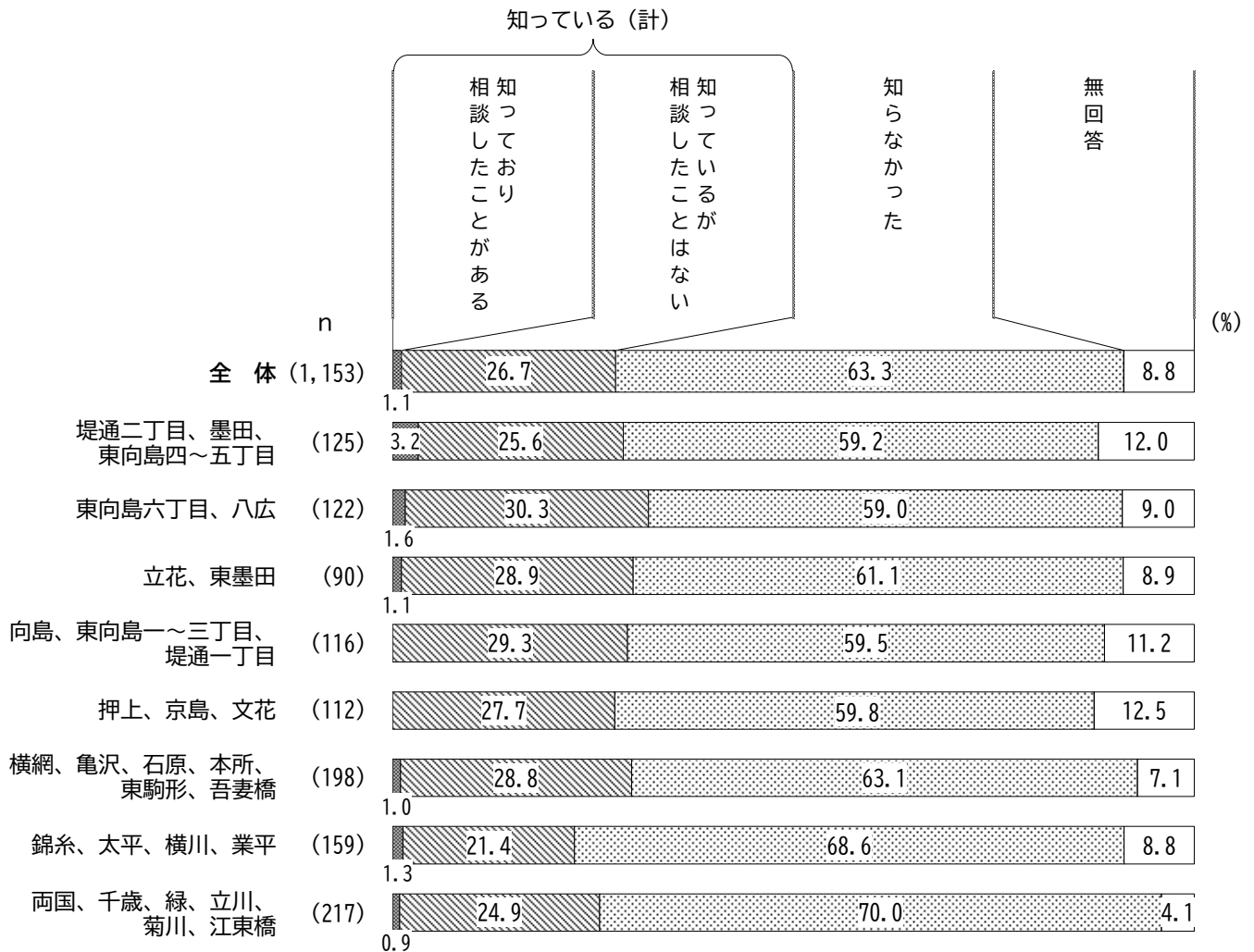
年代別で見ると、「知っているが相談したことはない」は60代～70代で3割台となっており、10・20代で15.7%となっている。「知っている（計）」は60代～70代で3割台となっている。一方、「知らなかった」は10・20代～50代で7割を占めている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【居住地域別】

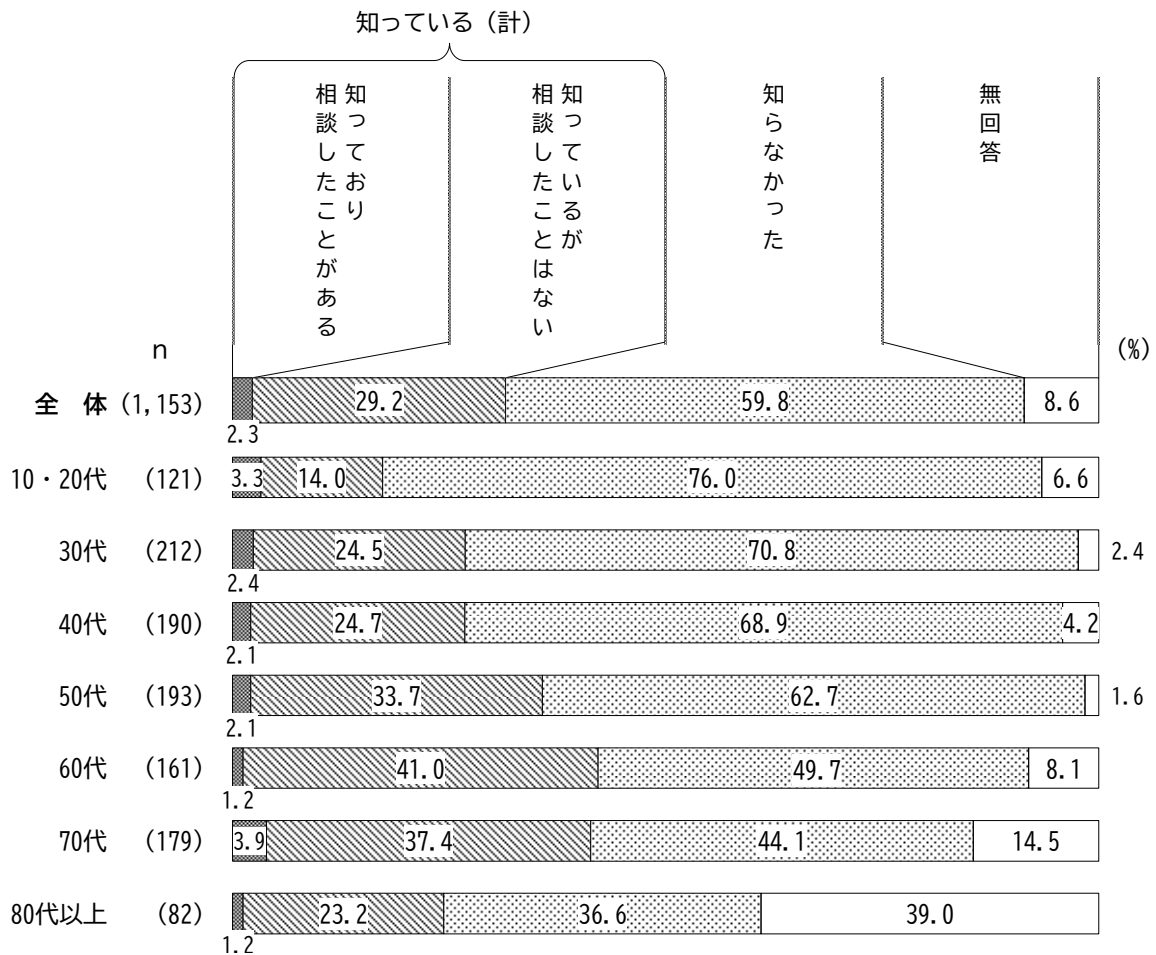
居住地域別でみると、「知っているが相談したことはない」は『東向島六丁目、八広』で30.3%となっている。一方、「知らなかった」はすべての地域で5割を超えており、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で70.0%となっている。



<くらし・しごと相談室>

【年代別】

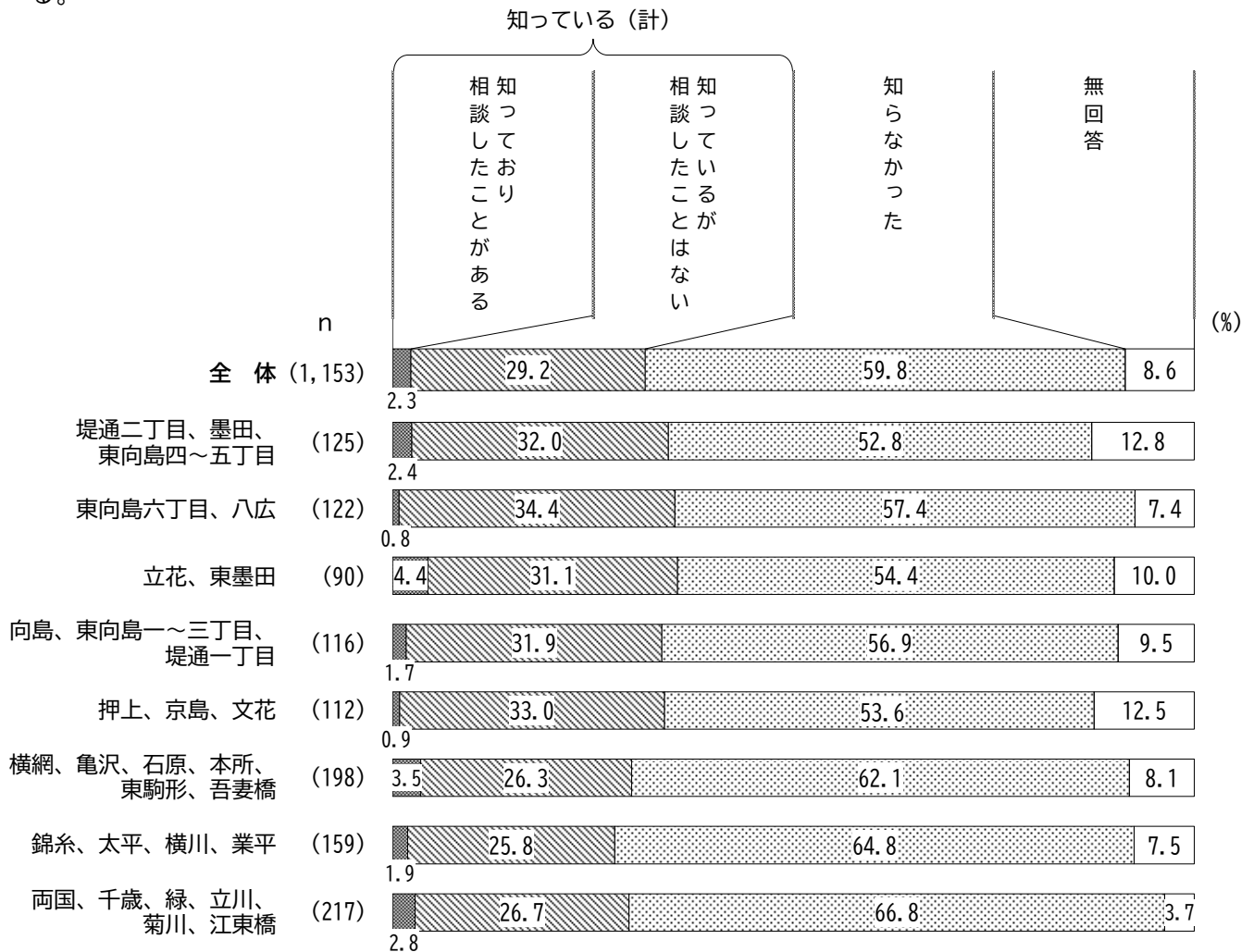
年代別で見ると、「知っているが相談したことはない」は60代で41.0%となっており、他の年代と比べて高くなっている。「知っている（計）」は60代～70代で4割台となっている。一方、「知らなかった」は年代が上がるほど低くなっており、10・20代～30代で7割を超えている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【居住地域別】

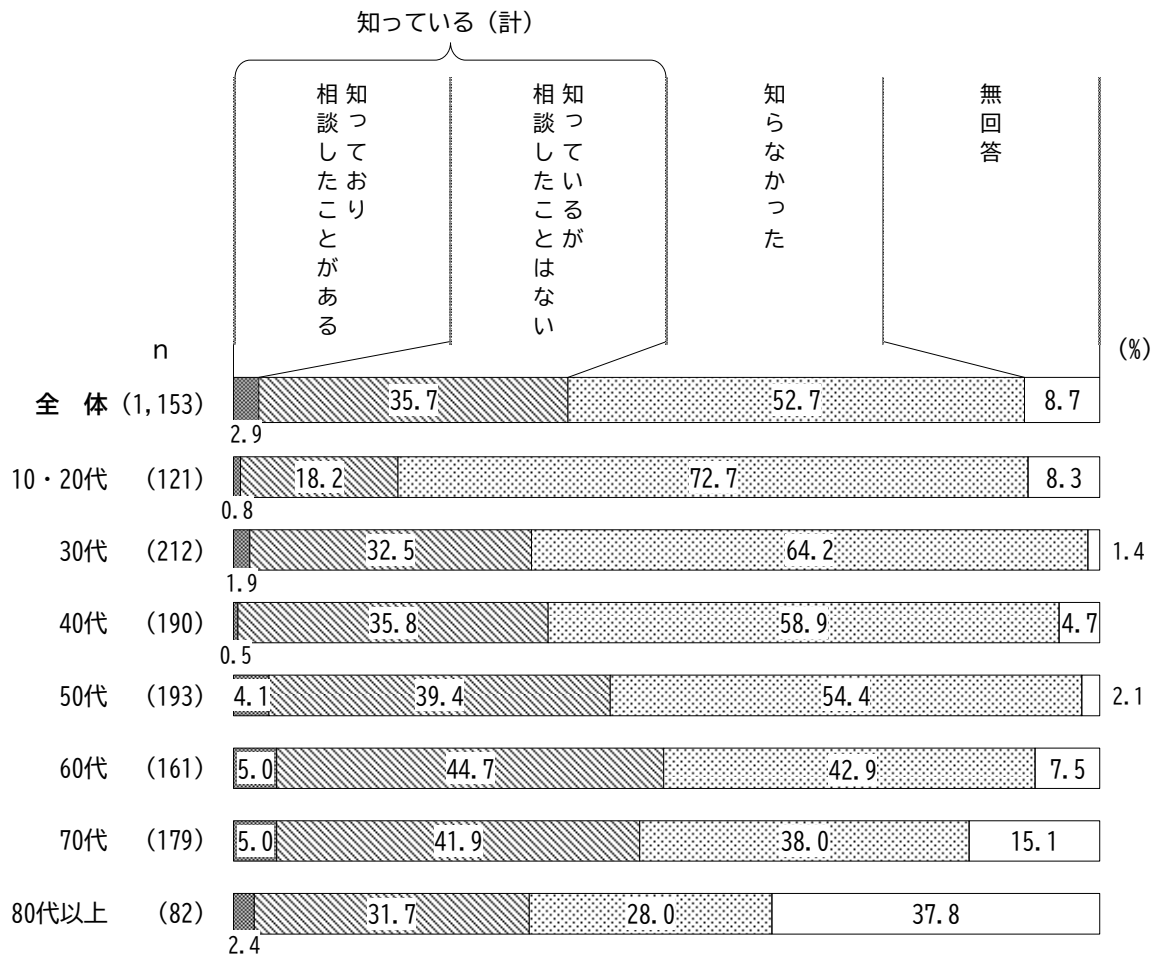
居住地域別でみると、「知っている（計）」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『東向島六丁目、八広』、『立花、東墨田』、『向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目』、『押上、京島、文花』で3割台となっている。一方、「知らなかった」は『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『錦糸、太平、横川、業平』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で6割台となっている。



<社会福祉協議会>

【年代別】

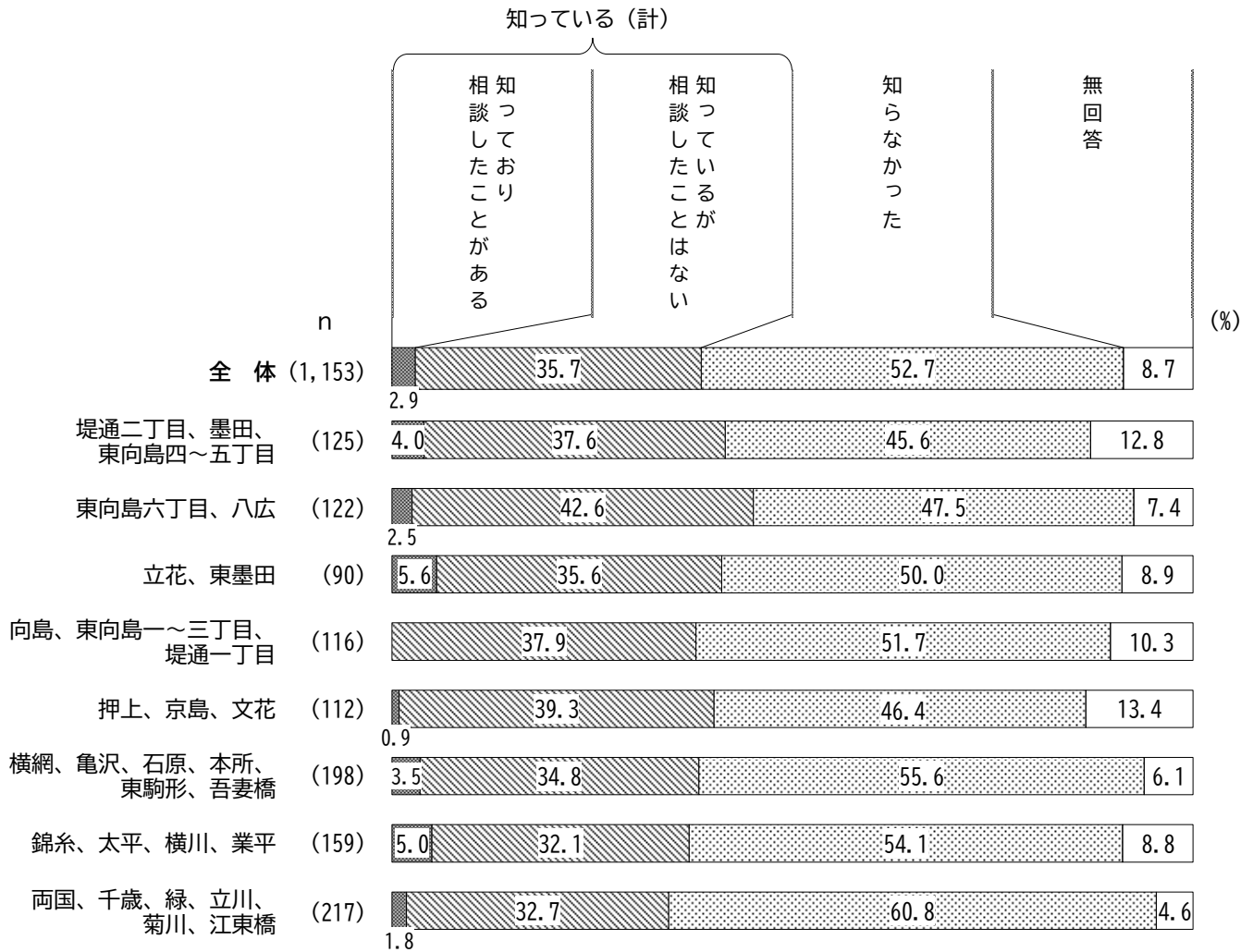
年代別で見ると、「知っているが相談したことはない」は60代～70代で4割台となっており、他の年代と比べて高くなっている。一方、「知らなかった」は10・20代で72.7%、30代で64.2%となっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【居住地域別】

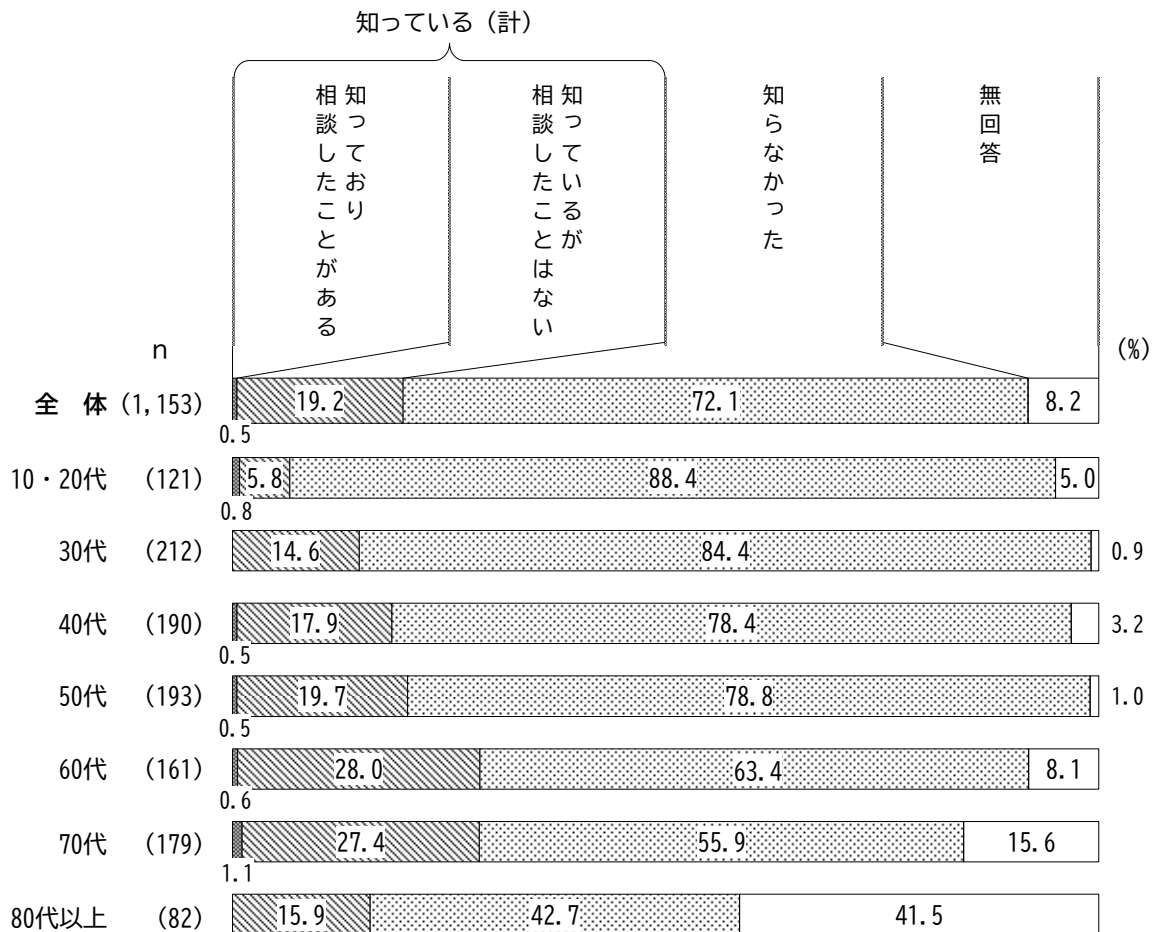
居住地域別でみると、「知っているが相談したことはない」は『東向島六丁目、八広』で42.6%と他の地域と比べて高くなっている。一方、「知らなかった」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『東向島六丁目、八広』、『押上、京島、文花』を除くすべての地域で5割を超えており、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で60.8%となっている。



<ひきこもり支援専用相談窓口「すみ家（か）」>

【年代別】

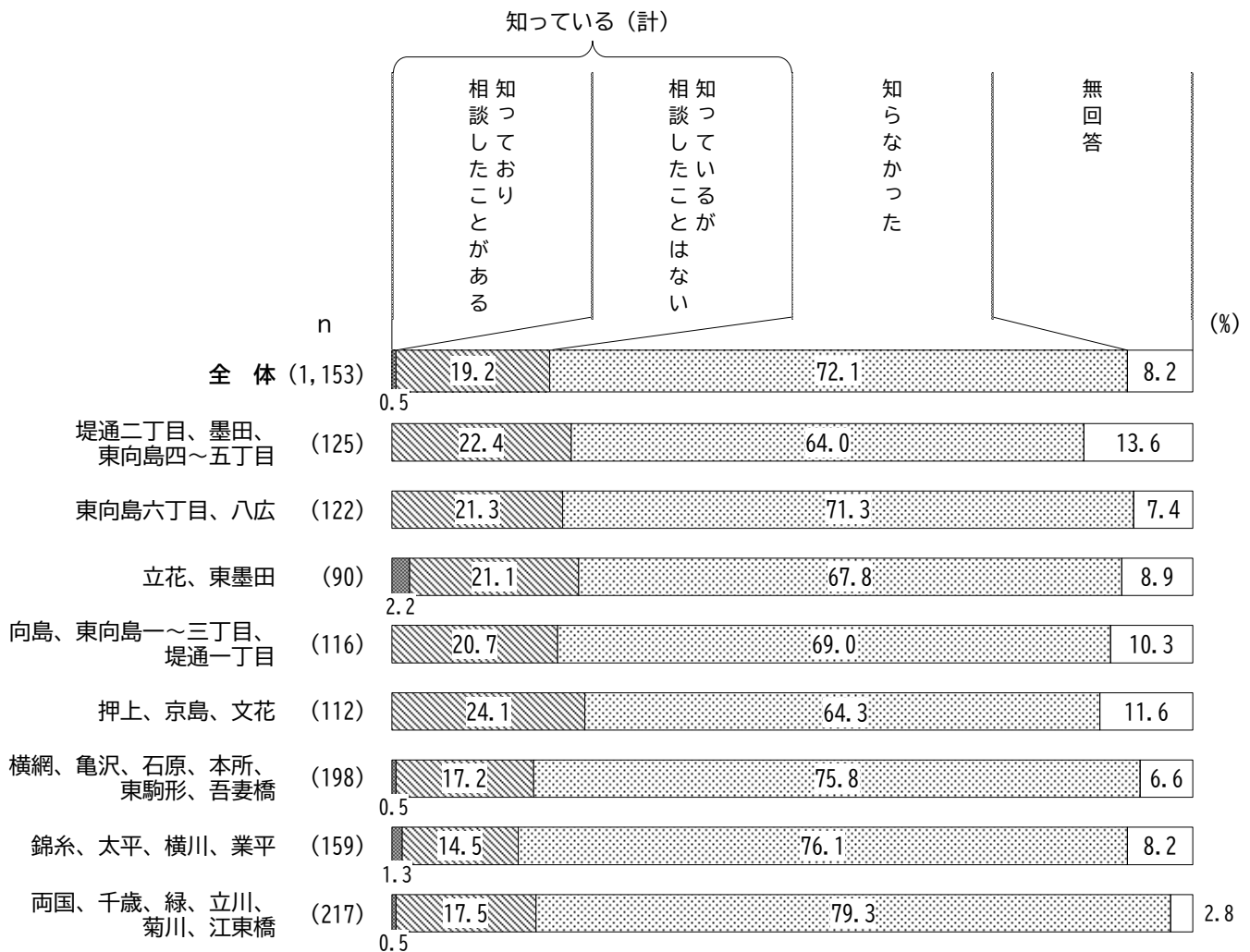
年代別で見ると、「知っているが相談したことはない」は60代～70代で2割台と他の年代と比べて高くなっている。「知っている（計）」は60代～70代で28%程度となっている。一方、「知らなかった」は80代以上を除くすべての年代で5割を超えており、10・20代～30代で8割台となっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【居住地域別】

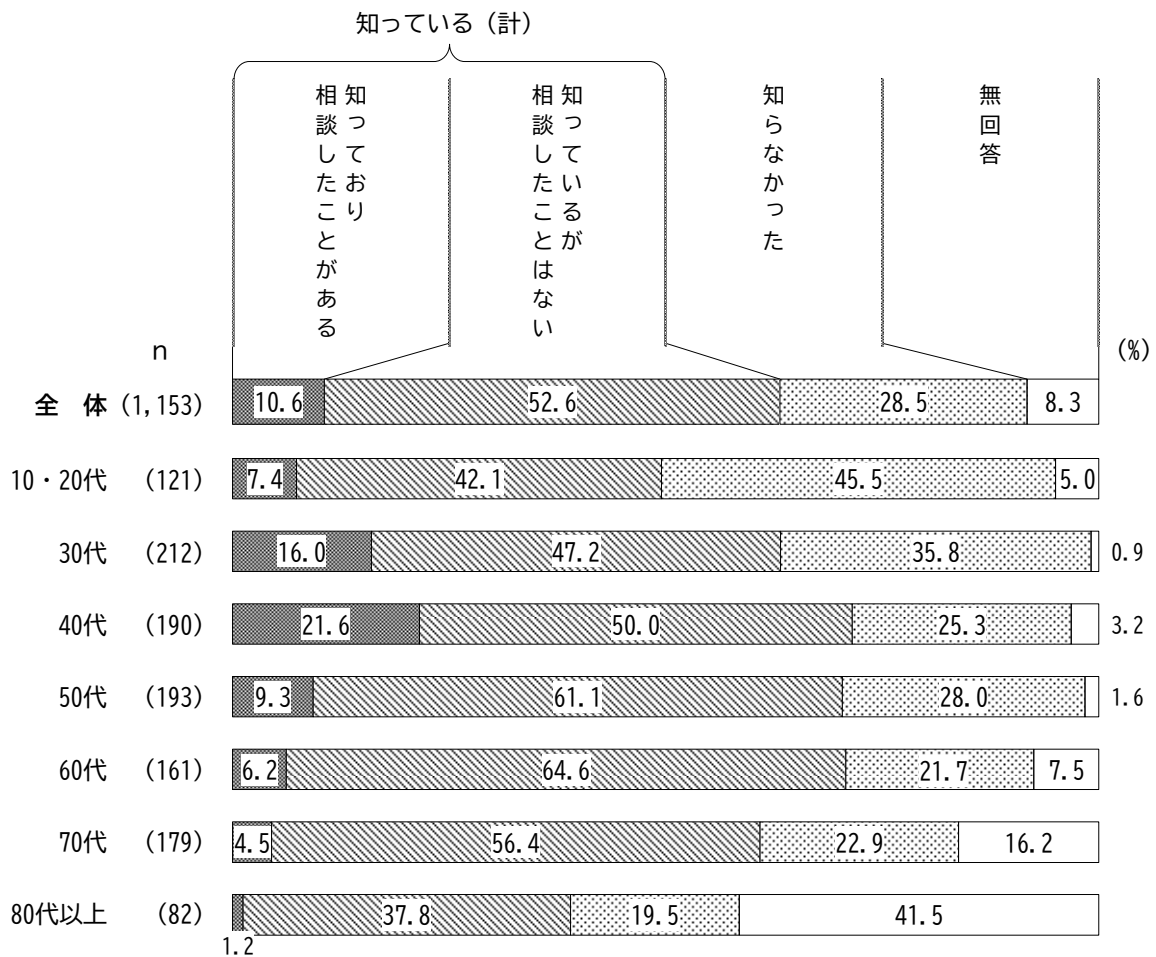
居住地域別でみると、「知っているが相談したことはない」は『堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目』、『東向島六丁目、八広』、『立花、東墨田』、『向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目』、『押上、京島、文花』で2割台となっている。一方、「知らなかった」はすべての地域で6割を超えており、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で79.3%となっている。



<児童館>

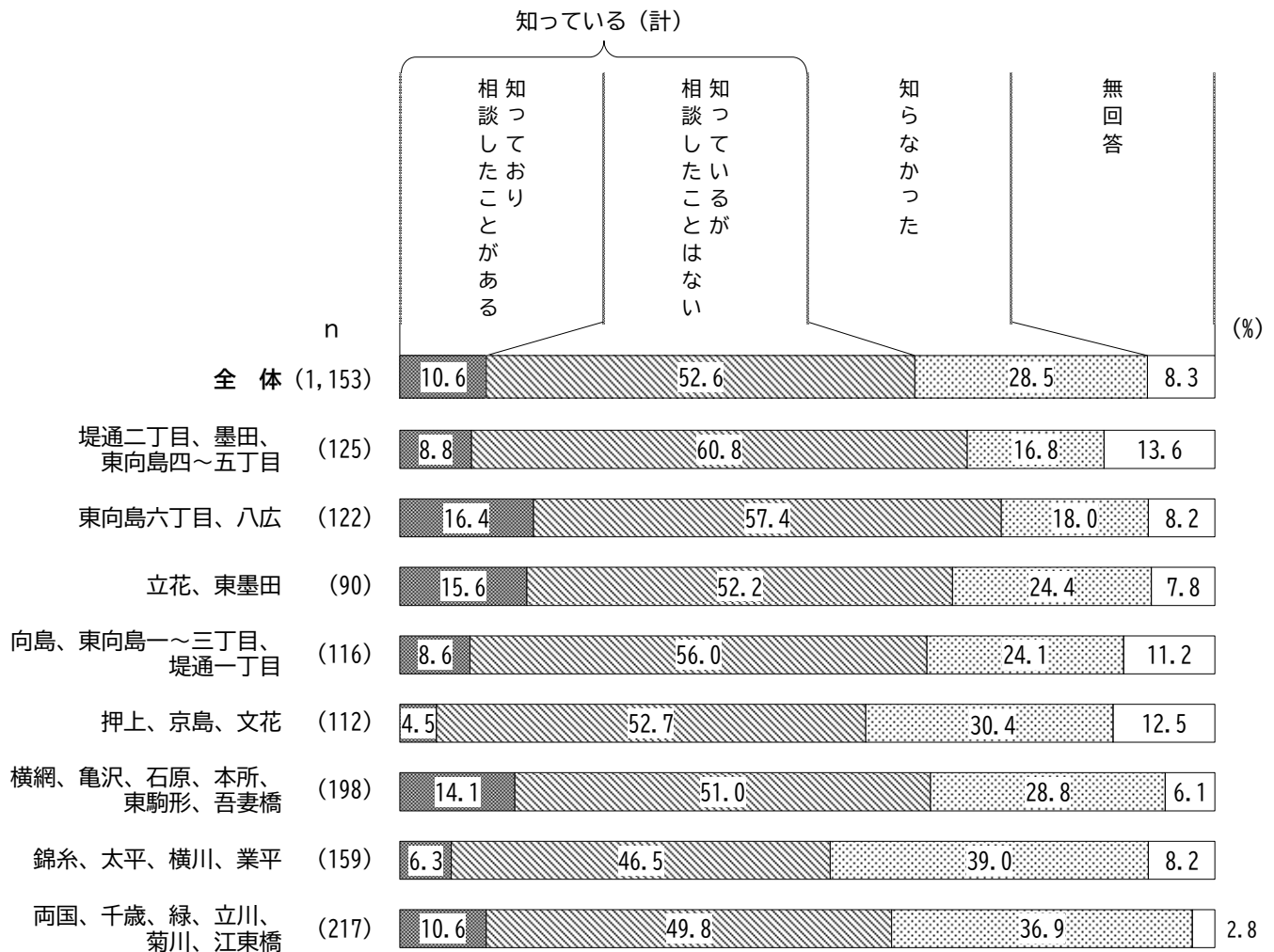
【年代別】

年代別で見ると、「知っており相談したことがある」は40代で21.6%、30代で16.0%と他の年代と比べて高くなっている。「知っているが相談したことはない」は40代～70代で5割を超えており、60代で64.6%となっている。「知っている（計）」は40代～60代で7割台となっている。一方、「知らなかった」は10・20代で45.5%と他の年代と比べて高くなっている。



【居住地域別】

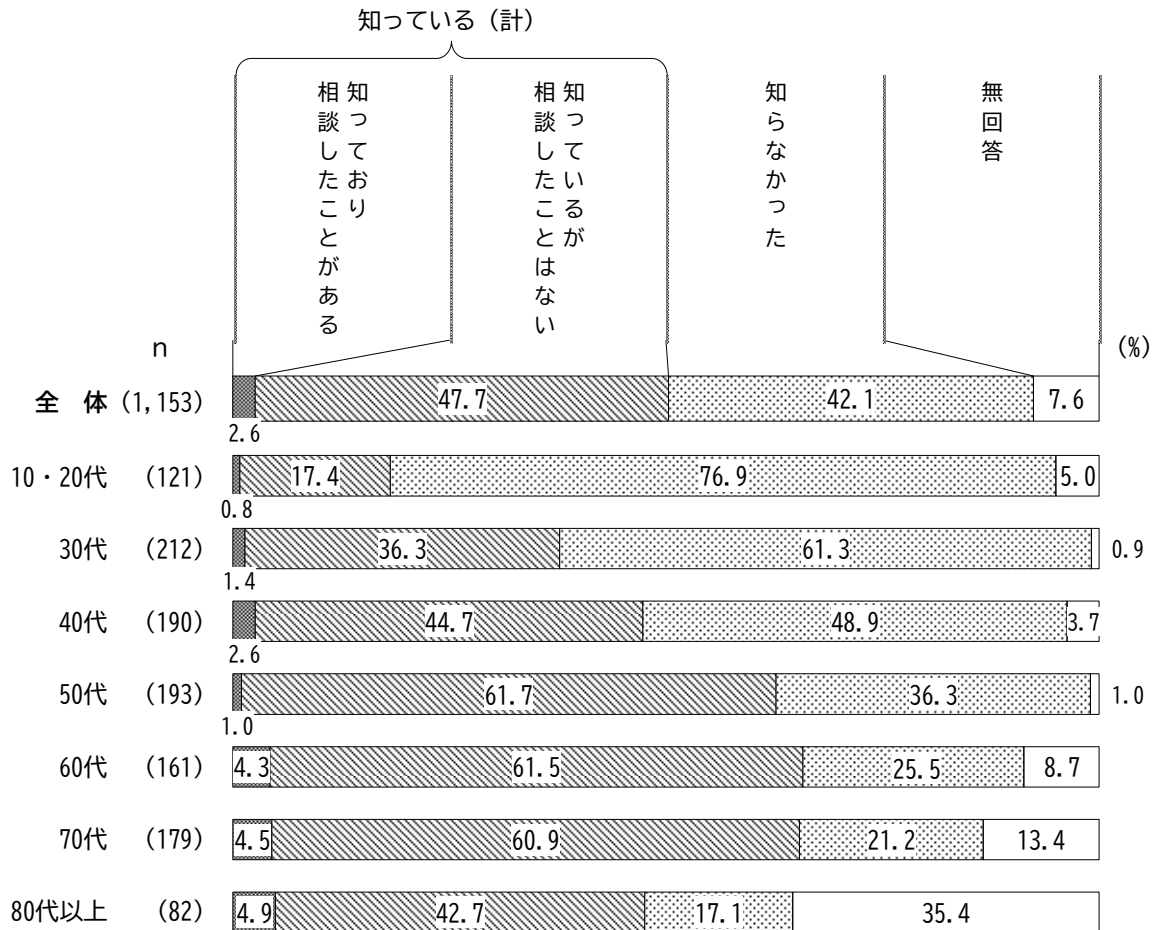
居住地域別でみると、「知っており相談したことがある」は『東向島六丁目、八広』、『立花、東墨田』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で1割台となっており、他の地域と比べて高くなっている。「知っている（計）」は『東向島六丁目、八広』で73.8%となっている。一方、「知らなかった」は『押上、京島、文花』、『錦糸、太平、横川、業平』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で3割台と他の地域と比べて高くなっている。



<民生委員・児童委員>

【年代別】

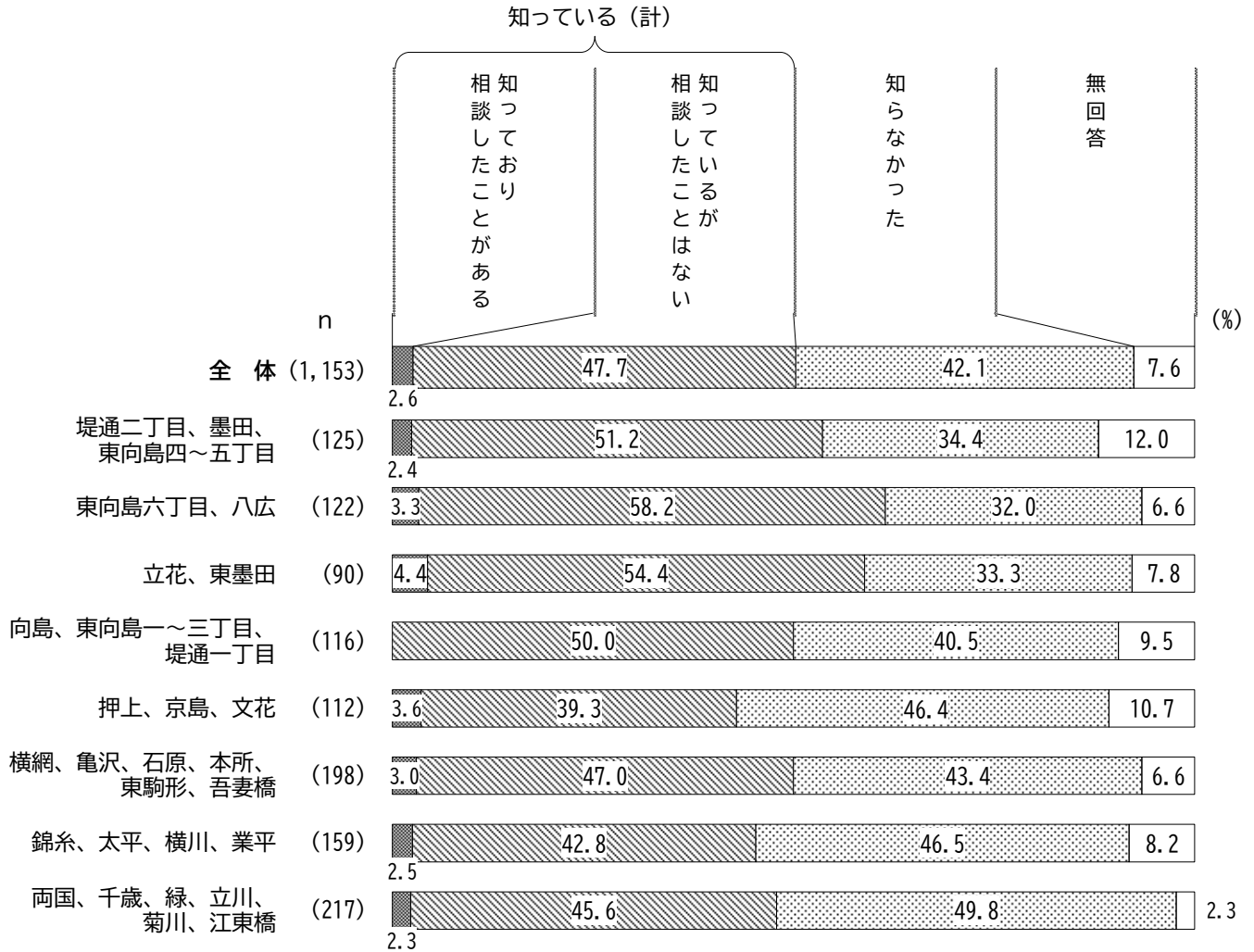
年代別でみると、「知っているが相談したことはない」は50代～70代で6割を超えており、他の年代と比べて高くなっている。「知っている（計）」は60代で65.8%と最も高く、10・20代で18.2%と最も低くなっている。一方、「知らなかった」は10・20代で76.9%、30代で61.3%と他の年代と比べて高くなっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【居住地域別】

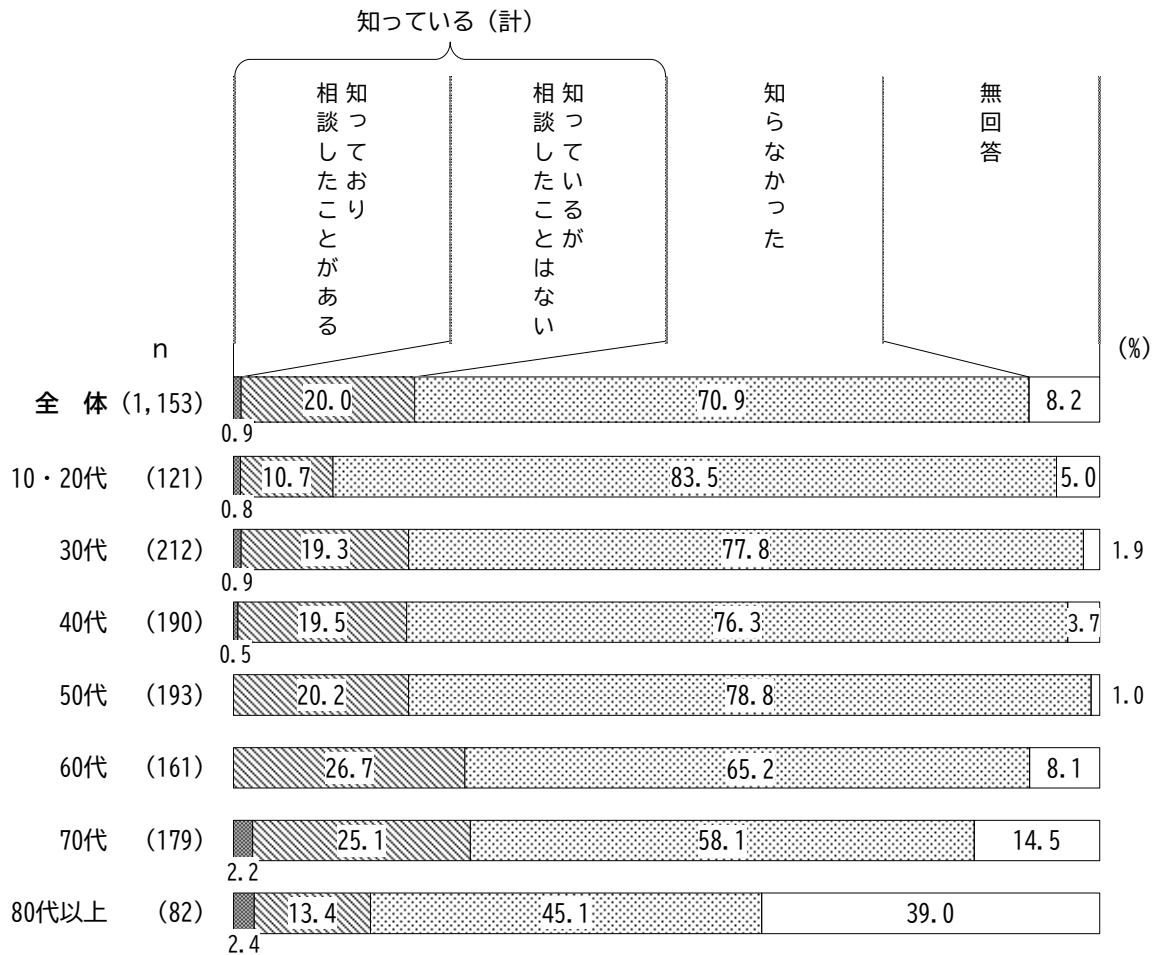
居住地域別でみると、「知っている（計）」は『東向島六丁目、八広』で61.5%となっている。一方、「知らなかった」は『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で49.8%となっており、他の地域と比べて高くなっている。



<地域福祉プラットフォーム「ぷらっと」（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）>

【年代別】

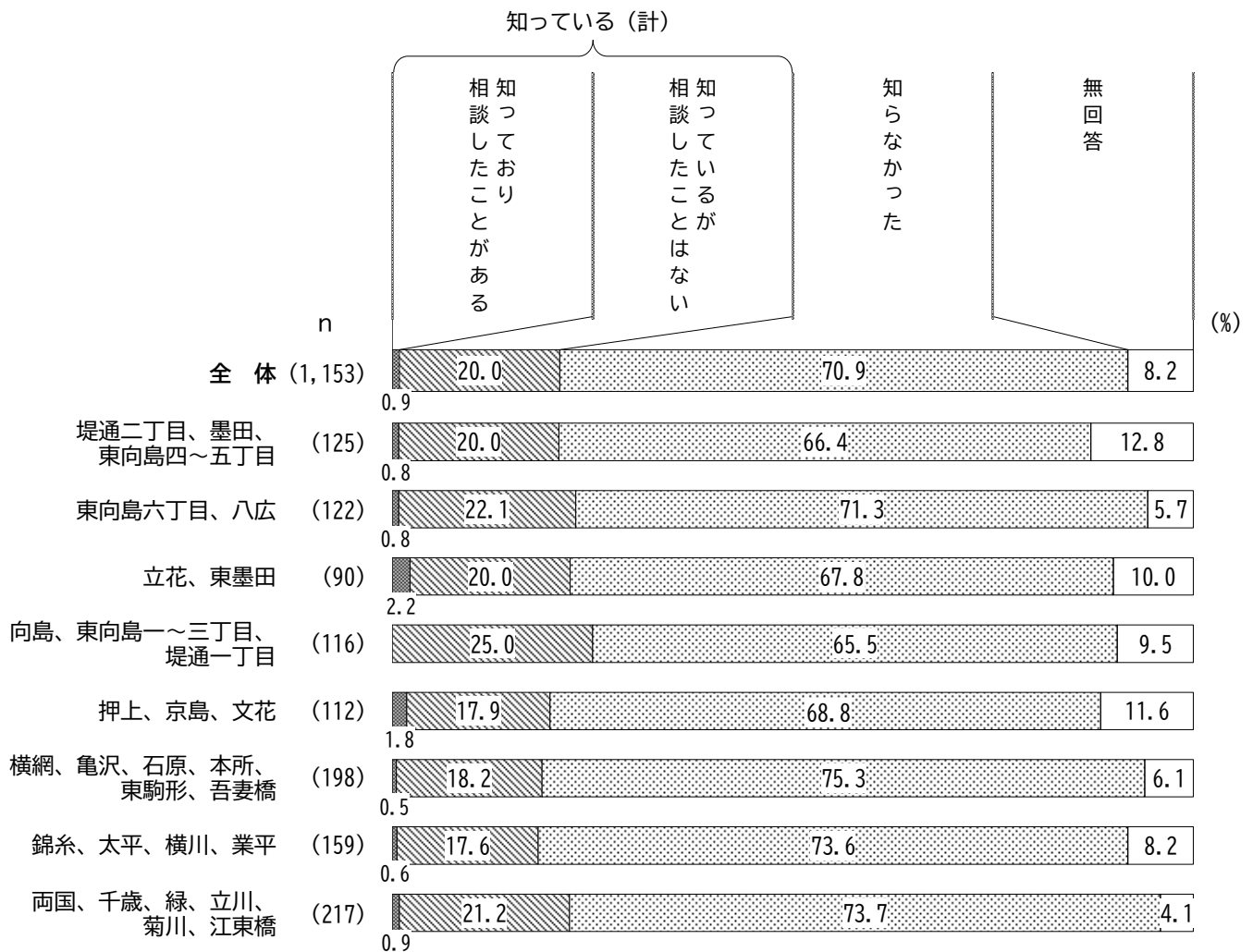
年代別でみると、「知っている（計）」は70代で27.3%となっている。一方、「知らなかった」は10・20代で83.5%と最も高く、80代以上で45.1%と最も低くなっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【居住地域別】

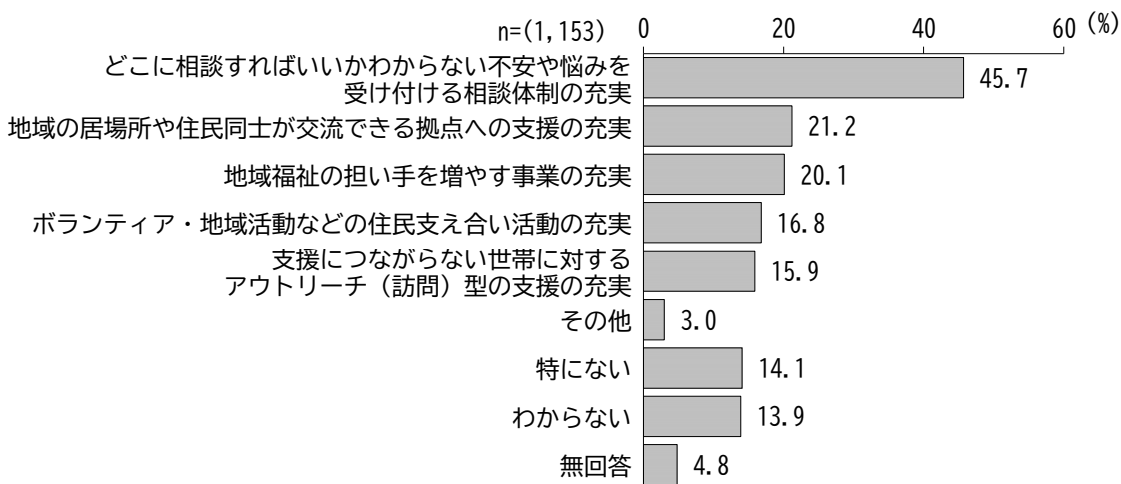
居住地域別でみると、「知っているが相談したことはない」は『向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目』で25.0%となっている。一方、「知らなかった」はすべての地域で6割を超えており、『東向島六丁目、八広』、『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』、『錦糸、太平、横川、業平』、『両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋』で7割台となっている。



（6）地域福祉を推進する上で区に力を入れてほしいこと

問19 区の地域福祉を推進する上で、力を入れてほしいことはありますか。
（○はあてはまるものすべて）

地域福祉を推進する上で区に力を入れてほしいことについては、「どこに相談すればいいかわからない不安や悩みを受け付ける相談体制の充実」が45.7%、次いで「地域の居場所や住民同士が交流できる拠点への支援の充実」が21.2%、「地域福祉の担い手を増やす事業の充実」が20.1%、「ボランティア・地域活動などの住民支え合い活動の充実」が16.8%、「支援につながらない世帯に対するアウトリーチ（訪問）型の支援の充実」が15.9%となっている。一方、「特にない」が14.1%、「わからない」が13.9%となっている。



第2章 調査結果の詳細（区民）

【年代別】

年代別でみると、「どこに相談すればいいかわからない不安や悩みを受け付ける相談体制の充実」は50代～60代で5割を超えており、他の年代と比べて高くなっている。「地域福祉の担い手を増やす事業の充実」は50代～60代で2割台となっており、他の年代と比べて高くなっている。

【居住地域別】

居住地域別でみると、「どこに相談すればいいかわからない不安や悩みを受け付ける相談体制の充実」は『横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋』で50.5%と他の地域と比べて高くなっている。「ボランティア・地域活動などの住民支え合い活動の充実」は『立花、東墨田』で20.0%と他の地域と比べて高くなっている。一方、「わからない」は『東向島六丁目、八広』で20.5%と他の地域と比べて高くなっている。

		n	談など 体制に 不安や 悩みの 充実	で地 域の 拠点 場所 への 支 援の 充 実	の地 域福 祉の 担 い手 を増 やす 事 業 の 充 実	住ボ ラン テ ィ ア 支 え 合 い 活 動 の 充 実	支 援に つな がら ない 世帯 に対 する 支 援の 充 実	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		1,153	45.7	21.2	20.1	16.8	15.9	3.0	14.1	13.9	4.8
年代別	10・20代	121	47.9	22.3	15.7	15.7	14.9	2.5	17.4	10.7	1.7
	30代	212	38.2	22.6	18.9	16.0	18.4	3.8	18.9	15.1	0.9
	40代	190	40.0	16.8	18.4	17.9	15.3	4.2	14.7	14.7	4.2
	50代	193	53.9	22.8	23.8	18.7	16.1	5.2	10.9	15.0	0.5
	60代	161	59.6	24.2	29.2	15.5	19.3	0.6	7.5	9.3	5.0
	70代	179	44.7	24.6	16.2	19.6	15.6	1.7	14.0	14.5	10.1
	80代以上	82	31.7	13.4	17.1	9.8	7.3	2.4	14.6	18.3	17.1
居住地域別	堤通二丁目、墨田、東向島四～五丁目	125	40.8	24.8	23.2	15.2	20.8	1.6	12.0	17.6	6.4
	東向島六丁目、八広	122	47.5	23.0	23.8	15.6	18.9	2.5	10.7	20.5	4.1
	立花、東墨田	90	40.0	22.2	20.0	20.0	12.2	3.3	10.0	15.6	4.4
	向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目	116	47.4	17.2	14.7	16.4	14.7	5.2	11.2	12.1	8.6
	押上、京島、文花	112	44.6	20.5	23.2	15.2	11.6	0.9	17.9	9.8	8.9
	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋	198	50.5	23.2	22.2	18.7	17.2	3.0	14.1	13.1	3.0
	錦糸、太平、横川、業平	159	42.8	18.9	16.4	19.5	11.9	4.4	16.4	12.6	4.4
	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋	217	47.5	21.7	19.4	14.7	18.0	3.2	16.6	12.0	0.9

(7) 墨田区の地域福祉への意見・要望

問20 墨田区の地域福祉に関するご意見・ご要望があれば、ご自由にお書きください。

182名から延べ246件のご意見をいただいた。

分野	件数
区政全般	39
地域でのふれあい・交流・支え合い	36
情報提供	29
相談・窓口対応	25
生活環境	22
高齢者支援	16
感謝・激励（具体的な記述がないもの）	14
公共施設	13
子育て支援	11
防災・災害	10
障がい者支援	9
アンケート	8
外国人移住者	3
道路・交通関係	3
その他	8

【主なご意見（抜粋）】

<区政全般>

- ・本当に助けを必要としている世帯を確実に把握し取りこぼすことがないような方法を突き詰めてもらえればと思います。支援が必要な人は恥ずかしさなどから自分で助けを求められなかったり、そもそも行政に助けを求めるという発想自体がなく調べもしていないという方も一定数いると思います。
- ・墨田区は窓口の方がとても親切で福祉が充実しており、安心して暮らせております。
- ・納税しているが、どういう利点があるのかさっぱりわからない。お金を払っているのに、使い道含め、そういう情報はきちんと発信してほしい。
- ・高齢者や障害者をはじめ、誰もが安心して暮らせる墨田区であってほしいです。
- ・地域福祉の定義がよくわからないので、例を示していただけると助かります。

第2章 調査結果の詳細（区民）

<地域でのふれあい・交流・支え合い>

- ・地域の住人としてもっと地域に貢献したいです。外部から引っ越しして来た私でも気軽に参加、元々の住人と交流できる場を教えてください。
- ・町会活動も民間企業を活用したり、一部の住民に負荷がかからないような仕組みが必要だと感じています。
- ・高齢者の気軽に参加できる集まり等の増加を希望します。
- ・難病を患っているので、不特定多数の交流ができない。在宅やりモートで何かできることがあれば参加してみたい。
- ・町会や自治会への入り方を教えてください。

<情報提供>

- ・プッシュ型で区民にどんどん情報を届けてほしい。またアプリなどを活用して、個別レコメンドなどしていただくと、参加者や参加率も上がるのではと思いました。
- ・福祉に関しては困った時になって初めて相談すると思うのでスマホで区役所関連の検索をして、すぐに知りたい情報が探せるようになっていけばいいのでは。
- ・自分の困り事が相談することか迷う。相談所に行く前に、福祉でできることを個人に冊子をくばってほしい。
- ・私は子育て世代ですが、子供の子育てに関する情報はたくさん墨田区から教えてもらったので、今後は高齢者向けの情報を若い人たちにもたくさん発信や情報を手に入れられるような取り組みを期待しています。

<相談・窓口対応>

- ・福祉に関することで相談できる窓口の数が多いのが難点だと考える。7199のように、まずはどこに相談すれば良いかの総合的な窓口を作るのも、1つの手ではないかと考える。
- ・気軽に相談できる方法、場所があれば良いと思う。
- ・土日のどちらかが対応できると助かります。
- ・オンライン相談の充実化。

<生活環境>

- ・1人で暮らしているお年寄り、外国人など孤独になりがちな人を街ぐるみで助けてあげるにはどうすれば良いか。
- ・子供や高齢者を見守る職員、場所の拡充。
- ・暮らしに関する福祉施策を増やしてほしい。
- ・歩きタバコ、ゴミ捨てなどの取り締まりを強化してもらいたいです。

<高齢者支援>

- ・ 独居高齢者の支援。区によるサポート運営。
- ・ 高齢者が家（部屋）を借りやすくしてほしい。
- ・ 老々介護者に対する支援の充実を計って欲しい。
- ・ 高齢者（親世代70代～80代）の支援がもう少し簡単に利用できれば良いと思う。

<感謝・激励（具体的な記述がないもの）>

- ・ いつも安心できる暮らしを支えてくださりありがとうございます。これからも日々頑張りますので、引き続きよろしく願いいたします。
- ・ いろいろな健康診断を受けさせてくれてありがとうございます。
- ・ いまはとくに困ったこともないので満足しています。

<公共施設>

- ・ 区の南側に区民（高齢者）の活動。拠点が複数あると暮らしやすい。
- ・ スポーツ施設やコミュニティセンターで運動が出来る場所。屋内でのトレーニング施設を公共の場として作って欲しい。
- ・ サービス利用については、いろんな施設の利用予約などもそうですが、ネットで迅速にその場で確認手続きできる等の利用しやすさは充実してほしいと感じます。

<子育て支援>

- ・ 子育て世代や子どもへの支援があると良いと思います。
- ・ 子育て世帯は、祖父母が身近にいないとマンパワーが足りないことも多く、助け合える環境や、サービスの利用しやすさなどが現実的に必要かと思います。
- ・ 社会福祉の勉強をして保育士の資格を取得しましたが、墨田区の待機児童保育は他の区より支援が少ないようです。

<防災・災害>

- ・ まだ墨田区にお世話になって1年経つくらいなのでそこまで考えていないが、地震や津波があった場合への不安は大きい。海や川が近いため。
- ・ 地域に民泊が増えていて、災害時の対応がとれるのか不安。
- ・ 人口密度も高いと感じているので、避難所のキャパシティにも心配が大きい。

<障がい者支援>

- ・ 障害のある方の短期入所施設が不足している。
- ・ 発達障害や知的障害のある子どもの居場所を増やして欲しい。
- ・ 成人した障害者のスポーツや余暇の充実。

第2章 調査結果の詳細（区民）

<アンケート>

- ・知らないことが色々あったのでこのアンケートが役に立ちました。ありがとうございました。
- ・相談場所がたくさんある事がびっくり。知ってよかったです。（相談するかどうかわかりませんが）

<外国人対応>

- ・通訳の人がいれば助かる。
- ・外国人に対して、もっと親切に接したいと思っています。色々なことで連絡を取りに行くと、外国人が苦手で失礼なことを言う人に出会うことがあります。

<道路・交通関係>

- ・自転車の事故や罰則強化を受けて、一人で自転車に乗ることが増えてくる小学校低学年向けに、自転車ルールの講習や実地研修があるといいなと思います。
- ・自転車に関してのルールも厳しくしてもらいたいです。他にに関してはとくに不満がありません。

<その他>

- ・毎日充実した生活をしているため、地域福祉について考えていませんでした。これから少しずつ考えていきたいです。
- ・福祉に頼らず生きることができるようになりたいと思います。

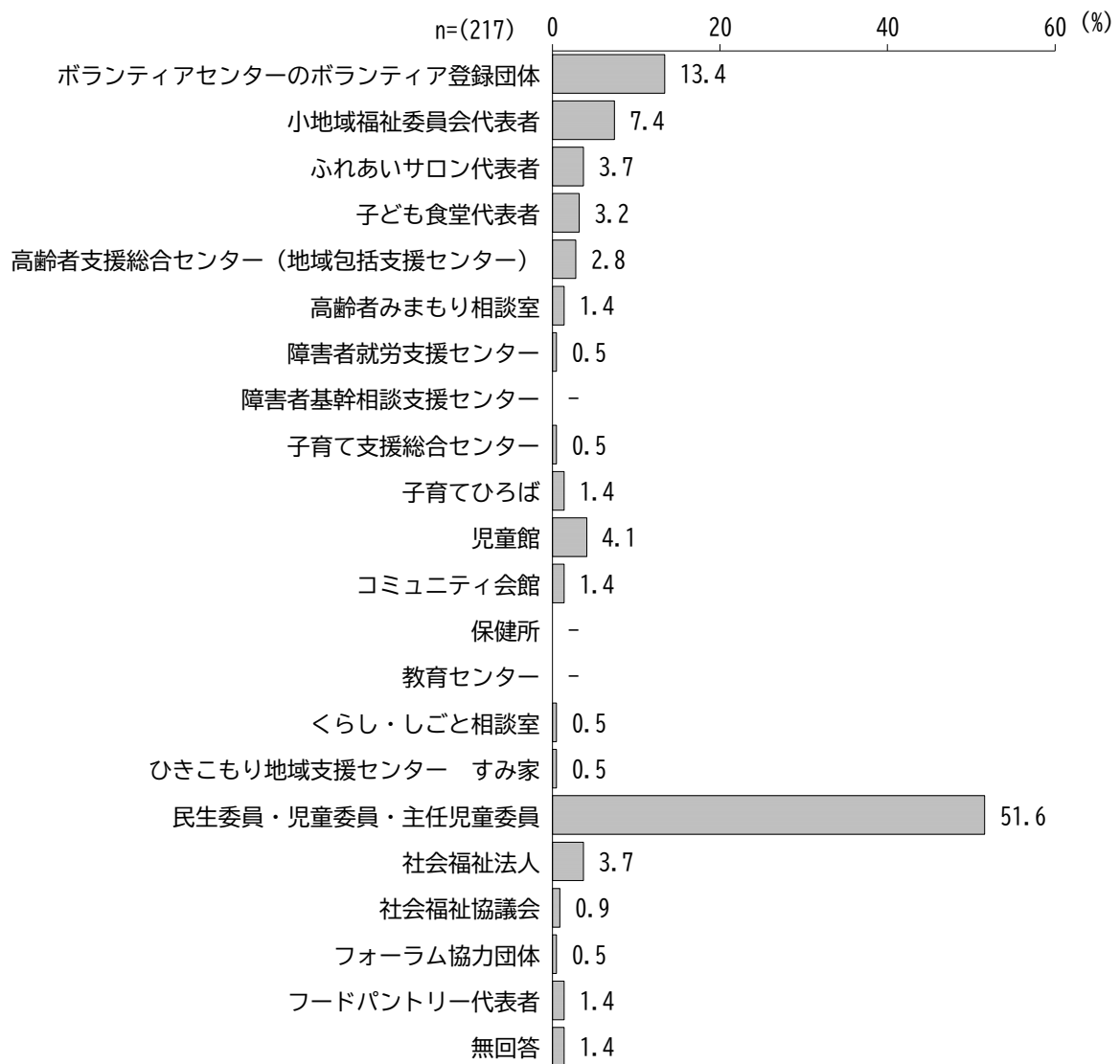
第3章 調査結果の詳細（団体）

1. あなたご自身について【共通設問】

(1) 活動（所属先）

問1 あなたの活動（所属先）を教えてください。複数の活動をしている場合は、主な活動を1つお選びください。（○は1つだけ）

活動（所属先）については、「民生委員・児童委員・主任児童委員」が51.6%、次いで「ボランティアセンターのボランティア登録団体」が13.4%となっている。



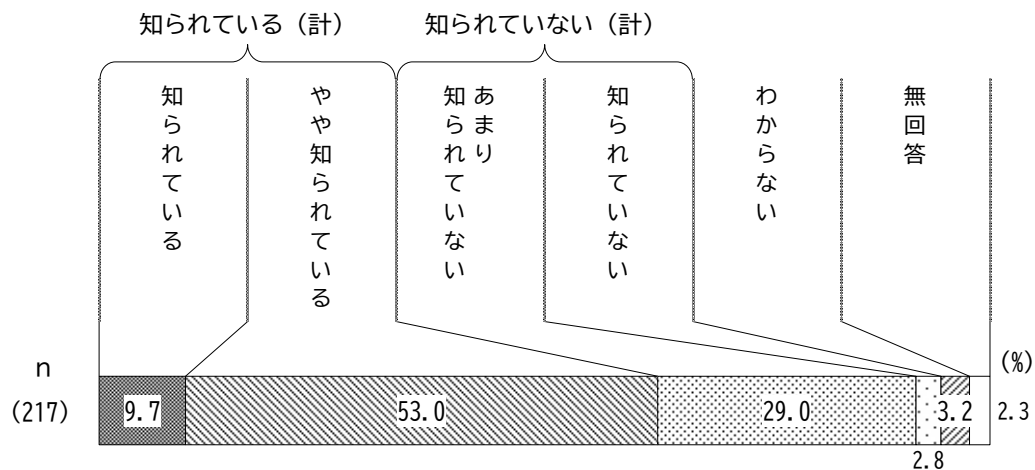
2. 福祉の施策や活動に関する情報の発信・入手について【共通設問】

（1）福祉施策や活動の地域の認知状況

問2 福祉の施策や活動が、地域に知られていると思いますか。（○は1つだけ）

福祉施策や活動の地域の認知状況については、「やや知られている」が53.0%、次いで「あまり知られていない」が29.0%となっている。

「知られている」「やや知られている」の合計「知られている（計）」は62.7%となっている。



（2）福祉の施策や活動が知られていない原因

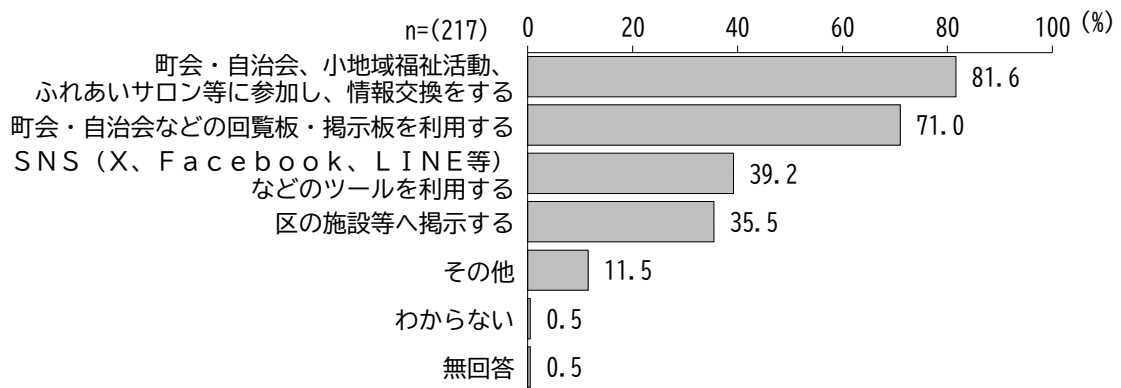
【主な意見（抜粋）】

- ・対象年齢でないため必要と感じない。
- ・自身に必要な情報しか関心がない、必要になってから調べる人が多い。
- ・情報が入ってこない、どこを見ればいいのかわからない、自分が関係するのかわからない。
- ・チラシや広報誌を入手できない、またはチラシが多すぎる。
- ・掲示板への掲示は、あまり見られていないようです。
- ・社協を知らない。
- ・人口増加により回覧が届かない状況です。
- ・地域との関わりが少ない。

（3）有効な情報発信・情報入手手段

問3 ご自身が地域住民に情報発信する、あるいは地域住民の情報を入手する場合、どのような手段が有効だと考えますか。（○はあてはまるものすべて）

有効な情報発信・情報入手手段については、「町会・自治会、小地域福祉活動、ふれあいサロン等に参加し、情報交換をする」が81.6%、次いで「町会・自治会などの回覧板・掲示板を利用する」が71.0%、「SNS（X、Facebook、LINE等）などのツールを利用する」が39.2%、「区の施設等へ掲示する」が35.5%となっている。



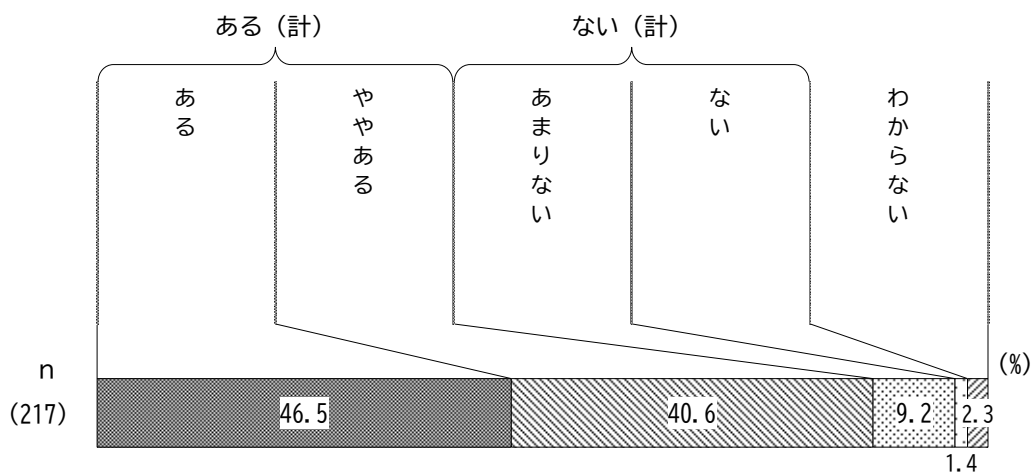
3. 地域のつながりについて【共通設問】

(1) 地域のつながりの有無

問4 活動されている地域では日ごろから地域のつながりはありますか。（○は1つだけ）

地域のつながりの有無については、「ある」が46.5%、次いで「ややある」が40.6%となっている。

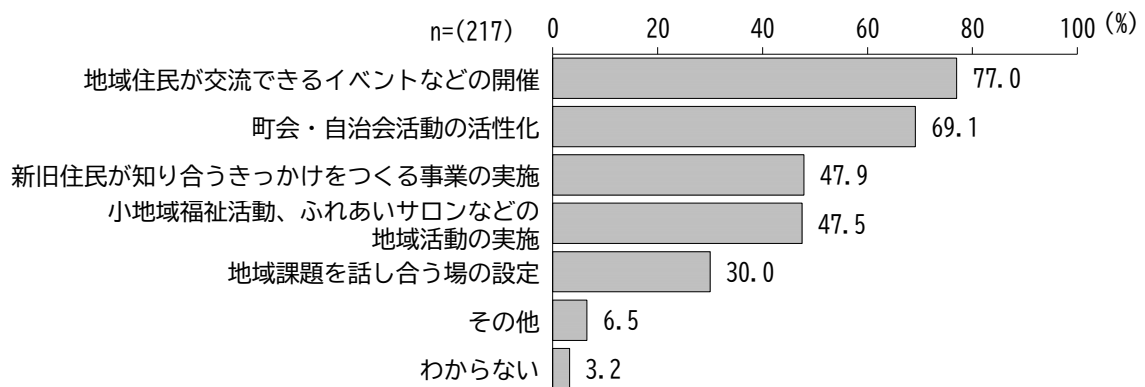
「ある」「ややある」の合計「ある（計）」は87.1%となっている。



(2) 地域のつながり強化に有効な対策

問5 地域のつながりを強くするためには、どのような対策が有効だと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

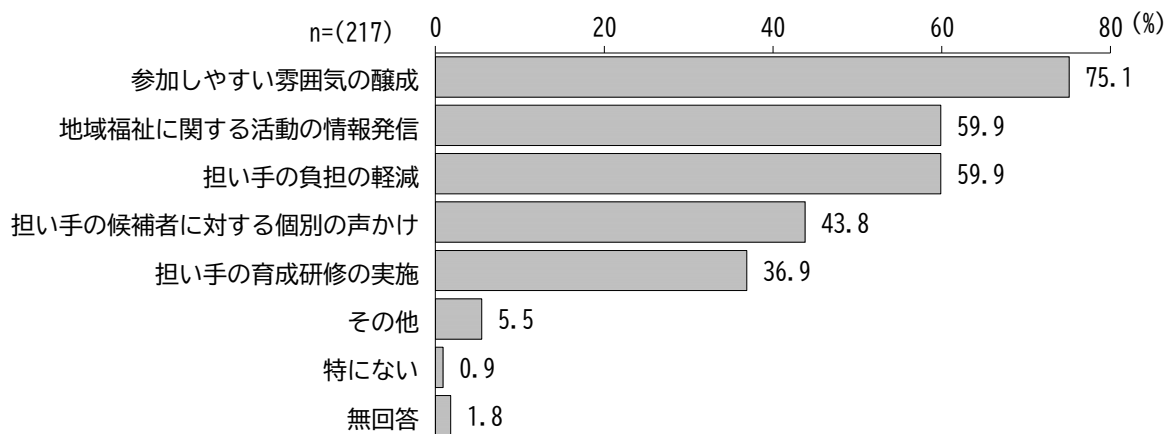
地域のつながり強化に有効な対策については、「地域住民が交流できるイベントなどの開催」が77.0%、次いで「町会・自治会活動の活性化」が69.1%、「新旧住民が知り合うきっかけをつくる事業の実施」が47.9%、「小地域福祉活動、ふれあいサロンなどの地域活動の実施」が47.5%、「地域課題を話し合う場の設定」が30.0%となっている。



（3）担い手確保・育成のために必要な取組

問6 地域福祉の担い手を確保・育成するためにはどのような取組が必要と思われますか。
（○はあてはまるものすべて）

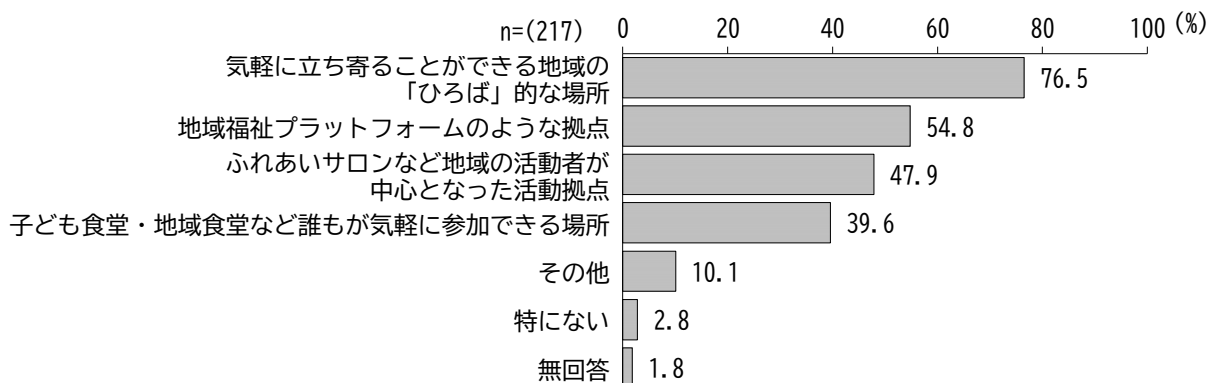
担い手確保・育成のために必要な取組については、「参加しやすい雰囲気の醸成」が75.1%、次いで「地域福祉に関する活動の情報発信」「担い手の負担の軽減」が59.9%、「担い手の候補者に対する個別の声かけ」が43.8%、「担い手の育成研修の実施」が36.9%となっている。



（4）必要な住民の交流の場

問7 地域住民が相互に交流できる場（拠点）として、どのようなものが必要ですか。
（○はあてはまるものすべて）

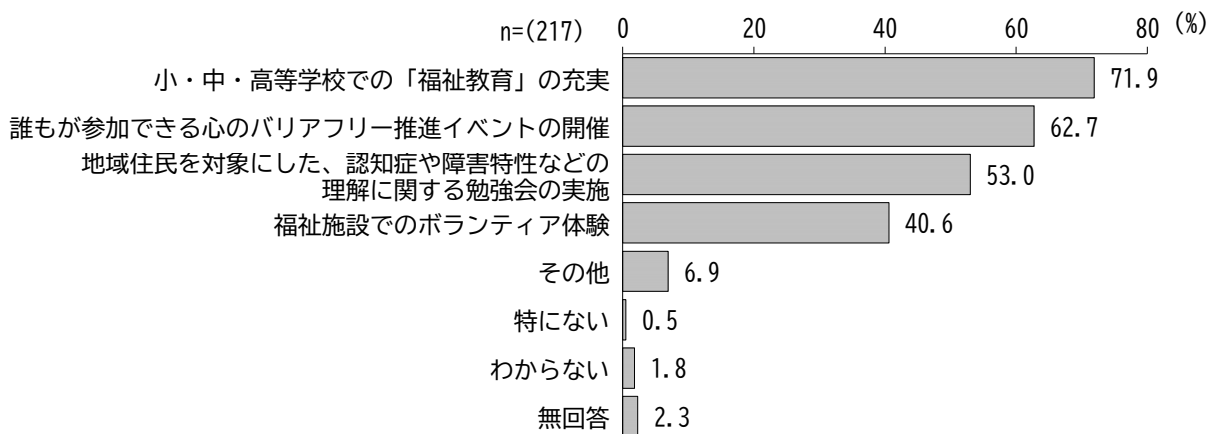
必要な住民の交流の場については、「気軽に立ち寄ることができる地域の「ひろば」的な場所」が76.5%、次いで「地域福祉プラットフォームのような拠点」が54.8%、「ふれあいサロンなど地域の活動者が中心となった活動拠点」が47.9%、「子ども食堂・地域食堂など誰もが気軽に参加できる場所」が39.6%となっている。



（5）心のバリアフリーを広めるために必要な取組

問8 墨田区では、令和8年3月にバリアフリー基本構想等を策定する予定です。社会には多様な人が存在し、その中には様々なバリアにより社会参加が困難な人がいます。施設や設備などのハード面のバリアフリーだけではなく、「心のバリアフリー」を広めるためにはどのような取り組みが必要だと思いますか？（○はあてはまるものすべて）

心のバリアフリーを広めるために必要な取組については、「小・中・高等学校での「福祉教育」の充実」が71.9%、次いで「誰もが参加できる心のバリアフリー推進イベントの開催」が62.7%、「地域住民を対象にした、認知症や障害特性などの理解に関する勉強会の実施」が53.0%、「福祉施設でのボランティア体験」が40.6%となっている。



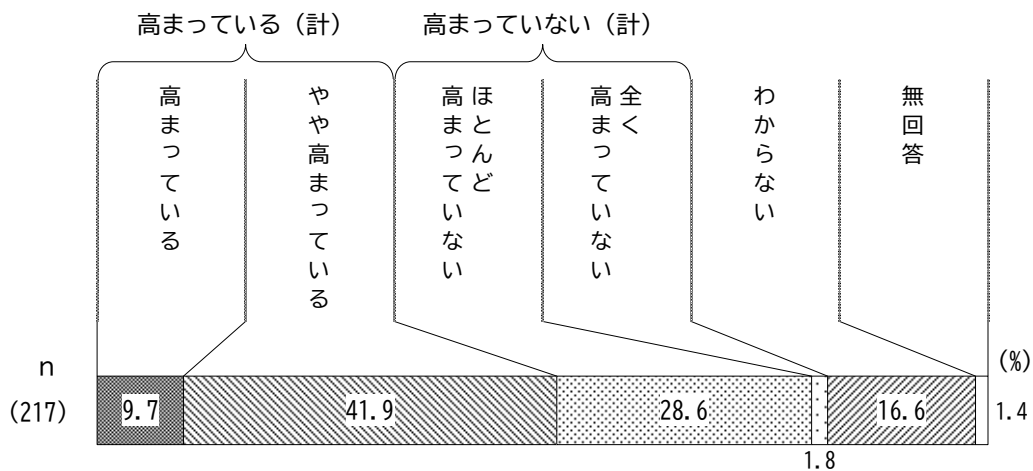
4. 災害に備えたまちづくりについて【共通設問】

(1) 災害時の助け合いの意識

問9 活動されている地域では災害時における助け合いの意識は高まっていますか。
 (○は1つだけ)

災害時の助け合いの意識については、「やや高まっている」が41.9%、次いで「ほとんど高まっていない」が28.6%となっている。一方、「わからない」が16.6%となっている。

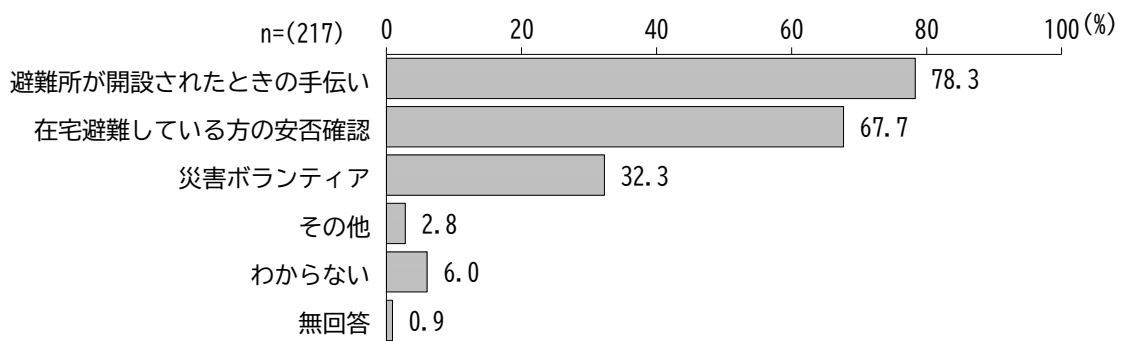
「高まっている」「やや高まっている」の合計「高まっている（計）」は51.6%となっている。



(2) 災害時に地域でできること

問10 災害が起こった時、ご自身・事業所の安全が確認されたうえで、地域で何ができますか。(○はあてはまるものすべて)

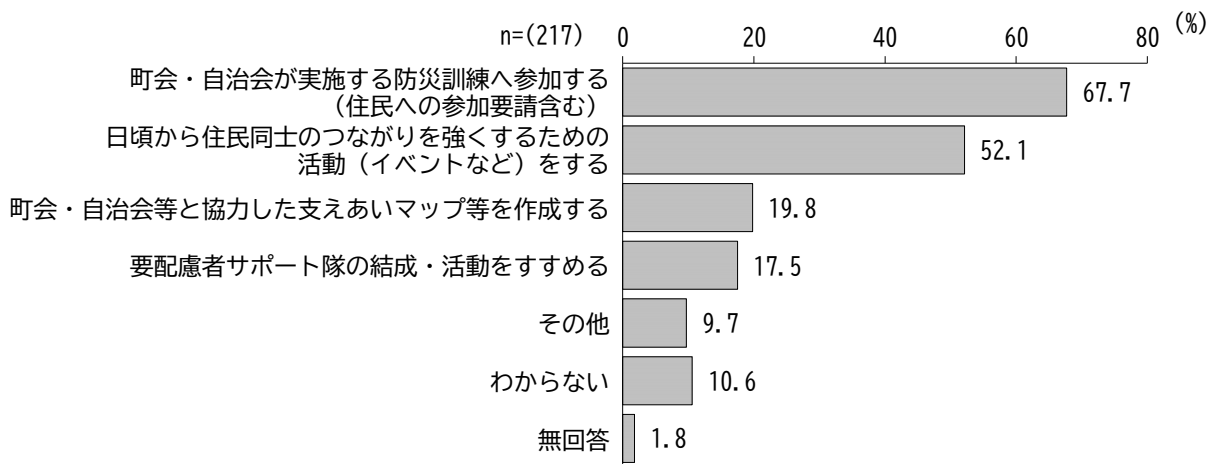
災害時に地域でできることについては、「避難所が開設されたときの手伝い」が78.3%、次いで「在宅避難している方の安否確認」が67.7%、「災害ボランティア」が32.3%となっている。



(3) 日ごろから地域で行っていること

問11 災害時に助け合うために、ご自身・事業所が日ごろから地域で行っていることはどのようなことですか。（〇はあてはまるものすべて）

日ごろから地域で行っていることについては、「町会・自治会が実施する防災訓練へ参加する（住民への参加要請含む）」が67.7%、次いで「日頃から住民同士のつながりを強くするための活動（イベントなど）をする」が52.1%、「町会・自治会等と協力した支えあいマップ等を作成する」が19.8%、「要配慮者サポート隊の結成・活動をすすめる」が17.5%となっている。

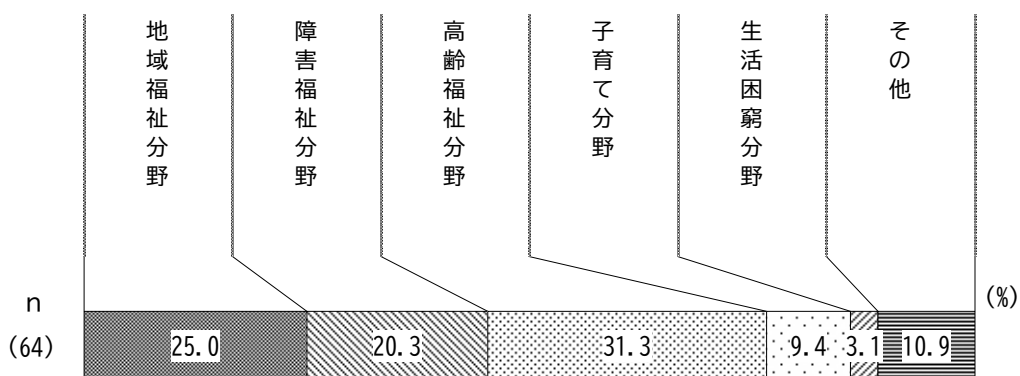


5. 団体について【ボランティアセンターのボランティア登録団体、小地域福祉委員会代表者、ふれあいサロン代表者、フォーラム協力団体、子ども食堂代表者、フードパントリー代表者の方】

(1) 主な活動分野

問12 貴団体の主な活動分野はどれですか。（○は1つだけ）

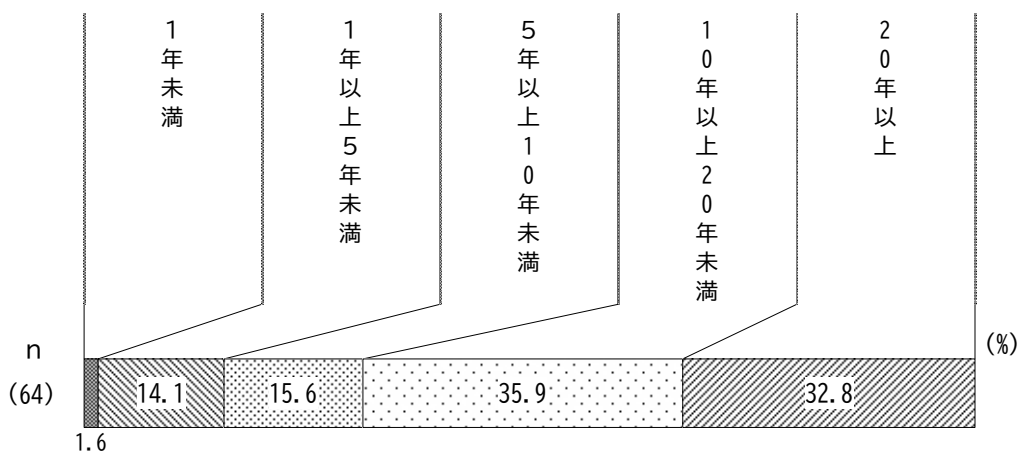
主な活動分野については、「高齢福祉分野」が31.3%、次いで「地域福祉分野」が25.0%、「障害福祉分野」が20.3%となっている。



(2) 活動年数

問13 活動年数は何年ですか。（○は1つだけ）

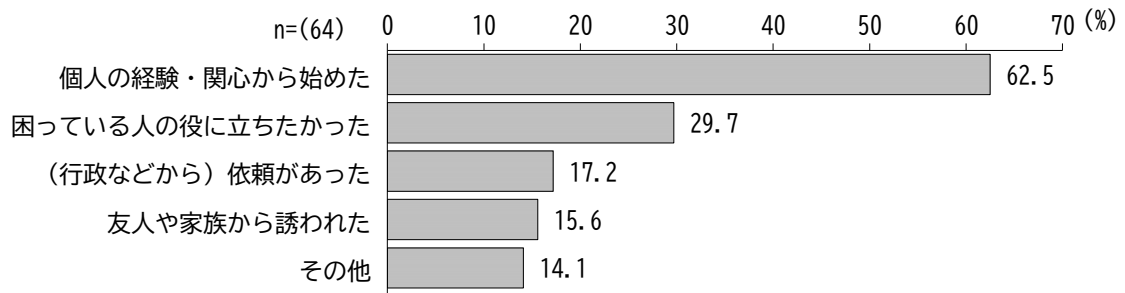
活動年数については、「10年以上20年未満」が35.9%、次いで「20年以上」が32.8%、「5年以上10年未満」が15.6%、「1年以上5年未満」が14.1%となっている。



(3) 活動を始めたきっかけ

問14 活動を始めたきっかけを教えてください。（○はあてはまるものすべて）

活動を始めたきっかけについては、「個人の経験・関心から始めた」が62.5%、次いで「困っている人の役に立ちたかった」が29.7%、「(行政などから) 依頼があった」が17.2%、「友人や家族から誘われた」が15.6%となっている。



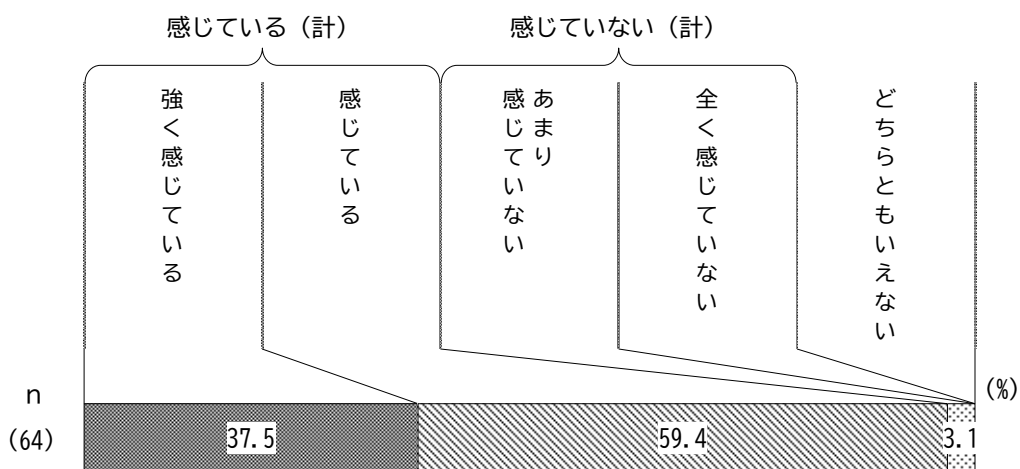
6. 団体の活動について【ボランティアセンターのボランティア登録団体、小地域福祉委員会代表者、ふれあいサロン代表者、フォーラム協力団体、子ども食堂代表者、フードパントリー代表者の方】

(1) 活動のやりがい

問15 貴団体（個人）の活動にやりがいを感じていますか。（○は1つだけ）

活動のやりがいについては、「感じている」が59.4%、次いで「強く感じている」が37.5%となっている。

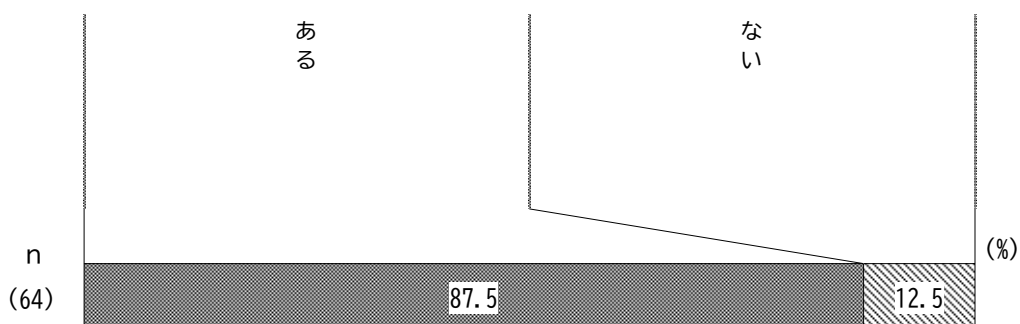
「強く感じている」「感じている」の合計「感じている（計）」は96.9%となっている。



(2) 困りごとが発生した時の相談先の有無

問16 団体の活動において困りごとが発生した時に相談できる場所がありますか。（○は1つだけ）

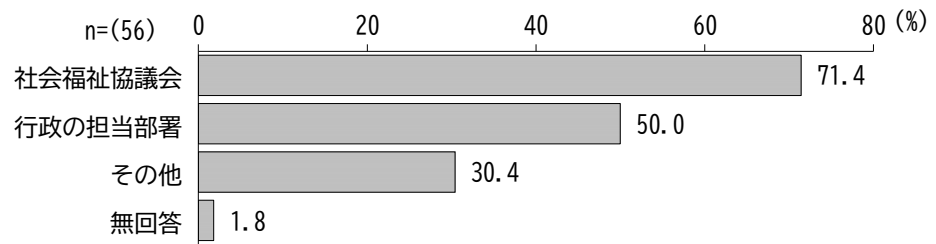
困りごとが発生した時の相談先の有無については、「ある」が87.5%、「ない」が12.5%となっている。



（3）困りごとが発生した時の相談先

問16-1 それはどこですか。（○はあてはまるものすべて）

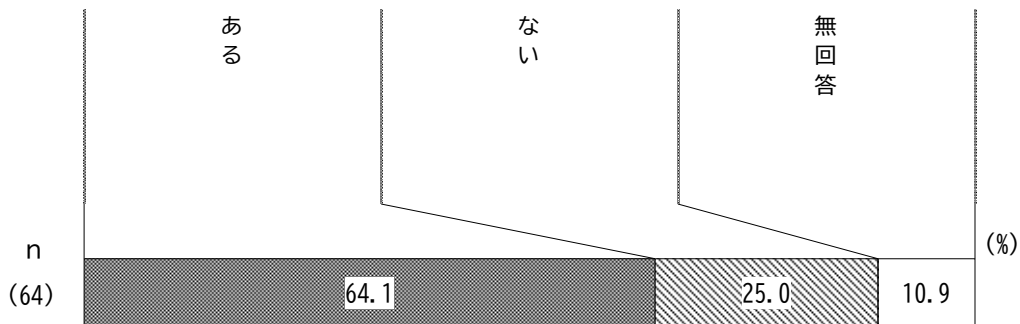
困りごとが発生した時の相談先については、「社会福祉協議会」が71.4%、次いで「行政の担当部署」が50.0%となっている。



（4）連携したい分野・団体の有無

問17 活動を進める中で連携したいと思う分野、団体等がありますか。（○は1つだけ）

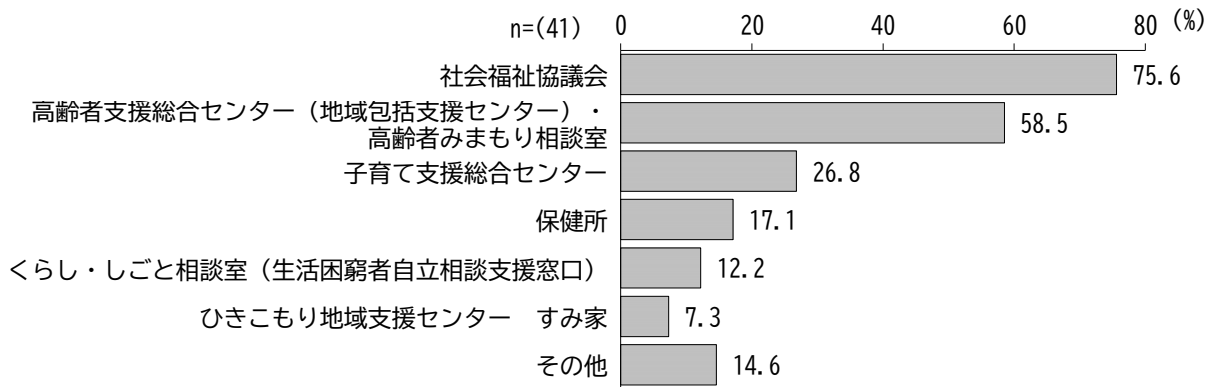
連携したい分野・団体の有無については、「ある」が64.1%、「ない」が25.0%となっている。



(5) 連携したい分野・団体

問17-1 それはどこですか。（○はあてはまるものすべて）

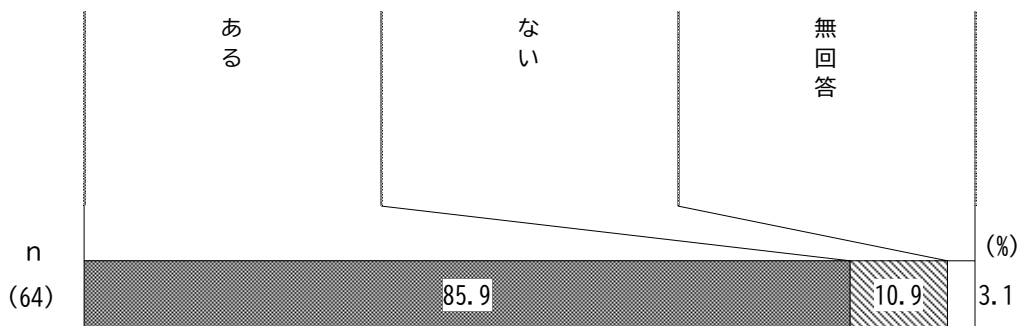
連携したい分野・団体については、「社会福祉協議会」が75.6%、次いで「高齢者支援総合センター（地域包括支援センター）・高齢者みまもり相談室」が58.5%、「子育て支援総合センター」が26.8%、「保健所」が17.1%となっている。



(6) 活動における課題の有無

問18 活動において課題だと思えることはありますか。（○は1つだけ）

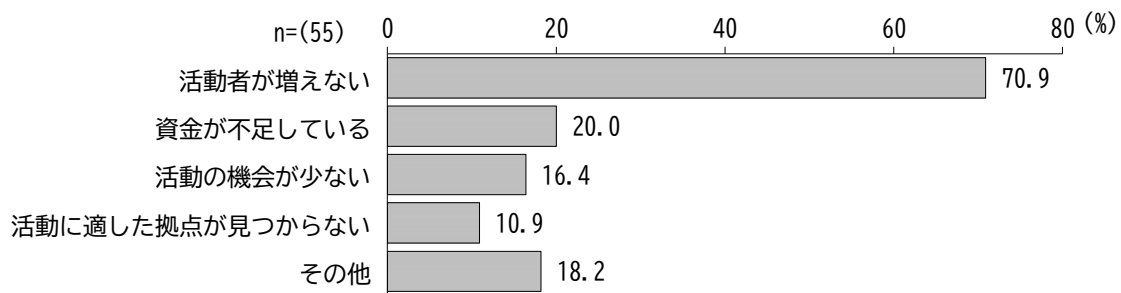
活動における課題の有無については、「ある」が85.9%、「ない」が10.9%となっている。



（7）活動における課題

問18-1 それはなんですか。（○はあてはまるものすべて）

活動における課題については、「活動者が増えない」が70.9%、次いで「資金が不足している」が20.0%、「活動の機会が少ない」が16.4%となっている。



7. 墨田区について【ボランティアセンターのボランティア登録団体、小地域福祉委員会代表者、ふれあいサロン代表者、フォーラム協力団体、子ども食堂代表者、フードパントリー代表者の方】

（1）活動を進める上で墨田区に望むこと

問19 活動を進めて行くにあたり、墨田区に望むことはありますか。
ご自由にお書きください。

【主なご意見（抜粋）】

- ・町内サポートとの共有の資料。
- ・活動できる場所を増やしてほしい。
- ・支援に日数がかかるのは人手不足のためで、人員の補充と休暇の取得しやすさ、賃金向上を希望します。
- ・広報やイベントに力を入れてほしい。
- ・年代を問わず、誰でも参加できるイベントが望ましいです。
- ・活動者の方々の健康に心配事が多いです。

（2）区に力を入れてほしいこと

問20 安心して暮らすことのできる墨田区をつくるために、区に力を入れてほしいことは何ですか。ご自由にお書きください。

【主なご意見（抜粋）】

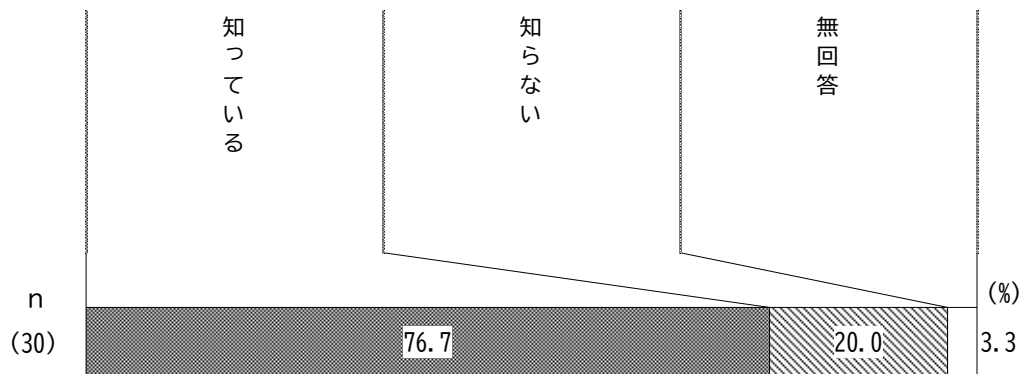
- ・高齢者福祉と子育て支援の更なる充実。
- ・やはり安全で安心して暮らしていけること。防災がこの地域には欠かせないと思う。自分自身は、かなり活動をしているが、より多くの方に参加をしていただきたいです。
- ・ご近所さんのお互いの声かけあいがうまくできるよう催しなど実施してほしい。
- ・障害がある、なしにかかわらず様々な人が利用できる複合施設を作してほしい。
- ・公園の整備、特に小さい公園。

8. 重層的支援体制について【高齢者支援総合センター（地域包括支援センター）、高齢者みまもり相談室、障害者就労支援センター、障害者基幹相談支援センター、子育て支援総合センター、子育てひろば、児童館、コミュニティ会館、保健所、教育センター、くらし・しごと相談室、ひきこもり地域支援センター すみ家、社会福祉協議会の方】

(1) 重層的支援体制整備事業の認知状況

問21 「重層的支援体制整備事業」を知っていますか。（○は1つだけ）

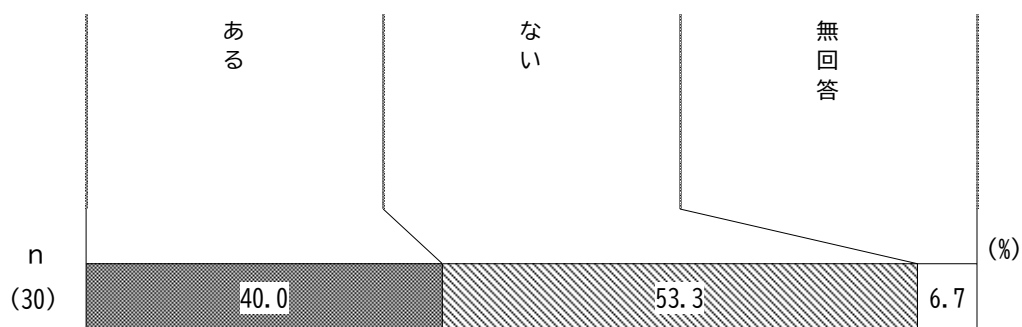
重層的支援体制整備事業の認知状況については、「知っている」が76.7%、「知らない」が20.0%となっている。



(2) 地域福祉プラットフォームとの連携の経験

問22 個別支援や地域づくりを行う上で、地域福祉プラットフォームと連携したことがありますか。（○は1つだけ）

地域福祉プラットフォームとの連携の経験については、「ある」が40.0%、「ない」が53.3%となっている。



（3）連携の内容

問22-1 それはどのような連携でしたか。ご自由にお書きください。

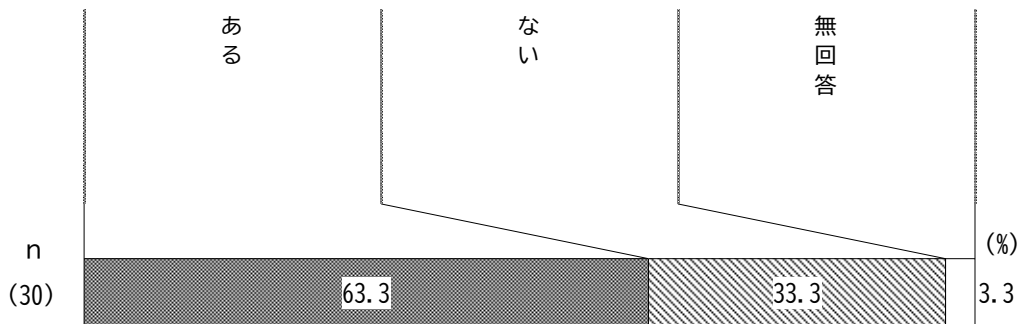
【ご意見】

- ・お互いの組織で実施している、事業における連携、協業。
- ・共有情報の垣根を越えた連携。
- ・就労相談、子ども育成、父兄メンタル相談など子どもを中心とした相談。
- ・個別のケア相談。ぷらっとのイベント協力など。
- ・ふれあいサロン、及び町会の出前講座等の相談等。
- ・お知らせの掲示や配布をしている。それ以外の連携もぜひ行っていきたい。
- ・そこに参加されている方の情報共有等。（今後の支援についてやりとりしたことも）
- ・支援対象児童の保護者から「ちょっとした悩みや、話を聞いてもらえる所は？」と問合せがあり、地域福祉プラットフォームを紹介した。事前に職員間で支援の方向性等を共有した。
- ・案内やポスター、リーフレットの配布。
- ・社協職員と包括職員で対象者の役割分担を決め、適切な支援につながった。
- ・地域福祉プラットフォームで開催するイベントへの参加。
- ・出張プラットフォームの開催・気になる高齢者についての情報提供。
- ・プラットフォーム八広（第1・3木曜日）、プラットフォーム本所（第2・4日曜日）にて、場所をお借りし、12時～16時で出張対面相談を実施しております。また、八広では月1回、当事者会（いばしょ）も開催しております。

（4）複雑化、複合化した相談を受けた経験

問23 個人、あるいは世帯からの複雑化、複合化した相談を受けたことがありますか。※施設利用者の中で、問題を抱える方を施設側が認知した場合を含みます。（○は1つだけ）

複雑化、複合化した相談を受けた経験については、「ある」が63.3%、「ない」が33.3%となっている。



（5）①事例の内容

問23-1 それはどのような事例でしたか。

【主なご意見（抜粋）】

- ・親からの身体的虐待。
- ・子どもの不登校問題。
- ・子どもからの訴え ※家に帰りたくない、e t c。
- ・ごみ屋敷、8050世帯。
- ・配偶者のDVで母親が子どもを預けに来た。
- ・難民の母子家庭。
- ・0歳児の子育てと親の介護が重なる。
- ・集合ゴミの分別。
- ・実態把握等で、息子や娘が障害やひきこもり状態にあることを把握。
- ・家族1人1人に様々な問題・要因が複数ある。

(6) ②事例への対応

問23-1 それはどのように対応しましたか。

【主なご意見（抜粋）】

- ・学校・子育て支援総合センターと情報共有、当該児に対しての聞き取り。
- ・多機関連携して対応。重層的支援会議の利用。
- ・関係機関に協力要請をした。
- ・関係職のコーディネート。
- ・様々な機関と連携しつつ、関係が切れないように丁寧に対応した。
- ・プラットフォーム、くらし・しごと相談室すみだについて情報提供。
- ・区担当者に相談し、必要に応じて支援会議にケース提出。

(7) ③困ったこと

問23-1 それはどのようなことに困りましたか。

【主なご意見（抜粋）】

- ・保護者への対応。
- ・連携先、つなぎ先がない。
- ・1日のことではなく、毎日住人の苦情がくるのに、対応策が遅くなる。
- ・家庭の様子がわからないこと。
- ・個人情報守秘義務がどこまでできるか線引きが難しい。
- ・養護者の就労支援や就労、定着がうまくいかず支援の必要性の理解が得られなかったこと。
- ・相談者本人のこだわりの強さ。
- ・保護者の“不安”が理解しきれず、よい対応策が導き出せなかった。
- ・相談者と関わりのある関係機関が状況を把握しておらず、真偽不明な点。

(8) ④課題の解決方法

問23-1 ③の課題に対して、どのように解決しましたか。

【主なご意見（抜粋）】

- ・築いてきた信頼関係が崩れないよう、丁寧な面談を実施。
- ・連携できる部門と連携する。
- ・代替支援を行った。
- ・職員間のケース会議、総合センターとの連携。
- ・担当課へ橋渡しできました。
- ・区の育児、家事などのサポートを伝える。
- ・理解を示す、信頼関係の構築、選択肢の提示。
- ・時間をかけて傾聴し、情報を関係機関と共有して一緒に考えた。
- ・今後支援会議の検討事例として挙げ、情報収集を行う予定。
- ・情報提供にとどまり、解決しなかった。
- ・区担当者と相談、検討を行う。

(9) ⑤支援者としてできること

問23-1 この事例の場合、支援者としてどのようなことができますか。

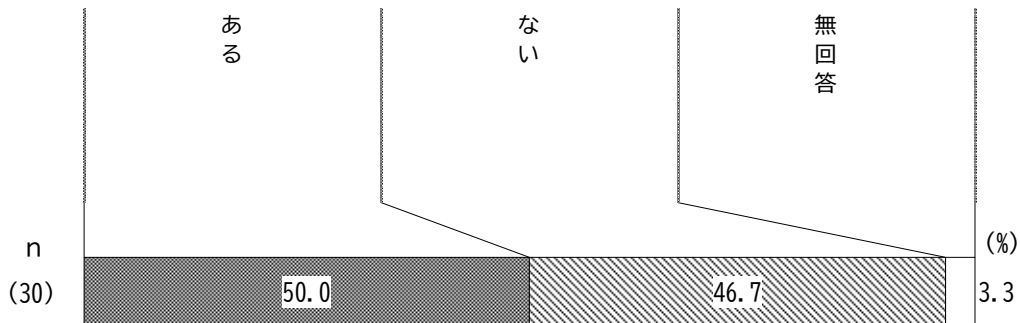
【主なご意見（抜粋）】

- ・まずは子どもの安心・安全を保障、関係機関と連携し保護者の悩みなどに寄り添う。
- ・地域のつながりを作り、本人の訴えを総合的に分析し支援をする。
- ・日頃の連携先を増やす。
- ・協力要請を継続する。
- ・子どもへの寄り添い、居場所提供。
- ・関係機関とのケース会議で決められた役割は必ず実行する。
- ・関係機関との連携により、役割分担を決め、支援すること。
- ・様々な支援機関を知り、連携して支援していくこと。
- ・最後まであきらめないで対応する。
- ・伴走支援者、機関を決めて、つながり続けることを地域チームで実現する。

(10) 何らかの問題を抱える個人等の認知経験

問24 社会とのつながりを断っている、見守りを拒む、自分から声を発さないなど、地域で孤立している個人（世帯）を認知されたことがありますか。（○は1つだけ）

何らかの問題を抱える個人等の認知経験については、「ある」が50.0%、「ない」が46.7%となっている。



(11) 事例の内容

問24-1 それはどのような事例でしたか。

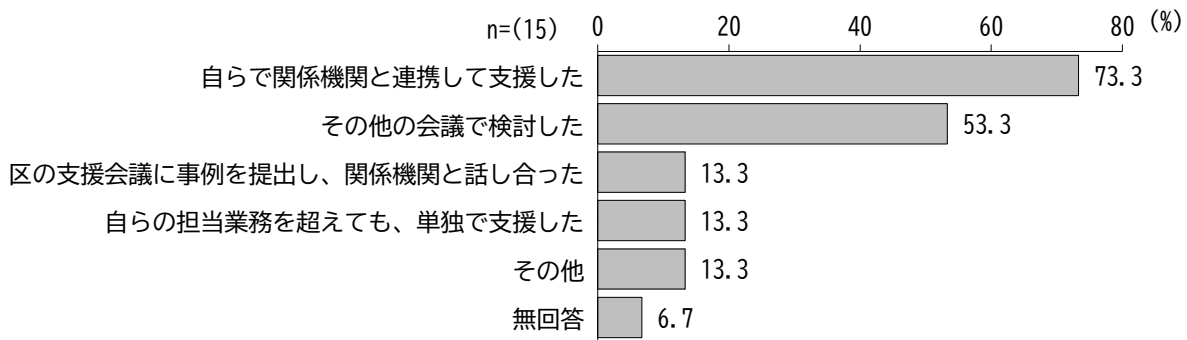
【主なご意見（抜粋）】

- ・何らかの特性（障害）を持ち、地域との接触を持ちたがらない（若者～高齢まで）・高齢化によるADLの低下・幼少の頃からひきこもり、両親も他界している、頼れる場所がない。
- ・セルフネグレクトの事例。
- ・自分が望まない支援は拒む。家族の衛生状態、健康維持、近隣との関係等に課題があった。
- ・民生委員からの情報提供で、ひきこもっていて外に出ない。食にも困っている。
- ・診断はされていないが、元々精神系発達障害があったが、放置していた、されていた人が、つながりを断っていることがほとんど。
- ・イベントの誘いに行っても参加したことがない。
- ・居所不明児童調査。在籍がなく、受診歴等もない児童を抽出し、調査している。
- ・区民や関係機関からの通報、相談。
- ・独居、セルフネグレクト・家の前にも植木やゴミが山積み、ゴミ屋敷・ライフラインが一部止まっている。
- ・高齢者を介護する精神疾患のある方へのアプローチに時間を要した事例。
- ・ひとり親家庭で保護者は障害があり、子どもの世話ができていないが保護者自身はできていないという認識は少なく、支援を受けることは恥ずかしいことと思っている様子があった。
- ・ひきこもり状態にある子について、家族から相談を受けるも、当事者に希求性がなく状況改善につながらない。
- ・いわゆる「ゴミ屋敷」のケース。近隣の人と接触を避けているケース等。

(12) 組織としての課題への対応

問24-2 問24のような課題に直面したとき、組織としてどう対応しましたか。
 (○はあてはまるものすべて)

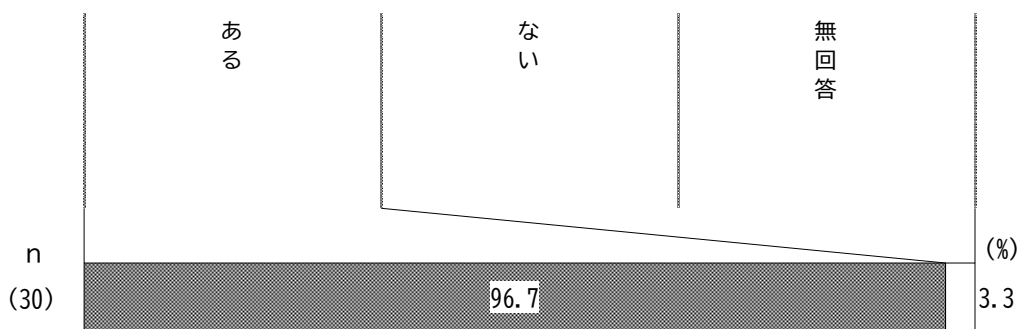
組織としての課題への対応については、「自らで関係機関と連携して支援した」が73.3%、次いで「その他の会議で検討した」が53.3%、「区の支援会議に事例を提出し、関係機関と話し合った」「自らの担当業務を超えても、単独で支援した」が13.3%となっている。



(13) 業務外のことを相談できる人（機関）の有無

問25 問24のような相談者があったとき、自分の業務外のことを、相談できる人、機関はありますか。(○は1つだけ)

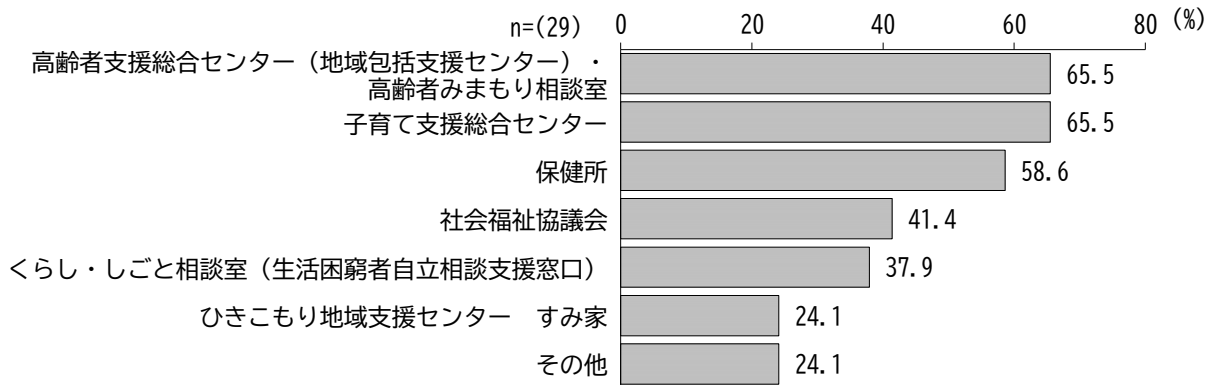
業務外のことを相談できる人（機関）の有無については、「ある」が96.7%となっている。



(14) 相談できる人（機関）

問25-1 相談できる人、機関はどこですか。（○はあてはまるものすべて）

相談できる人（機関）については、「高齢者支援総合センター（地域包括支援センター）・高齢者みまもり相談室」「子育て支援総合センター」が65.5%、次いで「保健所」が58.6%、「社会福祉協議会」が41.4%、「くらし・しごと相談室（生活困窮者自立相談支援窓口）」が37.9%、「ひきこもり地域支援センター すみ家」が24.1%となっている。

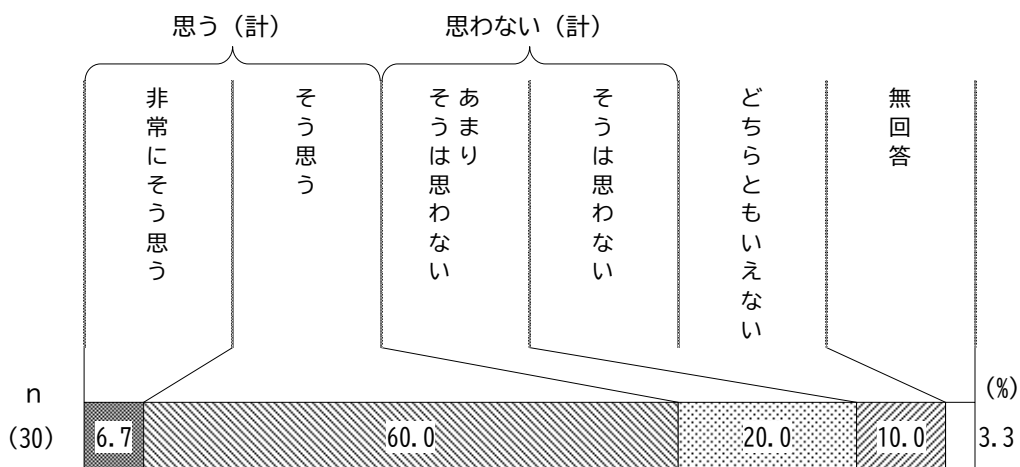


(15) 支援連携や情報共有のやりやすさ

問26 関係機関との連携について、以前より支援連携や情報共有がしやすくなりましたか。（○は1つだけ）

支援連携や情報共有のやりやすさについては、「そう思う」が60.0%、次いで「あまりそうは思わない」が20.0%、「どちらともいえない」が10.0%となっている。

「非常にそう思う」「そう思う」の合計「思う（計）」は66.7%となっている。



(16) 支援連携や情報共有について感じる理由

問26-1 問26でそう回答した理由はなんですか。ご自由にお書きください。

【主なご意見（抜粋）】

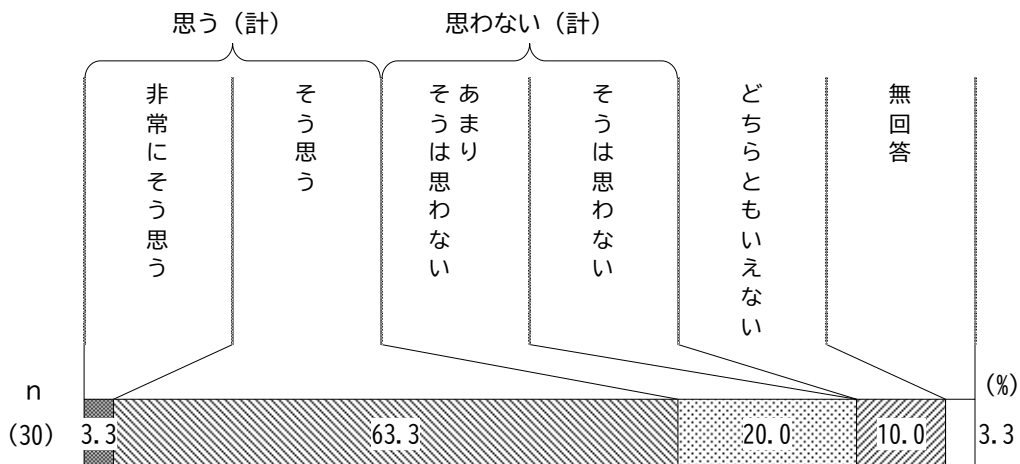
- ・個人情報等の守秘義務の壁。
- ・関わる機会があること。顔が見える関係ができていること。
- ・連携の積み重ね。
- ・顔見知りの職員が増えた。細かいことでも伝えることができている。
- ・区主体で推進する機会（研修、会議等）が多くなったと思う。
- ・新たな機関の開設等、相談先が増えた。
- ・課内の情報共有時に名称を聞くようになった。
- ・顔を合わせる機会が減った。
- ・自館の運営で精一杯な為、他機関との日常的な連携に取り組むまでの余裕はない。
- ・区の担当者が変わると引きつぎがされておらずほぼ白紙に戻るから。

(17) 関係機関の連携について

問27 関係機関の連携は進んでいると思いますか。（○は1つだけ）

関係機関の連携については、「そう思う」が63.3%、次いで「あまりそうは思わない」が20.0%、「どちらともいえない」が10.0%となっている。

「そう思う」「非常にそう思う」の合計「思う（計）」は66.6%となっている。



(18) 関係機関の連携について感じる理由

問27-1 問27でそう回答した理由はなんですか。ご自由にお書きください。

【主なご意見（抜粋）】

- ・連携の積み重ね。
- ・横のつながりができてきている。
- ・担当者の方の「人となり」を知り信頼関係が築けた。
- ・“連携が必要”という意識は高まっているように感じる。
- ・支援方針や方向性を共有したり、役割分担を明確化したりといった協議が行いやすくなった。
- ・普段からつながりのある機関とはスムーズに連絡をとれるが、分野が少し違う機関とのつながりが感じられないため。
- ・関係機関がどこなのか、どこまでつながりをもっていいのかがよくわからない。
- ・子育て、高齢者でわかれてしまい、集まっての情報交換ができない。（担当、対象でわかれている）
- ・区の担当者が変わると引きつぎがされておらずほぼ白紙に戻るから。

(19) 連携や支援体制強化のために必要なこと

問28 関係機関連携や支援体制をより強化するために何が必要だと思われますか。ご自由にお書きください。

【主なご意見（抜粋）】

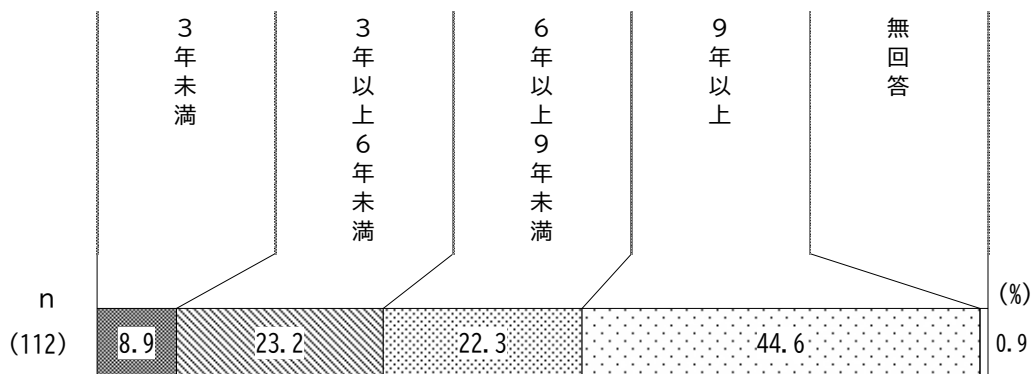
- ・対面での会議や研修等。
- ・横のつながり（子どもから高齢者）の強化。顔の見える関係を作る。
- ・密に連絡をとったり情報交換をする。
- ・対象者を明確した、各機関の役割分担が必要。
- ・対象機関のアウトリーチ訪問。
- ・今の体制で良いと思う。

9. ご自身について【民生委員・児童委員・主任児童委員の方】

(1) 活動歴

問29 民生委員・児童委員として何年活動されていますか。（○は1つだけ）

活動歴については、「9年以上」が44.6%、次いで「3年以上6年未満」が23.2%、「6年以上9年未満」が22.3%となっている。

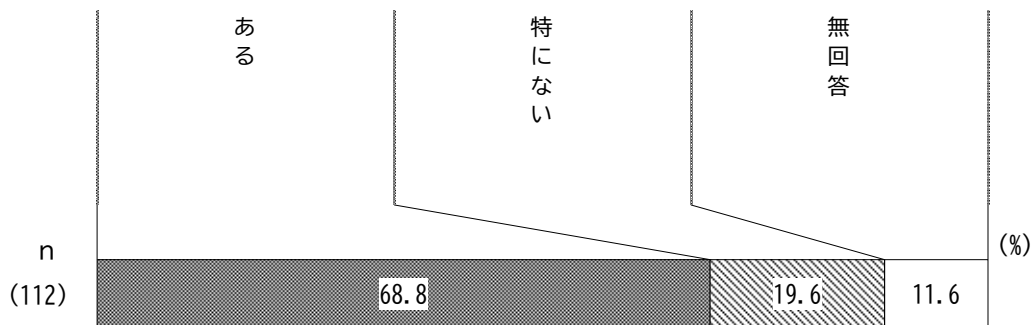


10. 活動について

（1）やりがいの有無

問30 活動をする中で、やりがいを感じることはありますか。（○は1つだけ）

やりがいの有無については、「ある」が68.8%、「特にない」が19.6%となっている。



（2）やりがいを感じる時

問30-1 やりがいを感じる時はどのようなときですか。ご自由にお書きください。

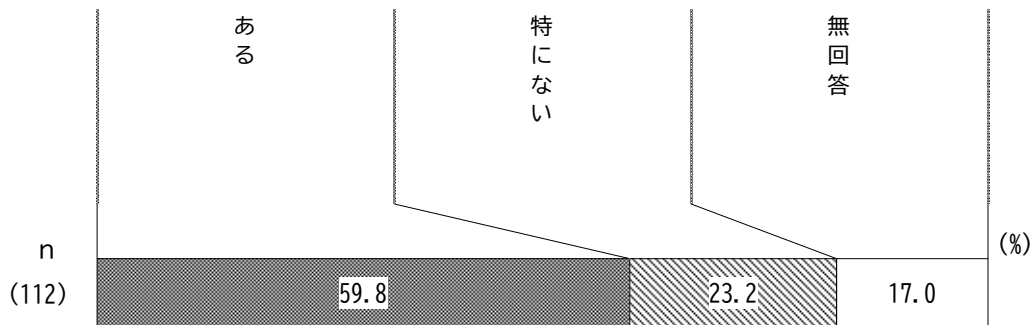
【主なご意見（抜粋）】

- ・地域内での活動内容や顔が認知され、安心して相談してくれるようになったこと。
- ・高齢者のみまもり訪問における会話でつながりを感じたとき。
- ・サポートをした方から感謝の言葉をいただいた時。
- ・相談相手になり、支援した人に喜ばれた時、あなたでよかったと感謝された時。
- ・町内で頼りにされた時、感謝の言葉を言われた時、行事を通して成長できたと感じた時。
- ・対象となる方の困りごとが少しでも軽減されたと感じた時。
- ・支援が必要な人に関係機関へつなげられた時、様々な悩みに寄り添えた時。
- ・ふれあい訪問は困りごとの連絡につながります。

（3）活動における課題の有無

問31 活動をする中で、課題と感じていることはありますか。（○は1つだけ）

活動における課題の有無については、「ある」が59.8%、「特にない」が23.2%となっている。



（4）感じている課題

問31-1 どのようなことを課題と感じていますか。ご自由にお書きください。

【主なご意見（抜粋）】

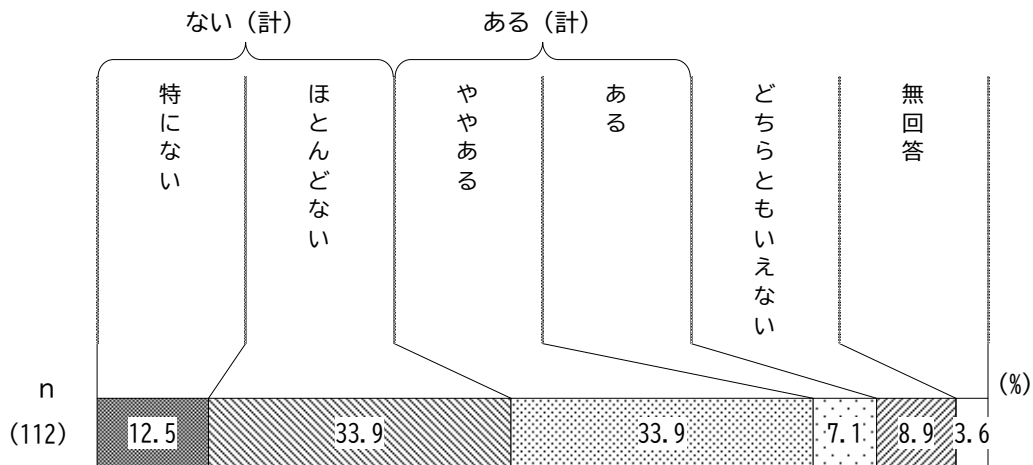
- ・一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯の把握について不安を感じています。
- ・地域住民の方々との交流がない。
- ・民生委員として、どこまで踏み込んで良いのか。
- ・個人情報の取り扱い方。
- ・地域の情報不足により、困窮している人を支援できていないのではないかと悩んでいる。
- ・民生委員、児童委員の活動内容の認知度が低い。
- ・緊急連絡先がない人の見守り、救急搬送時の手続き、孤独死防止、死後事務について課題があります。
- ・警戒感が高く、居留守や個人情報の開示への抵抗があります。
- ・担い手を見つけることが難しい。
- ・民生・児童委員の資質には個人差があり、活動に差が見られる。

（5）活動における負担の有無

問32 活動をする中で、負担に感じることはありますか。（○は1つだけ）

活動における負担の有無については、「ほとんどない」「ややある」が33.9%、次いで「特にない」が12.5%となっている。

「特にない」「ほとんどない」の合計「ない（計）」は46.4%となっている。



（6）感じている負担

問32-1 負担に感じることはどのようなことですか。ご自由にお書きください。

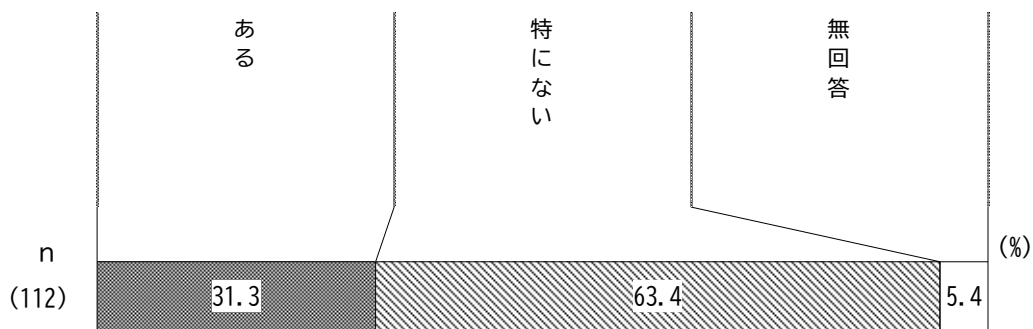
【主なご意見（抜粋）】

- ・年齢的に体力が落ちてきて、様々な活動が負担になることがある。長寿祝金を9月まだ暑い中に配るのも大変。
- ・相談等に応じることは、精神的な負担が大きい。また時間もかかる。
- ・なるべく多くの方と接しようと、1月に何軒か訪問するも、会える機会はほとんど無い。セキュリティが高くなるほど、なかなか心を開いて人と接する機会が低くなっていると感じる。
- ・自分も仕事をしているため、思うように時間がとれない。
- ・関係機関との連携等で、時間を費やすことが多い。ある程度は仕方ないことなのですが。
- ・民生委員への理解が地域住民の方々には知られていません。

(7) 活動における困った事例の有無

問33 民生委員・児童委員活動をしていく中で特に困ったことはありましたか。
(○は1つだけ)

活動における困った事例の有無については、「ある」が31.3%、「特にない」が63.4%となっている。



(8) ①事例の内容

問33-1 どのような事例でしたか。

【主なご意見（抜粋）】

- ・認知症、独居高齢者、明らかに介護サービスを受けなければならない状況であるにもかかわらず、本人が固辞。
- ・長寿祝金を渡す際、拒絶された。
- ・近隣の方とのトラブル。
- ・認知症高齢者の見守り。
- ・賃貸物件に住んでいる方の安否確認。
- ・自殺や事故。
- ・ゴミ屋敷の方。

(9) ②困ったこと

問33-1 どのようなことで困りましたか。

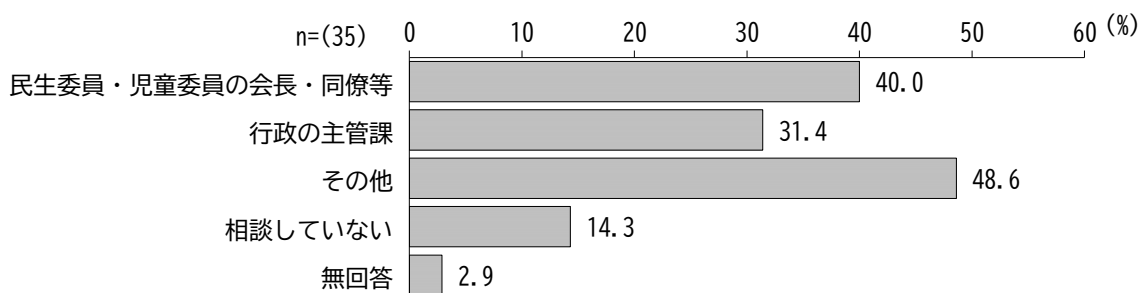
【主なご意見（抜粋）】

- ・対象者が不在の場合、夜間や休日の対応が強いられたこと。
- ・イジワルされる。悪口をいわれる。
- ・怒り出す程で、不安になった。
- ・一人で行くのが少し怖かった。
- ・どろぼう扱いを受けた。
- ・担当地域住民の状況の詳細の質問に対する回答を求められた。
- ・インターフォンだけではなかなか話ができない。
- ・安否確認ができない。
- ・その高齢者の近隣からの苦情（認知症への理解なし）が来て、説明するが理解してもらえないこと。
- ・怒鳴られた。

(10) ③相談の有無

問33-1 どこかに相談しましたか。（○はあてはまるものすべて）

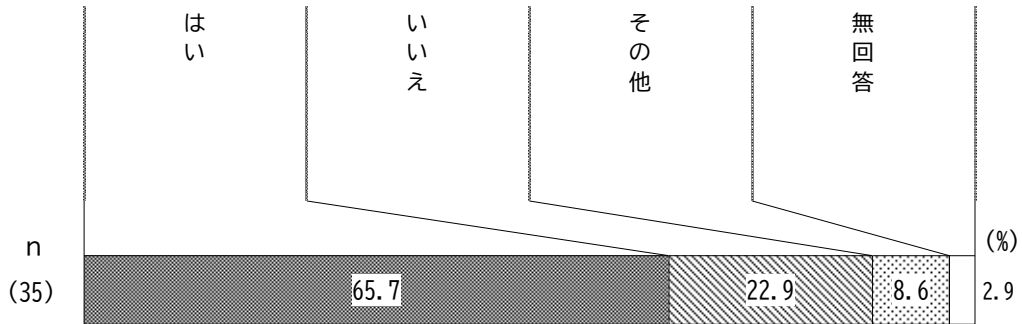
相談の有無については、「民生委員・児童委員の会長・同僚等」が40.0%、次いで「行政の主管課」が31.4%となっている。



(11) ④解決状況

問33-1 この事例は解決しましたか。（○は1つだけ）

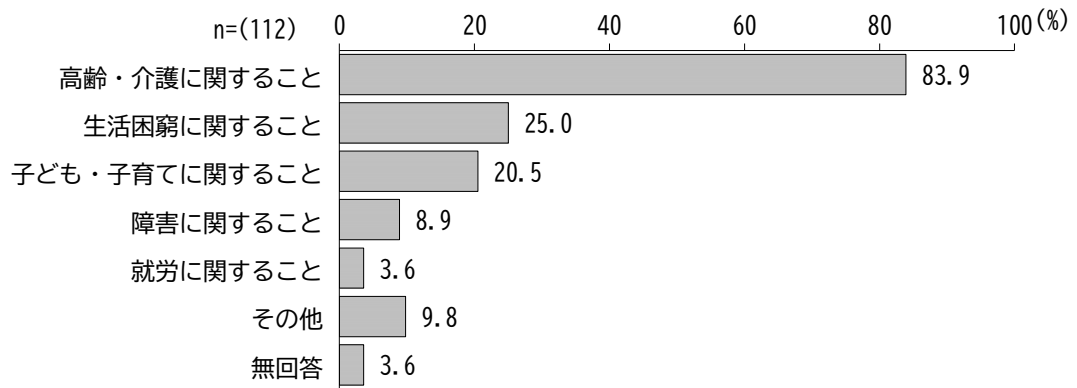
解決状況については、「はい」が65.7%、「いいえ」が22.9%となっている。



(12) 相談の多い分野

問34 どのような分野の相談が多いですか。（○は3つまで）

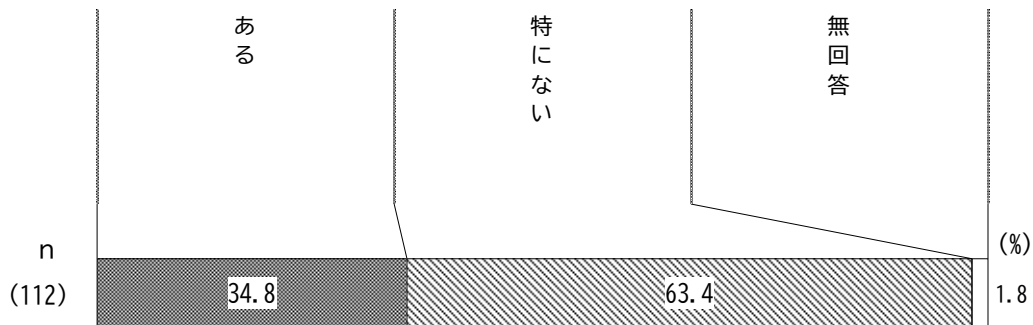
相談の多い分野については、「高齢・介護に関すること」が83.9%、次いで「生活困窮に関すること」が25.0%、「子ども・子育てに関すること」が20.5%となっている。



(13) 公的支援が届いていないと思った相談事例の有無

問35 具体的な相談事例として、公的支援が届いていないと思った個人、世帯と接したことはありますか。（○は1つだけ）

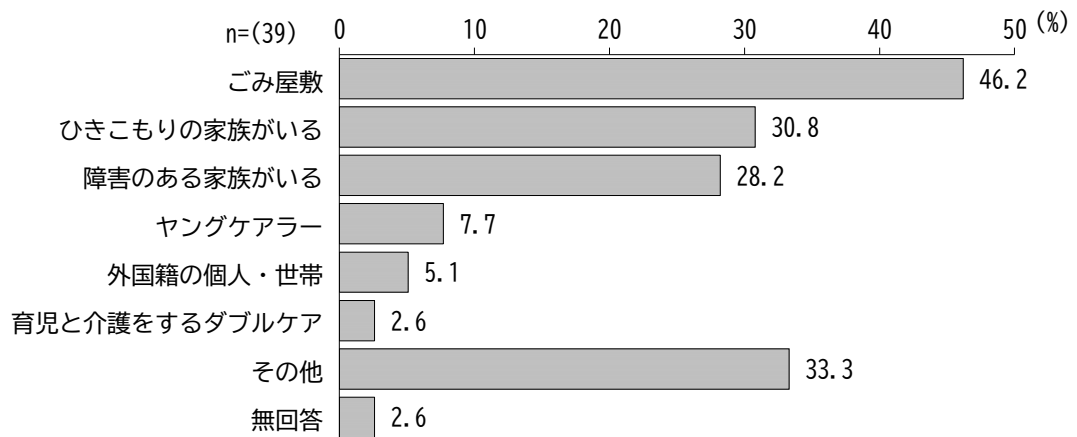
公的支援が届いていないと思った相談事例の有無については、「ある」が34.8%、「特にない」が63.4%となっている。



(14) もっていた課題

問35-1 どんな課題をもっていましたか。（○はあてはまるものすべて）

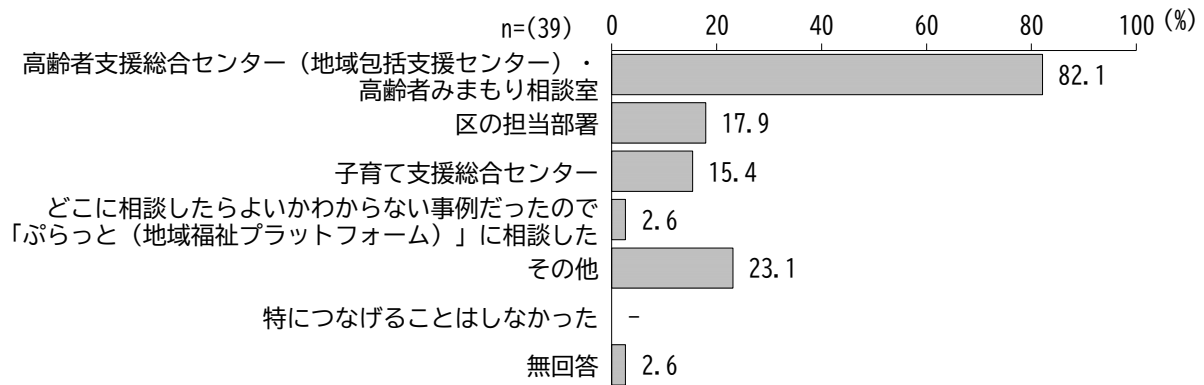
もっていた課題については、「ごみ屋敷」が46.2%、次いで「ひきこもりの家族がいる」が30.8%、「障害のある家族がいる」が28.2%となっている。



(15) つなげた場所

問35-2 どこかにつなげましたか。（○はあてはまるものすべて）

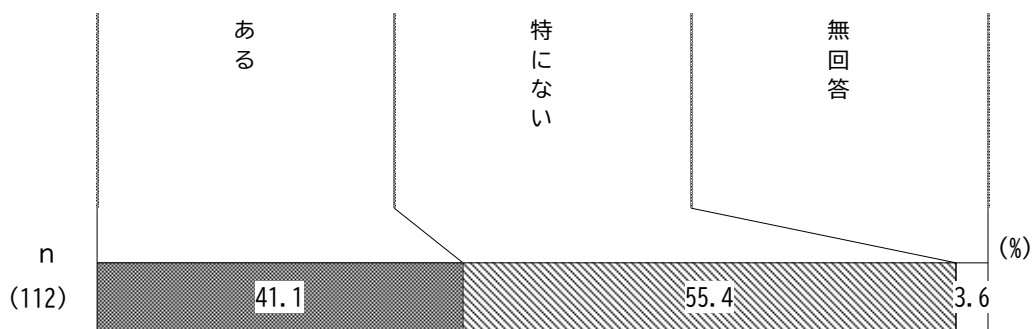
つなげた場所については、「高齢者支援総合センター（地域包括支援センター）・高齢者みまもり相談室」が82.1%、「区の担当部署」が17.9%、「子育て支援総合センター」が15.4%となっている。



(16) 何らかの問題を抱える個人等との接触経験

問36 社会とのつながりを断っている、見守りを拒む、自分から声を発さないなど、地域で孤立している個人、世帯と接したことはありますか。（○は1つだけ）

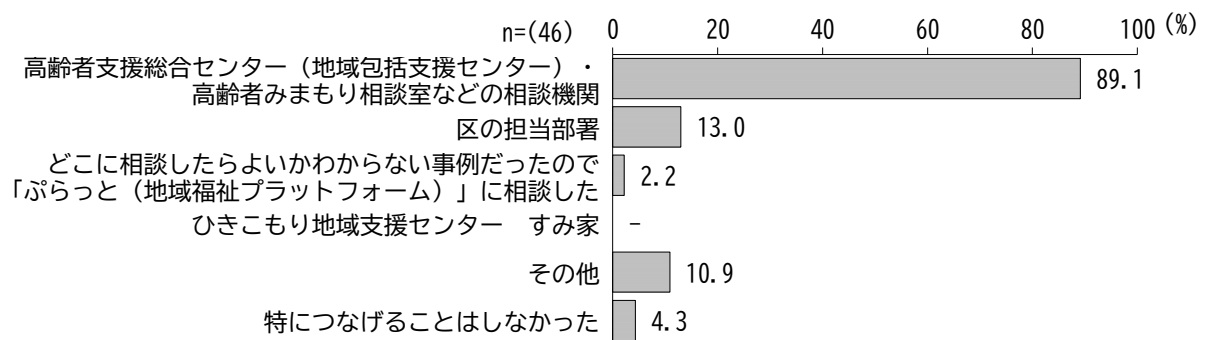
何らかの問題を抱える個人等との接触経験については、「ある」が41.1%、「特にない」が55.4%となっている。



(17) つなげた場所

問36-1 どこかにつなげましたか。（○はあてはまるものすべて）

つなげた場所については、「高齢者支援総合センター（地域包括支援センター）・高齢者みまもり相談室などの相談機関」が89.1%、次いで「区の担当部署」が13.0%となっている。

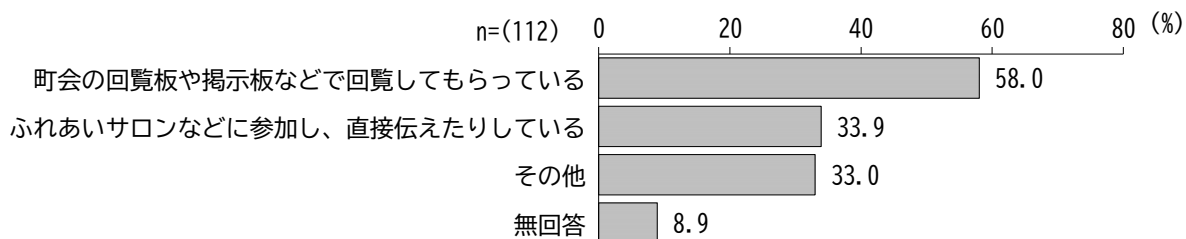


11. 情報の授受について

(1) ①住民への情報周知方法

問37 担当地区の住民への情報提供はどのようにしていますか。
 また、困っている人がいるなどの住民の情報はどのように把握されていますか。
 （それぞれ○はあてはまるものすべて）

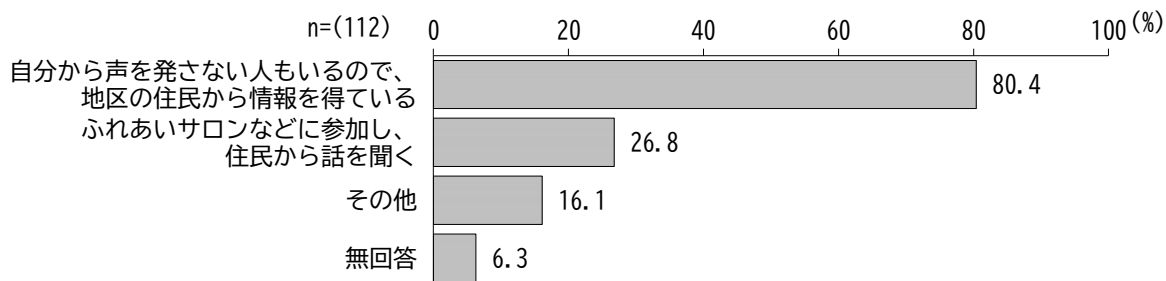
住民への情報周知方法については、「町会の回覧板や掲示板などで回覧してもらっている」が58.0%、次いで「ふれあいサロンなどに参加し、直接伝えたりしている」が33.9%となっている。



(2) ②住民の情報把握方法

問37 担当地区の住民への情報提供はどのようにしていますか。
 また、困っている人がいるなどの住民の情報はどのように把握されていますか。
 （それぞれ○はあてはまるものすべて）

住民の情報把握方法については、「自分から声を発さない人もいるので、地区の住民から情報を得ている」が80.4%、次いで「ふれあいサロンなどに参加し、住民から話を聞く」が26.8%となっている。

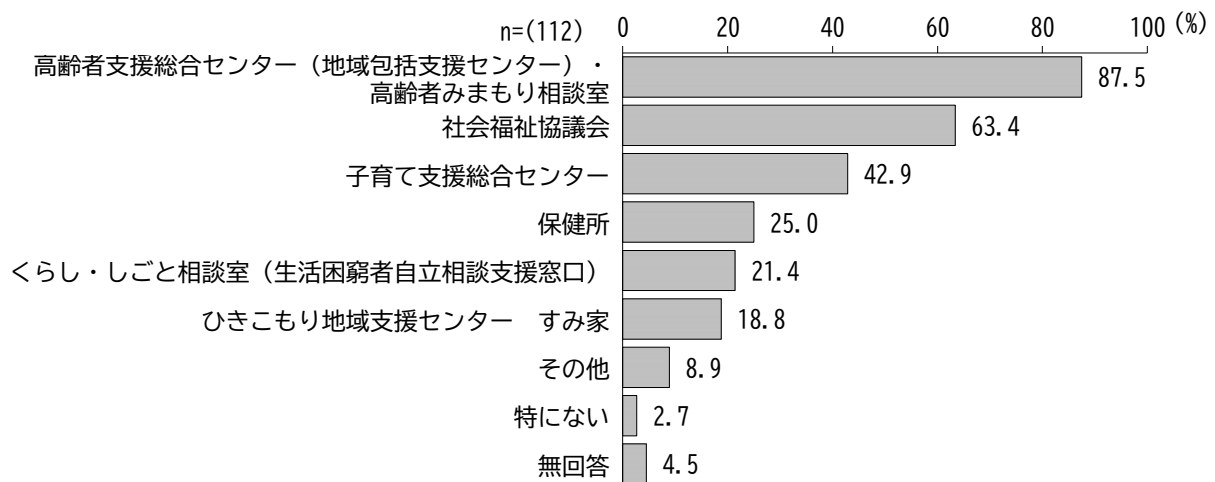


12. 墨田区について

（1）連携が必要な相談機関、団体

問38 活動をする上で、連携が必要だと思う相談機関、団体等はどこですか。
 （○はあてはまるものすべて）

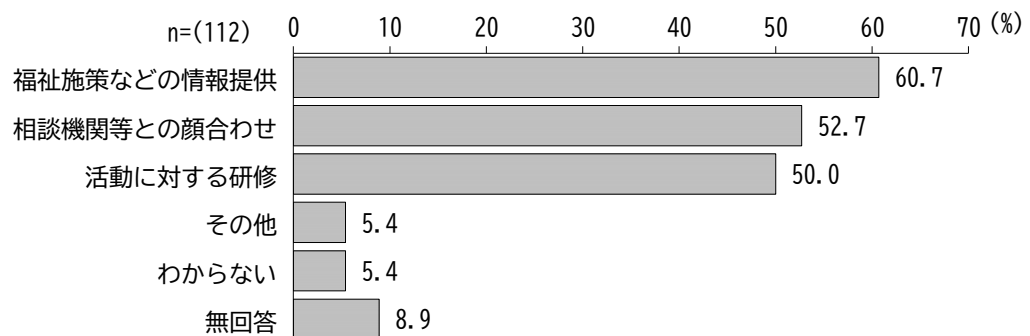
連携が必要な相談機関、団体については、「高齢者支援総合センター（地域包括支援センター）・高齢者みまもり相談室」が87.5%、次いで「社会福祉協議会」が63.4%、「子育て支援総合センター」が42.9%、「保健所」が25.0%となっている。



（2）民生委員・児童委員に必要な支援

問39 活動を進める上で、民生委員・児童委員に必要な支援はどのようなことですか。
 （○はあてはまるものすべて）

民生委員・児童委員に必要な支援については、「福祉施策などの情報提供」が60.7%、次いで「相談機関等との顔合わせ」が52.7%、「活動に対する研修」が50.0%となっている。



(3) 墨田区に望むこと

問40 活動を進めていくにあたり、墨田区に望むことはありますか。
ご自由にお書きください。

【主なご意見（抜粋）】

- ・担当課ではない職員へも民生委員活動の内容を研修などで周知してほしい。
- ・住民への情報発信をもっと幅広くできるとよい。
- ・区役所の中の横のつながりをもっと密にしてほしい。
- ・事例に関しての研修を、民生の会議の時に行うことで、墨田区でこんな対応をしているとか話し合えればいいのではないのでしょうか。
- ・ふれあい訪問活動の際の長寿祝金継続を強く望みます。マンション住人が急増している中、付き合いの輪が広がっていく。
- ・ハード面での充実も必要だが、それに関わる人に対するソフト面での支援も欲しいと思います。役割上、記載できない多くの悩みや不安、ボランティアとしてどこまで、関わればよいかを常に感じている。研修会等では、解決できない問題と感じています。
- ・高齢者でもなく子育て世代でもない50代から60代前半の方たちのお困りごとを相談できるところがない。困っています。
- ・民生、児童委員の活動に当たってのサポート体制を整えてほしい。ケースがスムーズに行かず長期化する場合、精神的ストレスを受けやすいので、相談できる窓口のようなものがあると助かる。
- ・今後、より若い世代にも協力を得て委員の層を広げる。就業中の方々も増えるだろうことから会議等の日時設定を見直すこと。

(4) 区に力を入れてほしいこと

問41 安心して暮らすことのできる墨田区をつくるために、
区に力を入れてほしいことはありますか。ご自由にお書きください。

【主なご意見（抜粋）】

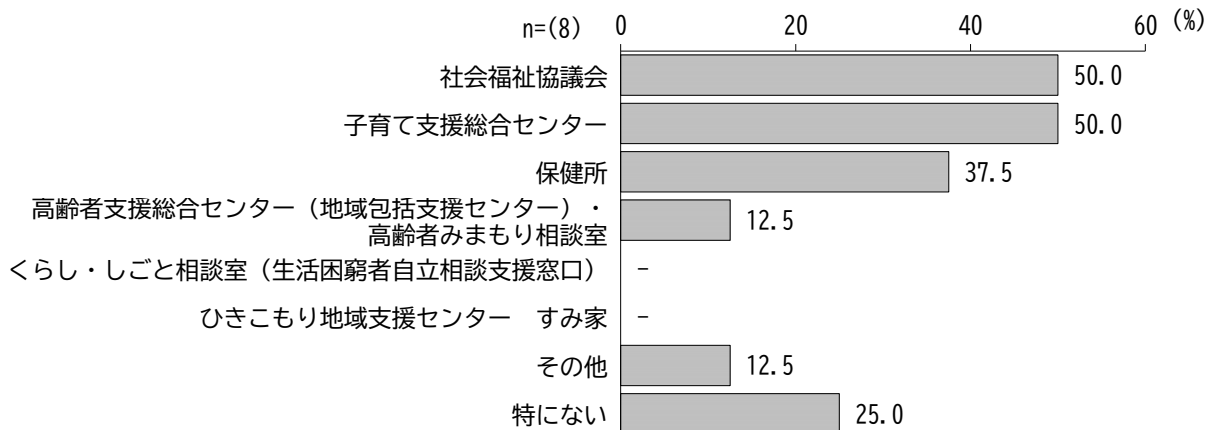
- ・ 町会等に興味を持っていただき一人でも多くの人達とコミュニケーションをとれるように、町会イベントなどの広報でお知らせしてほしい。防災にしても若い世代の方の参加がないので。
- ・ 災害時における一人暮らしの高齢者への支援。（相談窓口や避難など）
- ・ 防犯対策。（防犯対策グッズの補助金というのがありますが、あれは良いと思います）
- ・ 防犯カメラの増設。
- ・ 一人暮らしの高齢者が増えている。見まもりの充実が必要となるが古くからの住人は良いが、集合住宅の方へのアクションを区がしてくれたら助かる。
- ・ 集合住宅が増え、町会の加入が任意であるため、加入者が減少している傾向であり、情報共有ができるように他人との関係が持てるように地域のコミュニティに力を入れてほしいです。
- ・ 民泊がどんどんできてきて、不安です。少し規制を強めた方がよいと思います。
- ・ よく考えていただいていると思う。地域のイベントを応援してほしい。
- ・ 一人暮らしの方が、ひきこもりにならないように、居場所（家から近い所）に集まれる場所があれば良いと思います。
- ・ 地域福祉の担い手不足は今後深刻な問題となってくるでしょう。長い目を見て、小・中・高等学校での「福祉教育」の充実を積極的に図ってほしい。
- ・ まだまだハード面のバリアフリーが足りないと思います。車イスでは動きにくい歩道や、施設も車イスのトイレなどが少ないと感じます。
- ・ 民生委員の成り手を確保すること。
- ・ 民生・児童委員はどのような立ち位置なのか、区民全体に広めてほしい。
- ・ 現状も墨田区は安心して暮らす事ができると思います。継続して実行して下さい。ありがとうございました。

13. 地域における公益的な取組について【社会福祉法人の方】

(1) 現在連携している団体等

問42 現在連携している団体等がありますか。（○はあてはまるものすべて）

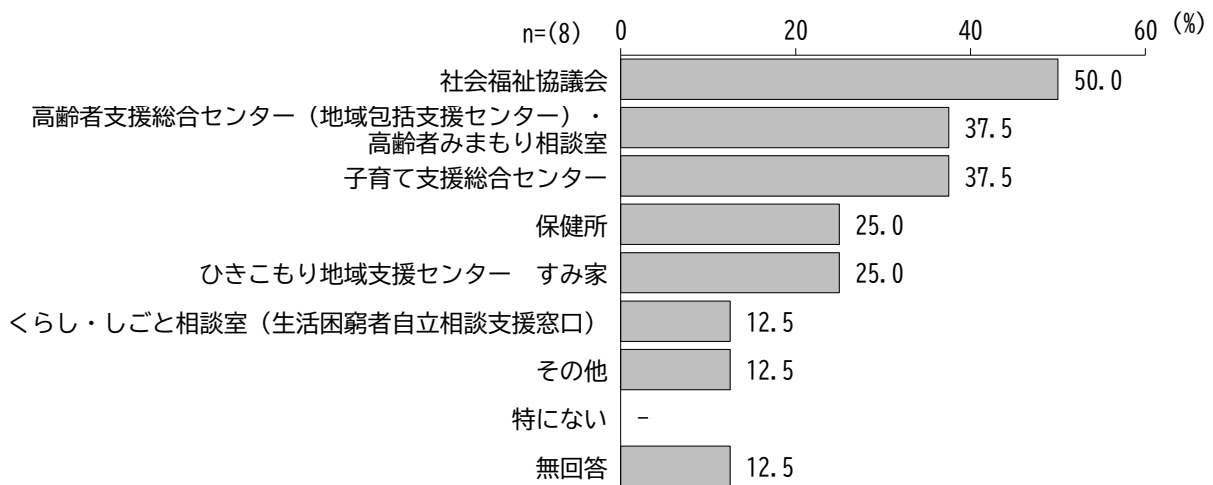
現在連携している団体等については、「社会福祉協議会」「子育て支援総合センター」が50.0%、次いで「保健所」が37.5%となっている。一方、「特にない」は25.0%となっている。



(2) 今後連携したい団体等

問43 取組を進める中で、今後連携したいと思う団体等は何ですか。（○はあてはまるものすべて）

今後連携したい団体等については、「社会福祉協議会」が50.0%、次いで「高齢者支援総合センター（地域包括支援センター）・高齢者みまもり相談室」「子育て支援総合センター」が37.5%、「保健所」「ひきこもり地域支援センター すみ家」が25.0%となっている。



14. 墨田区について

（1）墨田区に望むこと

問44 活動を進めていくにあたり、墨田区に望むことはありますか。
ご自由にお書きください。

【ご意見（抜粋）】

- ・墨田区側の積極的な関わりが必要。地域福祉プラットフォーム広報不足、生活保護者への就労に向けた積極的な取組不足。
- ・人数が足りず初動が遅れます。支援者が時間を多く費やしても人数が足りないなので、関わっている側として待つことが多くしかたがないと感じています。
- ・墨田区内の児童福祉、特に社会的養護領域について、区独自の在り方を検討する場を設置してもらいたい。そこから地域福祉の展開につなげていくことができると考えている。
- ・家族の同居関係なく高齢者の名簿。
- ・子育て世帯が区内から区外へ引っ越される方が増えていくのではと不安がある。住宅（低家賃、4～5人家族でも住める住宅）を確保してほしい。
- ・防災の観点から、大地震、水害などに高齢者（施設、在宅とも）が見舞われた際の行政の受け皿を大きく、ぶ厚くしていただきたいと思います。
- ・ひとことで地域福祉といっても、乳幼児から高齢者まで、また、不登校やひきこもり、高齢者のひとり暮らしなど、幅広いと感じます。今は、まず、首都圏直下型地震が起こった際の地域のボランティアセンターの立上げや、各施設との連携の具体化。

(2) 区に力を入れてほしいこと

問45 安心して暮らすことのできる墨田区をつくるために、
区に力を入れてほしいことは何ですか。ご自由にお書きください。

【ご意見（抜粋）】

- ・住み続けられる環境設備。（住宅施策等も含む）
- ・生活保護者に対する積極的な就労支援又は、既存施設（受産施設）の活用が必要。活用不足。
- ・年をとると体も弱くなり、生活と医療ほか、支出に充分ではなくなります。もし自分が支障をきたす前に区の説明書に事例と具体的手続きが書かれていると、前準備ができます。
- ・生活の安定。困窮者、障害者にもっと目を向けてほしいサポート。
- ・特に住宅に問題があると思うので、空き家の有効活用など、若い世帯が安心して住み続けられるようにしてほしい。
- ・地域福祉計画策定に対して、障害者の中で特に視覚障害に対して、行政関係者は視覚障害の詳細について理解を深めてほしい。現状視覚的生活がより進み、益々視覚障害者は生活が困難になっている。
- ・防災対策です。

第4章 資料編

1. 区民調査票

地域福祉計画策定に係るアンケート調査

ご協力をお願い

区民の皆様には、日頃より区政へのご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。
 墨田区では地域のさまざまな課題の解決に向けて、地域福祉を推進するためのしくみをつくる「墨田区地域福祉計画」に基づき、地域福祉に関する取組を推進しています。

この度、令和8年度の計画の改定にあたり、区内の地域福祉に関する現状やニーズを把握し、地域福祉施策に反映するための調査を実施することとなりました。

この調査は、住民基本台帳から18歳以上の区民3,000名を無作為に選ばせていただきました。本調査は無記名でご回答いただくものであり、ご回答いただいた内容は全て統計的に処理することから、個人が特定されることはありません。また、本調査の目的以外には使用いたしませんので、安心してご回答ください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月

墨田区長 山本 亨

地域福祉計画とは

地域で暮らす住民同士の変えあい、助け合いを推進するとともに、地域に存在する多様な主体が連携・協働することにより、子どもから高齢者まで、障壁のある人もない人も、区民の誰もが自分らしく、安心して暮らし続けることのできる地域を作っていくための指針となる計画のことです。

ご記入にあたってのお願い

- 質問には、あて名のご本人がご回答ください。ご本人の記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人の考えをお聞きの上、代理でご記入ください。
- お答えは、それぞれの質問の順番に従って○印を付けてください。また、設問によってはご回答いただく方が限られる場合があります。宋印やことわり書きに併せてご回答ください。
- 「その他」に○印を付けられた方は、() 内に具体的な考えを記入してください。
- 回答は、郵送またはインターネットで行うことができます。どちらの方法をお選びください。インターネットにてご回答される方は、裏面の「インターネットによる回答方法」にて回答方法の詳細をご覧ください。
- 郵送で回答される場合は、封筒の返信用封筒（切手不要）に入れて、ご返送ください。
- 回答は**2025年12月14日（日）**までに、封筒または返信してください。
※ご住所・お名前を記入する必要はありません。

お問い合わせ

墨田区 福祉部 地域福祉課 地域福祉担当
 電話：03-5608-1163（直通）

地域福祉計画策定に係るアンケート調査
 インターネットによる回答方法

インターネットによる回答は、下記のように行ってください。
 紙の調査票でご回答いただいた方は、インターネットでご回答いただく必要はございません。

- 1 回答用ページへアクセス
 URL：https://logform.jp/form/DnDn/1287971
 ＊タブレット、スマートフォンからは、右の二次元コードを読み取ってアクセスできます。



- 2 回答フォームにログイン
 回答用ページでインターネット回答用「ID」「パスワード」を入力します。
 あなたのインターネットによる回答用「ID」「パスワード」

ID：
 パスワード：

※回答の重複を防ぐためにIDを任意に変更していただきます。個人を特定することはありません。

- 3 インターネットによる回答を開始
 画面が表示されます。表示された設問をお読みになって、あてはまる選択肢を選んでください。自由に記述する設問等は、枠内に文字を入力してください。

ご回答の際のご注意

- インターネットによる回答期間は、**12月14日（日）23時59分**です。

1. あなたご自身について

F 1 あなたの性別についてお聞かせください。(○は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. その他

F 2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 20歳未満 3. 30代 5. 50代 7. 70代
2. 20代 4. 40代 6. 60代 8. 80代以上

F 3 あなたはどちらにお住まいですか。番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

お住まいの地域	
1	総通二丁目、墨田、東向島四～五丁目
2	東向島六丁目、八広
3	立花、東墨田
4	向島、東向島一～三丁目、堤通一丁目
5	押上、取島、文花
6	横断、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋
7	錦糸、太平、横川、薬平
8	両国、千歲、錦、立川、菊川、江東橋

F 4 あなたの家族構成は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 一人暮らし 4. 二世帯世帯(子と同居)
2. 配偶者・パートナーとの二人暮らし 5. 三世帯世帯
3. 二世帯世帯(親と同居) 6. その他()

F 5 あなたの就業形態は、次のうちどれですか。(○は主なもの1つだけ)

1. 常勤(フルタイム) 5. 無職(求職中)
2. 非常勤(パート・アルバイト等) 6. 無職(求職していない)
3. 自営業 7. その他()
4. 学生

F 6 あなたの墨田区での居住年数は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 1年未満 3. 5年以上10年未満
2. 1年以上5年未満 4. 10年以上

2. 地域の居場所、交流について

問1 悩みや困ったことがあった場合、相談できる方(場所)はいますか(ありますか)。(○は1つだけ)

1. いる(ある) 2. いない(ない) 問2へ

【問1で「1. いる(ある)」と回答した方におたずねします。】

問1-1 誰(どこ)に相談しますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 家族・親戚 4. 近所や町会・自治会の人
2. 友人・知人 5. 区役所・保健所などの関係窓口
3. 学校・職場 6. その他()

問2 地域に自宅以外に安心して過ごせる場所、「居場所」はありますか。(○は1つだけ)

1. ある 2. ない 問2-2へ

【問2で「1. ある」と回答した方におたずねします。】

問2-1 それはどのようなところですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 友人・知人・同居していない家族の家 5. 趣味や習い事の教室
2. 学校・職場 6. 子ども食堂・地域食堂
3. 図書館やコミュニティセンター 7. ボランティア活動の場
4. ふれあいサロン 8. その他()

【問2で「2. ない」と回答した方におたずねします。】

問2-2 どのような場所があれば安心して過ごせますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 活動者が常駐している交流スペース 5. 異なる世代と交流できる場所
2. 自分や家族のことを相談できる場所 6. その他()
3. 楽しく活動できる場所 7. 特にな
4. 同世代と交流できる場所

問3 現在を含めこれまでに、孤独感や孤立感を感じたことはありますか。(○は1つだけ)

1. 帯にある 3. ほとんどない
2. ときどきある 4. 全くない

問4 あなたはご近所や地域の人と、どの程度のお付き合いをしていますか。(〇は1つだけ)

1. 親しく付き合っている
2. 立ち話をする程度
3. あいさつをする程度
4. 付き合いはほとんどない

→【問4で「4. 付き合いはほとんどない」と回答した方におたずねします。】

問4-1 付き合いがない主な理由は何か。(〇はあてはまるものすべて)

1. 仕事や家事などで忙しく時間がないから
2. 引越してきて間もないから
3. ふだん付き合い合う機会がないから
4. 近隣の人と知り合うきっかけがないから
5. 気の合う人、話の合う人が近くにいないから
6. あまり関わりを持ちたくないから
7. 新型コロナウイルスの流行をきっかけに交流がなくなったから
8. その他()
9. 特に理由はない

問5 お住まいの地域で、何か困りごとがありそうな人や世帯に手助けが必要ではないかと気づいた場合、どなたに相談しますか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 友人・知人
2. 近所や町会・自治会の人
3. 区役所・保健所などの関係窓口
4. 警察
5. 民生委員・児童委員
6. 学校
7. その他()
8. どこに相談したらいいかわからない
9. 相談しない

3. 地域活動、ボランティア参加について

問6 地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。(〇は1つだけ)

1. ある
2. ない

→【問6で「1. ある」と回答した方におたずねします。】

問6-1 それはどのような活動ですか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 町会・自治会活動
2. 地域の障害者や高齢者の見守り、手助け
3. 地域の子どもや子育て世帯の見守り、手助け
4. 各種イベント運営の手伝い
5. 福祉施設の手伝い
6. 災害ボランティア
7. 国際交流・国際協力
8. その他()

→【問6で「2. ない」と回答した方におたずねします。】

問6-2 参加しない理由は何か。(〇はあてはまるものすべて)

1. 関心がない
2. 参加する時間がない
3. どのような活動があるかわからない
4. 必要に迫られていない
5. 地域の人と交流したくない
6. メリットがない
7. どのように参加すればいいかわからない
8. その他()

→【問6で「2. ない」と回答した方におたずねします。】

問6-3 地域活動やボランティア活動に参加したいと思いませんか。(〇は1つだけ)

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない

問7 地域活動やボランティア活動の企画・運営をしてみたいと思いませんか。(〇は1つだけ)

1. してみたい
2. してみてもよい
3. あまりしたくない
4. 全くしたくない
5. 既にしている

問8 今後、あなたやご家族の活動や支え合いの活動への参加への参加を検討する場合、どのような条件があれば参加・活動しやすいと思いますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 活動情報の提供があること
2. 活動や団体を紹介してくれること
3. 友人等といっしょに参加できること
4. 気軽に参加できそうな活動があること
5. NPO法人や自主サークルの立ち上げ支援があること
6. 活動拠点となる場所があること
7. 時間や期間にあまりばられないこと
8. 身近なところで活動できること
9. 適切な指導者やリーダーがいること
10. 身体的な負担が少ないこと
11. 金銭的な負担が少ないこと
12. その他()
13. どのような条件でも参加できない

4. 地域での暮らしについて

区では、一人暮らしの高齢者、知的障害者、精神障害者やその家族の方の権利や財産を保護するなど、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援をしています。

問9 成年後見制度を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 聞いたことがある
3. 知らない

※「成年後見制度」とは…認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分ではない方について、本人の権利を守る預言者を選ぶことによって、本人を法的に支援する制度。

問10 あなたやご家族の判断能力が低下した場合に、不安に感じることはありませんか。(○はあてはまるものすべて)

1. 預貯金や生活費の管理のこと
2. 入院や施設入所のこと
3. その他()
4. 不安に感じることはない

問11 あなたやご家族の亡くなった後のことで、不安に思うことはありませんか。

- (○はあてはまるものすべて)
1. 葬儀・お墓に関すること
 2. 遺品整理に関すること
 3. 相続のこと
 4. 行政官庁・公共料金等の手続に関すること
 5. その他()
 6. 特にない

問12 あなたやご家族の判断能力が低下した場合、「成年後見制度」を利用したいと思いませんか。(○は1つだけ)

1. 利用することを検討したい
2. 利用したくない
3. 既に利用している
4. わからない

→【問12で「2. 利用したくない」と回答した方におたずねします。】

問12-1 成年後見制度を利用しない理由を教えてください。(○はあてはまるものすべて)

1. 家族・親族等に対応できる
2. 手続きが複雑そうである
3. 手続きや後見人の報酬等の費用がかかる
4. 信頼できる後見人が見つからない
5. 制度のことをよく知らない
6. その他()

5. 防災について

問13 あなたは災害時への備えをしていますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 避難所*の場所と避難場所*への経路を確認している
2. 日ごろから地域の防災訓練に参加している
3. 緊急時に手助けが必要な近隣住民を把握している
4. その他()
5. 特にしていない

※「避難所」とは…自宅周囲や水災により、自宅に居ることができない場合の一時的な生活拠点。
※「避難場所」とは…延焼火災が発生した際に、火災が鎮火するまで待つ場所として東京都が指定している。

問14 災害発生時に避難をする際、あなたを助けてくれる人はいませんか。(○はあてはまるものすべて)

1. 家族・パートナー
2. 近所の人
3. その他()
4. 助けてくれる人はいない
5. 助けは必要なく、自力で避難できる

問15 支援が必要な人が地域にいたら、手助けすることはできますか。(○は1つだけ)

1. 手助けできる
2. ある程度はできる
3. できない
4. わからない

問16 災害発生後、ご自身や家族の安全が確認されたうえで、どのような地域の活動に協力できますか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 近所の人の安否確認
2. 自分で移動することが難しい人の支援
3. 避難所が開設された時の避難所運営支援
4. 災害ボランティア活動
5. その他 ()
6. なにができるかわからない
7. 特になし

6. 墨田区の福祉について

問17 墨田区の福祉に関する情報入手できていますか。(〇は1つだけ)

1. できている
 2. どちらかといえぼできている
 3. どちらかといえぼできていない
 4. できていない
- 問17-2、問17-3へ

【問17で「1. できている」又は「2. どちらかといえぼできている」と回答した方におたずねします。】

問17-1 何から情報入手していますか。(〇はあてはまるものすべて)

1. ホームページやSNS
2. 区報・社協だより
3. 回覧板や町会の掲示板
4. 民生委員や近所の人に教えてもらう
5. その他 ()

【問17で「3. どちらかといえぼできていない」又は「4. できていない」と回答した方におたずねします。】

問17-2 入手できない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 情報が多すぎてわかりにくいから
2. 区報・社協だよりなどは、文字が小さくて読みづらいから
3. デジタル機器が使えないから
4. 必要がないから
5. その他 ()

【問17で「3. どちらかといえぼできていない」又は「4. できていない」と回答した方におたずねします。】

問17-3 どのような方法で発信すれば、情報を手に入れやすいですか。ご自由にお書きください。

問18 次の各種相談場所（相談できる人）を知っていますか。(〇はそれぞれ1つだけ)

	相談できる人	知っているかどうか
	回答例 →	〇
①区役所内の各種相談窓口		1
②高齢者支援総合センター、高齢者みまもり相談室		1
③子育て支援総合センター		1
④保健所		1
⑤障害者就労支援センター		1
⑥障害者基幹相談支援センター		1
ひぐらし・しごと相談室		1
区社会福祉協議会		1
⑨ひぐさこもり支援専用相談窓口「すみ家（か）」		1
⑩児童館		1
⑪民生委員・児童委員		1
⑫地域福祉プラットフォーム「がらっと」（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）		1

問19 区の地域福祉を推進する上で、力を入れてほしいことはありますか。(〇はあてはまるものすべて)

1. どこに相談すればいいかわからない不安や悩みを受け付ける相談体制の充実
2. 支援につながらない世帯に対するアウトリーチ（訪問）型の支援の充実
3. 地域の居場所や住民同士が交流できる拠点への支援の充実
4. ボランティア・地域活動などの住民支え合い活動の充実
5. 地域福祉の担い手を増やす事業の充実
6. その他 ()
7. 特になし
8. わからない

問20 農田区の地域福祉に関するご意見・ご要望があれば、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。
ご協力いただき、ありがとうございます。
ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
12月14日（日）までに ご返願ください。

2. 団体調査票

地域福祉計画策定に係るアンケート調査

ご協力をお願い

日頃より区政へのご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。
 豊田区では地域のさまざまな課題の解決に向けて、地域福祉を推進するためのしくみをつくる「豊田区地域福祉計画」に基づき、地域福祉に関する取組を推進しています。
 この度、令和8年度の計画の改定にあたり、区内の地域福祉に関する現状やニーズを把握し、地域福祉施策に反映するための調査を実施することとなりました。
 この調査は、区内で地域福祉に関する活動を展開する団体の皆さまにご協力をお願いするものです。本調査は無記名でご回答いただくものであり、ご回答いただいた内容は全て統計的に処理することから、個人が特定されることはありません。また、本調査の目的以外には使用いたしませんので、安心してご回答ください。
 お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月

豊田区長 山本 亨

ご記入にあたってのお願い

- 1 質問には、あて名のご本人もしくは団体の代表者様にご回答ください。
- 2 お答えは、それぞれの質問の指示に従って○印を付けてください。また、期間によってはご回答いただく方が限られる場合があります。実印やことわり書きに就いてご回答ください。
- 3 「その他」に○印を付けられた方は、() 内に具体的な答えを記入してください。
- 4 回答は、アンケート用紙を封筒(切手不要)に入れて、ご返送ください。
- 5 回答は**2025年12月14日(日)**までに、現着してください。
 ※ご住所・お名前前の記入は不要です。

お問い合わせ

豊田区 福祉部 地域福祉課 地域福祉担当
 電話：03-5608-1163(直通)

本アンケート調査は、地域福祉に携わっている皆さんにお願いするものです。
 前半は共通設問で、後半はそれぞれの活動(所属先)によってわかれて個別設問に記入していただきます。

▶▶共通設問(問1～問11)

1. あなたの自身について

問1 あなたの活動(所属先)を教えてください。複数の活動をしている場合は、主な活動を1つお選びください。(○は1つだけ)

1. ボランティアセンターのボランティア登録団体
2. 小地域福祉委員会代表者
3. ふれあいサロン代表者
4. 子ども食堂代表者
5. 高齢者支援総合センター(地域包括支援センター)
6. 高齢者みまもり相談室
7. 障害者就労支援センター
8. 障害者基幹相談支援センター
9. 子育て支援総合センター
10. 子育てひろば
11. 児童館
12. コミュニティ会館
13. 保健所
14. 教育センター
15. ぐらし・しごと相談室
16. ひきこもり地域支援センター すみ家
17. 民生委員・児童委員・主任児童委員
18. 社会福祉法人
19. 社会福祉協議会
20. フォードチーム協力団体
21. フードパントリー代表者

2. 福祉の施策や活動に関する情報の発信・入手について

より多くの区民が地域福祉について理解し、地域活動に参加していくためには、福祉に関する情報が、情報を必要とする人に確実に届くことが大切です。

問2 福祉の施策や活動が、地域に知られていると見えますか。(○は1つだけ)

1. 知られている
 2. やや知られている
 3. あまり知られていない → 何ヶ所かだけ
 4. 知られていない (具体的に)
 5. わからない

問3 ご自身が地域住民に情報発信する、あるいは地域住民の情報を入手する場合、どのような手段が有効だと考えますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 町会・自治会、小地域福祉活動、ふれあいサロン等に参加し、情報交換をする
 2. SNS (X、Facebook、LINE等) などのツールを利用する
 3. 町会・自治会などの回覧板・掲示板を利用する
 4. 区の施設等へ掲示する
 5. その他 ()
 6. わからない

3. 地域のつながりについて

問4 活動されている地域では日ごろから地域のつながりはありますか。(○は1つだけ)

1. ある
 2. ややある
 3. あまりない
 4. ない
 5. わからない

問5 地域のつながりを強くするためには、どのような対策が有効かと思えますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 町会・自治会活動の活性化
 2. 小地域福祉活動、ふれあいサロンなどの地域活動の実施
 3. 地域課題を話し合う場の設定
 4. 新旧住民が知り合うきっかけをつくる事業の実施
 5. 地域住民が交流できるイベントなどの開催
 6. その他 ()
 7. わからない

問6 地域福祉の担い手を確保・育成するためにはどのような取組が必要かと思えますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 地域福祉に関する活動の情報発信
 2. 担い手の候補者に対する個別の声かけ
 3. 参加しやすい雰囲気醸成
 4. 担い手の負担の軽減
 5. 担い手の育成研修の実施
 6. その他 ()
 7. 特にない

問7 地域住民が相互に交流できる場(拠点)として、どのようなものが必要ですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 地域福祉プラットフォーム[※]のような拠点
 2. 子ども食堂・地域食堂など誰もが気軽に参加できる場所
 3. ふれあいサロンなど地域の活動者を中心とした活動拠点
 4. 気軽に立ち寄ることができる地域の「ひろば」的な場所
 5. その他 ()
 6. 特にない

※「地域福祉プラットフォーム」は、社会福祉協議会の職員が常駐し、誰でも立ち寄ることができる居場所、世代間交流の場と、地域住民の困りごとを相談する場という機能をもちます。現在、区内に5か所設置されています。

問8 墨田区では、令和8年3月にバリアフリー基本構想[※]を策定する予定です。社会には多様な人が存在し、その中には様々なバリアにより社会参加が困難な人がいます。施設や設備などのハード面のバリアフリーだけではなく、「心のバリアフリー」を広めるためにはどのような取組が必要かと思えますか? (○はあてはまるものすべて)

1. 誰もが参加できる心のバリアフリー推進イベントの開催
 2. 小・中・高等学校での「福祉教育」の充実
 3. 地域住民を対象にした、認知症や障害特性などの理解に関する勉強会の実施
 4. 福祉施設でのボランティア体験
 5. その他 ()
 6. 特にない
 7. わからない

※「バリアフリー基本構想等」: 区全体のバリアフリー化の方針を示すもの、ハード面のバリアフリー、ソフト面のバリアフリー、区民の心のバリアフリーについて推進するために策定するもの。

※「心のバリアフリー」: 様々な心身の特性や考え方を持つすべての人が、相互に理解を深めようとするコミュニケーションをとり、共感すること。

4. 災害に備えたまちづくりについて

問9 活動されている地域では災害時における助け合いの意識は高まっていますか。(〇は1つだけ)

- 1. 高まっている
- 2. やや高まっている
- 3. ほとんど高まっていない
- 4. 全く高まっていない
- 5. わからない

問10 災害が起こった時、ご自身・事業所の安全が確認されたうえで、地域で何ができますか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1. 避難所が開設されたときの手伝い
- 2. 災害ボランティア
- 3. 在宅避難している方の安否確認
- 4. その他 ()
- 5. わからない

問11 災害時に助け合うために、ご自身・事業所が日ごろから地域で行っていることはどのようなことですか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1. 日頃から住民同士のつながりを強くするための活動(イベントなど)をする
- 2. 町会・自治会等と協力した支えあいマップ等を作成する
- 3. 要配慮者サポート隊の結成・活動をすすめる
- 4. 町会・自治会が実施する防災訓練へ参加する(住民への参加要請含む)
- 5. その他 ()
- 6. わからない

ここからは回答する設問がわかります。

○ボランティア登録団体、小地域福祉委員会代表者、ふれあいサロン代表者、
フォーラム協力団体、子ども食堂代表者、フードパントリー代表者の方

▶▶▶ 5頁からの問12～問20へ

○高齢者支援総合センター(地域包括支援センター)、高齢者みまもり相談
室、障害者就労支援センター、障害者基幹相談支援センター、子育て支援総
合センター、子育てひろば、児童館、コミュニティ会館、保健所、教育セン
ター、くらし・しごと相談室、ひきこもり地域支援センターすみみ家、社会福
祉協議会の方

▶▶▶ 7頁からの問21～問28へ

○民生委員・児童委員・主任児童委員の方 ▶▶▶ 10頁からの問29～問41へ

○社会福祉法人の方 ▶▶▶ 14頁からの問42～問45へ

ここからは ボランティア登録団体、小地域福祉委員会代表者、
ふれあいサロン代表者、フォーラム協力団体、子ども食堂代表者、
フードパントリー代表者の方に おたずねします。

5. 団体について

問12 貴団体の主な活動分野はどれですか。(〇は1つだけ)

- 1. 地域福祉分野
- 2. 障害福祉分野
- 3. 高齢福祉分野
- 4. 子育て分野
- 5. 生活困窮分野
- 6. その他 ()

問13 活動年数は何年ですか。(〇は1つだけ)

- 1. 1年未満
- 2. 1年以上5年未満
- 3. 5年以上10年未満
- 4. 10年以上20年未満
- 5. 20年以上

問14 活動を始めたきっかけを教えてください。(〇はあてはまるものすべて)

- 1. 個人の経験・関心から始めた
- 2. (行政などから)依頼があった
- 3. 困っている人の役に立ちたかった
- 4. 友人や家族から誘われた
- 5. その他 ()

6. 団体の活動について

問15 貴団体(個人)の活動にやりがいを感じていますか。(〇は1つだけ)

- 1. 強く感じている
- 2. 感じている
- 3. あまり感じていない
- 4. 全く感じていない
- 5. どちらともいえない

問16 団体の活動において困りごとが発生した時に相談できるところはありますか。(〇は1つだけ)

1. ある

2. ない

▶▶▶ 問17へ

▶▶▶ 問16で「1. ある」と回答した方におたずねします。]

問16-1 それはどこですか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1. 社会福祉協議会
- 2. 行政の担当部署
- 3. その他 ()

問17 活動を進める中で連携したいと思う分野、団体等がありますか。(○は1つだけ)

1. ある 2. ない → 問18へ

【問17で「1. ある」と回答した方におたずねします。】

問17-1 それはどこですか。(○はあてはまるものすべて)

- 1. 高齢者支援総合センター（地域包括支援センター）・高齢者みまもり相談室
- 2. 保健所
- 3. 社会福祉協議会
- 4. 子育て支援総合センター
- 5. くらし・しごと相談室（生活困窮者自立相談支援窓口）
- 6. ひきこもり地域支援センター すみ家
- 7. その他（ ）

問18 活動において課題だと思うことはありますか。(○は1つだけ)

1. ある 2. ない → 問19へ

【問18で「1. ある」と回答した方におたずねします。】

問18-1 それはなんですか。(○はあてはまるものすべて)

- 1. 活動者が増えない
- 2. 活動の機会が少ない
- 3. 活動に遇した拠点が見つからない
- 4. 資金が不足している
- 5. その他（ ）

7. 墨田区について

問19 活動を進めて行くにあたり、墨田区に望むことはありますか。ご自由にお書きください。

問20 安心して暮らすことのできる墨田区をつくるために、区に力を入れてほしいことは何ですか。ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。

ここからは 高齢者支援総合センター（地域包括支援センター）、高齢者みまもり相談室、障害者就労支援センター、障害者基幹相談支援センター、子育て支援総合センター、子育てひろば、児童館、コミュニティ会館、保健所、教育センター、くらし・しごと相談室、ひきこもり地域支援センター、すみ家、社会福祉協議会の方に おたずねします

8. 重層的支援体制について

問21 「重層的支援体制整備事業」を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている 2. 知らない

問22 個別支援や地域づくりを行う上で、地域福祉プラットフォームと連携したことがありますか。(○は1つだけ)

1. ある 2. ない → 問23へ

【問22で「1. ある」と回答した方におたずねします。】

問22-1 それはどのような連携でしたか。ご自由にお書きください。

問23 個人、あるいは世帯からの複雑化、複合化した相談を受けたことがありますか。

※施設利用者の中で、問題を抱える方を施設側が認知した場合を含みます。(○は1つだけ)

1. ある 2. ない → 問24へ

【問23で「1. ある」と回答した方におたずねします。】

問23-1 それはどのような事例でしたか。①～⑤についてそれぞれお答えください。

- ① どのような事例でしたか。
(具体的に:)
- ② どのように対応しましたか。
(具体的に:)
- ③ どのようなことに困りましたか。
(具体的に:)
- ④ ③の課題に対して、どのように解決しましたか。
(具体的に:)
- ⑤ この事例の場合、支援者としてどのようなことができましたか。
(具体的に:)

問24 社会とのつながりを断っている、見守りを拒む、自分から声を発さないなど、地域で孤立している個人（世帯）を感知されたことがありますか。（〇は1つだけ）

1. ある 2. ない 問25へ

【問24で「1. ある」と回答した方におたずねします。】

問24-1 それはどのような事例でしたか。

【問24で「1. ある」と回答した方におたずねします。】

問24-2 問24のような課題に直面したとき、組織としてどう対応しましたか。（〇はあてはまるものすべて）

1. 区の支援会議に事例を提出し、関係機関と話し合った
 2. その他の会議で検討した
 3. 自らの担当業務を超えても、単独で支援した
 4. 自らで関係機関と連携して支援した
 5. その他（ ）

問25 問24のような相談者があったとき、自分の業務外のことを、相談できる人、機関はありますか。（〇は1つだけ）

1. ある 2. ない 問25へ
（具体的に： ）

【問25で「1. ある」と回答した方におたずねします。】

問25-1 相談できる人、機関はどこですか。（〇はあてはまるものすべて）

1. 高齢者支援総合センター（地域包括支援センター）・高齢者みまもり相談室
 2. 保健所
 3. 社会福祉協議会
 4. 子育て支援総合センター
 5. くらし・しごと相談室（生活困窮者自立相談支援窓口）
 6. ひきこもり地域支援センター すみ家
 7. その他（ ）

問26 関係機関との連携について、以前より支那連携や情報共有がしやすくなりましたか。（〇は1つだけ）

1. 非常にそう思う 3. あまりそうは思わない
 2. そう思う 4. そうは思わない
 5. どちらともいえない

問26-1 問26でそう回答した理由はなんですか。ご自由にお書きください。

問27 関係機関の連携は進んできていると思いませんか。（〇は1つだけ）

1. 非常にそう思う 3. あまりそうは思わない
 2. そう思う 4. そうは思わない
 5. どちらともいえない

問27-1 問27でそう回答した理由はなんですか。ご自由にお書きください。

問28 関係機関連携や支援体制をより強化するために何か必要だと感じられますか。ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。

ここからは 民生委員・児童委員・主任児童委員の方に おたずねします。

9. ご自身について

問29 民生委員・児童委員として何年活動されていますか。(○は1つだけ)

- 1. 3年未満
- 2. 3年以上6年未満
- 3. 6年以上9年未満
- 4. 9年以上

10. 活動について

問30 活動をする中で、やりがいを感じることはありますか。(○は1つだけ)

- 1. ある
- 2. 特になし

問30-1 やりがいを感じるときはどのようなときですか。ご自由にお書きください。

問31 活動をする中で、課題と感じていることはありますか。(○は1つだけ)

- 1. ある
- 2. 特になし

問31-1 どのようなことを課題と感じていますか。ご自由にお書きください。

問32 活動をする中で、負担に感じることはありますか。(○は1つだけ)

- 1. 特になし
- 2. ほとんどない
- 3. ややある
- 4. ある
- 5. どちらともいえない

問32-1 負担に感じることはどのようなことですか。ご自由にお書きください。

問33 民生委員・児童委員活動をしていく中で特に困ったことはありませんか。(○は1つだけ)

- 1. ある
- 2. 特になし

問33-1 それはどのような事例でしたか。①～④についてそれぞれお答えください。

- ① どのような事例でしたか。
(具体的に:)
- ② どのようなことで困りましたか。
(具体的に:)
- ③ どこかに相談しましたか。(○はあてはまるものすべて)
(1. 行政の主管課 2. 民生委員・児童委員の会長・副会長 3. その他 4. 相談していない)
- ④ この事例は解決しましたか。(○は1つだけ)
(1. はい 2. いいえ 3. その他 (具体的に:))

問34 どのような分野の相談が多いですか。(○は3つまで)

- 1. 高齢・介護に関する事
- 2. 生活困窮に関する事
- 3. 障害に関する事
- 4. 子ども・子育てに関する事
- 5. 就労に関する事
- 6. その他 ()

問35 具体的な相談事例として、公的支援が届いていないと思った個人、世帯と接したことはありませんか。(○は1つだけ)

- 1. ある
- 2. 特になし

問35-1 どのような課題をもっていましたか。(○はあてはまるものすべて)

- 1. ひきこもりの家族がいる
- 2. 育児と介護をするダブルケア
- 3. ごみ屋敷
- 4. 障害のある家族がいる
- 5. 外国籍の個人・世帯
- 6. ヤングケアラー
- 7. その他 ()

問35-2 どこになげましたか。(○はあてはまるものすべて)

- 1. 区の担当部署
- 2. 子育て支援総合センター
- 3. 高齢者支援総合センター (地域包括支援センター)・高齢者みまもり相談室
- 4. どこに相談したらいかがいかわからない事例だったので「ぶらっと (地域福祉プラットフォーム)」に相談した
- 5. その他 ()
- 6. 特になげなかった

問36 社会とのつながりを断っている、見守りを拒む、自分から声を発さないなど、地域で孤立している個人、世帯と接したことはありませんか。(○は1つだけ)

1. ある 2. 特にない → 問37へ

→ 【問36で「1. ある」と回答した方におたずねします。】

問36-1 どこかにつながりましたか。(○はあてはまるものすべて)

1. 区の担当部署

2. 高齢者支援総合センター(地域包括支援センター)・高齢者みまもり相談室などの相談機関

3. ひきこもり地域支援センター すみ家

4. どこに相談したらよいかわからない事例だったので「ぶらっと(地域福祉プラットフォーム)」に相談した

5. その他()

6. 特につなげることがしなかった

11. 情報の授受について

問37 担当地区の住民への情報提供はどのようにしていますか。また、困っている人がいるなどの住民の情報はどのように把握されていますか。(それぞれ○はあてはまるものすべて)

【①住民への周知】

1. ふれあいサロンなどに参加し、直接伝えたりしている

2. 町会の回覧板や掲示板などで回覧してもらっている

3. その他()

【②住民の情報把握】

1. 自分から声を発さない人もいるので、地区の住民から情報を得ている

2. ふれあいサロンなどに参加し、住民から話を聞く

3. その他()

12. 墨田区について

問38 活動をする上で、連携が必要だと思っ相談機関、団体等はどこですか。

(○はあてはまるものすべて)

1. 高齢者支援総合センター(地域包括支援センター)・高齢者みまもり相談室

2. 保健所

3. 社会福祉協議会

4. 子育て支援総合センター

5. 暮らし・しごと相談室(生活困窮者自立相談支援窓口)

6. ひきこもり地域支援センター すみ家

7. その他()

8. 特にない

問39 活動を進める上で、民生委員・児童委員に必要な支援はどのようなことですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 活動に対する研修

2. 相談機関等との顔合わせ

3. 福祉施策などの情報提供

4. その他()

5. わからない

問40 活動を進めていくにあたり、墨田区に望むことはありますか。ご自由にお書きください。

問41 安心して暮らすことのできる墨田区をつくるために、区に力を入れてほしいことはありますか。ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。

ここからは **社会福祉法人の方に** おたずねします。

13. 地域における公益的な取組について

問42 現在連携している団体等がありますか。(○はあてはまるものすべて)

- 1. 高齢者支援総合センター (地域包括支援センター)・高齢者みまもり相談室
- 2. 保健所
- 3. 社会福祉協議会
- 4. 子育て支援総合センター
- 5. くらし・しごと相談室 (生活困窮者自立相談支援窓口)
- 6. ひきこもり地域支援センター すみ家
- 7. その他 ()
- 8. 特にない

問43 取組を進める中で、今後連携したいと思う団体等はありますか。

(○はあてはまるものすべて)

- 1. 高齢者支援総合センター (地域包括支援センター)・高齢者みまもり相談室
- 2. 保健所
- 3. 社会福祉協議会
- 4. 子育て支援総合センター
- 5. くらし・しごと相談室 (生活困窮者自立相談支援窓口)
- 6. ひきこもり地域支援センター すみ家
- 7. その他 ()
- 8. 特にない

14. 墨田区について

問44 活動を進めていくにあたり、墨田区に望むことはありますか。ご自由にお書きください。

問45 安心して暮らすことのできる墨田区をつくるために、区に力を入れてほしいことは何ですか。ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。

ご協力いただき、ありがとうございます。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒 (切手不要) に入れて、

12月14日(日) までに ご投函ください。

墨田区地域福祉計画に関するアンケート調査報告書
令和8年3月

【発行】墨田区 福祉部 地域福祉課

〒130-8640

東京都墨田区吾妻橋一丁目23番20号

TEL：03-5608-1163（直通）